

令和5年度

飯田市公民館活動記録



第6回橋北再発見ウォーキング
すたてくさっさ（橋北公民館）



遠山郷フォーラム（南信濃公民館）



パノラマファーム大門りんごまつり
（座光寺公民館）



上郷小学校音楽鑑賞教室
岩崎洵奈ピアノリサイタル（上郷公民館）



もちつき（橋南公民館）



日本語教室 学習成果発表会（飯田市公民館）

飯田市公民館

目 次

令和5年度飯田市公民館基本方針	1
令和5年度飯田市公民館の事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20

飯 田 市 公 民 館	20	川 路 公 民 館	138
橋 北 公 民 館	31	三 穂 公 民 館	144
橋 南 公 民 館	37	山 本 公 民 館	153
羽 場 公 民 館	44	伊 賀 良 公 民 館	162
丸 山 公 民 館	55	鼎 公 民 館	170
東 野 公 民 館	67	上 郷 公 民 館	181
座 光 寺 公 民 館	75	上 村 公 民 館	189
松 尾 公 民 館	87	南 信 濃 公 民 館	196
下 久 堅 公 民 館	96	Aブロック事業	203
上 久 堅 公 民 館	103	Bブロック事業	205
千 代 公 民 館	111	Cブロック事業	205
龍 江 公 民 館	120	Dブロック事業	206
竜 丘 公 民 館	129		

飯田市の公民館略年表	207
飯田市公民館大会の経過	215

令和5年度 飯田市の公民館活動 基本方針・事業計画

1 基本方針の内容

飯田市では、少子化、高齢化、人口減少問題などが持続的な地域づくりにおける課題となっています。また、近い将来には、三遠南信自動車道、リニア中央新幹線の開通による大都市圏域との近隣交流時代となり地域の大きな変貌が予想されます。こうした状況をとらえて、飯田市では、「いいだ未来デザイン 2028」、教育委員会では「飯田市教育振興基本方針」に基づき、各施策を展開しています。飯田市の公民館活動基本方針は、社会情勢に随時対応し効果的な活動を展開するため、重点的に取り組む目標を年度ごとに見直しを行っています。

公民館活動は、地域住民が学びあいを通して、地域の課題と向き合い「私たちの地域は私たちの手でつくる」自主自立の精神や、当事者意識を持って協力しあう「結い」の心で考え行動することを基本姿勢とし、『豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む』ことを目的としています。

2 公民館運営の四原則

(1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

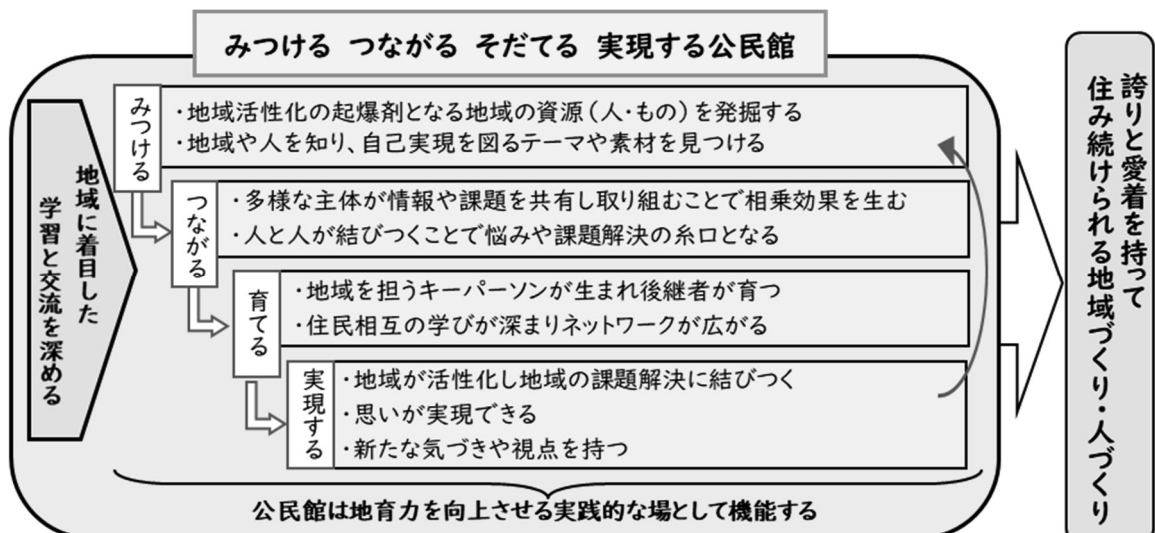
公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

1971（昭和46）年から1973（昭和48）年の2年間、飯田市教育委員会は文部省の委嘱を受けて、公民館運営基準の研究（管理運営の基準に関する事項および運営の指針に関する事項）をまとめました。2年間の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の四原則」が確認されました。

3 飯田市の公民館の役割



飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域の自治組織の構成団体でもあるという2面性を持っています。この特性を生かし、住民自治の充実にとって必要な社会教育機関としての視点から、地域に着目した学習と交流を深める役割を担い「みつける つながる 育てる 実現する場」として、愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくりの一翼を担っていきます。

(1) 公民館の具体的な場づくり

地域で活動する各種団体と連携し学習活動を充実させていきます。そのために、具体的には次のような場づくりを進めます。

- ① 誰もが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- ② 参加者の自主性・創造性を生かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- ③ 先人が築いた歴史・文化を大切にしながら今に生かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- ④ 生涯にわたる学習や地域の課題に対応できる「学習の場」
- ⑤ 人が人として認め合い暮らせる「人間尊重の精神を学ぶ場」
- ⑥ 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- ⑦ 子供たちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- ⑧ 地域の様々な出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

(2) 主体的な公民館活動の展開に向けて

- ① 地域の諸団体と連携・協力を図りながら、地域課題や生活課題の解決に向けた学習活動を展開するほか、住民ニーズに応える学級・講座を開催し、学び合いの土壌を耕します。
- ② 専門委員会活動を地域内がつながる大切な機会と捉え、他者との関係性を築くとともに、地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- ③ 分館は最も身近なコミュニティ形成の場であり、日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど、住民同士のふれあいを大切にしながら主体的に活動を展開します。

4 令和5年度における重点目標及び事業計画

(1) 重点とする目標

公民館が地育力を向上させる実践的な場として機能するため令和5年度は次の目標を掲げます。コロナ禍を乗り越え、日常を取り戻し公民館活動の歩みを力強いものにしていきます。

ア 学習と交流を通じた自治意識の醸成を図ります

- ・住民の自由で主体的な学びを支援します。
- ・住民同士が地域課題に向きあい行う、学習活動及び交流活動を充実させます。
- ・専門委員会や分館の活動を積極的に推進します。

イ 地域づくりを考える人材を育みます

- ・地域コミュニティへ誰もが参加できる環境を整えます。
- ・地域との関わり、住民同士のつながりを深めます。
- ・常に地域のことを共に考えられる小さな集団(社会)・仲間づくりの場をつくり、世代を超えいくつも重なり合う関係性を築きます。

(2) 事業計画

令和5年度飯田市の公民館活動基本方針及び重点目標を念頭に、次の事業に取り組みます。

ア 各公民館では、公民館の役割や重点目標を認識しつつ、地域の実状や課題を捉え、専門委員会が主体的に事業を企画するほか、多様な分野の学級講座に取り組みます。

- ① 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子供を安心して育てていくための継続的な学習
- ② 青壮年を対象にした地域実践学習
- ③ 高齢者の経験や力を次世代や地域づくりにつなげる学習
- ④ 平和を尊び、多様性への理解を深める学習
- ⑤ 芸術文化に触れることで、地域独自の文化の保存・継承・創造につなげる学習
- ⑥ 郷土への関心を高め、愛着と誇りを育む学習
- ⑦ 心身の健康について関心を高める相互の学習
- ⑧ 自然保護や経済活動、再生エネルギー等、環境について考える学習

イ 地区公民館と市公民館との合同による事業展開

①第61回飯田市公民館大会

公民館関係者や市民を対象に、1年間の公民館活動を振り返り、今後の活動に生かしていく機会として、令和6年2月18日（日）に開催します。

②いいだ人形劇フェスタ 2023

人とのつながりや地域資源の保存継承など、様々な可能性を持つ場として捉え、8月3日（木）～6日（日）に開催します。地区実行委員会の活動を充実させ、地区からフェスタを盛り上げます。

③飯田市二十歳の集い

該当者の居住地域・出身地域を単位として、令和5年度の二十歳を祝う式典を、令和6年1月7日（日）に開催します。各地区では、該当者を含めた実行委員会を組織し、該当者が多様な活動を通じて地域を知り、地域学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

④高校生等次世代育成事業

飯田 OIDE 長姫高校の地域人教育を支援するほか、高校の実状に応じた探究学習を支援します。公民館は社会教育機関として、中学生・高校生が地域の大人との関わりから、大人としての素養や、社会を観る力、課題を見つけ解決する力を育んでいきます。

⑤飯田コミュニティスクール（いいだCS）協働活動

公民館長・主事が学校運営協議会の委員となり、コーディネーターとして地域と学校と家庭をつなぐとともに地域で育む子どもの姿の実現に向かって関係団体と「飯田コミュニティスクール（いいだCS）協働活動」に取り組み子供たちの成長を支えていきます。

ウ 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

①高校生講座

世界とのつながりを意識しながら自身の行動や生き方、地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

②第47回飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマに、地元研究者を中心とした多種多様な分野の講座を開講します。

③第 47 回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、7 月 9 日（日）に開催します。

④第 42 回飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により、11 月 12 日（日）に開催します。

⑤人権平和・多文化共生事業

人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教室を柱とした多文化共生事業を展開します。

⑥家庭教育支援事業

出産や育児等の不安を解消してもらうための妊婦さん講座や、親子で学び合う子育て講座を実施します。

⑦「ムトスぷらざ」で展開される事業

創発コーディネートマネージャーと連携した創発活動につなげる事業を実施します。

※創発コーディネートマネージャーとは

ムトスぷらざに集約されるヒト・モノ・コトを調整し、創発する仕掛けを考える創発コーディネーターのリーダーとして関わり、高校生や若者世代を中心に、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘及び育成をする人。

エ その他

①第 71 回天龍峡夏期大学講座

地域課題や社会課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管し開催します。

②公民館維持管理・施設整備事業

施設管理計画に基づき、計画的に改修や環境整備を進めます。

③ブロック公民館事業

20 地区の公民館を 4 つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

④館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

⑤主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題の解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法に基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切にし、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

飯田市公民館の事業

市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

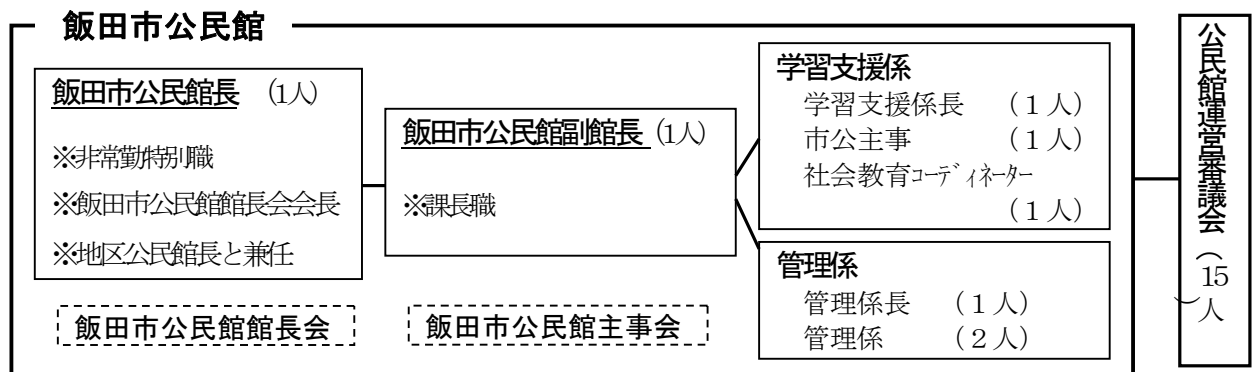
ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

飯田市公民館の運営組織図



地区公民館

(人口は令和4年9月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口 (人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	2,786	1	—	1	1
橋南公民館		2,477	1	—	1	1
羽場公民館		4,586	1	—	1	1
丸山公民館		3,232	1	—	1	1
東野公民館		2,693	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,151	1	1	1	—
山本公民館		4,421	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,042	1	1	1	1
鼎公民館		13,045	1	1	1	2 ※4
上郷公民館		13,021	1	1	1	1
松尾公民館	C ブロック	12,783	1	1	1	1
下久堅公民館		2,611	1	1	1	—
竜丘公民館		6,620	1	1	1	1
上村公民館		342	1	1	1	—
南信濃公民館		1,107	1	1	1	1
上久堅公民館	D ブロック	1,168	1	1	1	—
千代公民館		1,457	1	1	1	—
龍江公民館		2,583	1	1	1	—
川路公民館		1,957	1	1	1	—
三穂公民館		1,316	1	1	1	—
計		96,398	20人	15人	20人	12人

専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連携調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

分館

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名 称	人数	任期 (年)
橋北公民館	文化育成部	11	2
	体育育成部	12	2
	広報部	9	2
橋南公民館	文化委員会	6	2
	体育委員会	6	2
	館報委員会	6	2
	育成委員会	6	2
羽場公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2
	育成委員会	12	2
丸山公民館	文化部会	12	2
	体育部会	13	2
	広報部会	5	2
	青少年健全育成部会	12	2
東野公民館	文化部	7	2
	体育部	14	2
	広報部	5	2
	育成部	9	2
座光寺公民館	文化部	16	2
	体育部	14	2
	広報部	10	2
	健全育成部	15	2
松尾公民館	文化委員会	20	2
	スポーツ委員会	20	2
	広報委員会	19	2
	総務企画委員会	6	2
下久堅公民館	文化部	15	2
	体育部	19	2
	広報部	15	2
	育成部	17	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2
	体育委員会	12	2
	広報委員会	10	2
千代公民館	文化委員会	10	2
	体育委員会	11	2
	広報委員会	9	2
	青少年育成委員会	8	2

公民館名	名 称	人数	任期 (年)
龍江公民館	文化部	7	2
	体育部	8	2
	青少年健全育成部	6	2
	新聞部	12	2
	ホームページ運営委員会	4	2
竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	24	2
	広報委員会	10	2
	民俗資料保存委員会	13	2
川路公民館	文化部会	10	2
	体育部会	14	2
	広報部会	9	2
	育成委員会	9	2
三穂公民館	文化委員会	8	2
	体育委員会	9	2
	女性委員会	8	2
	広報委員会	7	2
山本公民館	文化部	16	2
	スポーツ部	18	2
	育成部	8	2
	広報部	8	2
伊賀良公民館	文化部	23	2
	体育部	27	2
	広報部	20	2
	ひまわり子ども育成部	16	2
鼎公民館	文化委員会	13	2
	体育委員会	13	2
	広報委員会	14	2
上郷公民館	文化部会	11	2
	スポーツ部会	10	2
	広報部会	12	2
	青少年健全育成部会	10	2
上村公民館	文化委員会	17	2
	地域を育む委員会	17	2
	企画委員会	8	2
	広報委員会	5	2
南信濃公民館	文化委員会	9	2
	体育委員会	10	2
	広報委員会	6	2
計		890	

飯 田 市 の 分 館

地 区 名	分 館 名	分館世帯数	地 区 名	分 館 名	分館世帯数	地 区 名	分 館 名	分館世帯数
橋 北	★江戸浜	114	千 代	法 山	74	鼎	★東 鼎	376
橋 南	な し			大 郡	50		★西 鼎	322
羽 場	な し			米 峰	25		★下茶屋	507
丸 山	な し			毛 呂 窪	63		★中 平	1484
東 野	吾妻町南	休館		八ノ倉	21		★上茶屋	356
	東新町1	79	龍 江	下 村	84		★切 石	2243
	錦 町	休館		第 一	217		★上 山	2562
	高羽町東	264		第 二	242		★一 色	1317
	宮ノ上	268		第 三	213		★名古熊	1881
	諏訪町	64	竜 丘	第 四	131	上郷	★上黒田	649
座 光 寺	鈴加東新	35		駄 科	1039		★下黒田北	1038
	な し			長 野 原	506		★下黒田南	813
松 尾	上 溝	351		★時 又	386		★下黒田東	696
	久 井	186		桐 林	571		★丹 保	401
	★水 城	359	川 路	上 川 路	137		★北 条	303
	★新 井	490		2	56		★飯沼南	340
	寺 所	248		3	57		★南 条	300
	★明	622		4	109		★別府上	357
	★清 水	254		5	46		★別府下	614
	城	554		6	113	上村	上 町	61
	八幡町	387		7	116		中 郷	25
	代 田	729		8	192		程 野	53
	毛 賀	729	三穂	な し			下 栗	38
	常盤台	336		東 平	465	南信濃	和 田 橋 北	139
下 久 堅	知 久 平	235	山 本	大 明 神	149		和 田 橋 南	296
	★虎 岩	129		北 平	315		八重河内	41
	柿 野 沢	85		中 西 平	147		木 沢	75
	稲 葉	13		南 湯 川	156		南 和 田	53
	小 林	45		竹 佐	182	以下103分館（うち3館休館）		
	南 原	157		箱 川	77			
	下 虎 岩	298		久 米	113			
上 久 堅	1	100		二 ツ 山	休館	※うち条例分館は27館 （★の印）		
	2	73	伊賀良	下 殿 岡	395			
	3	100		上 殿 岡	502	※令和5年度分館世帯数 （令和5年9月末時点）		
	4	81		三 日 市 場	373			
	5	78		北 方	2098			
	6	44		大 瀬 木	1464			
	北 部	44		中 村	668			
千 代	野 池	87		三 尋 石	159			
	米 川	109	鼎	★下 山	1924			

公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	令和5年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	247,000	2,087,000	2,418,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	295,000	2,441,000	2,942,000	911.6 (橋南児童クラブ含む)	R 4. 5	鉄筋10階建 の3階部分
羽場公民館	53,000	312,000	3,339,000	3,704,000	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	388,000	1,923,000	2,593,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	298,000	1,775,000	2,205,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	385,000	4,935,000	5,690,000	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	626,000	474,000	8,997,000	10,097,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	250,000	3,210,000	3,541,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	226,000	2,623,000	2,960,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	223,000	2,276,000	2,546,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	226,000	5,443,000	5,833,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	358,000	7,485,000	8,028,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	410,000	3,280,000	3,834,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	249,000	3,807,000	4,240,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	277,000	3,202,000	3,740,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	568,000	9,420,000	10,363,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	516,000	4,611,767	7,875,767	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	607,000	9,741,000	10,520,000	2217.8	H31. 3	鉄骨2
上村公民館	0	232,000	910,000	1,142,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	0	341,000	1,866,000	2,207,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,225,000	6,882,000	83,371,767	96,478,767	23940.8		
飯田市公民館	3,877,000	13,967,000	—	17,844,000	3,651.65	R 4. 5	鉄筋5階建の 2階3階部分
合計	10,102,000	20,849,000	83,371,767	114,322,767	27592.4		

(説明)

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

飯田市各地区公民館利用状況

(令和4年度)

	有 料 団 体			減 免 団 体			無 料 団 体			合 計		
	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員	件 数	回 数	人 員
飯田市公民館	297	349	4,435	100	152	12,930	1,379	1,768	26,871	1,776	2,269	44,236
ホール (R4.5まで使用)	1	3	18	5	11	1,909	12	15	347	18	29	2,274
会議室	296	346	4,417	95	141	11,021	1,367	1,753	26,524	1,758	2,240	41,962
橋北公民館	117	144	1,400	129	138	2,151	1,110	1,163	9,659	1,356	1,445	13,210
橋南公民館	107	117	1,035	288	288	2,509	1,013	1,082	9,037	1,408	1,487	12,581
羽場公民館	84	88	780	539	662	9,572	1,340	1,380	12,108	1,963	2,130	22,460
丸山公民館	68	76	715	448	1,099	7,327	795	817	5,772	1,311	1,992	13,814
東野公民館	33	35	393	235	268	3,169	1,266	1,349	12,684	1,534	1,652	16,246
座光寺公民館	66	66	508	181	181	3,341	881	881	14,853	1,128	1,128	18,702
松尾公民館	100	129	1,627	306	447	7,229	1,709	2,146	23,408	2,115	2,722	32,264
下久堅公民館	30	30	752	621	621	10,514	314	314	5,614	965	965	16,880
上久堅公民館	1	1	30	226	359	4,498	153	172	1,786	380	532	6,314
千代公民館	22	22	270	41	54	525	207	209	1,661	270	285	2,456
龍江公民館	41	41	340	395	395	3,411	297	297	2,101	733	733	5,852
竜丘公民館	65	79	1,635	346	362	5,553	1,469	1,751	21,666	1,880	2,192	28,854
川路公民館	18	18	386	398	501	6,715	120	256	2,634	536	775	9,735
三穂公民館	10	10	114	252	331	4,609	92	129	1,523	354	470	6,246
山本公民館	13	13	202	247	247	5,302	1,070	1,070	11,911	1,330	1,330	17,415
伊賀良公民館	252	252	5,682	379	379	7,465	1,800	1,800	36,223	2,431	2,431	49,370
鼎公民館	200	244	3,285	174	249	9,549	2,167	2,222	27,471	2,541	2,715	40,305
ホール	32	51	1,298	60	103	7,219	122	151	5,894	214	305	14,411
会議室	168	193	1,987	114	146	2,330	2,045	2,071	21,577	2,327	2,410	25,894
上郷公民館	269	385	9,090	434	757	12,442	1,469	2,901	35,735	2,172	4,043	57,267
上村公民館	0	0	0	189	189	2,312	51	51	806	240	240	3,118
南信濃公民館	15	15	377	69	69	1,058	135	135	3,583	219	219	5,018
地区館計	1,808	2,114	33,056	5,997	7,748	122,181	18,837	21,893	267,106	26,642	31,755	422,343
南信濃学習 交流センター	7	7	60	13	13	80	385	385	3,628	405	405	3,768
合計	1,815	2,121	33,116	6,010	7,761	122,261	19,222	22,278	270,734	27,047	32,160	426,111

令和5年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
飯田市民公民館 (P20 ～ 30 参照)	○子育てサークル交流会	○日本語教室わいわいサロン ○わいわいサロン鼎教室 ○わいわいサロン松尾教室 ○「やさしい日本語」講演会 ○学習成果発表会		○第61回飯田市民公民館大会 ○第47回市民大学講座 ○国際交流と学びの会 ○ふらっと会議、高校生及び若者ワーキング ○ムトスぶらざにおける創発活動
橋北公民館 (P31 ～ 36 参照)	○0歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同)	○橋北再発見ウォーキング「すたてくささ」	○いいだ人形劇フェスタ2023橋北地区公演 ○文化研修旅行 ○ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野地区合同)	○北斗のまちさわやか講座 ○今さら人に聞けない講座 ○橋北地区文化祭
橋南公民館 (P37 ～ 43 参照)	○1歳児学級		○つまみ細工講座 ○食文化講座 ○伝統・文化継承講座「手の芸の会」	○仲良し学級 銀の鈴
羽場公民館 (P44 ～ 54 参照)	○0・1歳児学級 ○2・3歳児学級 (羽場・丸山地区合同) ○乳幼児ファミリーデー	○ふぁにいサロン(旧羽場日本語教室)		○子ども寺子屋(春・夏) ○図書館お楽しみ会 ○〇曙の里講座生け花講座編 ○未来と自分と地域を考える会 ○書初め大会
丸山公民館 (P55 ～ 66 参照)	○0・1歳児学級 ○2・3歳児学級 (羽場・丸山地区合同)		○観月の夕べ	○子ども寺子屋(春・夏) ○西中乳幼児ふれあい交流会 (羽場・丸山地区合同) ○自分の未来と地域を考える会 (羽場・丸山地区合同) ○丸山ゴルフ大会
東野公民館 (P67 ～ 74 参照)	○3館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野)			○独居高齢者学級「五福の会」 ○女性学級「めだかの学校」 ○書初め書道教室 ○東野図書分館お楽しみ会
座光寺公民館 (P75 ～ 86 参照)	○びよびよ学級(0・1歳児) ○たんぼぼ学級(2・3歳児) ○子育て応援講座	○公民館女性委員の会 ○三六災害聞き取り	○いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演 ○座光寺人形劇まつり ○座光寺地域文化祭 ○大人のワインテイasting講座	○麻績いきいき大学 ○座光寺小学校科学実験教室 ○新春書初め会 ○地域づくりフォーラム ○地域学習会 ○麻績の里体験学校まとめの会
松尾公民館 (P87 ～ 95 参照)	○乳幼児学級(0～3歳児)	○多文化交流会	○男踊り教室	○松尾セミナー(地域いきいきセミナー) ○松尾サイエンススクール ○世代間交流事業「おやすづくり」 ○松尾版高校生講座 ○そば打ち教室
下久堅公民館 (P96 ～ 102 参照)	○乳幼児学級(0～3歳児)		○ふるさとコンサート ○いいだ人形劇フェスタ2023下久堅地区公演	○ひさかた村塾 ○ひさかた未来塾
上久堅公民館 (P103 ～ 110 参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」		○いいだ人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	○小学校クラブ活動、総合学習の支援 ○集まれ乙女★講座

令和5年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
○高校生講座 「カンボジア・スタディツアー」 「東北スタディツアー」 ○地域人教育			○妊婦さん向け講座 ○子育て講座	
○北斗のまちさわやか講座(郷土学習) ○今さら人に聞けない講座(郷土学習) ○橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」 ○新春書初め大会	○北斗のまちさわやか講座(健康学習) ○今さら人に聞けない講座(健康学習) ○マレットゴルフ教室 ○囲碁ボール部 ○まちづくり×公民館 囲碁ボール交流会 ○橋北地区クップ大会 ○橋北市民運動会 ○橋北地区スポーツ大会	○北斗のまちさわやか講座(環境学習)	○新春書初め大会	○浜井場小学校科学実験教室
○橋南史跡ウォーキング	○囲碁ボール講座 ○健康講座 ○健康マージャン講座			
○曙の里講座郷土学習編	○曙の里講座夜の講座編	○そばづくり講座 ○春の探鳥会(羽場・丸山地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会(羽場・丸山・東野地区合同)	○丸山小学校150周年記念事業(羽場・丸山・東野地区合同) ○西中地域貢献学習(羽場・丸山合同) ○西中防災体験学習(羽場・丸山合同) ○明るいかざこしの子らを育てる会(羽場・丸山・東野地区合同)
○風越山学習会	○スポーツ食育講座	○春の探鳥会(羽場・丸山地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会(羽場・丸山・東野地区合同)	○丸山小学校150周年記念事業(羽場・丸山・東野地区合同)
			○夏休み子ども寺子屋 ○丸山小PTA・公民館共催講演会(羽場・丸山・東野地区合同) ○春休み子ども寺子屋	
○地域探訪 ○古文書講座 ○麻績の里体験学校ふるさと体験 ○子ども桜ガイド ○歴史講演会	○春季スポーツ大会 ○冬季ニュースポーツ体験会 ○地区交流月間	○麻績の里体験学校 水生生物観察会(中止) ○麻績の里体験学校 星空観察会 ○麻績の里体験学校 子ども科学教室	○総合的な学習の支援	○座光寺の子どもを語る会
			○親子パン作り教室	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト ○緑ヶ丘中学校ボランティア事業 ○緑ヶ丘中学校ふるさと学習
○ひさかたウォーキング ○ひさかた和紙講座	○春季スポーツ大会 ○秋季スポーツ大会 ○ひさかた盆野球大会(中止)		○親子体験学習 ○下久堅地区放課後子ども教室	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト ○緑ヶ丘中学校ボランティア事業
○上久堅の民俗と村誌を読み語る会 ○親子わくわくパン教室 ○小学生への方言人形劇指導 ○南信州狼煙リレー ○日赤紙芝居「知久のお殿様」	○公民館料理教室 ○十三の郷ウォーキング事業			○上久堅小学校・PTA・公民館三者共催公演会

令和5年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
千代公民館 (P111 ~ 119 参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○健康福祉委員会・民児協懇談会	○新春書き初め教室 ○人形劇フェスタかんげきバスツアー	
龍江公民館 (P120 ~ 128 参照)	○乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼの会」		○いいだ人形劇フェスタ2023観劇電車ツアー	○今さら聞けないマイナンバー講座
竜丘公民館 (P129 ~ 137 参照)	○乳幼児学級 ○乳幼児学級ファミリーデイ	○中国帰国者支援事業「友好会」(日本語教室)	○ふるさとコンサート in 竜丘 ○いいだ人形劇フェスタ2023 竜丘地区公演 ○ニューイヤークンサート ○竜丘地区文化祭	○大人の学校
川路公民館 (P138 ~ 143 参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」		○いいだ人形劇フェスタ2023 川路地区公演	○第71回天龍峡夏期大学
三穂公民館 (P144 ~ 152 参照)	○乳幼児学級「ひよっこクラブ」 ○孫育て学習会		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」 ○伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	○ほっとけない楽習会 ○文化セミナー ○高2の集い
山本公民館 (P153 ~ 161 参照)	○乳幼児学級(おたまこ学級) ○育MEN学級	○二ツ山団地サロン ○国際ふれあい交流会 ○花の木オープンスクール	○飯田人形劇フェスタ2023 ○市内で人形劇フェスタを満喫しよう!!バスツアー ○山本地区文化祭	○高齢者学級 ○メンズクッキング ○武田信玄狼煙リレー ○山本地区二十歳の集い ○旭ボランティアスタンプラリー ○ミニ門松作り ○「味噌作り体験」と「丘の上結いスクエア見学」の旅
伊賀良公民館 (P162 ~ 169 参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児、2歳児、3歳児) ○乳幼児学級ファミリーデイ	○子ども寺子屋(夏・春)	○書初め書道教室 ○いいだ人形劇フェスタ2023 伊賀良地区公演	○かさまつ大学
鼎公民館 (P170 ~ 180 参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぽぽ学級(2歳児学級) ○いちご学級・みかん学級りんご学級(1歳児学級) ○さくらんぼ学級(0歳児学級)		○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマーシャル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ○いいだ人形劇フェスタ2023鼎地区公演	○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会 ○世代間交流事業 ○鼎公民館役員研究集会 ○鼎ナゾとき探偵団
上郷公民館 (P181 ~ 188 参照)	○乳幼児学級 ○俺の親子学級		○上郷文化祭 ○いいだ人形劇フェスタ2023上郷地区公演 ○高松の丘音楽会 ○小学校音楽鑑賞教室 ○岩崎洵奈ピアノリサイタル ○ふれあいさわやか音楽祭	○高齢者学級 ○分館役員研修会
上村公民館 (P189 ~ 195 参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○人形劇フェスタ・観劇バスツアー ○しゃくなげ祭(文化祭) ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○若い衆で地域を語らまいか(上村青年会議) ○かみっこ図書分館合同事業 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾 ○遠山郷フォーラム ○遠山郷学園会議
南信濃公民館 (P196 ~ 202 参照)	○乳幼児学級「ひよこの会」	○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○人形劇フェスタ・観劇バスツアー ○ふるさとコンサートin遠山郷 ○特別展示ブースの設置 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○地域の歴史や魅力を考える学習講座 ○図書分館との合同事業 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾 ○遠山郷フォーラム ○遠山郷学園会議 ○女性学級

令和5年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
○ふるさと講演会 ○毛呂窪天文台活用事業 星空観察会	○ちよっ子クラブ:健康講座 ○ちよっ子クラブ:運動遊び講座	○中学生版:万古溪谷栃の木ツアー	○どんぐりの会(小学校読み聞かせ) ○おたんじょうび本プレゼント事業	○ふるさと学習「炭焼きに学ぶ」 ○科学実験教室
○親子で段ボール獅子頭をつくろう ○武田信玄狼煙リレー			○食農体験教室 ○図書館つくるお楽しみ会 ○伝統文化体験 ○小学校地域クラブ ○小学校お助け隊 ○親子人形劇の会(本部巡回公演)	○竜峡中学校キャリアフェスティバル2023 ○竜峡中学校いきいき竜峡講座 ○たつえの未来を考える会
○竜丘市民大学講座 ○竜丘自由画保存顕彰委員会 ○竜丘古墳の会 ○民俗資料保存事業 ○古墳まつり(はにわ野焼き)	○夏季スポーツ大会 ○冬季ニュースポーツフェスティバル ○竜丘市民運動会	○川で遊ぼう(水辺の楽校)	○家庭教育講演会 ○あいさつ運動 ○竜丘小学校放課後子ども教室	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト ○緑ヶ丘中学校ボランティア事業
○歴史文化セミナー ○世代間交流事業	○川路さわやか会		○夏休みはかわんべでわになろう! ○春休みは公民館でわになろう! ○川路通学合宿代替事業	○小学校クラブ活動 ○竜峡中学校キャリアフェスティバル2023 ○竜峡中学校いきいき竜峡講座 ○天龍峡赤松保護活動
○ふるさとめぐり三穂	○ほっとけない楽習会(姿勢)	○水辺で生き物観察		○ふるさとめぐり三穂 ○竜峡中学校キャリアフェスティバル2023 ○竜峡中学校いきいき竜峡講座
○山本学講座 ○ふるさとクッキング ○ウォーキングで山本地域を学ぼう!! ○杵原こども教室(おやす作り) ○親子de地元を知ろうツアー(中止)	○ニュースポーツ体験会	○公民館清掃 ○キノコ駒打ち体験	○子ども寺子屋	
○伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～	○料理教室	○環境わくわく体験講座	○子ども寺子屋(夏・春)	○ふるさとめぐりクラブ
○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○料理教室 ○鼎地区体育祭(ペタンク大会) ○鼎地区縦断駅伝大会 ○鼎地区女性バレーボール大会 ○冬季スポーツ大会(ボッチャ) ○ニュースポーツ講習会 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ	○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」 ○鼎打ち水大作戦	○かなえっこ どっきどきスクール ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○鼎小中PTA公民館合同講演会 ○保育園・小学校との連携による子育て支援事業 ○鼎の子どもを語る会 ○鼎ナゾとき探偵団
○郷土料理教室 ○地域を知る会 ○上郷歩こう会	○春季スポーツ交流会 ○夏季スポーツ交流会(中止) ○第70回上郷地区大運動会 ○冬季スポーツ交流会	○農作業体験教室	○子ども料理教室 ○あいさつ運動 ○工作教室 ○科学体験教室	○第31回上郷地区地域づくりフォーラム
○小学生霜月祭横笛教室 ○世代間交流事業 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会 ○第30回小学生、公民館卓球大会 ○春季スポーツ大会、運動講座	○自然体験学習会 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○小学校PTA共催講演会	○KGC(かみっこグリーンクラブ)自然塾キャンプ ○自然体験学習会
○千代峠交流会 ○郷土(地区)を学び交流を深める事業 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾	○リラクソヨガ講座2023 ○南信濃にこにこ元気大運動会	○天体観測会 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾 ○ブッポウソウ保護活動と環境保全学習	○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾 ○子育て支援事業 遠山郷こどもひろば	○ウェルカムティープロジェクト ○和田小学校150周年記念事業

令和5年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
橋北公民館 (P31～36 参照)	・橋北地区文化祭 ・いいだ人形劇フェスタ2023 ・文化研修旅行	・まちづくり×公民館 囲碁ボール交流会 ・橋北地区クイズ大会 ・橋北市民運動会 ・橋北地区スポーツ大会	・館報「橋北」の発行	・近井場小学校科学実験教室「すたてくさっさ」 ・新春書初め大会	・令和5年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い(橋北、橋南、東野3館合同) ・ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同)
橋南公民館 (P37～43 参照)	・飯田人形劇フェスタ2023 ・橋南文化祭 ・若者の集い ・橋南史跡巡り	・橋南ウォークラリー大会 ・橋南ソフトボール大会 ・橋南連合大運動会 ・橋南ニューススポーツ交流会	・橋南マガジンの編集	・しめ縄作り講習会 ・もちつき大会 ・書き初め ・飯ごう炊さん・いもほり ・追手町小学校科学実験教室 ・おひま	・ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同) ・二十歳の集い(橋北・橋南・東野三館合同) ・放課後子ども教室 ・夏休み子ども教室
羽場公民館 (P44～54 参照)	・いいだ人形劇フェスタ羽場地区公演 ・羽場地区文化祭	・羽場地区ソフトボール大会 ・駅伝大会 ・羽場地区ふれあいスポーツ祭 ・ニューススポーツ交流会	・広報あけぼの	・魚のつかみどり体験 ・新春お楽しみ会 ・おやす・しめ縄作り交流会(羽場・丸山合同) ・きのこ山保全活動(菌打ち、きのこ狩りと芋煮会、原木伏木)	・羽場丸山地区二十歳の集い(羽場・丸山合同)
丸山公民館 (P55～66 参照)	・いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演 ・丸山ぐらす ・おとなのサロン ・かざこしふれあいコンサート(羽場・丸山合同) ・丸山地区文化祭	・クイズ大会 ・ソフトボール大会 ・丸山地区運動会 ・ボッチャ大会 ・ワンバウンドふらばーるバレー大会	・広報まるやまの編集	・親子交流体験事業「ひかる★泥団子をつくろう！」 ・冬の探鳥会 ・おやす・しめ縄づくり交流会(羽場・丸山合同) ・正月遊び・もちつき大会 ・スポーツ教室体験会 ・ウォーキング大会	・羽場丸山地区二十歳の集い(羽場・丸山合同)
東野公民館 (P67～74 参照)	・人形劇フェスタ2023東野地区公演 ・第51回東野区民文化祭 ・しめ縄づくり ・お正月行事	・ラージソフトボール大会 ・ワンバウンドふらばーるバレー大会 ・クイズ大会 ・ペタンク大会 ・囲碁ボール大会	・まちづくり会報「ひがしの」発行	・キッズチャレンジ手作り体験 ・小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈	・ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同) ・二十歳の集い(橋北・橋南・東野三館合同)
座光寺公民館 (P75～86 参照)	・いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演 ・座光寺人形劇まつり ・座光寺地域文化祭 ・大人の交流事業 ・麻績の里地域づくり種まき大賞 ・座光寺地域二十歳の集い	・春季スポーツ大会 ・冬季ニューススポーツ体験会 ・座光寺地域市民運動会 ・地区交流月間 ・おうちdeストレッチ	・広報座光寺 ・広報座光寺おしらせ版	・新春書初め会 ・麻績の里体験学校まどめの会 ・座光寺小学校科学実験教室 ・古墳ウォークラリー ・火おこし体験 ・子ども桜ガイド学習会 ・星空観察会・プラネタリウム鑑賞会 ・子ども科学教室 ・水辺の広場で遊ぼう(中止) ・パノラマファーム大門りんごまつり	・座光寺の子どもを語る会 ・座光寺の子どもを語る会推進委員会 ・地域学習会 ・地域づくりフォーラム ・公民館女性委員の会 ・総合的な学習の支援

令和5年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
松尾公民館 (P87 ～ 95 参照)	- 親子映画鑑賞会 - いいだ人形劇フェスタ2023松尾地区公演 - 第20回松尾踊ってみよう会 - 松尾地区文化祭 - 古き松尾を巡る「ぼちぼちさんぽ」～松尾一周の歌より～ - 松尾地区二十歳の集い	- 松尾地区市民運動会 - ニューススポーツ体験会 - 分館交流ニューススポーツ大会 - 分館交流ふらば～るバレー大会	- 公民館報学習会 「まつお新聞」の発行		- 松尾地区学習会(松尾セミナー) - 分館役員研修会 - 松尾地区還暦の会 - 学校体育施設開放運営委員会・調整会議
下久堅公民館 (P96 ～ 102 参照)	- ふるさとコンサートin三穂 - いいだ人形劇フェスタ2023下久堅地区公演 - ひさかたウオーキング - 下久堅地区二十歳の集い	- 春季スポーツ大会 - 秋季スポーツ大会 - ひさかた盆野球大会(中止) - 下久堅地区市民運動会(中止)	広報「ひさかた」の発行	- SJCスタンプラリー見学会 - 魚のつかみ取り体験 - テックレンジジャーニーとモノづくり体験 - 書初め教室	- 下久堅放課後子ども教室 - ひさかた村塾 - ひさかた未来塾 - ひさかた和紙講座 - 親子体験学習 - ひさかたふれあい夏祭り
上久堅公民館 (P103 ～ 110 参照)	- いいだ人形劇フェスタ2023上久堅地区公演 - 上久堅地区文化祭 - 上久堅を知る - 上久堅地区二十歳の集い	- 分館交流女性スポーツ大会 - 分館対抗ソフトボール大会 - 上久堅地区運動会 - 冬季スポーツ交流会	- 館報「ひさかた」発行 - 館報発送サービス事業		- 竜東中学校地区交流スポーツ大会 - 第28回ひさかたの火まつり【企画委員会】 - ふるさと自然体験2023 - 分館自主活動 - 世代交流しめ縄飾り講習会
千代公民館 (P111 ～ 119 参照)	- いいだ人形劇フェスタ2023千代地区公演 - 千代地区文化祭 - 千代地区二十歳の集い	- ワンふらバレー大会 - 千代地区市民運動会(中止) - 囲碁ボール大会	- 館報千代の発行 - ふるさとの便り発送事業	- 万谷溪谷橋の木ツアー - ウォークラリー大会 - 創作教室	- 千代峠交流会 - 竜東中学校地区スポーツ交流会 - どんぐりの会
龍江公民館 (P120 ～ 128 参照)	- いいだ人形劇フェスタ2023龍江地区公演 - 龍江地区文化祭・芸能祭	- わくわくスポーツ大会 - 龍江絆駅伝	龍江新聞の発行	- ふるさと探検(文化部共催) - 水辺の楽校魚のつかみ取り大会 - 百人一首・かるた大会	- 竜東中学校地区スポーツ交流会【公民館委員会】 - 龍江地区二十歳の集い
竜丘公民館 (P129 ～ 137 参照)	- ふるさとコンサート - いいだ人形劇フェスタ2023竜丘地区公演 - ニューイヤークンサート - 竜丘地区文化祭 - 竜丘市民大学講座 - 竜丘地区二十歳の集い	- 夏季スポーツ大会 - 冬季ニューススポーツフェスティバル - 竜丘市民運動会	館報たつおか発行	- 水辺の楽校整備作業 - 川で遊ぼう - 竜丘あいさつ運動 - 古墳まつり(はにわの野焼き)	- 竜丘文化財ボランティア事業 【専門委員会】 - 民俗資料保存委員会 【特別委員会】 - 竜丘古墳の会 - 竜丘児童自由画保存顕彰委員会
川路公民館 (P138 ～ 143 参照)	- いいだ人形劇フェスタ2023川路地区公演 - 第71回天龍峡夏期大学 - 春休みは公民館でわになろう！	- バレーボール大会 - ソフトボール大会 - 川路地区運動会 - 川路アンふら大会	館報かわじの発行		【企画会議】 - 川路地区二十歳の集い 記念式典 【分間との連携】 - 世代間交流事業

令和5年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専 門 委 員 会 事 業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
三穂公民館 (P144 ～ 152 参照)	・ふるさとコンサートin三穂 ・いはいだ人形劇フェスタ2023三穂地区公演 ・文化セミナー ・ふるさとめぐり三穂	・ニュースポーツフェスティバル ・お盆ソフボール大会(雨天中止) ・三穂小学校150周年記念運動会 ・ワンバウンドふらば〜るバレー大会	・館報「みほ」の発行 ・新春放談会	・水辺で生き物観察 ・ふるさとめぐり三穂 ・クリスマス会 ・お正月飾りづくり	【企画委員会】 ・高校2の集い ・ふれあい夏祭り ・三穂小学校150周年記念文化祭 ・eスポーツ大会 ・高齢者向けeスポーツ体験会 ・三穂地区二十歳の集い 【女性委員会】 ・ほっとけない楽習会(3回) ・女性交流スポーツ大会
山本公民館 (P153 ～ 161 参照)	・ウォーキングで山本地区を学ぼう!! ・人形劇フェスタ2023山本地区公演 ・国際ふれあい交流会 ・山本地区文化祭	・分館対抗軽スポーツ大会 ・ニュースポーツ体験会 ・山本地区市民大運動会 ・軽スポーツフェスティバル	・広報やまもと発行	・杵原こども教室(おやすみ作り) ・親子de地元を知ろうツアー(中止) ・親子de星空観察会	・武田信玄狼煙ラリー ・山本地区二十歳の集い ・「味噌作り体験」と「丘の上結いスクエア見学」の旅
伊賀良公民館 (P162 ～ 169 参照)	・いはいだ人形劇フェスタ2023伊賀良地区講演 ・ふるさとゲームウォーキング〜殿岡の巻〜 ・伊賀良地区文化祭、芸能祭 ・令和5年度伊賀良地区二十歳の集い	・分館対抗夏スポーツ交流会 ・伊賀良地区大運動会(雨天中止) ・分館対抗冬スポーツ交流会	・広報いがら発行 ・米寿記念写真撮影、贈呈 ・伊賀良地区フォトコンテスト	・かるた大会 ・飯ごう炊さん ・マラソン大会 ・地区内青少年スポーツ団体への支援	・学校体育施設運営委員会、調整会議 ・展示コーナー運営委員会 ・図書館お楽しみ会 ・中学校と地域との取り組み
県公民館 (P170 ～ 180 参照)	・ふるさと再発見ワンデーマーチ ・いはいだ人形劇フェスタ2023 ・県打ち水大作戦 ・ふるさと県ふれあい広場・文化祭 ・県の景観写真コンテスト ・令和5年度県地区二十歳の集い ・ふるさと県コマージュヤル ・オーケストラと友に音楽祭	・県地区体育祭(ペダング大会) ・県地区縦断駅伝大会 ・県地区女性バレーボール大会 ・県公民館長杯冬季スポーツ大会(ボッチャ) ・ニュースポーツ講習会	・「公民館報かづなえ」の発行 ・ふるさと県コマージュヤル		・高校生の学習活動支援 ・県の子どもを語る会 ・県小中PTA公民館合同講演会 ・県公民館役員研究会 ・役員研修会
上郷公民館 (P181 ～ 188 参照)	・上郷文化祭 ・上郷地区二十歳の集い	・春季スポーツ交流会 ・夏季スポーツ交流会(中止) ・第70回上郷地区大運動会 ・冬季スポーツ交流会 ・上郷文化祭ニュースポーツ体験コーナー	・「広報かみさと」発行	・あいさつ運動 ・工作教室(ペットボトルロケットを作ろう、火薬ロケットを飛ばそう) ・科学体験教室(スライムづくり、モンキーハンティング、静電気体験、空気砲など)	・高松の丘音楽会 ・小学校音楽鑑賞教室 ・岩崎陶奈ピアノリサイタル ・ふれあいさわやか音楽祭 ・いはいだ人形劇フェスタ2023上郷地区公演 ・地域を知る会 ・分館役員研修会 ・第31回上郷地域づくりフォーラム ・上郷歩こう会

令和5年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
上村公民館 (P189 ～ 195 参照)	・いっだ人形劇フェスタ2023上村地区講演 ・しゃぐなげ祭(文化祭) ・遠山地区二十歳の集い	・マレットゴルフ大会 ・かみむら大運動会 ・第30回小学生、公民館卓球大会 ・春季スポーツ大会、健康講座	・「館報かみむら」発行		
南信濃公民館 (P196 ～ 202 参照)	・いっだ人形劇フェスタ2023南信濃地区講演 ・遠山地区二十歳の集い ・ふるさとコンサートin遠山郷 ・千代峠交流会 ・天体観察会 ・ブックボウソウ保護活動と環境保全学習 ・特別展示ブースの設置	・南信濃にここ元気大運動会 ・リラックスヨガ講座2023	・広報「やまなみ」発行	・子育て支援事業 遠山郷子どもひろば	
Aブロック公民館 (P203 ～ 204 参照)		・旧市5地区野球大会 ・丘の上ボッチャ大会	・Aブロック広報・館報研修会		・Aブロックシニア・レディースソフトボール大会(春季・秋季)
Bブロック公民館 (P205 参照)		・Bブロックスポーツ交流大会			・Bブロック館長・主事情報交換会
Cブロック公民館 (P205 参照)					・Cブロック情報交換会
Dブロック公民館 (P206 参照)	・Dブロック文化事業情報交換会	・Dブロックバドミントン大会 ・Dブロック交流スポーツ大会		・Dブロック小学生交流	

飯田市公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	妊婦さん向け講座	市費	継続	6	33	6	406	【初夏】6月【初秋】10月【冬】2月(中止)	羽場中央公会堂
	出産や育児等の不安を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっているような妊婦期を過ごしてもらう。	実施内容	3回連続講座を3回開催。ママの為にのストレッチ、ベビーグッズ製作、助産師さんや他の参加者と出産の相談や出産後の子育てなどについて話し合う機会とした。 ＜開催概要＞ 【初夏】「ママと赤ちゃんのために」 ①6月19日「マタニティストレッツ」講師：宮澤恵子氏（助産師） ②6月26日「おしゃべりしよう」講師：松原千尋氏（助産師）松村由美子氏（子育てアドバイザー） ③7月 3日「スタイ作り」講師：澤柳 美奈子氏 【初秋】「ママと赤ちゃんのために」 ①10月23日 ②10月30日 ③11月6日(初夏と同内容) 【早春】「ママと赤ちゃんのために」 ①2月19日「マタニティストレッツ」②2月26日「おしゃべりしよう1」③3月4日「スタイ作り」④3月11日「おしゃべりしよう2」	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 仲間づくりの場、出産の相談や出産後の子育てなどについて話し合う機会として今後も開催予定。年間予定を入れたチラシを産婦人科、助産院などにも配布し、参加しやすいようにする。				
学級・講座	子育て講座	市費	継続	1	24	24	—	7月29日	飯田市公民館
学級・講座	日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいれる為に大切なことを学ぶ機会とする。	実施内容	小学校3年～6年生の親子を対象に開催。飯田の夜空を彩る花火。その歴史や特徴を親子で学び、花火大会だと思っている飯田時又灯ろう流しの意味や係の方の思いを聞き、自分の住んでいる地区のお祭りや花火に関心を引き出すと共に考える機会とする。 ＜開催概要＞ 楽しく学ぶ子育て講座 夏休み親子研究「飯田の“お祭り”や“花火”を研究してみよう！」 7月29日(土)9時30分～11時30分 講師：飯田時又灯ろう流し 実行委員 宮嶋 聡子さん、飯田美術館 学芸員	評価	【成果と課題】 イベントとしての花火ではなく、地元のお祭りや花火の宝刀の意味を考える機会とした。子育て講座で親だけの参加では参加が少いので親子参加とし、夏休みの自由研究として発表してもらおう事で参加者以外にも広がることねらい夏休み親子研究として開催した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子育て中の親子に知って欲しいことを夏休み親子自由研究として開催予定。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日本語教室わいわいサロン	市費	継続	55	368	10	2,242	通年	飯田市公民館
	地域在住の外国人に日本語学習の機会と生活情報を提供し、地域住民との交流を図る。	実施内容	わいわいサロン毎週木曜日 10時から12時 子育て版わいわいサロン 月1回 10時から12時 生活に密着した内容の会話を中心とした日本語教室 毎回参加者のニーズに応じた内容や季節の行事などを取り入れて開催 子育て版わいわいサロン 日本語学習に加え、生活情報(子育て、防災等)を提供し、参加者や地域の団体、講師との交流を目的とし、地域社会との連携を強化する。	評価	【成果と課題】 掲示を見て新しい参加者が参加してくれたが、なかなか定借せず支援者が少なく課題となっている。図書や文化庁の「つなひろ」を参考に会話や日本の行事などを取り入れて開催した。 子育て中の外国人住民で知り合いもなく、外国人コミュニティにも所属していない人がおり、孤立している。交流の場を作り、日本での子育ての不安を解消することを目的に開催。子どもが病気になる他ときなどに相談し合う姿が見られた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子育て版はより多くの親子に周知できるように外国人コミュニティや保健師を通じて広め、参加を促進していきたい。				

飯田市公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンⅡ(鼎教室)	市費	継続	8	139	23	2,242	6月12日～7月31日	鼎公民館・下伊那農業高校
学級・講座	【成果と課題】 ヨガ、ソウルフード紹介、浴衣を着て盆踊りなどに挑戦しながら、日常に必要な日本語を習得する機会として「わいわいの仲間と夏の大冒険」を開催。ソウルフード紹介では参加者同士で各国の料理の写真をしながら日本語で紹介をし、支援者と学習者が互いに学びあう機会となった。また、長野県下伊那農業高校インターアクトクラブと花の寄せ植えを実施。高校を会場に実施し、学習者の方には地域の高校を知ってもらう機会とし、高校生も外国籍住民と交流する機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民を講師として迎え、学習者との交流も目的としている。色々なグループや地域住民の参画と学習者との交流を促進していきたい。								
	日本やこの地域で豊かに暮らすための生活情報についてと、それに関する日本語を学び、地域の専門家を講師に招き、サポーターや学習者と交流することで、外国人の地域参画を促す。	実施内容	第1回6月12日 第2回6月19日 第3回6月26日 第4回7月 3日 第5回7月10日 第6回7月17日 第7回7月24日 第8回7月31日	ともだちづくりに挑戦！ ダンス、ヨガに挑戦！ 旅行の計画に挑戦！ 「たなばた」に挑戦！ ソウルフード紹介に挑戦！ 寄せ植えに挑戦！ スイーツづくりに挑戦！ 浴衣を着て盆踊りに挑戦！			評価		
	毎週月曜 午後7時～9時(第6回は10時～12時)								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンⅡ(駅前教室)	市費	継続	8	112	19	2,242	10月16日～12月4日	飯田市公民館
学級・講座	【成果と課題】 美味しいもの、きれいなもの、面白いものがたくさんある秋を皆で楽しみながら、日常に必要な日本語を習得する機会として「わいわいの仲間と秋を楽しむ」を開催。生け花では飯田女子高校華道クラブに指導してもらい、相互理解の場とした。防災の話ではハザードマップで自分の住んでいる地域の特徴を知り、情報を得るための手段などを学んだ。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 技能実習生も参加できるように会社などに呼びかけながら、地域住民を講師として迎え、学習者との交流を促進していきたい。								
	日本やこの地域で豊かに暮らすための生活情報についてと、それに関する日本語を学び、地域の専門家を講師に招き、サポーターや学習者と交流することで、外国人の地域参画を促す。	実施内容	第1回 10月16日(月)秋の“おしゃべり” 第2回 10月23日(月)防災① 第3回 10月30日(月)防災② 第4回 11月5日(日)秋の“いけばな” 第5回 11月13日(月)秋の“ダンス” 第6回 11月20日(月)秋の“読書” 第7回 11月27日(月)秋の“スマホ” 第8回 12月4日(月)秋の“料理” 毎週月曜 午後7時～9時(第4回は日曜日10時～12時)			評価			
	毎週月曜 午後7時～9時(第4回は日曜日10時～12時)								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	日本語教室わいわいサロンⅡ 学習成果発表会	他会計	継続	1	55	55	2,242	2月11日	飯田市公民館
学級・講座	【成果と課題】 外国人の日本語スピーチ大会 日本語で発表しよう～今、私が伝えたいこと～を開催。日本語を学んだ学習者が日本語で自分の思いを発表する機会として日本語のスピーチ大会を開催。一般部門、小中学校部門にわけて発表を行った。また飯田市内で活動している日本語教室や国際交流団体の展示、参加者の交流会も行った。事業終了後は飯田市公民館のロビーに展示をした。 一般部門 6名 小中学校部門 4名 計10名								
	日本語教室の活動を広く市民に公開し、外国人と地域住民との交流を行うことで、地域の多文化共生の意識を醸成させる。	実施内容	外国語の日本語スピーチ大会 日本語で発表しよう～今、私が伝えたいこと～を開催。日本語を学んだ学習者が日本語で自分の思いを発表する機会として日本語のスピーチ大会を開催。一般部門、小中学校部門にわけて発表を行った。また飯田市内で活動している日本語教室や国際交流団体の展示、参加者の交流会も行った。事業終了後は飯田市公民館のロビーに展示をした。			評価			

飯田市公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	わいわい情報交換会	市費	継続	2	16	8	—	9月19日 10月9日	飯田市公民館
	飯田市内における多文化共生団体や日本語教室が、課題や近況、今後の方向性などについて等の意見交換を行った。また、学習成果発表会についての意見交換を行った。						【成果と課題】 各教室の課題や状況、他地区の情報なども長野県地域日本語教室コーディネーター・南信担当の大澤 志那子さんから共有。また各教室の状況を共有した上で学習成果発表会についての意見交換をした。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 スピーチ大会の運営方法やテーマ等各日本語教室の学習者の課題や様子を情報交換しながら開催予定。		
学級・講座	実施内容								
	目的								
学級・講座	外国にルーツを持つ中高生のキャリア支援	市費	継続	1	8	8	—	12月10日	長野県穂高商業高校
	外国にルーツを持つ中高生が将来の進路に不安を抱くことが多いが、広い視野で将来への展望できるように、外国人児童・生徒等の自分自身の多様性を強みとした活躍のためのヒントとするため開催。 全国商業高校英語スピーチコンテスト スピーチ部門 最優秀賞 文部科学大臣賞受賞を受賞した 長野県穂高商業高校の高校生を訪問し「normal 普通」って…なんだろう？発表内容を聞いて、意見交換や交流をした。						【成果と課題】 外国にルーツを持つ中高生が、穂高商業高校に通う同じ境遇の高校生の取組みから学び、外国人の日本語スピーチ大会 日本語で発表しよう～今、私が伝えたこと～でスピーチを行った。学びから主体性が育まれ、自身の多様性を強みとした活躍の機会に繋がり、スピーチ大会では特別賞を受賞した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 国際交流推進協会、共生協働推進課と協力し合い、キャリア支援を進めていく。		
学級・講座	実施内容								
	目的								
学級・講座	日本語教室 学習支援者スキルアップ講座	市費	継続	1	10	10	—	1月22日	飯田市公民館
	日本語教室でボードゲームを利用しどのように活用できるのかを日本語教室などで、外国人に接する機会のある日本語支援者向けに、「日本語教室支援者向け ボードゲーム体験会」ワークショップを開催。						【成果と課題】 身近にあるボードゲームなどを使い日本語教室でも活用できるかを体験しながら考える機会とした。 支援者が学ぶことでスキルアップになり、色々な支援の方法が学べた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 「やさしい日本語」「多読」のワークショップなど色々な支援の方法を市内の日本語教室の支援者向け向けに行い支援者のスキルアップするよう講座を開催したい。		
学級・講座	実施内容								
	目的								

飯田市公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第47回飯田市民大学講座		市費	4	305	67	96,398	9/29・10/17・11/8・11/16 (10/24中止)	飯田市公民館
学級・講座	この地域の価値・魅力を再認識する学習活動を通じて、自ら地域での暮らしを守り、豊かな心と活力を育むことを目的とする。	実施内容	地域に縁ある先人たち、地道な人々の暮らしや文化・芸能、自然などをテーマとして取り上げて郷土を学ぶ学習講座として、全4回実施した。(5回連続講座としたが、うち1回講師の都合により今年度中止) テーマ:伊那谷の自然と文化 vol.39 第1講9/29 過去を掘りおこし、未来を考える。 長谷川 善和さん (群馬県立自然史博物館名譽館長・飯田市美術博物館顧問) 第2講10/17 私たちはなぜ「学ぶ」のか～いまこそ見せたい「大人の背中」 早坂 淳 さん(長野大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授) 第3講10/24 再び地方都市とその暮らしは輝けるか ～分断され続けた我が国大都市と地方～ 伊原江太郎さん(公益財団法人信陽舎 副理事長) 第4講11/8 飯田電灯の電気事業史 ～松川第一発電所と飯田下伊那の電気の歴史～ 岡部 忠美さん(飯田市ゼロカーボンシティ推進課) 第5講11/16 樽木の渡入～江戸時代の三遠南信のつながり～ 前澤 健さん(飯田市歴史研究所 特任研究員)	評価	【成果と課題】 ○受講生からのアンケートからは、各回とも地域の歴史などから私たちの今の暮らしや地域の未来について考える機会となったと好評であった。 ○講座の回数を重ねるにつれ、受講生同士が顔見知りとなり、講座の内容について意見交換をする場面がみられた。この機会をきっかけに受講生全員に輪を広げていきたい。 ●受講する年齢層が高い層にあり、青壮年層にも参加してもらええる取組が必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度は、連続講座終了後、受講生同士の交流の機会として、また当事者意識をもって仲間と地域での活動したい想いを促すことを目的に学習交流会を新設する。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第61回飯田市公民館大会		市費	1	502	502	96,398	2月18日	文化会館・市公民館
学級・講座	公民館を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や方向性を再認識し、持続可能な地域づくりの実践につなげる。	実施内容	住民(公民館関係者、まちづくり委員会関係者等)を対象に、1年間の公民館活動等の成果を確認するとともに、自分たちの暮らしや生き方を見つめ、考えを深めあう公民館大会として開催。令和5年度は、コロナ禍を乗り越え日常を取り戻していくなか、コロナにより影響を受けた「人と人とのつながり」や「地域コミュニティの活力の再生」が求められています。そのためには、地域住民が集い、地域に着目した「学びや交流」のさらなる充実が大切であり、その過程において地域や人との「つながり」や「活力」が生まれると考えます。心豊かに暮らしやすい地域を目指し、地域・人・未来を視点にみんなで考える機会とした。(ムトス学習交流会の第6分科会のみ飯田市公民館) 大会テーマ「つながる。～地域・人・そして未来へ」 基調講演 渡辺 豊博 氏(NPO法人グランドワーク三島 専務理事ほか) 講演内容「右手にスコップ・左手に缶ビール」で元気なまちを創る！ー汚れた「水の都・三島」を再生したグラウンドワーク三島の手法を学ぶー 【経過】 第1分科会「これからの文化的活動のあり方を考えよう～それぞれの「一歩」を語ろう！～」(打合せ計10回) 第2分科会「運動会 再開？＝再会？」(打合せ計6回) 第3分科会「住民に親しまれる広報・館報・新聞へ～なぜ私たちは紙にこだわるのか」(打合せ計6回) 第4分科会「みんなで一緒にやらまいか～分館だからこそできること～」(打合せ計9回) 第5分科会「関わるみんなが、つながり楽しむ 育成活動」(打合せ計9回)	評価	【成果と課題】 ○基調講演の講師に実践者である渡辺氏を招聘した。参加者からは、活動する楽しさ、人とのつながり、コーディネートする力など今後の活動の糧になる話を聞けてよかったと多くの声を頂いた。自分たちの暮らしや生き方を見つめ、考えを深められる講演となった。 ○専門委員会を中心とした分科会を設定し、それぞれの活動の想いを共感し手法等を学ぶことにより、自館への取組へつながる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者が公民館関係者だけでなく、今一度地域づくりについて考える機会として多くの方に参加してもらおう工夫をおこなう。				

飯田市公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高校生講座「カンボジア・スタディツアー」		市費	継続	56	120	15	3,000	5月～10月
学級・講座	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるような機会とする。		市費	継続	16	80	5	3,000	10月～3月
	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会や東北での学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるような機会とする。		市費	継続	16	80	5	3,000	10月～3月

【成果と課題】	○グループ学習は、地域の宝や活動の裏側にある「人」に焦点をあてて、地区公民館主事がコーディネーター。地区の具体的取組を通して、熱い想いを伝えることができる人との出会いにより、高校生は、その取組みの背景や人の想いを読み取り、地元飯田の豊かな学びの土壌を感じることができた。
○現地研修直前の「学習成果発表会」に向けたまとめの作業では、高校生一人ひとりが持つ考えや視点をみんなのものにしていくことができ、また、その過程で高校生たちの中で徐々に仲間意識が芽生えていった。	
○現地研修と振り返りを経て、報告会での高校生たちの発表は、自分たちが学んできたことから見出した考えになっており、個々が成長を実感した時間となった。	
●現地研修までの期間が短く、地元飯田を知るグループ学習やカンボジア現地に思いを馳せる時間もあまり多く取ることができなかった。実施期間を検討し、より充実した講座としていく必要がある。	
●発表会などに参加してくれた方々にとっては、報告会での「結果・成果」の部分しか見ることができないため、それまでの過程で高校生たちが何を考え、どのようにまとめあげていったかを少しでも伝えていくことが大切だと感じる。	
【次年度の方向性と取り組み】	□拡充 □現状維持 □縮小
実施期間を後期に位置付け、高校生同士がしっかりと対話する時間を確保していく。	

【成果と課題】	○東北現地研修では、震災後の復興に向けて取組む方々に出会い、お話しを通して、東北の暮らしやそこに住む人の地域に対する想いに触れることができた。
○現地研修の振り返りを通して、出会った人たちの背景や思いに考えを巡らせ、後半の飯田学習において、地域を観る視点が得られた。	
○飯田学習において、暮らしに根差したことや次世代に繋げていこうとする大人の想いから、高校生は改めて、身の回りにある「つながり」の大切さを感じた。	
●報告会では、一連の取組みと個々人が強く感じたことやこれからの自身のあり方について発表したが、報告会のみを聞いた方々は「結果」だけしか見ることができないが、高校生が話し合ってきた、発表に至るまでの過程を伝えていくことが大切であると感じる。	
【次年度の方向性と取り組み】	□拡充 □現状維持 □縮小
次年度は上半期に国内研修(東北)を実施する。引き続き、地域の人や暮らしにフォーカスしながら、高校生にとって、関わる地域の大人にとっても学びのある時間としていく。	

飯田市公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第47回コーラスグループ発表会	市費	継続	1	200	19グループ	—	7月9日	飯田文化会館
	各地区のコーラスグループを対象に、日頃の成果発表と交流の機会をつくる	【成果と課題】 ○各地区公民館で活動しているコーラスグループが一室に会し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階から当日の運営まで実行委員会の主体性のもと開催した。 「自分たちの発表機会をつくる」ため実行委員会で活動状況の共有を行ないながら検討を行った。 【実行委員会】4/27、6/19、8/7 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、実行委員会で主体的な企画運営等を行う。							
体育事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第42回飯田市女性バレーボール大会	市費	継続	1	100	8チーム	—	11月12日	上郷体育館
その他	令和5年度飯田市二十歳の集い	市・地	継続	1	840	840	1,263	1月7日	飯田市公民館 他
	二十歳の集いを成人たちの「学習の機会」として捉え、実行委員会の活動を通じて地域に愛着と誇りを持ち、将来ににおける自己のあり方を見つめる機会とする。	【成果と課題】 ○20歳の成人が主体的に式典等の企画・運営に関わる姿が各会場でみられた。 ○地域学習の成果発表をする会場が増えてきており、自分たちの成長を会場全体で感じる機会となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域学習の成果発表を各会場のやり方で実施していく。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふらっと会議	市費	継続	12	200	—	96,398	通年	飯田市公民館
その他	飯田市公民館が移転したムトスぶらざから、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘及び育成をする	【成果と課題】 ○ふらっと会議から生まれたムトスぶらざにおける創発事業をはじめ、ふらっと会議から生まれた新しい出会いから、ムトスぶらざ以外でも交流事業が展開されている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 お互いが認め合って話し合う場・機会を担保し、誰もが参加できるように今後も広く周知を働きかける。							

飯田市公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ムトスぶらざにおける創発事業		市費	32	400	—	96,398	通年	飯田市公民館
その他	飯田市公民館が移転したムトスぶらざから、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域及び人材の発掘及び育成をする	【成果と課題】 ○飯田に住む20代、30代の人達を大切にしたいという思いを育む取り組みを検討していきたいとふらっと会議からの意見があるところに、同世代の方から自分たちで遊べる場所・事業の提案があり、今年具現化を支援することができた。 ○実施する各団体の交流、来場される方の交流が交差し、新たな価値を創発する一歩を踏み出すことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 創発コーディネートマネージャーを中心にそれぞれ興味関心のあることについて主体的な活動を支援する。							
	実施内容	【成果と課題】 ○飯田研修実施。イランの研修員は国内情勢の影響で参加できなかったが9名の研修員が訪れ、飯田市の特徴、住民自治の仕組み、飯田市公民館、地区公民館、分館、公民館活動を基とした住民の活動、集落自治、内部システムと外部システム、フィリピンレガスビからの学びの経緯を学んだ。三重県東員町の視察研修を受け入れ、自分たちの地域を今一度見直すきっかけとした。またJICA中部を見学し、国際協力の基本、国際協力の重要性を、企画展では紛争について学んだ。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 三重県東員町との交流を通じて、お互いに学びあう機会とし、フィリピンレガスビ市との交流を促進していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田国際交流と学びの会	他会計	継続	20	190	40	96,398	通年	飯田市公民館 他
その他	JICAから委託された草の根技術協力事業に よって進める途上国での住民自治の仕組みづくりを支援する取組を通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ	【飯田国際交流と学びの会への支援】 ・総会 ・学会の開催 ・JICA PLSD飯田研修受入れ ・三重県東員町 研修受け入れ ・文化祭への参加(竜丘・上久堅・駄科) ・国際交流のタペ参加 ・JICA中部 見学							
	実施内容	【成果と課題】 ○各地区コロナ後様々な事業が行われ、各事業の在り方や情報共有などを実施することができた。 ○公民館職員としての力量や意識の向上を図るため、館長の研修会に外部有識者を招聘するなど、研修を充実させた。(コミュニケーション協議活動の充実に向けて研修会の講師に、文部科学省総合教育政策局コミュニケーション・マイスターを招聘したり、地域再生と社会教育を考える研修会の講師を社会教育を専門とする大学教諭に依頼など) 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き全市共同事業の企画・運営・調整の場とともに、地区館事業の情報交換の場としていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	定例館長会及び幹事会	他会計	継続	23	330	22	22	館長会、幹事会共に毎月1回	飯田市公民館 他
その他	20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る	連絡調整や意思決定の機関として、定例館長会は月1回午後の半日開催として実施している。(8月は視察研修のため定例館長会なし)							
	＜定例館長会＞ ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ②全市共同事業の組立てや情報共有を図る ③地区館事業の情報交換を行う ＜幹事会＞ ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う	○館長会活動方針 令和5年度飯田市の公民館活動基本方針に則り、主事会との連携を図りながら自己の研修及び各館相互の情報交換を積極的に行う。 ○令和5年度研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」学習活動と交流活動を充実させ、住民の皆さんのつながりや融和的な関係をつくりだそうとし、5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月と研修を実施した。 8月は1泊2日で静岡県三島市への視察研修を実施した。							

飯田市公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	定例主事会及び幹事会		市費	24	336	21	21	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他
	飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る ＜幹事会＞ ①定例主事会の議事の組み立てを行う ②定例主事会で決まらなかったことに関して検討を行う ③ブロック主事会やプロジェクトへの情報提供及び意見集約を行う ＜定例主事会＞ ①業務に必要な情報の共有を図る ②研修等を通じて主事としての専門性を高める ③各館の情報共有を行う	○幹事会 …主事会を活性化し、事前の組み立てを行う場 ○定例主事会 …午前 事務連絡と全市的な事業の企画・運営・調整等 午後 研修(以下参照)と情報共有 5月 …「コミュニケーションにおける地域と学校の協働活動と公民館主事の役割とは」担当:幹事会 6月 …「地域への想いを持つ方との関わり方を実例から学ぶ」担当:Dブック 7月 …館長会・主事会合同「地域ぐるみで子どもを育てる」公民館の役割について改めて確認しよう！」 8月 …「二十歳の集いに向けて主事の想いや願いを具体的に語り合う」担当:20代と地域をつなげるPJ(兼PJ中間報告) 9月 …フェスタ振り返りと来年度以降、地域を意識してもらうための働きかけについて 担当:人形劇PJ(兼PJ中間報告) 10月 …「地域人教育を知り、高校生と地域の学びについて考えよう」担当:次世代育成PJ(兼PJ中間報告) 11月 「今後の事業を組み立てるにあたって、公民館の役割を考える」担当:Cブロック 12月 …「専門委員会のこれまでもこれから～専門委員会と公民館主事の役割～」担当:Bブロック 1月 …「公民館の担う学習支援とは～実践に活きる視座を得よう～」担当:Aブロック担当 2月 …プロジェクト総括に向けた意見交換 3月 …プロジェクト総括、社会教育主事講習受講者報告会	【成果と課題】 ○各地区での取り組みの共有を主事会の中で行い、公民館としてのポイントを押さえ合うことができた。 ○定例主事会での研修では、主事の専門性を高め、各主事力量の形成につながる内容で実施できた。前半と後半でテーマに一貫性を持たれ、回数を重ねること に公民館の役割の深掘りを行えた。 ○3つのプロジェクトに分かれ、それぞれのテーマを切り口に各地区での様子や実情を話し合い、課題解決に向けた活動や公民館の役割などを改めて再確認することができた。 ○今年度から幹事会の記録担当をブロック幹事で担当を回してもらうことで、事務の改善と意識の共通化を図れた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・毎月1回、各地区公民館の主事が集まり、顔を合わせながら、地域の実情や課題、その解決に向けての活動を話し合える場は重要であり、必要である。一方で、会場の単なる情報共有だけでなく、各主事の発言が活発になる様に資料の事前配布や幹事会での論議の整理を行っていく必要がある。 幹事会での記録担当は引き続き行うとともに、主事会へ向けた議論の整理を行う。	評価					
その他	地域人教育		市費	23	1,840	80	80	4月～2月	飯田市公民館他
	松本大学、飯田OIDE長姫高校、飯田市の3者で協定を結び、飯田OIDE長姫高校商業科の生徒を対象に実施している取組み。今年で10年目。 事業の展開は地区公民館主事と商業科の担当教諭が相談して実施。飯田市公民館は全体調整を行う。今年度も担当地区公民館主事による主事会プロジェクト体制をとり取り組んだ。また、協定三者による地域人教育推進委員会により必要な事項について検討している。 担当地区:橋南、丸山、座光寺、龍江、竜丘、伊賀良、鼎、上郷 ○全体講義等 ・市長講義(4/16)、1年生講義、2年生講義(2/22)、成果発表会(12/22) ○推進委員会(4/6、7/16、2/9) ○小委員会(随時)	【成果と課題】 ○各自で設定した研究テーマをもとに、地域との信頼関係を築きながら活動を実施することができた。これにより、地域への理解が深まり、地域で暮らす「私」の生き方について考えることができた。 ○高校生の学びを鏡として、関わった地域の大人にとっても学ぶ機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高校生については、各グループが設定した研究テーマを深掘りすることを大事にしよう。年度末の推進委員会で確認している。また、高校生の学びの充実を図ることで、関わる地域の大人たちにとっても、自身の活動や暮らしを見直したり、高校生を対象とした教育活動を地域で興していく契機としたい。	評価						
	高校生とのふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取組みを研究する								
その他	高校生とのふるさと意識や社会貢献意識の醸成を図る取組みを研究する								

飯田市公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇プロジェクト	他会計	継続	25	200	8	8	通年	地区公民館
その他	目的	【活動目標】 (1)地域の方が自分たちの公演を計画する中で自分たちも楽しむための工夫(+α)をきかけに、自分ごととして捉え、地域に目を向けることができるような支援を行う。 (2)前期の活動より、人形劇フェスタを含めた地域の活動に携わる方の思いに触れ、活動に携わる方の原動力、抱える悩みなどの課題、活動の価値・魅力について検証し、公民館が果たすべき役割を整理する。							
	実施内容	【活動内容】 4年ぶりの通常開催される地区公演に開催に向けて、地域の方が自分たちの公演を計画する中で自分たちも楽しむことができるための働きかけを行った。特に会場責任者会では地区実行委員と劇人の双方の立場から「自分が楽しむこと」や様々な「出合い」の大切さについて語っていただいた。また、地区企画公演調整委員会では、オリジナル企画・電車バスツアーの企画申請者同士の情報交換の場を昨年引き続き設けた。 さらに、各地区で行われた工夫を集約し、地区でもできそうな工夫や地域に目を向けた取組をいくつか取り上げ、紹介資料を作成した。また地域に目を向けるためには、地区公演だけを考えるのではなく、公民館が地区で取り組む学習活動を広げていく必要があると、その過程の中で「主事が大切にしたいポイント」を整理した。 (1)人形劇フェスタ2023地区公演に向けた取り組み ・地区公演会場責任者会 5/17(水)飯田人形劇場 ・プレフェスタ 7/14(金)松尾公民館、上久堅公民館、7/15(土)山本公民館、上郷公民館 ・地区オリジナル企画、電車バスツアー情報交換会(地区企画公演調整委員会) 7/5(水)、9/14(水) 松尾公民館 ・スタンブラー ・主事会ポロシャツ制作 (2)その他の取り組み ・地区企画公演調整委員会7/5(水)、9/5(火)、9/14(水)、3/4(月) ・地区公演における工夫の紹介資料の作成							
評価		【成果と課題】 ○前期の実践から確認できたこと 地区公演を自分たちのものになる経験が、地域の中に自分の居場所や役割を感じることにつながっており、この過程の中には、指南書にある「+αのかけ」を意識した主事の働きかけが必要であることも確認することができた。 さらに、地区の中学生や高校生と一緒に作り上げる企画やオリジナル企画などを活用して地区の特色を加える企画など、地区公演に「地区らしさ」を掛け合わせ取り組みを確認することができた。 ○本年度PJの活動から見たこと ～公民館が果たすべき役割～ ①「地区に対する想い」を形にする 地区内外から観劇者が参加する地区公演の特徴を上手く生かすことで、地区公演が「地区内の様々なもの」に目を向けるきっかけとなり得ると考察した。前期の実践においても公民館が「地区に対する想い」を形にする役割を果たしていることが確認できた。その上で、主事が地区公演に取り組む上で大切にしたいポイントについて「地区公演を「関わる人自身が楽しみながらみんなで主体的に取り組めるもの」として捉えることを大切にしつつ、地区のタイミングを見極めながら地区公演を「関わる人が地域に目を向けることができるきっかけの場」として捉える】ことが必要であることがわかってきた。 ②学習活動を広げる 地域について学んだ実践の中で地域への想いが生まれ、こうした学習活動を続けていくことで次第に「地域に目が向き、地域のことを自分事として捉える」ようになる。この過程において公民館が果たすべき役割は「学習活動を広げること」である。主事は地区公演を「日頃から取り組む学習活動の実践の場」として認識し、関わることで、公民館の果たすべき役割に対する地区公演の意義が深まってくる。 特に「学習活動を広げること」についてはPJメンバーの地区事例を基に検討を行った。より多くの人が「地域のことを自分事として捉えられる」ようになるためには、「地域活動の担い手の想い」を公民館が広げ、活動が地区全体へ波及していくことが大切ではないかと考察した。また、公民館が学習活動を広げる過程で、主事が大切にしたいポイントを4つのポイントに整理した。①住民の地域に対する「想い・課題意識・不安」を、「積極的に聞き取る・分析する・掘り下げる Ikoto」②主事も想いを持つ、一緒になって地域を学ぶ姿勢を持つ③想いや課題意識を周りに広げ、共感してもらう④想いを受け止めてくれる仲間・団体などを巻き込む							
【今後に向けて】		●地区公演を「地区の学習活動を広げる過程の中に位置付ける」重要性が分かったが、検証ができていないため、主事として地区の様々な取り組み(学習活動)とどのように結び付けられるか主事会全体でイメージを共有し、実践に繋げたい。							

[illegible]

飯田市公民館の事業報告

No.111

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場	
	20代と地域をつなげるプロジェクト		市費	新規	19	152	8			各公民館 他	
その他	【成果と課題】 ○20代にとって必要な経験は「地域の中で人とつながること」「楽しさ」の段階が上がる経験であり、そのために必要な公民館の役割と主事の意識を以下の(1)、(2)のように整理し、二十歳の集いでの取り組みを中心に、各地区での20代との関わりへの意識を高めた。 (1) 地域で活動していくことによる「楽しさ」の段階の整理 地域で活動している方のベースになっているのが「楽しさ」であり、その楽しさには大きく分けて以下①～③の段階があり、これを高めていくことが公民館の役割であり、20代にとって地域の中での居場所になっていくと整理した。 ①自分が楽しい ②人と楽しむ、人を楽しませるのが楽しい ③結果的にその楽しさが地域のためにになっている (2) 公民館主事が意識する「地域とつながるための要素」の整理 上記(1)の楽しさの段階を上げていくために必要なのが、「地域の中で人と繋がっていく経験」であり、20代と地域をつなげていくためには、以下ア～ウの3つの要素を意識して、公民館主事が20代と関わっていく必要があると整理した。 ア「関わる地域の方の存在」・・・誘ってくれる、うまく頼ってくれる存在 イ「関係性の構築」・・・地域の方や主事等との関係性が十分に構築されている ウ「共にやる仲間の存在」・・・1人ではなかなか参加しづらい、同年代や同世代の仲間の存在 ●自立して自らの暮らしを築き始める20代の時点では、地域と関わりを持つきっかけが少ないため、きっかけ作りに取り組んでいく必要がある。 【次年度の方針性と取り組み】 二十歳の集いをきっかけに、公民館と20代の方がつながり、地域で活動し始める事例が少しずつ生まれてきている。本プロジェクトでの成果をもとに、今後も20代と地域がつながることができるように各公民館で取り組んでいく。										
	目的	将来の地域を担う一員としても大切な時期である20代にとって、この時期に必要な経験について検証し、それに対して公民館ができることや、その関わり方を見出すことで、その前後の世代とのつながりを意識した20代と地域がつながる形を整理する。それにより各公民館が、その地域での20代の位置付けを捉え、20代に対する公民館の役割を押しえながら活動に生かせるようにする。									
	評価	(1) 若いうちに地域と関わることで生まれる影響の調査 各地区、各公民館での20代との関わり方の現状について調査や、若者が所属する団体である青年会等の調査も踏まえ、以下の対象者に聞き取り調査を行った。 ア 現在地域で活動をしている20代の方（東野、上村、飯島町、南信濃の4地区5名） イ 20代の頃に地域の団体等に所属・活動しており、現在も地域で活躍している方（上久堅、竜丘、山本の3地区6名） (2) 地域（公民館）との具体的な関わり方の模索 各地区での「二十歳の集い」の一連の活動での実践をもとに主事同士で情報交換を重ね、二十歳の成人に対する主事の関わり方や想い、実際の取り組み等を整理することで、二十歳の成人が二十歳の集い以降も地域との繋がりを継続していく機会や、20代が地域と繋がる機会の創出の可能性を探った。									

No. 1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(0歳児)学級	市・地	継続	11	66(組)	13(組)	15(組)	実施内容参照	橋北公民館ほか
	橋北・橋南・東野地区の0歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合い、親同士の交流の機会を作り、子どもの健全な成長を図る。	【開催概要】 ①8/25開講式 ②9/22ふれあい遊び ③10/13みんなで話そう ④10/27離乳食についての話、皆でお話ししよう ⑤11/9産後ママのヨガ講座 ⑥11/24おんぶ紐の正しい使い方講座 ⑦12/8Xmasの準備 ⑧12/191.歳合同Xmasパーティー ⑨2/5親子で絵本を楽しもう ⑩2/19記念づくり ⑪3/8開講式 お楽しみ会	東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、橋北が0歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定する。保育士：水谷幸子先生	評価	【成果と課題】 ○保育士、保健師、公民館の運営側3者で、講座の目的や意義を共有した。0歳児学級のため月を追うごとに参加者の増加が見られることから、開講式だけでなく適宜受講者親子ともに目的・意義を確認した。講座が始まる時に、名前とお子さんの近況報告を行うことで情報交換や会話のきっかけにつながった。 出生数も少なく同じ地区内の母さん同士のつながり作りも難しい中、交流・情報交換の機会として有意義なものになった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 第一子を出産されたお母さん達が大人と会話する時間、子供と一緒にお母さん同士が触れ合える時間が好評だったため次年度も計画したい。	【成果と課題】 ○他の0歳児学級の開催日でも父親の参加が一部あったが、一斉に家族で参加しやすいファミリーデイを設定。年度当初からの声がけやメールによる連絡などをしたことにより多くの家族参加につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ファミリーデイは実施予定。また、日頃の乳幼児学級についても母親以外のご家族が参加しやすいような雰囲気作りを継続して行きたい。			
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(0歳児ファミリーデイ)	市・地	継続	1	8(組)	8(組)	15(組)	1月28日	橋北公民館
	橋北・橋南・東野地区の0歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合い、親同士の交流の機会を作り、子どもの健全な成長を図る。	【開催概要】 東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、両親がそろって参加できる事業の実施を検討する。保育士：水谷幸子先生 内容：わらべうたと触れ合う	東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、両親がそろって参加できる事業の実施を検討する。保育士：水谷幸子先生	評価	【成果と課題】 ○他の0歳児学級の開催日でも父親の参加が一部あったが、一斉に家族で参加しやすいファミリーデイを設定。年度当初からの声がけやメールによる連絡などをしたことにより多くの家族参加につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ファミリーデイは実施予定。また、日頃の乳幼児学級についても母親以外のご家族が参加しやすいような雰囲気作りを継続して行きたい。	【成果と課題】 ○みんなですくすく学習することを目的に毎月様々でテーマを取り上げ、実施することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も、住民の方の興味関心や窓口での会話を大切にしながらテーマ設定を行いたい。他の講座とバランスを考えより濃密なものにするべく検討していく。			
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
学級・講座	北斗のまち・さわやか講座	市・地	継続	4	91	25	2,762	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	【開催概要】 ①4/28 悪質商法や特殊詐欺に備えよう！講師：飯田市民課消費生活係 ②6/16 あらためて知る折り紙の魅力！講師：佐馬町 氣賀沢和美さん ③1/26 新春！マジックを楽しもう！講師：輝けマジッククラブの皆さん ④2/28 ハンドベル演奏会♪講師：ハンドベルサークルLiebe Choirの皆さん	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。 【開催概要】 ①4/28 悪質商法や特殊詐欺に備えよう！講師：飯田市民課消費生活係 ②6/16 あらためて知る折り紙の魅力！講師：佐馬町 氣賀沢和美さん ③1/26 新春！マジックを楽しもう！講師：輝けマジッククラブの皆さん ④2/28 ハンドベル演奏会♪講師：ハンドベルサークルLiebe Choirの皆さん	評価	【成果と課題】 ○みんなですくすく学習することを目的に毎月様々でテーマを取り上げ、実施することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も、住民の方の興味関心や窓口での会話を大切にしながらテーマ設定を行いたい。他の講座とバランスを考えより濃密なものにするべく検討していく。	【成果と課題】 ○みんなですくすく学習することを目的に毎月様々でテーマを取り上げ、実施することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も、住民の方の興味関心や窓口での会話を大切にしながらテーマ設定を行いたい。他の講座とバランスを考えより濃密なものにするべく検討していく。			
	区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
学級・講座	今さら人に聞けない講座	市・地	新規	1	12	12	2,762	7月13日	橋北公民館
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	【開催概要】 内容：今さら聞けない新型コロナウイルス 講師：飯田市立病院 感染管理認定認定看護師 中島さん	2か月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、住民の方が感じる、「今さら人に聞けない」話を取り上げる。内容については、より身近な内容にするため、窓口での会話をヒントに決定する。 【開催概要】 内容：今さら聞けない新型コロナウイルス 講師：飯田市立病院 感染管理認定認定看護師 中島さん	評価	【成果と課題】 ○窓口での会話を中心に、住民の方の日頃感じている「今さら人に聞けない」というテーマについて、アンケートを実施して決定することはせず、日常の会話を大切にしながら考えることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度以降も、テーマについては住民との会話を大切に決定したい。毎月行っているさわやか講座のように、住民の方が参加しやすいテーマを設定し、参加を促すよう働きかけたい。この講座から地域課題を見つけ、そこに対してアプローチできるような仕組みを考えたい。	【成果と課題】 ○窓口での会話を中心に、住民の方の日頃感じている「今さら人に聞けない」というテーマについて、アンケートを実施して決定することはせず、日常の会話を大切にしながら考えることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度以降も、テーマについては住民との会話を大切に決定したい。毎月行っているさわやか講座のように、住民の方が参加しやすいテーマを設定し、参加を促すよう働きかけたい。この講座から地域課題を見つけ、そこに対してアプローチできるような仕組みを考えたい。			

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	北斗のまち・さわやか講座(郷土学習)	市・地	継続	2	41	20	2,762	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に、知ることを残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。 【開催概要】 ①9/29 復活！天竜川和船下りを楽しもう！ ②11/24 浜井場小学校の今とこれから 講師：浜井場小学校校長 小林 正彦 先生 【成果と課題】 ○復活した舟下りを体験するとともに、造船など飯田地域の天竜川にまつわる歴史などを学ぶ機会となり郷土への理解が深まった。 地区内の歴史ある小学校の現在を知る機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も普段なかなか知ることのできないことなど、地域資源の広報や活用に努めていく。							
学級・講座	地域住民を対象に、知ることを残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。	市・地	継続	3	36	12	2,762	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に、知ることを残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。	2か月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、住民の方が感じる、「今さら人に聞けない」話を取り上げる。内容については、より身近な内容にするため、窓口での会話をヒントに決定する。 【開催概要】 ①5/11 今さら聞けない飯田の花火！ 講師：有限会社関島煙火製造所 関島 善純さん ②9/4 今さら聞けない私たちの町のこと～旧飯田測候所の活用～ ③3/24 美術博物館の工事終わったみたいいです 【成果と課題】 ○飯田の花火の歴史を学ぶ貴重な機会、普段講座に足を運んでももらいにくい男性の参加も多かった。旧飯田測候所に関しても、地域資源に関する関心を持ってもらう良い機会となった。 2024念は春草生誕150周年の年でもあることから、飯田市美術博物館を訪れ郷土の偉人を改めて学ぶ機会とする。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も普段なかなか知ることのできないことなど、地域資源の広報や活用に努めていく。							
学級・講座	地域住民を対象に、連続意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	2	19	10	2,762	実施内容参照	橋北公民館
	地域住民を対象に連続意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。 【開催概要】 ①10/26 知ってうまく付き合おう！ホルモンバランス 講師：松原千尋 先生 ②12/22 普段の自分の姿勢って、どんな姿勢？ 講師：橋北地区担当 保健師 金子あゆみさん 【成果と課題】 ○講座テーマにより参加者により参加者にはばらつきはあったが、健康分野への関心は高く好評であった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 テーマが他に開催されている健康講座とかぶるなどを極力避け、需要の把握に努める必要がある。 まちづくり委員会や基本構想の分科会と協力しながら来年度も講座を計画する。							
学級・講座	地域住民を対象に、連続意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	2	40	20	2,762	実施内容参照	橋北公民館
	地域住民を対象に連続意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	2か月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、住民の方が感じる、「今さら人に聞けない」話を取り上げる。内容については、より身近な内容にするため、窓口での会話をヒントに決定する。 【開催概要】 ①11/30 いつでも どこでも 簡単にできる！3つのExercise 講師：梅村和代 先生 ②1/27 ふるさとで健康に暮らし続けること 講師：伝馬町後藤医院 院長 後藤由也 先生 【成果と課題】 ○公民館に普段足を運ぶことの少ない層をターゲットに開催するなどし、多世代が参加できる講座の設定に努め好評だった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催曜日や時間を継続的に検討しながら、まちづくり委員会や基本構想の分科会と協力し来年度も講座を計画する。							

橋北公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	マレットゴルフ教室		他会計	9	231	30	2,762	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	目的	【開催概要】 開講式：4/13 定例会：5/10、6/7、8/9、10/11 大会：7/13、9/13、11/8 閉講式：12/6 会場：会場：下久堅親水公園マレットゴルフ場、豊丘村アカシアマレットゴルフ場、松尾マレットゴルフ場、松川町清流苑マレットゴルフ場							
	実施内容	【成果と課題】 ○運営委員が中心となって定例会、大会を自主運営した。月1回、会員が集まってマレットゴルフを行うこの教室は、会員にとって交流の場、健康増進の場として大切であると感じる。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度に向けて新たな運営委員で運営を始め、自主運営の流れを大切にしたい。次年度、会員の健康増進を図り交流を深める活動として継続していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	囲基ボール部		地区費	12	132	11	2,762	実施内容参照	橋北公民館
学級・講座	目的	原則毎月さわやか講座のある週の月曜日に実施。 公民館所有の囲基ボールの活用と、月曜日は会議室の利用が少ないという点から継続的に実施。							
	実施内容	【開催概要】 4/24、5/22、6/12、7/24、8/21、9/25、10/23、11/20、12/18、1/22、2/19、3/18 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 毎回楽しく交流しながら囲基ボールを行っている。参加者同士で声を掛け合って参加する姿も見られた。来年度以降も引き続き計画し、自主運営グループになっていくよう少しずつ働きかけたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	さわやか講座(環境講座)		市・地	1	13	13	2,762	7月28日	橋北公民館
学級・講座	目的	月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。							
	実施内容	【開催概要】 テーマ：備えて安心！在宅避難のススメ 講師：明治安田生命 桃井さん							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2023橋北地区公演		市・地	-	399	80	-	実施内容参照	橋北公民館ほか
文化事業	目的	4年ぶりの通常開催。各会場ではコロナ前を思い出しながらも、今に合わせた暑さ対策などの工夫を取り入れ実施。							
	実施内容	【開催概要】 8/3(木)…会場：橋北公民館 劇団：人形劇芝居燕組 8/4(金)…会場：飯田ルーテル幼稚園 劇団：劇団 貝の火、人形劇団なむなむ グラーズ 8/5(土)…会場：おさひめチャイルドキャンプ 劇団：人形劇団わたぐも 8/6(日)…会場：信毎ふれあいネット飯田営業所 劇団：笑福亭 鶴英							

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋北地区文化祭	市・地	継続	1	100	100	2,762	6月24日、6月25日	橋北公民館
	実施内容	昨年に引き続き橋北公民館を会場に開催。コロナで遠慮されてきた芸能発表を復活させ実施。 地区内のお菓子屋さんなどのテイクアウト販売も拡充させ行なった。 展示だけににとどまらず地区内の伝統的な染物体験や春草かるた体験、通常はなかなか見ることのできない下伊那教育会館収蔵品の見学など、多くの体験を盛り込み郷土や地域資源の学びの場としても活用。							
	目的	橋北地区住民を対象に、各種団体の展示・発表を通じて住民相互の交流を目指す 評価 【成果と課題】 ○昨年実施できなかった芸能発表を開催し橋北公民館で活動されている団体などの発表の機会を復活させることができた。 体験型の企画では「はじめて」という単語がよく聞かれ、住民の学びの場としての一定の成果があった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 より多くの方に参加いただけるよう開催内容や時間帯別の企画など、団体や地域資源のPRに加え、学びの機会としての価値を上げていくよう継続的に検討する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化研修旅行	地区費	継続	1	26	26	2,762	3月9日	京都府
	実施内容	文化育成部員が企画運営し、参加者が事前学習会で行先の歴史・文化等を学ぶことにより、単なる旅行ではなく、研修旅行として実施する。行先については、、文化育成部会で検討する。 【開催概要】 「【古都】京都 味覚・文化満喫の旅」							
	目的	地域住民を対象に、他地区の文化について、現地ですぐ学ぶ機会を創出を図る 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 楽しみなながらも学べる研修旅行は需要があり、次年度以降も継続していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	まちづくり×公民館 囲碁ボール交流会	地区費	継続	1	25	25	56	5月28日	浜井場小学校
	実施内容	まちづくり委員会、公民館の役員の改選に合わせて2年に1度開催。 競技は囲碁ボールを実施。							
	目的	地域住民を対象に、囲碁ボールを通じて住民相互の交流を図る 評価 【成果と課題】 ○競技はもちろん、懇親会が実施できたことも大きく、改選期における役員同士の交流が図れた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 次年度は改選期でないため実施予定なし。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北市民運動会	地区費	継続	1	500	500	2,762	10月8日	浜井場小学校
	実施内容	昨年に引き続き半日での開催。 恒例の人氣種目は残しコンパクトにまとめつつも、新競技も2競技取り入れ実施。							
	目的	地域住民を対象に、住民の総参加、総運営で地域の連帯意識の向上、住民相互の交流を図る 評価 【成果と課題】 ○運動会をきっかけに町内外問わず久しぶりに顔を合わせた方も多く、つながりを再確認できる機会となった。 ●新競技については、予想と違う内容となってしまった部分もあったため改良が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 年に一度の地区住民のが終結場として引き続き実施していく。参加してくれたそれぞれの世代が活躍できるようなプログラムを検討する。今年度取り入れた新競技も含め楽しめるものに継続検討・改良を行う。							

橋北公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北地区カップ大会		地区費	1	39	39	2,762	11月12日	浜井場小学校
	目的 地域住民を対象に、カップを通じて住民相互の交流を図る		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北地区スポーツ大会		地区費	1	42	42	2,762	1月28日	浜井場小学校
体育事業	目的 地域住民を対象に、ボウリングの機会を通して、冬場の運動不足解消と住民相互の親睦交流を図る。		継続						
	実施内容 令和3年度の運動会中止に伴い代替として実施したスポーツ大会であったが、毎年実施してほしいという声を多くいただいたため今年度も実施。 競技：囲碁ボール、ボッチャ、室内クッパ		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報橋北		地区費	5	-	-	2,762		橋北公民館
広報事業	目的 地域住民を対象に、「館報橋北」を発行することで、地域の情報発信と地域課題を考えるきっかけ作りを目指す。		継続						
	実施内容 公民館事業にかかわらず、地区内の様々な事業・会議などについて情報収集し、館報「橋北」を通じて発信を行っている。1号発行につき、広報部会を3回開催。 271号(6/13)、272号(9/12)、273号(12/12)、274号(2/13)、275号(3/26) 同じ町内であっても、小学生や中学生と顔を合わせる機会が少ないと感じていたことがきっかけで橋北地区内の小学生・中学生を取り上げる「聞かせて橋北Jr.」の掲載も継続。		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第6回橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」		市・地	1	39	39	2,762	12月3日	飯田市公民館
育成事業	目的 地域住民を対象に、地域資源の再発見とウォーキングのモデルコースの創設を目指す		継続						
	実施内容 寺社や歴史的建造物などが多く存在する橋北地区の魅力を改めて知る機会として、ウォーキングをしながら地区内を巡る企画として実施。 また、地区内の団体である橋北マルコト博物館研究会を知る機会とした。 【開催概要】 内容：コース以下参照 浜井場小学校(円筒校舎)→天下の糸平邸跡→めがね橋→くつわ小路→天満宮→普門院跡・糸校→北一明記念館→柳田家門→春草の郷・春草生誕地公園→下伊那教育会館・黒須家門→安東邸・旧高野医院→喜久水跡→浜井場小学校 コース内に組み込まれている北一明記念館は、橋北地区出身で書家・陶芸家として原爆をテーマにした作品を生み、ノーベル平和賞にもノミネートされた北一明の功績を称え本年度開館した記念館である。		継続						

【成果と課題】
○少し寒い時期の実施となったが、多く参加者が集まり住民同士の交流の場として良いものとなった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
内容および開催時期について継続的に検討しながら次年度以降も開催を計画する。

【成果と課題】
○誰でも楽しむことができるニュースポーツを通じて世代を超えて交流することができた。インフルエンザの影響があり直前でさん人数が減少したが、それでも昨年と同じチーム数であったため交流の機会として良いものであった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
内容および開催時期について継続的に検討しながら次年度以降も開催を計画する。

【成果と課題】
○例年と同じ行事を掲載しつつも、飯田市公民館大会にヒントを得て今までにない記事の掲載にも挑戦し、次年度にもつながるものとなった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
「聞かせて橋北Jr.」については、地区内のつながり作りのきっかけになると考え、来年度以降も引き続き掲載する。
来年度も引き続き「活動記録で終わらない館報」を目指して活動していく。地区内の「ヒト・コト・モノ」について知るきっかけになるような館報作りに取り組みたい。写真が多い号はカラー化をするなど、随時改良を重ねていく。

【成果と課題】
○地区内出身の偉人や歴史ある場所を学ぶことに加え、人権平和について学習を行った。ウォーキングルート内に組み込むことで多世代の参加が見られ、相互学習や交流の場もなった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
人権平和に関する学習は、さわやか講座などを活用し計画していく。座学のみではなく、他の地区へ出向き字なども検討していく。
ウォーキング事業は多世代交流の場として有用なため今後も継続していく。

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	浜井場小学校科学実験教室			市・地	継続	1	44	44	11月10日、11月13日	浜井場小学校
	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	実施内容	【成果と課題】 ○小学生に楽しみながら科学を学んでもらう良い機会となった。公民館部員にも参加協力してもらうことにより今の浜井場小学校や現状の公民館育成事業を考え直すきっかけとなった。楽しい実験を行いながら、飯田の将来について考える場となった。 【次年度の方方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度以降も継続しながらも、他事業との連携も検討していきたい。							
	目的		評価							
区分	新春書初め大会			市・地	継続	1	13	2,762	1月4日	橋北公民館
育成事業	小学生から一般を対象に、書初めを通じて世代間交流と正月行事の大切さに触れることを目指す	実施内容	【成果と課題】 ○親子の参加や、おさひめチャイルドキャンプの子どもたちが参加してくれた。地区の方へ講師をお願いすることで、つながりができた。上手に書けたところを褒めながら、さらに上達するようアドバイスをしていただいたことでうまくいくのを感じると共に、地区の大人に褒められる経験ができた。中学生も参加してくれたことが小学生と大人だけでない交流の機会となった。 【次年度の方方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度以降も地区の方へ講師をお願いし続けていきたい。参加者自体はコロナ前に比べ減少傾向にあるため、次年度は餅つきなど他の企画を追加し参加者の増加を狙いつつも、多世代交流の場としても厚みを持たせるよう検討を行う。							
	目的		評価							
	講師：田中美智子さん、三浦真弓さん(南信書道会)									
区分	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)			市・地	継続	1	92	5,793	7月16日	橋南公民館
合同事業	地域住民を対象に、身近な場所でプロの演奏家による音楽を楽しめる機会の創出を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○高レベルの生演奏の音楽を身近な場所で楽しむ機会として実施。橋南夏祭りと同日に開催し、当日夏祭り参加者へも各公民館の専門委員が協力し合い、チラシを配布するなどPRを行った。橋北地区からも演奏を聞くため多くの方が来場されていた。 【次年度の方方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民にプロの音楽家の演奏を身近な場所で聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、取り組んでいきたい。							
	目的		評価							
区分	橋北・橋南・東野地区 二十歳の集い			市・地	継続	1	71	-	1月7日	飯田市公民館
合同事業	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする	実施内容	【成果と課題】 ○二十歳を迎える新成人が、地域学習を通じて地域を考えたり、振り返ったりするきっかけになった。 ●二十歳と地域住民がつながる機会が、当日と事前の会議1回のみとなってしまったので、今後につなげていけるように、関わりの機会をもっと増やしていけたら良かった。 【年度の方方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催会場、実施の仕方について検討の必要あり							
	目的		評価							

橋南公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伝統・文化継承講座「手の芸の会」	市・地	継続	24	320	15	1,145	毎月 第1・第3木曜日	橋南公民館
	地区住民を対象に地域の伝統、文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける	【成果と課題】 ○飯田市の伝統工芸である水引作品を毎月作成。ベテランが中心となり、だれでも気軽に水引作品作りに触れられる機会となっている。制作物の内容は、季節や行事に併せて参加者内で話しあって決定している。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 メンバーの皆さんの意向や主体性を大切にしながら、今後も実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	健康マージャン講座【新規】	地区費	新規	20	192	13	1,145	第2・第4土曜日	橋南公民館
	地区住民を対象に、脳の活性化、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	【成果と課題】 ○今年度からの新規事業。地区住民が中心となって立ち上げたところ、高齢者を中心にあまり公民館に関わったことのない方や離れていた方からも参加をいただけている。経験者が初心者に教えながら実施することで、技術の向上や交流が生まれている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 実践も兼ねつつ、講座として基本的な知識も身に着けられるようにしながら続けていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級(橋南・橋北・東野地区合同)	市費	継続	18	560	40	102	5/23～3/12(年18回)	橋南公民館
	1歳児とその親を対象として行い、子どもの健全な成長をはかるための遊び、活動を行うほか、親の知識習得、親同士の交流の場とする。	【成果と課題】 ○毎回さまざまな内容の学習を行うことにより、参加者の育児に対する知識や理解を深めることができた。また、子育ての悩みをお互いに出し合ったり、相談する中で、同じ地区に住む親子同士の交流の機会となった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ママ企画の充実などにより、本人たちの自主性を尊重した学びの機会となるように支えていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	食文化講座	市・地	継続	3	40	16	1,145	適宜開催	橋南公民館
	地区住民を対象に地域の講師から多様な「食」まつわる文化や歴史)を学び、それらを通じた仲間づくりの場を設ける	【成果と課題】 ○実施内容や日時など、講師と相談しながら実施。地区住民からの意見を参考にしながら内容を決めることもあった。毎回多くの人が参加してくれ、交流を深めたり知識を蓄えたりすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催日時や内容を今後も検討しながら実施していきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	囲碁ボール講座		地区費	継続	12	40	6	1,145	月1回 橋南公民館
	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る		実施内容	だれでもできるニュースポーツを通じて、地区住民が交流する機会とする。 【開催概要】 4/20、5/18、6/22、7/27、8/24、9/21、10/26、11/16、12/21、1/25、2/8、3/7 それぞれ囲碁ボールまたはポッチャを実施。					
	目的		評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 目標を持ちつつ、より多くの人に気軽に参加してもらえようになりたい。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	飯田人形劇フェスタ2023 橋南地区公演		市・地	継続	2	310	171	1,145	8月3日、8月5日 仏教保育園、追手町小学校講堂
	地区住民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする		実施内容	地域住民と劇人、公民館委員が「みる・演じる・ささえる」それぞれの立場で人形劇フェスタを盛り上げる機会として実施する。また、追手町小学校公演後は、劇人と小学3年生、スタッフで飲食を伴った交流会を実施。交流の場となったとともに、劇人が飯田の焼肉文化に触れる機会となった。 【開催概要】 8/3 仏教保育園プレイルーム(シアター希望堂、紙芝居・野に咲く花) 8/5 追手町小学校講堂(追手町小学校3年生「カラフル追手劇団」、人形劇団たたくファミリー)					
	目的		評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 新たな会場での開催を検討。公民館委員以外にもスタッフを募るなどして、委員負担が大きくならないように工夫しながら実施していきたい。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	しめ縄づくり講習会		市・地	継続	1	14	-	1,145	12月3日 橋南公民館
	地区住民を対象に、伝統文化の継承と世代間の交流を図る		実施内容	講師：林清實さん 地区住民を対象に、季節の伝統文化である活動を体験する。これにより、昔から大切にされてきた物を再確認する機会とする。 【成果と課題】 ○子どもや高齢者の方を中心に多くの人にしめ縄作りに触れてもらえる機会となった。家庭で見かけたり作ることが少なくなった日本の伝統文化について、子どもたちに受け継いでいくきっかけとしていきたい。					
	目的		評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋南文化祭		地区費	継続	1	450		1,145	11月11日、11月12日 橋南公民館
	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする		実施内容	各団体の展示や、成果の発表の機会として実施する。作品展示と芸能発表を中心に、各種催し物を計画する。 【開催概要】 各種作品・成果展示、飲食物販売ブース、児童クラブの子どもたちによる野菜販売、バザー、高校生によるカレンダー販売、ニュースポーツ体験、芸能発表会					
	目的		評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 多くの方が文化祭に足を運んでもらえるような工夫を引き続き考えながら実施していきたい。					

区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)				市・地	継続	1	92	-	5,793	7月16日	橋南公民館
合同事業	地域住民を対象に、身近な場所でレベルの高い音楽を楽しめる機会を図る	実施内容				【開催概要】 演奏者：なついるカルテット						
		3地区の公民館委員を中心に、県外からプロの演者を呼びコンサートの企画・運営を行う。Aru企画共催事業。				【成果と課題】 ○プロの演奏を身近な場所で楽しめる機会として実施。橋南夏祭りと同時間催し、事前のチラシ配布や夏祭りでのアナウンスによる誘導を行うことで、多くの方に足を運んでもらうことができた。子どもから高齢者まで多くの方が訪れ、音楽に触れる機会となった。						
区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋北・橋南・東野地区 二十歳の集い				市・地	継続	1	71	-	96	1月7日	飯田市公民館
合同事業	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする	実施内容				【開催概要】 写真撮影(全体、クラス別、地区別)、式典(開会の辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、地域学習発表、二十歳代表挨拶、記念品紹介、閉会の辞)、祝賀会(ムービー上映、ビンゴ大会)						
		実行委員会を組織し、新成人が自ら企画運営に携わり地域の大人と関わる機会を持つ。 地域学習や成人式典内の催を通じて、新成人が地域の魅力を再発見し、改めてふるさとに愛着と誇りを持てる機会とする。				【成果と課題】 ○二十歳を迎える新成人が、地域学習を通じて地域を考えたし、振り返ったりするきっかけになった。 ●二十歳と地域住民がつながる機会が当日と事前の会議1回のみとなってしまったので今後につなげていけるように、関わりの機会をもっと増やしていけたらよかった。						
区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	若者の集い【新規】				地区費	新規	1	12	-	1,145	7月23日	ぴかいち駐車場
文化事業	未婚の若者を対象に、交流会を実施。気軽に若者同士が出会える機会の創設を目的に実施。	実施内容				【成果と課題】 ○参加者を集めるのに苦慮し、公民館委員のつてを頼ったりして募った。5地区の結婚相談員にも協力をいただきたながら実施し、参加者の今後について結婚相談員につなげることができた件もあった。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催方法や、公民館でやることの意味について検討しながら考えていきたい。						
		協力：橋北、橋南、東野、丸山、羽場各地区の結婚相談員 未婚の若者を対象に、地区内外を問わず広く募集。飯田の文化である出前焼き肉をしながらミニゲームや懇談を行い、若者同士の交流の機会とする。				【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催方法や、公民館でやることの意味について検討しながら考えていきたい。						
区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	橋南史跡めぐり				市・地	継続	2	35	-	1,145	6月25日、11月26日	遠山、岡崎
文化事業	飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ	実施内容				【開催概要】 ・6/25 旧木沢小学校、梨元ていしゃば、和田城跡、平岡ダム 講師：大蔵喜福さん、前澤憲道さん ・11/26 伊賀八幡宮、大樹寺、岡崎城、岡崎大河ドラマ館 講師：今村光利さん						
		講師の分かりやすい解説と現地研修が好評。現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施したい。				【成果と課題】 ●夏の史跡巡りについては、長い距離山道を歩くことや大雨の影響もあり、参加者は控えてであった。また、秋の史跡巡りも金額設定が高めなことから参加者が集まらなかった。参加された方からは好評の声をいただいたが、コロナ禍で開催していなかった間に元々参加していた層も高齢化してきており、今後の開催方法や場所について考えていく必要がある。						

橋南公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	もちつき大会		地区費 継続	1	33	-	1,145	12月10日	橋南公民館
	地域住民、特に青少年を対象に、伝統的な行事であるもちつきを体験し異年齢間の交流、健全育成を図る		地区住民を対象に、季節の伝統文化である活動体験する。これにより、昔から大切にされてきた物を再確認する機会とする。						
	【開催概要】 実施内容 地区住民、特に青少年を対象に、伝統的な行事であるもちつきを体験し異年齢間の交流、健全育成を図る								
育成事業	書き初め		地区費 継続	1	33	-	1,145	12月10日	橋南公民館
育成事業	地域住民、特に青少年を対象に、プロから書道について学ぶ。		地区費 継続	1	33	-	1,145	12月10日	橋南公民館
	主に小中学生を対象に、書初めを実施。冬休みの宿題となっており、講師の先生から学年にあわせてお手本を書いてもらい、それを参考にしながら各自で書道をおこなった。								
	【開催概要】 実施内容 柏心寺 安静俊祐さん 1時間程度書き初めを行った後、レクリエーションとしてビンゴゲームを実施。お土産として、地元のお団子を持ち帰ってもらった。書いてもらった作品は、1枚ずつ提出してもらい、公民館に掲示して地域住民に見てもらう機会となった。								
育成事業	飯ごう炊さん・いもほり		地区費 継続	1	25	-	1,145	8月20日	橋南公民館
育成事業	地域住民(主に小中学生とその親子)を対象に、日頃体験できない芋ほりや飯ごうでの調理を体験し、親子の交流や子どもたちの健全育成を図る		地区住民・家族との交流の機会とする。						
	【開催概要】 実施内容 芋ほり(平沢庄司さん宅) ※飯ごう炊さんは、当日の雷の影響もあり中止に。材料が余ってしまったため、急遽公民館にてカレー作りを行った。								
	【成果と課題】 自分たちで野菜をとり、調理する過程まで体験してもらいたかったが、中止となってしまう。芋ほりを体験してもらえたことは、子どもたちにとって貴重な経験となったと思う。どうしても天候が不安定な時期なので、開催方法や時期を検討していきたい。								
育成事業	追手町小学校科学実験教室		地区費 継続	2	105	76	105	7月4日、11月30日	追手町小学校講堂
育成事業	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。		講師：おもしろ科学工房 さまざま実験を体験することで、科学への興味や楽しさを見出してもらう。また、リニアについて学ぶことで、自分たちの将来について考えてもらうきっかけとする。						
	【開催概要】 実施内容 11/30 小学6年生「モデルロケット制作と打上げ」 7/4 小学5年生「ホバークラフト制作」 7/4 小学4年生「リニア実験と超低温の不思議な世界」								
	【成果と課題】 小学生に、楽しみながら科学を学んでもらう良い機会となった。また、おもしろ科学工房の方々や地域の大人たちがスタッフとして入ることで、小学生が地域の人と交流しながら学ぶ機会となった。楽しい実験を行いながら、飯田の将来について考える場となった。								

橋南公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	おひま		地区費 継続	1	110	110	1,145	4月16日	橋南地区内
	目的 地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める	実施内容	追手町小学校児童を対象に防火標語を募集 防火標語を読み上げながら橋南地区内を広報 追手町小学校児童、PTA、橋南連合青壮年会、まちづくり委員会防火防犯部、まちづくり委員会育成部、公民館、飯田市消防団第1分団からの参加者で地区内の広報活動を実施。 【開催概要】 防火標語を追手町小学校児童より募集し、優秀作品に賞状をお渡しした。募集した標語を広報車で読み上げながら、子どもたちが拍子木をうち地区内に防火を呼び掛けた。						
			【成果と課題】 ○防火標語の表彰の後、地区内を練り歩いた。子どもたちが、過去に橋南地区で実際に起こった飯田大火について学びを深める機会となった。また、子どもたちが法被を着て拍子木を打ちながら火の用心を呼び掛けることで、地域の防火意識を高めることにもつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ウォークラリー大会		地区費 継続	1	35	35	1,145	5月28日	橋北、橋南地区
	目的 地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする	実施内容	設定されたコースを、交差点の路図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に因んだ問題を設定し、解きながら歩くようにしている。またゴール後には、公民館へ移動し、赤十字奉仕団の皆さんの協力による豚汁とおにぎりを楽しんだ。 【開催概要】 コース：追手町小学校→くつわ小路→旧飯田測候所→菱田春草生誕地公園→春草通り→銀座通り→主税町→追手町小学校						
			【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 日赤さんに公民館調理室で調理をしてもらっていただいたため、ゴール後、参加者に公民館まで移動してもらった。コースのスタート・ゴール地点について今一度検討したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ソフトボール大会		地区費 継続	1	50	50	1,145	3月17日	飯田東中学校
	目的 地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	実施内容	公民館が主催となって開催。町内のチームだけでなく、地元企業や近隣地区のチームも参加し、交流の機会としている。例年であれば11月に開催するところ、中学校の資源回収と日程がかぶってしまい、3月に延期して実施。						
			【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南連合大運動会		地区費 継続	1	500	500	1,145	10月8日	追手町小学校
	目的 地区住民を対象に、各町総参加で健康の増進と住民相互の交流を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする	実施内容	公民館委員を中心とした実行委員会を組織し、地域の活力創出とコミュニティの維持を目指す。地区民の創意工夫で運動会を子どもからお年寄りまで楽しく交流できる場とする。地域全体の絆を深め、新たな生活様式での自信に繋げる運動会とする。 【開催概要】 聖火リレー、開会式、ラジオ体操、アンパンマン競争、おみくじリレー、綱引き、椅子取り、旗拾い、ふれあい家族で障害物競争、竹取物語、レインボーリレー、キズナ、大玉送り、長姉城、閉会式、立つ鳥あとをにごさず※雨の影響で、キズナ、大玉送り、長姉城は実施せず						
			【成果と課題】 ○当日は雨によって午前中で中断となってしまったが、久々に行えた飲食や数々の競技は参加者からも好評であった。一方で、地区のよっては人数や年齢層によって選手の選出が困難になってきているところもあり、今後の開催方法について引き続き検討を重ねながら実施していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区住民同士の集まりの場ともなっている。多くの人が楽しみながら参加してもらえるように内容の検討をしていきたい。						

橋南公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ニュースポーツ交流会		地区費	1	13	-	1,145	2月11日	追手町小学校
	目的 地区住民を対象に、だれでも気軽に楽しめるニュースポーツに触れる機会とする。		実施内容	【成果と課題】 ○地区住民がポッチャに触れられる機会となったとともに、体育委員がポッチャの審判について学ぶ場にもなった。誰でも参加できるスポーツということで、住民同士の交流、家族での交流の場ともなった。組合回覧のほかに、小中学校にも通知士を配布したが、参加してくれた生徒は3人であった。周知方法やチラシの内容についても検討が必要。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小					
広報事業	橋南マガジンの編集		事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的 地区住民を対象に、地域を知り、考えるきっかけ作りを目指す		地区費	16	200	12	1,145	発行に併せて各号4回ずつ会議を実施	橋南公民館
その他	放課後子ども教室		市・地	19	500	25	150	原則月2回 水曜日	追手町小学校
	目的 小学生を対象に、放課後の子どもたちの居場所作りを創設する。また、スタッフとして地区住民が子どもたちと一緒に活動することで、地域への愛着を育む		実施内容	放課後の子どもたちの居場所作りとして毎月2回程度、水曜日に実施。地区住民がスタッフとなり、2か月に1度スタッフ会を実施。先2か月の実施内容や日時を検討している。 【実施概要】 ①4/19自己紹介、簡単な遊び、②5/10紙ヒコーキ飛ばし大会、③5/31バドミントン、④6/7縄跳び、⑤6/21ドッジボール、⑥7/5けん玉、⑦7/19バドミントン、⑧9/13ドッジビー、⑨9/27ドッジボール遊び、⑩10/18ちぎり絵作り、⑪11/1ちぎり絵作り、⑫11/15バスケットボール、⑬11/29逃走中、⑭12/6ドッジボール&ドッジビー、⑮12/20カプツボール作り、⑯1/17お正月遊び、⑰2/14バドミントン、⑱2/21バスケットボール、⑲3/6サッカー 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 今後も、スタッフの皆さんの想いや企画力を大切にしながら続けていきたい。					
その他	夏休み子ども教室		市・地	6	180	30	150	夏休み期間中6回	橋南公民館
	目的 小学生を対象に、夏休み期間の居場所作りのために開催する。また、日頃なかなかできない様々な体験を行うことで夏休み期間の思い出とする。		実施内容	夏休み期間に6回実施。各回、前半は夏休みの宿題や勉強を行い、後半に様々な体験を行った。 内容は、7月に放課後子ども教室のスタッフ会にて検討し、小学校の先生方や児童クラブ、保護者の方など多くの人にご協力いただきながら実施できた。 【実施概要】 ①7/26自由遊び、②7/28マジックショー、③7/31座禅、④8/7七夕飾りづくり、⑤8/9けん玉、⑥おいしいお茶とお菓子を食べよう					

羽場公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0・1歳児学級	市・地	継続	16	166組	23組	35組	実施内容参照	羽場中央公会堂他
	実施内容	【実施内容】①5/26始まりの会(羽場図書館の紹介) ②6/9ふれあい遊び・皆で仲良くなろう♪ ③7/2Family Day 0～3歳合 ④7/7七夕工作 ⑤7/28 栄養士さんに聞いてみよう ⑥9/6 小児科の先生に聞いてみよう(子どもの体と病気) ⑦9/28 おしゃべりタイム♪ ⑧10/13 散歩 ⑨10/24 文化祭の作品を作ろう ⑩11/9 防災について考えてみよう ⑪11/24 歯科衛生士さんのお話 ⑫12/13 お正月飾りを作ろう(森っこさんの制作) ⑬1/25 おしゃべりタイム♪ ⑭2/8 栄養士さんに聞いてみよう ⑮2/22 理学療法士さんに母子の体について聞いてみよう ⑯3/12 思い出カード作り 【常任講師】松村由美子氏(保育士)							
学級・講座	2・3歳児学級	市・地	継続	11	184	23	100	実施内容参照	丸山公民館他
	実施内容	丸山公民館及び市保健課と共催。丸山保育園未就園児交流「ひよこの会」とも連携しながら実施。 講師：塩沢敏子さん(保育士)、細田美智保健師、伊藤優保健師 ※内容詳細※ ①5/25はじまりの会・親子ふれあい遊び②6/8丸山保育園に遊びに行こう③6/20わらべ歌遊び(講師：中津美奈子先生)保育園ひよこの会④7/4からだを使って遊ぼう⑤9/7文化祭の作品作り⑥10/2さつま芋堀り(講師：いろりばたの会)⑦11/7お散歩に行こう⑧12/11クリスマスを楽しもう⑨1/26わたちゃん劇場～獅子舞を見に行こう～(講師：わたちゃん)⑩2/15親子のふれあいあそび⑪3/7お別れ会							
学級・講座	中学生と乳幼児親子のふれあい学習会	市・地	継続	1	95	74	74	7月12日(水)	羽場公民館
	実施内容	羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校の共催。両地区0.1歳児学級参加親子と西中3年生の交流を主軸に、母親の想いや乳幼児に対する地域の想いを伝えられるよう実施。 講師：松村由美子さん(丸山地区主任児童委員)、下平佳代さん							
学級・講座	書初め大会	市・地	継続	1	11	11	667	1月3日	羽場公民館
	実施内容	講師のお手本、学校から配られたお手本を見ながら書初め、講師からの指導、お互いの作品を見ながら良い点を褒め合う 【講師】吉澤之榮氏、大霜睦男氏、河合美恵子氏							
学級・講座	地区住民を対象に、お正月の伝統文化を体験・学習しながら、地域の講師と交流する機会とする	【成果と課題】 ○地域の講師と子どもが交流しながら、自分と向き合い、真剣な時間を過ごす子どもの姿に講師も大きくうなずく姿があり、十分な交流になったと評価している。							
	実施内容	○拡充 □現状維持 □縮小 小中学生だけでなく、親子あるいは大人の参加も促したい。							

羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふあにいいサロン(旧羽場日本語教室)	市・地	継続	14	48	5	109	実施内容参照	羽場公民館他
学級・講座	飯田市内在住の外国籍住民を対象とした日本語学習会。地域の方にサポーターとして参加していただくことで、地域住民との交流の機会にもなっている。今年度から、肩肘を張らず、都度必要なテーマを決めて、ゆるやかにそしてサポーターも受講者も気軽に楽しみながら学べる場を創りたいという目的を据え、名称を変更した。 ①7/4 セタ〜短冊づくり ②7/11 そうめんを食べよう ③7/18 ダンス！ダンス！ ④7/25 百人一首大会 ⑤8/1 昔の遊び〜コマ、けん玉、ブンブン〜 ⑥盆踊り(中止) ⑦生け花教室(外部講師上松靖子先生) ⑧夏満喫〜浴衣でレンタル〜 ⑨9/12 ガブリエルさんお別れ会 ⑩10/3 文化祭展示活用活動紹介ポスター制作 ⑪12/12 クリスマスパークティー R6.1/30 ダンス！ダンス！ part2 ⑬2/10 外国人の日本語スピーチ大会余興ダンスリハーサル ⑭外国人の日本語スピーチ大会 【講師①下岡恭子さん②上村モニカさん③日本人サポーター6名】	市・地	継続	4	76	-	4,586	実施内容参照	開催会場 羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図ることに、参加者同士の交流の場とする	市・地	継続	4	76	-	4,586	実施内容参照	開催会場 羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより、新たな人とのつながりや文化の継承を図る	市・地	継続	1	35	-	4,586	実施内容参照	開催会場 羽場公民館

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	長期休み子ども寺子屋(春・夏)		市・地	3	186	41	200			羽場公民館他
学級・講座	目的	【成果と課題】 ○大人の皆さんが子どもに直接触れ合うことで、反省会では地域で子どもを育てることの具体が見えて、空論ではなく必要な学びやルールの見直しなど、活動の充実につながる議論が進んでいる。 ●受付初日開始20分程度で定員に達してしまうため、参加できない児童に対して対応策を考えたいが、見出せていない現状である。								
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 最も需要が高い事業である。地域学校協働活動としても位置づけ、魅力ある事業展開を図る。 安心安全に運営できる組織体制のなかで、定員の上限設定については要検討である。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数		開催期日	開催会場
	食育体験講座「そばを作ってみよう」		市・地	5	94	12	4,586	通年		羽場公民館
学級・講座	目的	【成果と課題】 ○新規会員の加入があり、精力的な活動が維持できた。 ○蕎麦打ちでは多くの一般参加があり、頑張った甲斐があったと会員同士で喜びを分かち合うことができた。 ●収穫までの一般参加が少なく、また傾斜地で機械投入も難しく、昔ながらの手狩りと脱穀のため、高齢化する会員には少々大変である。								
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 当館事業曜の里講座で、そば粉を使ったガレットづくりを開講するなど、青壮年層への興味関心を引き付けられるよう仕掛け、新たな参加者(会員)獲得を目指す。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数		開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ羽場地区公演		地区費	2	140	-	4,586	実施内容参照		羽場公民館
文化事業	目的	【成果と課題】 ○中学生ボランティアやの中学生の人形劇での活躍に喜ぶ観劇者の声が目立った。 ○食事交流が復活し、劇人とスタッフの交流が深まった。 ●観劇者数が減少傾向であり、人形劇を通じた住民同士の交流の機会には今一歩である。 (8/5)に関しては、他地区で地元小学校劇団公演が被ったという要因もある。)								
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 役員改選期により、1年目の実行委員の皆さん同士が、考え合い探りながらまずはやってみることに終始した傾向である。来年度は委員さん同士で意見を活発に出し合い、特色ある公演づくりを行いたい。								

羽場公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	羽場地区文化祭	地区費	継続	2	670	-	4,586	10月28日、29日	羽場公民館、中央公会堂
文化事業	地区住民を対象に、様々な芸術文化や公民館活動を知ってもらうとともに、日頃の活動の成果発表の場とする	実施内容	【テーマ】 新たな扉を開こう！～羽場の文化を未来へつなぎ、新しい世界へチャレンジ！～ 【1日目】オーブニングセレモニー（羽場獅子舞、西中吹奏楽部、あいさつ標語・ポスター及び文化祭ポスター表彰式、（新規）長野県公民館活動推進功労者表彰）、（新規）縁日～羽場ル（ODE長姫高校商業科地域人教育）、野菜即売会（農愉会）、（新規）駄菓子屋かん号、古本市、フードドライブ、お茶席（猿庫の泉保存会）、屋台（連青有志）、ポップコーン・綿菓子（育学） 【2日目】遊びのひろば、健康福祉コーナー、日赤炊き出し、古本市、ザ・バザー、ポップコーン・綿菓子（育学）、駅伝大会（体育委員会）						
	目的	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☐現状維持 ☐縮小 学びや交流の視点で、当館利用の社会教育関係団体の実態を捉え、幅広く芸能発表の機会を案内するなどして、活性化に寄与したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	曙の里講座シリーズ 夜の講座	市費	継続	1	24	-	4,586	3月21日実施予定	羽場公民館
	目的	実施内容	【協力団体：羽場蕎麦の会】 正永町の遊休農地を使ってそば作りから年末のそば打ち体験を通して、食育活動をしている。構成員の高齢化により、新たなメンバーの参加を推進したいという願いと、そば粉の新たな活用を探るため参画いただく。 【講師：MONDO オーナーシェフ 澤田 省吾さん】 地元到店を構える若きイタリアンシェフ。信州伊那谷ガレット協議会加盟店。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ふれあいスポーツ祭	地区費	継続	1	700	700	4,586	10月	飯田西中学校
	目的	実施内容	【内容】昨年は4年ぶり開催で地区内12町内中8町内のみの参加となったが、今年度は全町内参加した。 種目：準備体操、トレジャーハンティング（パン食い競争）、宝つり、ラッキーロープ、ウルトラクイズ、じゃんけん玉入れ、障害物競走（中学生種目）、貯蓄競争、出た目でリレー（文スポ種目）、町内対抗リレー、整理体操 ※中学生種目は予想を上回る参加者数で、予備景品を用意するほどの盛況だった。加えて、中学生ボランティアは13名の参加があった。 地区住民が一室に集い、健康的に交流することを図る						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業			継続						
	目的	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 ☐現状維持 ☐縮小 今年の成功を契機に半日から1日開催にしたい意向がある。今年度の経験を活かしつつ、まちづくり委員会はじめ、各種団体と丁寧に検討を進める。						

羽場公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニューススポーツ交流会	地区費	継続	1	37	37	4,586	1月28日	飯田西中学校
	目的 地区住民を対象に、ニューススポーツの推進と、地区住民同士の親睦を図る	子どもから高齢者まで幅広い世代の住民がニューススポーツを通じて交流を行い、地域内の親睦を図れるよう、種目をポッチャとした。 各コート内で対戦し、リーグ内での順位を決定する。決勝リーグは行わない。 9チームが参加。 まちづくり委員会厚生部との共催事業。 【成果と課題】 ○子どもから高齢者まで幅広い年齢層が、ニューススポーツを通じて交流を行うことができた。 ●ニューススポーツ推進（認知度向上）の観点から、さらなる参加者数の増加を促せるようにしたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校、まちづくり委員会、連合青壮年会などの各種団体への呼びかけの強化による、さらなる参加者の拡充							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	羽場地区ソフトボール大会	地区費	継続	1	146	146	4,586	6月25日	押洞グラウンド
	目的 地区住民を対象に、ソフトボールを通じて、町内のつながりを強くし、地域活動の活性化を図る	町内対抗戦。ただし人数が足りない町内は他町内との合同チーム可 2つのリーグ戦を実施した。 10町内9チーム参加 野球未経験でも比較的参加しやすい本大会には中学生から70代の高齢者まで参加した。 【協力】夜間ソフトボール運営委員会 評価 ○この日のために、地縁者が帰ってきて参加する町内チームもあることから、地区内外の住民同士の絆を深める副次的効果もある。 ○ある町内では4名の女性の参加もあり、男女問わず交流できる機会と捉える新たな視点ができた。 ●普段体を動かしていない大人が無理をしてみたい、大怪我につながりかねない場面があったので、安全第一を周知徹底する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 協力団体と連携し、引き続き住民同士のつながりを強くできるよう取り組む。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	駅伝大会	地区費	継続	1	75	75	4,586	10月29日	羽場公園
	目的 地区住民を対象に、町内対抗駅伝で仲間と交流と日常的な健康増進意識の向上を図る	原則として1チーム8名とし、小学校高学年以上とし年齢男女を問わずチームをつくる。第1・8走者は1周約1.5km、第2・4・6走者は半周約1km(セントラルパーク～労働基準協会～セントラルパーク)、第3・5・7走者についても半周約0.9km(セントラルパーク～元山白山神社～セントラルパーク)とし、ゴールはセントラルパークとする。ただし、1周を半周ずつわけるとしても可能とする。また、低学年以下の出場も可能とする。 8チーム75名参加(7町内、1スポーツクラブ) 【成果と課題】 ○昨年、2チームのみの申込で中止している経過もあり不安要素があったが、体育委員の声かけや自治会の協力を得て、多くのチームが参加し、交流を深めることができた。 ○70代の男性が見事に走り終わった瞬間、町内の枠を超え、歓声が鳴りやまない状況に、駅伝の醍醐味を感じることができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 伝統に縛られ過ぎず、【住民の親睦と健康増進意識の向上】という目的達成に必要な新たな手法も視野に入れる。							

羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報あけぼの	地区費	継続	6	72	12	4,697	通年	羽場公民館
	実施内容	【成果と課題】 ○役員改選期で0からのスタートのなか、前広報委員長のフォローや負担軽減を図る体制を整えたことで、愉しみながら制作することができた。 ○取材にも積極的に参加したり、飯田井コラムを新たに企画するなど、主体的な取り組みができた。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 広報委員会活動を通して、地域を知る機会を得た1年目の経験を活かし、創造性溢れ魅力ある広報づくりにつなげたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	魚のつかみ取り	地区費	継続	1	176	176	667	7月9日	羽場公民館
	実施内容	【成果と課題】 ○大学で水中生物の研究していた経歴の地元の若者と出会い、魚の学習会の講師に招いた。白髪かつらに白衣をまとい、子どもたちに面白くわかりやすく解説して、興味関心をより一層引き付けた。 ○講師の座学や魚の捌き方の指導に、大人も学び多き機会になった。 ●天候に左右され、3年ほど円悟沢で実施できていない。自然の中での実施による体験の深度を得たい。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 本事業を機会に、講師から夏休みの寺子屋で水中生物学習の機会を得ることになった。自然体験の充実はもとより、地域の担い手が育まれる機会とも捉え、充実化を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	きのご山保全活動	市・地	継続	3	101	-	742	実施内容参照	妙琴公園他
	実施内容	【成果と課題】 ○親子で自然体験学習に取り組めることで、親は子どもの成長を見届け、子どもは親に褒められ自己肯定感を育める有用な時間になっている。							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、講師2名体制をとり魅力ある事業づくりを図る。							

羽場公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	新春お楽しみ会		地区費	1	118	118	667	1月13日	羽場公民館
	実施内容	育成委員会、体育委員会、羽場文化スポーツクラブの合同事業。クド、臼、杵を使った昔ながらの餅つきと昔の遊びを体験した。 【内容】 餅つき、昔の遊び体験(けん玉、コマ回し、福笑い、羽場の昔かるた、春草かるた、囲碁ボールなど)、交流会(子ども獅子舞、お餅の実食) ※育成事業5つはスタンプラリー対象事業。合計3つ以上貯めた子どもには景品(お菓子の詰め合わせ)を贈呈。							
	目的	各家庭単位では実施しなくなっている正月の伝統行事の意味を伝え、子ども達が体験し、次世代へ継承していく場とする							
C S 協 働 事 業	丸山小学校創立150周年記念事業		他会計	5	1,250	-	10,511	開催期日 実施内容参照	開催会場 丸山小学校ほか
	実施内容	丸山小学校が創立150周年を迎えることを記念して、小学校、PTA、羽場・丸山・東野3地区で実行委員会を立ち上げ、記念誌、写真展、交流会の3つの係に分かれて活動を行った。 《内容詳細》 ○ドローン撮影 5月9日(火) ○記念式典 6月3日(土) 記念品贈呈、新校旗披露、150周年スライドショー等 ○交流会 6月3日(土) 未来の自分に向けて(児童意見発表)、ゆかいな仲間たち演奏、合同演奏 ○写真展 6月3日(土)・4日(日) 50年間の写真展示							
	目的	丸山小学校在校生および卒業生を対象に、150年間の歩みを整理し記録として残したり、交流したりすることを通して、地域の子どもたちについて考える機会とする							
C S 協 働 事 業	明るいかざこしの子らを育てる会		地区費	1	69	69	3,232	開催期日	開催会場 丸山小学校
	実施内容	学校運営協議会で承認、確認AMmm進んだ「めざす子ども像」の実現に向けた具体的な活動を進めるための集いとして開催。「安心安全部会」「安心できる居場所づくり部会」「確かな学力部会」「地域に愛着と誇りを持つ子どもの育成部会」の3部会で構成されている。							
	目的	地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める							

羽場公民館の事業報告

No.8

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山小学校科学教室			継続	2	226	150	150	12月15日(金)、12月21日(木)	丸山小学校
C S 協働事業	丸山小学校6年生、5年生を対象に、科学実験を通して好奇心の醸成を図る	実施内容	《内容詳細》 12/15(金) 6年生小型火薬を用いたモデルロケットの制作、打ち上げ 12/21(木) 5年生サイエンスショー(超伝導体と液体窒素) 講師：おもしろ科学工房					【成果と課題】 ○両学年ともに子どもたちからも楽しかった、もっと知りたいといった声もあり、興味関心や学習意欲を引き出すことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 講師や小学校と連絡を密に取り合いながら、来年度も実施に向けて3地区公民館が協力して進めていく		
		評価								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かざこしタイム			継続	5	1,100	220	220	実施内容参照	丸山小学校ほか
C S 協働事業	丸山小学校4年生から6年生を対象に、地域講師から様々なことを学び、地域との交流を図る	実施内容	地域の方が講師となり、地域クラブ活動を実施。 《実施内容》 実施日：7/6(木)、7/20(木)、8/31(木)、9/21(木)、10/26(木) 計5回 開設講座：硬式テニス、卓球、理科工作、創作書道習字、かるた・歴史散策、木工、手品・トランプ、生け花、水引細工、パルーンアート、将棋、獅子舞、軽スポーツ、工作(ちぎり絵)、運動遊び、茶道 計16講座					【成果と課題】 ○自分自身の得意なことや好きなことを教えられるのが嬉しい、子どもたちと活動すると自分たちの団体が活性化するとの声もあり、活動に対するやりがいにつながっている ●子どもの人数に対し講座数や地域講師が足りていない 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校の体制との兼ね合いもあり講座数は減る予定だが、新規講座の開設や地域講師の発掘を学校とも情報共有をしながら進めていく		
		評価								
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田西中学校地域貢献学習			継続	8	620	75	75	5月25日～10月5日	飯田西中学校他
C S 協働事業	飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふささを思う気持ち等を育んだりする。	実施内容	総合的学習の時間の一つで、中学3年生が地域のために何ができるか考え実際に活動した。事前学習として公民館主事や地域おこし協力隊を招いての講義を実施した。(羽場・丸山公民館協力) 【実際に活動した内容】 5/25 元地域おこし協力隊水戸幸恵さん(南信濃)講義 5/26 地域おこし協力隊①布野宏明さん(南信濃)②大橋正幸さん(下久堅)講義 5/29 羽場・丸山公民館主事講義 7/4 生徒とまちづくり委員会の懇談 7/24 地域内のゴミ拾い、清掃(羽場公園、今宮郊戸八幡宮他) 7/25 住民対象のレクリエーション(ミニ運動会、謎解き脱出ゲーム他) 7/26 リフレクション&スライドづくり 10/5 活動振り返り					【成果と課題】 ○多様な大人との接点から、生徒自身が活動を興すきっかけをつくりたいという先のオーダーから始まり、外部講師の「地域貢献なんておこがましい」と思っている。地域のなかに自分の暮らすところ、いろいろな人と出会い、仲間づくり、成長している。」との発言に感化された生徒の様子をみてとれた。実際に、両地区の公民館事業に多くの生徒たちがボランティアスタッフとして参加している。つまり、自分たちにできることを考えた結果、地域に飛び出し、楽しい場がたくさんあることに気付いた。この様子は地域の大人が諸活動に意欲的な効果もあり、相乗効果を生んだ。 ●学校からの依頼に迅速に対応しないと、良い取り組みであっても事業効果が低減しかねないので、常にアンテナを高くしている必要がある。		
		評価								

羽場公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	飯田西中1年地域巡り	他会計	新規	1	61	61	61	6月23日(金)	羽場・丸山地区内
	飯田西中学校1年生を対象に、学校・地域が連携した防災学習の機会を提供し、災害への備えや自分たちができることを考える機会とする	【成果と課題】 ○地域での防災や備えについて中学生が学んだうえで、自分たちの目で危険箇所等確認することが出来た ●中学校との依頼や打合せが十分に行えず、急な依頼となっていました 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 打合せの時間も加味して余裕を持った依頼をしてもらえるよう中学校にお願いをしていく							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	未来の自分と地域を考える会	地区費	継続	1	85	75	75	2月19日	飯田西中学校
	中学3年生を対象に、二十歳の集いへの理解を深め、自身の生き方を考える機会とする	【成果と課題】 ○中学生が二十歳の集いへの理解を深めるとともに、実行委員の姿を見ながら自分の将来ことを考える機会となった。二十歳の成人2名から、「最初は不安もあったし、大変だったけど、今思えばみんなが喜んでくれてうれしかったし、やりがいがあった」、「二十歳への手紙は面倒臭がらず、今だから感じることを書いてみて」と呼びかけた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 身近な先輩からの話は中学生にとって良い刺激になっており、二十歳にとっても良い機会となっているため、次年度も継続開催したい。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	かざこしふれあいコンサート	地区費	継続	1	127	127	7,818	8月27日(日)	丸山小学校体育館
	地区住民を対象に、地元で活躍している音楽家の演奏と小中学生の音楽を楽しむ機会をつくる	【成果と課題】 ○「丸山行進曲」を合同演奏曲としたことで、会場にいる観客(合唱)や出演者(演奏)も加わり、みんなで創り上げる一体感が生まれ、地区住民や子どもたちに音楽に親しんでもらうきっかけとなった ●童唱まつりと時期が重なったこともあり、合唱関係の団体の参加が叶わなかった、日程について要検討 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 地域の合唱団体、小学校コーラスに参加してもらえるよう関係団体に声をかけ、日程や内容を組み立てていく 丸山公民館「観月のタペ」に参加している高校生の団体にも声をかえていきたい							
	実施内容								

羽場公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	おやす・しめ縄作り交流会	地区費	継続	1	64	53	667	12月10日	羽場公民館
	特に小中学生とその保護者を対象に、正月の伝統行事を次世代に伝えるとともに、世代間交流の場とする	【内容】地域の方を講師に、お正月飾り(しめ縄とおやす)の作り方を教わりながら作成する。今年度から丸山公民館と合同開催となった。 【講師】栗林一彦氏、小林克郎氏 ※羽場・丸山公民館共催事業(丸山公民館は講師の高齢化により単独開催ができなくなったため) ※12月9日前日準備(①わらをなめる②スタッフ向け事前講習会) 【成果と課題】 ○お正月の伝統文化を継承し、高齢者から未就学児まで多くの人が交流することができた。 初めて参加したご家族もあり、貴重な体験ができたとの声あり。後日、参加者から気持ちの良い新年を迎えることができたと感じをいただいた。加えて、同地区の文化委員同士の交流機会ともなった。 ●講師の高齢化による指導者の確保と、米農家の減少及び機械化により、材料(藁)不足が問題となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 伝統行事の継承と世代間交流ができる場として、継続していきたい。							
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	探鳥会(春、冬)	市・地	継続	2	84	-	4,856	5月13日(土)、12月9日(土)	実施内容参照
	中学生、地区住民を対象に、風越山麓の自然に触れ、環境意識の高揚を図る	【成果と課題】 ○自ら地区内を歩くことで、大人でも知らない地元の自然環境について改めて学ぶ機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 近年観察できる鳥が徐々に減りつつあるため、西中とも相談しながら開催時期や内容について検討していく。							
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室「青空スクール」	他会計	継続	36	3,996	111	458	通年	丸山小学校
	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す	丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。平成19年より開始。放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。今年度は111名の登録があった。 【通常の活動】 活動日：毎週水曜日(33回) 活動内容：バドミントン(体育館)・卓球(ブレイルーム)・ミニサッカー(グラウンド)・工作(図工室) 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 8/20 お楽しみ会(ホバークラフトを作ろう) 12/16お楽しみ会(囲碁ボール) 3/3 まとめの会							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の子どもと大人が顔見知りになり、お互いにとって良き関係性作りができている。運営上の課題を協議しながら継続する。							

羽場公民館の事業報告

No.111

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	令和5年度羽場・丸山地区二十歳の集い		市・地	継続	1	93	60	97	1月8日	羽場公民館他
	目的	二十歳を対象に「地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる」機会とする	【成果と課題】 ○二十歳の成人の実行委員（連絡員）は20名の登録があった。二十歳同士のつながりの復活を目的に、夏にブチ同窓会を計画したが、地区外居住者が多く日程が合わず中止となった。その影響もあってか、直前まで二十歳の皆さんのモチベーションが低いように感じたが、祝賀会に必要な買い物や前日準備などには多く集まり、地区スタッフもその自主性や積極性に驚いたほどである。最終的には、当日の式典と祝賀会は盛大に開催することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域との関係を結び直す機会として組み立て、二十歳の成人の主体性を引き出す。							
		実施内容	羽場・丸山地区合同で各種団体の代表と二十歳の有志により実行委員会を組織している。今年度は持ち回りにより羽場公民館長が実行委員長となった。 ①12/3 地域学習「羽場公園（セントラルパーク）クリーンアップアクション」二十歳の成人2名が清掃活動に参加し、終了後に公民館長と羽場公園愛護会長と懇談会を実施した。 ②式典及び祝賀会 式典は地区実行委員会主導で開催。飲食を伴う祝賀会は二十歳の成人が主導で実施し、思い出のスライドショーやビンゴ大会など催した。5年前に20歳の自分に宛てて書いて書いた手紙も返却した。							
合同事業	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山小学校PTA公民館共催講演会		市・地	継続	1	42	458	3,232	12月19日（火）	丸山小学校体育館
	目的	丸山小PTAおよび教職員、地域住民を対象に、人権教育及び家庭教育の推進を図る	【成果と課題】 ○保護者自身の幼少期を振り返る時間も作りながら、子どものことについて時間をかけて考える場となり、不登校やインクルージブ教育について理解を深めることができた ●地域からの参加者が非常に少なく、周知に工夫が必要 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 PTAの課題意識や興味関心を大切にしながらテーマ設定をしていく地域からも多くの方に参加してもらえよう組合回覧以外の方法での周知も検討したい							
その他	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校 地域人教育		市・地	継続	32	224	7	7	実施内容参照	羽場地区区内
	目的	高校生と地域住民を対象に、地域課題を見つけてそれを解決する過程で、地域への愛着や課題解決能力・コミュニケーション能力を育む	テーマ「羽場NICE DAY ～広げる交流（つながり）の幅～」 企画立案した活動：羽場地区文化祭で縁日を開催 課題認識：公民館活動や魅力ある文化活動に興味関心をもってもらおう機会 で、青壮年層（若い世代）に多く参加してほしいが、親子の参加が少ない。 目標：①家族で楽しめるコーナーをつくる。②保育園や小中学校を訪問し、宣伝活動に力を入れる。 その他、自分たちで感じた羽場の魅力をまとめたマップの制作した。まちづくり委員会 の理事会にて、成果発表を行った。 関わった団体など：公民館長佐々木祥二さん、猿庫の泉保存会（林さん、小林さん、古田さん、尾澤さん、小林さん）、きねや、新陽堂、夏の寺子屋スタッフの皆さん、羽場獅子舞保存会（相津さん、小林さん）、羽場地区文化祭実行委員会の皆さん、丸山小学校及び西中学校、羽場自治振興センター長前澤さん							

丸山公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0・1歳児学級「すくすく学級」	市・地	継続	17	84	13	23	実施内容参照	丸山公民館ほか
	目的	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導) 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導) 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導)							
	実施内容	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導) 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導) 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師(健康指導)							
学級・講座	2・3歳児学級	市・地	継続	11	184	23	100	実施内容参照	丸山公民館ほか
	目的	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師							
	実施内容	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師							
学級・講座	中学生と乳幼児親子のふれあい学習会	市・地	継続	1	95	74	74	7月12日(水)	羽場公民館
	目的	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師							
	実施内容	市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師 市保健課と共催。各親子との対話を大切にしながら、年間を通じて実施。 講師：松村由美子さん(保育士)、伊藤優保健師							

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	風越山学習会	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
	地区住民を対象に、風越山の魅力を知る機会を設け、地域への誇りを醸成する	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
	実施内容	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
学級・講座	風越山を愛する会との共催。風越山の歴史や資源等を学び風越山登山をもっと楽しむための学習会として今年度3回目の開催予定だったが、愛する会の役員体制の見直し等から今年度は開催を見送った。 《検討経過》 11月 日(火) 第2回風越山を愛する会運営委員会 2月22日(木) 第3回風越山を愛する会運営委員会	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
	目的	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
	実施内容	市・地	継続	-	-	-	3,232	(中止)	丸山公民館
学級・講座	丸山保育園ピザづくり体験	市・地	新規	1	22	11	11	3月8日(金)	丸山公民館
	今年度より公民館と丸山保育園が共催。保育園「夜まで保育」の活動の中の1つとして公民館にある石窯を活用し、まるやま石窯部の皆さんと一緒にピザづくり体験を行う。 講師：まるやま石窯部	市・地	新規	1	22	11	11	3月8日(金)	丸山公民館
	目的	市・地	新規	1	22	11	11	3月8日(金)	丸山公民館
学級・講座	子ども寺子屋(夏休み・春休み)	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか
	夏休みと春休みの年2回計6日間実施。内容については、主任児童員をはじめとする中心となるスタッフ3名と地区の特徴や資源を生かした内容を計画。 《内容詳細》 【夏休み子ども寺子屋】 参加児童30(1年6名、2年8名、3年3名、4年7名、5年4名、6年2名) スタッフ30名(中学生9名、高校生6名) 8月7日(月)・・・モルックで遊ぼう、消防署のお話&消火器を使ってみよう(飯田広域消防) 8月8日(火)・・・牛乳パックでホットドッグ作り(松村由美子さん)、たたき染めに挑戦しよう(松村由美子さん) 8月9日(水)・・・夏祭りの準備をしよう、夏祭りを楽しもう！ 【春休み子ども寺子屋】 参加児童28名(1年6名、2年8名、3年3名、4年6名、5年4名、6年1名) スタッフ28名(中学生11名、高校生1名) 3月20日(水)・・・みんなで作ろう！的当てゲーム(松村由美子さん)、花の種・苗を植えよう、ストロー・竹トンボを作ろう(松村由美子さん) 3月21日(木)・・・ぼたもちを作ろう♪(いろりばたの会)、バレーンアートに挑戦！(片桐文夫さん) 3月22日(金)・・・エシカルミニ講座(消費生活センター)、手紙を書いて出しに行こう、ウォークラリーを楽しもう	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか
	目的	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか
学級・講座	小学生を対象に、地域資源を活用した体験学習を通して地域への育むとともに、運営スタッフの子どもへの関心を高める	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか
	夏休みと春休みの年2回計6日間実施。内容については、主任児童員をはじめとする中心となるスタッフ3名と地区の特徴や資源を生かした内容を計画。 《内容詳細》 【夏休み子ども寺子屋】 参加児童30(1年6名、2年8名、3年3名、4年7名、5年4名、6年2名) スタッフ30名(中学生9名、高校生6名) 8月7日(月)・・・モルックで遊ぼう、消防署のお話&消火器を使ってみよう(飯田広域消防) 8月8日(火)・・・牛乳パックでホットドッグ作り(松村由美子さん)、たたき染めに挑戦しよう(松村由美子さん) 8月9日(水)・・・夏祭りの準備をしよう、夏祭りを楽しもう！ 【春休み子ども寺子屋】 参加児童28名(1年6名、2年8名、3年3名、4年6名、5年4名、6年1名) スタッフ28名(中学生11名、高校生1名) 3月20日(水)・・・みんなで作ろう！的当てゲーム(松村由美子さん)、花の種・苗を植えよう、ストロー・竹トンボを作ろう(松村由美子さん) 3月21日(木)・・・ぼたもちを作ろう♪(いろりばたの会)、バレーンアートに挑戦！(片桐文夫さん) 3月22日(金)・・・エシカルミニ講座(消費生活センター)、手紙を書いて出しに行こう、ウォークラリーを楽しもう	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか
	目的	市・地	継続	2	455	30	458	実施内容参照	丸山公民館ほか

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演		事業区分 他会計	3	368	272	3,232	実施内容参照	丸山公民館
文化事業	目的 市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる	実施内容	地区公演を通じて、地域の方と劇人が「みる・演じる・ささえる」それぞれの立場で人形劇フェスタを盛り上げる機会、また、地域住民と劇人の交流を深める機会として実施。 《内容詳細》 【7/31 オリジナル企画】 運営：公民館文化部、丸山保育園 内容：ひまわり満開の館で人形劇（手形を使った会場の装飾） 【8/3-8/6地区公演】 ①8/4 10:00 保育園公演（会場：丸山公民館） ②8/4 19:00 大学生公演（会場：丸山公民館） ③8/5 10:00 丸山小つばさ公演（会場：丸山公民館）						
			評価 【成果と課題】 ○全部会が運営に関わることで公民館役員同士の交流にもなり、以降の各部会事業実施に向けた関係性づくりや機運につながった ○丸山保育園と一緒に企画したことで、保護者会とのつながりがより一層強くなり、青壮年層の交流のきっかけになった ●大学生公演の交流会が実現できなかった 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 大学生公演の交流会再開に向け、今年度のうちから準備を進めていく フェスタを通じて地域の特色や地域資源を意識したオリジナル企画の立案を検討したい						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山地区文化祭		地区費	1	916	916	3,232	11月4日(土)・11月5日(日)	丸山公民館
文化事業	目的 地区住民を対象に日頃の文化活動の発表の場を設け、参加者同士の交流を図る	実施内容	文化祭実行委員会を組織し実施。アルコールを含めた飲食も再開し、全ての催しについて4年ぶりの通常開催となった。 昨年度に引き続き、「交流」を大切にして企画運営を行った。 《実施内容》 【展示】社会教育関係団体及び保・小・中活動報告、作品展示 団体1個人 【ステージ発表】全4部構成 保・小・中クラブ、新体操、ダンス等 団体1個人 【人 【催事】公民館体育部「屋台」、公民館育成部×まるやま石窯部×ODE長姫 高地域人教育丸山班「パン・ピザづくり体験」、かざこし子どもの森公園「和紙で作るお星さま」 など 団体						
			評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き多くの中高生に楽しく参加してもらえよう、中高生が自ら催し等を発案しもらえる機会を創っていききたい 参加団体を新たに獲得するため、広報に力を入れていく						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山くらす		市・地	1	21	10	3,232	8月19日(日)	丸山公民館
文化事業	目的 地域住民を対象に、体験講座を通じて、自分たちの住む地域を知り、学ぶ	実施内容	「地域で楽しく生き生きと暮らす」をコンセプトに、自分たちの暮らしを衣食住など様々な視点から見つめ直す機会となるよう意識して実施。講師は丸山地区内から選定。今年度は松岡屋醸造場より、飯田の味噌づくりの歴史や会社の紹介、味噌づくりと焼きおにぎりづくりを講演いただいた。 テーマ：松岡屋醸造場の歴史を知る～味噌玉づくりと味噌を生かした調理～ 講師：松岡屋醸造場						
			評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 開始当初の目的を改めて確認したうえで、体験的な内容(交流)に加え、企画する文化部員の興味関心を大切にしながら学びの要素も入れ込んでいきたい テーマによって、開催回数に拘らず実施していく						

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	おとなのサロン		市・地	継続	1	31	31	3,232	2月23日(金・祝)	丸山公民館
	目的	青壮年層の地区住民を対象に、地域の歴史や世の中の気になることについて学習する	丸山連合青壮年会と公民館文化部の共催。両者の想い、興味関心を大切にしながら大人がひとつのことに對してじっくり考える機会として実施。今年度は、シールドを活用した地域振興やシールドの魅力、作り方を学ぶ機会とした。 テーマ:シールドを学ぶ🌀～なぜ飯田でシールドなのか～ 講師:喜久水酒造株式会社 代表取締役社長 後藤 高一 氏							
		実施内容	【成果と課題】 ○シールドやりこんでつながる国内外の地域との交流や地域を元気にする視点を学ぶことで、自分たちの活動を改めて見つめ直す機会となった 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 丸山連合青壮年会とのつながりを大切に、引き続き青壮年層の興味関心や学んでみたい意欲から内容を検討していく							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区クッブ大会		地区費	継続	1	60	46	3,232	5月28日(日)	丸山小学校校庭
	目的	地区住民を対象に、幅広い年代での親睦と交流を図る	今年4回目の開催。各町体育部員の呼びかけにより各町内で結成されたチームを中心にリーグ戦形式で試合を実施。幅広い年齢層に楽しんでもらうため、コート小さくして開催した。 参加チーム:18 Aリーグ優勝:滝の沢C Bリーグ優勝:ととまる(今四)、体育部A							
		実施内容	【成果と課題】 ○子どもの参加が多く、親だけでなく同じ町内の大人との顔がわかるつながりをつくるきっかけになった ●他の体育事業に比べ中学生の参加少なかったため、中学生や若者が多く参加できる工夫が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 より多くの年代から気軽に参加してもらえよう、組合回覧以外の広報を検討したい							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区ソフトボール大会		地区費	継続	1	63	63	3,232	6月18日(日)	押洞グラウンド
	目的	地区住民を対象に、町内の親睦と交流を図る	各町体育部員を中心にチームを編成し、町内対抗形式で実施。昨年に引き続き、試合毎に対戦した相手方チームの中からMVP選手を選出し、景品を授与するMVP制度を導入、健康と町内外の親睦交流を意識した運営を行った。 参加チーム:5 (丸山町1、丸山町4、今宮町2、今宮町4、滝の沢) 優勝:滝の沢 2位:今宮町4 3位:丸山町1							
		実施内容	【成果と課題】 OMVP制度の導入により、町内を超えた交流につながった ●参加チーム数が減少傾向にある、多くの町内から参加してもらえよう工夫が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 参加資格の見直しや体育部チームの結成も視野に入れながら、より多くの方に散会してもらえよう体育部で検討していく							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区ポッチャ大会		地区費	継続	1	33	19	3,232	11月19日(日)	丸山小学校体育館
	目的	地区住民を対象に、幅広い年代での親睦と交流を図る	今年2回目の開催。各町体育部員の呼びかけにより各町内で結成されたチームを中心にリーグ戦形式で試合を実施。 参加チーム:6 優勝:まるよんA 2位:まるよんB 3位:チーム館長							
		実施内容	【成果と課題】 ○町内を超えたチームの参加もあり、住民同士の交流につながった ●参加者が少ない傾向にある、開催時期や広報について検討が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 参加チーム募集について、各町内や中学生への周知だけでなく、社会教育関係団体等にも声掛けをし、住民同士の交流を意識しながら、多くの方が参加できるように準備を進めていく							

丸山公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区ワンバウンドふらば〜るバレー大会	地区費	継続	1	57	48	3,232	2月25日(日)	丸山小学校体育館
	実施内容	各町体育部員の呼びかけにより各町内で結成されたチームを中心にリーグ戦形式で試合を実施。当日準備時にスポーツ推進委員のもと、体育部員が実際に試合をしながらルールを確認、審判が出来るよう講習を行った。							
	目的	参加チーム:6(マルヨン排球部、マルヨンA、マルヨンB、滝の沢、混成①、混成②) 優勝:マルヨン排球部 準優勝:混成② 3位:マルヨンA							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区市民大運動会	地区費	継続	1	-	-	3,232	10月15日(日)	丸山小学校校庭
	実施内容	運動会実行委員会を組織し、各種団体の協力を得ながら地区を挙げて実施予定だったが、雨天のため中止となった。 《検討経過》 7/5 運動会打ち合わせ(運動会の目的、当日までの流れ確認) 8/7 運動会・文化祭合同企画運営会議(運動会開催決定、役員選出について) 9/5 西中生徒会運動会打合せ(中学生へ運動会の説明、役割について) 9/22 運動会実行委員会(運動会の目的確認、各係打合せ) 10/5 運動会係長会(各係の当日までの動き確認) 10/12 運動会事前準備 10/14・15 運動会開催判断(雨天のため中止)							
	目的	地区住民を対象に、運動を通じて交流と親睦を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報まるやま	地区費	継続	4	4,528	1,132	3,232	通年	丸山公民館
	実施内容	第52号(6月)、第53号(10月)、第54号(12月)、第55号(3月) まちづくり委員会と合同発行、各号発行部数1,30部 掲載記事については、担当部員が参加者の生の声や人の表情がわかる写真や記事を意識して取材対応した。							
	目的	地区住民を対象に、地区内の話題を伝え地域課題を提起していく							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	スポーツ文化教室支援	地区費	継続	6	256	61	61	実施内容参照	丸山公民館ほか
	実施内容	丸山公民館に登録のある小学生向けスポーツ文化教室の支援を実施。 《内容詳細》 所属団体:飯田ファイブスターズ(野球)、丸山JFC(サッカー)、丸山剣道教室(剣道) 4月1日(日) 開校式(全体開催) 3月5日(火) 代表者会 3月17日(日) 体験会(羽場文化スポーツクラブと共催) 3月 卒団式(各団体毎)							
	目的	小学生が所属するクラブチームを対象に、子どものスポーツ・文化活動の充実に向けた支援を行う							

丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子交流学習事業「光る泥だんごをつくろう」	地区費	継続	1	108	94	3,232	7月23日(日)	丸山公民館
	目的 親子を対象に、体験学習を通じて、家庭内での親子のつながりが深まるよう推進する						【成果と課題】 ○泥だんごづくりが宿題に出ていた学年もあったことから普段公民館には来ない親子も多く参加があり、家庭外での親子間の交流の場となった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちの興味関心を探りながら、育成部員が考える地域の子どもへ経験してほしいと思う内容を検討していく		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	お正月遊び・もちつき大会	市・地	継続	1	139	139	3,232	1月14日(日)	丸山公民館ほか
	目的 地区住民を対象に、伝統行事の継承と親子のふれあいを図る						【成果と課題】 ○お正月行事も簡素化する中で、昔の遊びやお正月に関する行事について今の子どもたちに知ってもらった機会となった ●各分会での役割確認等が不十分な点があったため、正副部長会の時間を使い各分会の役割を確認しておく必要があった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各分会の連携がスムーズにいくように正副部長会や各分会できちんと情報共有する時間を設けたい 地域人教育の活動報告は好評のため、高校生が直接地域へ感謝を伝える機会としても引き続き実施していく		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ウォーキング大会	地区費	継続	1	16	16	3,232	3月9日(土)	座光寺地区内
	目的 地区住民を対象に、自然を感じながら健康づくりを推進する						【成果と課題】 ○昨年度組み立てた際の想いを確認した上で、今年度の育成部員が改めて内容を検討し主体的に組み立てることができた ●時期を前倒しにしたところ例年よりも参加人数が少なかった、開催時期についてはその都度検討が必要 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今の子どもたちにとって良い体験となるよう育成部で検討、開催時期についても内容に合わせて柔軟に対応していく		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	探鳥会	市・地	継続	2	84	-	4,856	5月13日(土)、12月9日(土)	実施内容参照
	目的 中学生、地区住民を対象に、風越山麓の自然に触れ、環境意識の高揚を図る						【成果と課題】 ○自ら地区内を歩くことで、大人でも知らない地元の自然環境について改めて学ぶ機会となった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 近年観察できる鳥が徐々に減りつつあるため、西中とも相談しながら開催時期や内容について検討していく		

丸山公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山小学校放課後子ども教室「青空スクール」		他会計	36	3,996	111	458	通年	丸山小学校ほか
			【成果と課題】 ○活動を通じて、丸山小学校の児童が3地区の大人と地域をまたいで顔見知りとなり、学校外で出会ってもあいさつを合える関係作りができています。各地区の公民館事業への入り口となったり、地域の大人にとっても子どもたちと一緒に遊び、子どもと顔見知りになる事が楽しいと感じてもらえている。お楽しみ会では保護者との懇談の時間をとり、地域と保護者が考えていることの情報共有を行っている ●参加希望児童の増加やスタッフの高齢化など運営上の課題があり、学校や教育委員会などとも協議していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の子どもと大人が顔見知りになり、お互いにとって良き関係性作りができています。運営上の課題を協議しながら継続する。						
合同事業	地域ボランティアスタッフの指導と見守りによる、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す		活動日：毎週水曜日（33回） 活動内容：バドミントン（体育館）・卓球（プレイルーム）・ミニサッカー（グラウンド）・工作（図工室） 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 8/20 お楽しみ会（ホバークラフトを作ろう） 12/16お楽しみ会（囲碁ボール） 3/3 まとめの会	36	3,996	111	458		評価
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山小学校PTA公民館共催講演会		市・地	1	42	458	3,232	12月19日（火）	丸山小学校体育館
			【成果と課題】 ○保護者自身の幼少期を振り返る時間も作りながら、子どものことについて時間をかけて考える場となり、不登校やインクルーシブ教育について理解を深めることができた ●地域からの参加者が非常に少なく、周知に工夫が必要 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 PTAの課題意識や興味関心を大切にしながらテーマ設定をしていく 地域からも多くの方に参加してもらえよう組合回覧以外の方法での周知も検討したい						
合同事業	丸山小PTAおよび教職員、地域住民を対象に、人権教育及び家庭教育の推進を図る		テーマ：「今、子ども達に必要なこと、大切なこと」 講師：矢澤朗子氏（南信教育事務所、ソーシャルワーカー）						評価
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	おやす・しめ縄づくり交流会		地区費	1	64	53	668	12月10日（日）	羽場公民館
			【成果と課題】 ○お正月の伝統文化を継承し、高齢者から未就学児まで多くの人が交流することができた。初めて参加したご家族もあり、貴重な体験ができたとの声あり。後日、参加者から気持ちの良い新年を迎えることができたとの感想をいただいた。加えて、両地区の文化委員同士の交流機会もなった。 ●講師の高齢化による指導者の確保と、米農家の減少及び機械化により、材料（藁）不足が問題となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 伝統行事の継承と世代間交流ができる場として、継続していきたい。						
合同事業	特に小中学生とその保護者を対象に、正月の伝統行事を次世代に伝えるとともに、世代間交流の場とする								評価

丸山公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	未来の自分と地域を地域を考える会		地区費	1	85	75	75	2月19日(月)	飯田西中学校
			継続						
	平成28年度から始め、8年目の取り組み。今年度は二十歳の集い実行委員2人がビデオメッセージを届けた。羽場・丸山公民館共催事業。								
合同事業	中学3年生を対象に、二十歳の集いへの理解を深め、自身の生き方を考える機会とする								
	実施内容								
	目的								
合同事業	かざこしふれあいコンサート		地区費	1	127	127	4,586	8月27日(日)	丸山小学校体育館
			継続						
	羽場公民館・丸山公民館共催事業(今年度当番館は丸山公民館)。企画段階から小中学校の各担当教諭にも参画いただき、子どもたちの活動成果を発表する場、小中学校と地域のつながりを強める機会として4年ぶりに実施。								
合同事業	地区住民を対象に、地元で活躍している音楽家の演奏と小中学生の音楽を楽しむ機会をつくる								
	実施内容								
	目的								
CS協働事業	丸山小学校風越山学習会		市・地	-	-	-	76	(中止)	-
			継続						
	風越山を愛する会を講師に、風越山の自然や文化的資源についての学習会を実施予定だったが、学校側で日程が確保できず中止となった								
CS協働事業	丸山小学校6年生を対象に、風越山に対する知識を深め、地域への愛着を深める								
	実施内容								
	目的								
CS協働事業	丸山小学校農業体験		市・地	1	89	89	89	2月28日(水)	丸山小学校
			継続						
	今年度は味噌仕込み教室について公民館と共催。講師に地域の方を迎え、子ども達の主体的な学びを意識しながら実施。								
CS協働事業	丸山小学校2年生を対象に、地域の農業団体や事業所と一緒に野菜を育てるたり、加工したりすることで農業や食に対する関心を高める								
	実施内容								
	目的								

丸山公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校科学教室	市費	継続	2	226	150	150	12月15日(金)、12月21日(木)	丸山小学校
	丸山小学校6年生、5年生を対象に、科学実験を通して好奇心の醸成を図る	羽場公民館、東野公民館、小学校との共催。子ども達の学習意欲を引き出せるよう講師及び先生と打合せを重ねたうえで実施。 《内容詳細》 12/15(金) 6年生小型火薬を用いたモデルロケットの制作、打ち上げ 12/21(木) 5年生サイエンスショー(超伝導体と液体窒素) 講師:おもしろ科学工房			226	150	150	【成果と課題】 ○両学年ともに子どもたちからも楽しかった、もっと知りたいといった声もあり、興味関心や学習意欲を引き出すことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 講師や小学校と連絡を密に取り合いながら、来年度も実施に向けて3地区公民館が協力して進めていく	丸山小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校防災学習	市・地	継続	1	70	70	70	9月13日(水)	丸山小学校
	丸山小学校4年生を対象に、地域の防災組織への理解を深め、防災意識を高める	今年で2回目の開催。防災倉庫の見学や説明、自主防災会の役割や地域の防災について授業を実施。 講師:丸山地区自主防災会(自主防災会渡邊会長)			70	70	70	【成果と課題】 ○小学生から災害時にはひとりひとりに役目があり、地域の人達で守るという気持ちや日頃からの備えが重要だということがわかったといった感想もあり学校からも大変好評だった ●子ども達に学んでほしいことに先生との共有が不十分だった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 小学校との事前打合せを行い、子ども達に学んでほしいことや感じて欲しい事の確認、共有をしたうえで自主防災会へ依頼をしていきたい	丸山小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	明るいかざこしの子らを育てる会	地区費	継続	1	69	69	3,232	5月31日(水)	丸山小学校
	地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める	学校運営協議会で承認、確認AMmm進した「めざす子ども像」の実現に向けた具体的な活動を進めるための集いとして開催。「安心安全部会」「安心できる居場所づくり部会」「確かな学力部会」「地域に愛着と誇りを持つ子どもの育成部会」の3部会で構成されている。 参加者:羽場・丸山・東野地区まちづくり役員、公民館役員、民生児童委員協議会長、主任児童委員、学校支援ボランティア、丸山小・西中教職員、PTA役員など			69	69	3,232	【成果と課題】 ●全体会を開催後、各部会を状況に応じて開催して具体的な活動を推進する予定であったが、1回の全体会では会の趣旨や目的を抑えきることができず、実施に移すことができなかった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 事務局(教頭・主事)で計画していくのではなく、地域の子どもたちに対して想いをもった方々に計画段階から参画してもらえよう進めていきたい	丸山小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	かざこしタイム	他会計	継続	5	1,100	220	220	実施内容参照	丸山小学校ほか
	丸山小学校4年生から6年生を対象に、地域講師から様々なことを学び、地域との交流を図る	地域の方が講師となり、地域クラブ活動を実施。 《実施内容》 実施日:7/6(木)、7/20(木)、8/31(木)、9/21(木)、10/26(木) 計5回 開設講座:硬式テニス、卓球、理科工作、創作書道習字、かるた、歴史散策、木工、手品・トランプ、生け花、水引細工、パルーンアート、将棋、獅子舞、軽スポーツ、工作(ちぎり絵)、運動遊び、茶道 計16講座			1,100	220	220	【成果と課題】 ○自分自身の得意なことや好きなことを教えられるのが嬉しい、子どもたちと活動すると自分たちの団体が活性化するとの声もあり、活動に対するやりがいにつながっている ●子どもの人数に対し講座数や地域講師が足りていない 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 学校の体制との兼ね合いもあり講座数は減る予定だが、新規講座の開設や地域講師の発掘を学校とも情報共有をしながら進めていく	丸山小学校ほか

丸山公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校創立150周年記念事業	他会計	継続	5	1,250	-	10,511	実施内容参照	丸山小学校ほか
	丸山小学校在校生および卒業生を対象に、150年間の歩みを整理し記録として残したり、交流したりすることを通して、地域の子どもたちについて考える機会とする	【成果と課題】 ○地域・学校・家庭の3者が協働しながら、多くの地域住民に関わっていただくことで小学校区のつながりをより強固なものとすることができた ○実行委員会へPTA有志による参加もあり、新たなつながりをつくるきっかけとなった 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 150周年記念事業で出来たPTAや学校とのつながりを大切に、今後のCS協働事業へ生かしていきたい							
	実施内容	丸山小学校が創立150周年を迎えることを記念して、小学校、PTA、羽場・丸山・東野3地区で実行委員会を立ち上げ、記念誌、写真展、交流会の3つの係に分かれて活動を行った。 《内容詳細》 ○ドローン撮影 5月9日(火) ○記念式典 6月3日(土) 記念品贈呈、新校旗披露、150周年スライドショー等 ○交流会 6月3日(土) 未来の自分に向けて(児童意見発表)、ゆかいな仲間たち演奏、合同演奏 ○写真展 6月3日(土)・4日(日) 50年間の写真展示							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	飯田西中3年地域貢献活動	他会計	継続	8	620	75	75	5月25日～10月5日	飯田西中学校他
	飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふるさと思ふ気持ちを育んだりする。	総合的学習の時間の時間の一環で、中学3年生が地域の為に何ができるか考え実際に活動した。事前学習として公民館主事や地域おこし協力隊を招いての講義を実施した。(羽場・丸山公民館協力) 【実際に活動した内容】 5/25 元地域おこし協力隊水戸幸恵さん(南信濃)講義 5/26 地域おこし協力隊①布野宏明さん(南信濃)②大橋正幸さん(下久堅)講義 5/29 羽場・丸山公民館主事講義 7/4 生徒とまちづくり委員会の懇談 7/24 地域内のゴミ拾い、清掃(羽場公園、今宮郊戸八幡宮他) 7/25 住民対象のレクリエーション(ミニ運動会、謎解き脱出ゲーム他) 7/26 リフレクション&スライドづくり 10/5 活動振り返り							
	目的	【成果と課題】 ○多様な大人との接点から、生徒自身が活動を興すきっかけをつくりたいという先生のオーダーから始まり、外部講師の「地域貢献なんっておこし」と思っている。地域のなかに自分の暮らしていることで、いろんな人と出会い、仲間になり、成長している。」との発言に感化された生徒の様子をみてとれた。実際に、両地区の公民館事業に多くの生徒たちがボランティアスタッフとして参加している。つまり、自分たちにできることを考えた結果、地域に飛び出し、楽しい場がたくさんあることに気付いた。この様子は地域の大人が諸活動に意欲的な効果もあり、相乗効果を生んだ。 ●学校からの依頼に迅速に対応しないと、良い取り組みであっても事業効果が低減しかねないので、常にアンテナを高くしている必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 年度初めから、コーディネートする先生と主事の連携を密にしながら良い取り組みにしていきたい。協働活動充実化に向けた仕組みの検討。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	飯田西中1年地域巡り	他会計	新規	1	61	61	61	6月23日(金)	羽場・丸山地区内
	飯田西中学校1年生を対象に、学校・地域が連携した防災学習の機会を提供し、災害への備えや自分たちができることを考える機会とする	羽場・丸山まちづくり委員会の協力を得ながら、防災学習の事前学習も兼ねて実施。 《実施内容》 防災学習事前学習会(地域の危険個所の確認、自主防災会の取り組み)							
	目的	【成果と課題】 ○地域での防災や備えについて中学生が学んだうえで、自分たちの目で危険箇所を確認することが出来た ●中学校との依頼や打合せが十分に行えず、急な依頼となっていました 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 打合せの時間も加味して余裕を持った依頼をしてもらえるよう中学校にお願いをしていく							

丸山公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山ゴルフ大会		地区費 継続	2	54	18	3,232	5月24日(水)、10月18日(水)	飯田カンントリークラブほか
その他	地区住民を対象に、趣味を通じた仲間づくりと交流を図る						【成果と課題】 ○30～80代の幅広い層の参加があり、同じ趣味を持った地区内の住民同士がつながるきっかけとなっている 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 回を追うごとに参加者も増えており、団体として組織化に向けて動き始めている。 来年度中を目途に、社会教育関係団体として独立する予定。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	観月の夕べ		地区費 継続	1	58	58	3,232	9月30日(土)	平和記念風越子どもの森公園
その他	市民を対象に、月を眺めながら音楽を楽しみ、芸術文化について理解を深める						【成果と課題】 ○例年よりも多くの高校生に出演者、運営スタッフとして関わってもらったことで、高校生及び高校教諭とのつながりができた ●実行委員会内で、それぞれの主体的な運営体制をとることが叶わなかった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 実行委員会内の役割分担の見直しや明確化、事業実施に向けた目的の再確認を早い段階から進めていく		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	まるやま石窯部		他会計 継続	6	93	23	3,232	実施内容参照	丸山公民館
その他	地区住民を対象に、食を通じた交流を行い、住民相互の学習を図る						【成果と課題】 ○飲食を伴う交流が再開されたことにより、地域人教育丸山班や丸山保育園などとも連携しながら、会員間の交流を深めることができた ●石窯の有効活用や地区内外PR等について十分な検討時間を確保できなかった 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 結成当時の想いを総会等で改めて共有しながら、主体的で前向きな活動となるよう引き続き支援していく、地域人教育丸山班が考案したピザレシビの活用を検討していく		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	風越山を愛する会		他会計 継続	15	105	97	3,232	実施内容参照	丸山公民館、風越山ほか
その他	市民を対象に、飯田市のシンボル「風越山」の自然・文化・歴史に触れる機会を供給し、風越山の魅力継承と自然保護の意識を高める						【成果と課題】 ○風越山の自然、文化的資源等について自ら現地を歩き見ることで、主体的な学びの場となっている ●会員数が減少傾向にあるため、各種事業を通じて新規会員の獲得が必要 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度の事業計画は愛する会が主体的に検討を進めている。新たに予定している事業もあるため、引き続き愛する会と連携しながら郷土学習、環境学習の場へつなげていく		

丸山公民館の事業報告

No.12

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	羽場・丸山地区二十歳の集い	他会計	継続	1	93	60	97	1月7日(日)	羽場公民館
	目的	羽場・丸山地区合同で各種団体の代表と二十歳の有志により実行委員会を組織している。今年度は持ち回りにより羽場公民館長が実行委員長となった。							
	実施内容	①12/3 地域学習「羽場公園(セントラルパーク)クリーンアップアクション」 二十歳の成人2名が清掃活動に参加し、終了後に公民館長と羽場公園愛護会長と懇談会を実施した。 ②式典及び祝賀会 式典は地区実行委員会主導で開催。飲食を伴う祝賀会は二十歳の成人が主導で実施し、思い出のスライドショーやビンゴ大会など催した。5年前に20歳の自分に宛てて書いて書いた手紙も返却した。							
その他	評価	【成果と課題】 ○二十歳の成人の実行委員(連絡員)は20名の登録があった。二十歳同士のつながりの復活を目的に、夏にプ子同窓会を計画したが、地区外居住者が多く日程が合わず中止となった。その影響もあってか、直前まで二十歳の皆さんのモチベーションが低いように感じたが、祝賀会に必要な買い物や前日準備などには多く集まり、地区スタッフもその自主性や積極性に驚いたほどである。最終的には、当日の式典と祝賀会は盛大に開催することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域との関係を結び直す機会として組み立て、二十歳の成人の主体性を引き出す。							
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校地域人教育	他会計	継続	32	242	8	3,232	実施内容参照	丸山地区内
その他	目的	丸山地区テーマ「神撃の食、降臨～若者と地域の結びつき～」 受け入れ3年目、4月から翌1月までの毎週金曜日を基本として地区内で活動。丸山地区に住む人、特に若い世代と地域のつながりが薄まってきていることを知り、「食」をテーマにした交流が若者と地域のつながりを結び直すきっかけになるのではと考え丸山地区オリジナルのピザレシピを考案した。公民館長はじめ、丸山保育園、いずみの家、パン工房ゆめのや、まるやま石窯部、公民館育成部など多くの地区住民に協力いただきながら授業の支援を行った。							
	実施内容	《内容詳細》 4～7月聞き取り調査・丸山保育園との交流、8～9月公民館事業への参加(人形劇フェスタ、子ども寺子屋、観月の夕べ)、10月ピザレシピ考案、石窯部との試作会、11/4-5文化祭(オリジナルピザの販売)、12/10公民館大掃除、12/21成果発表会、1月年間振り返り、課題研究全校発表会							
	評価	【成果と課題】 ○調査や振り返り、活動を積み上げていくことで自分の意見を自分の言葉で仲間に伝える姿や仲間や仲間の得意なことを生かしながら活動する姿があった ○自分たちの活動を振り返る機会、また、良いものにしたという想いを改めて共有する良い機会となった ●1学期の地域を知る時間を十分に担保できなかった、実践に向け、1学期のうちに土台を作っておくことが必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域人教育での経験を生かし、羽場公民館とも連携しながら丸山地区内の高校生に向けたアプローチを進めたい							

東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	3館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野)	市・地	継続	17	229	13	25	実施内容参照	東野公民館など
学級・講座	乳幼児と保護者を対象に、子どもと親子の触れ合いの場、子ども同士・親同士との交流の場を作り、地域の中で乳幼児のうちに健全な成長を図る。	市・地	継続	17	229	13	25	【成果と課題】 ○学級があるおかげで、同世代の子どもを持つ親同士が顔見知りになり、後半には連絡先を交換する姿が見られた。 ○子どもも一緒に遊べる学級の時間を楽しみにしてくれた。 ●3地区合同ということもあり、地区ごとに顔見知りまでにはなれなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も参加希望数によって合同での開催とする。親同士や子ども同士が交流できる場とし、3地区合同であるため、地区ごとに交流ができるような仕掛けも行う。	東野公民館など
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	独居高齢者学級「五福の会」	市・地	継続	20	122	7	200	実施内容参照	東野公民館
学級・講座	70歳以上の独居高齢者を対象に、健康づくりと交流の場づくりを図る	市・地	継続	20	122	7	200	【成果と課題】 ○参加している独居高齢者にとっては月2回に仲間と顔を合わせて交流し、健康について考える機会となった。 ○講座終了後にみなでお茶を飲み合う時間では、お家であったことや周りの地域であったことをワイワイ話し、その時間も参加者は頼みにしている。 ●参加者は女性のみであるため、男性の独居高齢者の参加を促す工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学級の初めの童謡歌唱や茶話会の時間など、仲間と交流する時間を大切にしながら、自身の健康寿命を延ばす内容を参加者と一緒に組み立てていく。	東野公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	女性学級「めだかの学校」	市・地	継続	12	173	14	1,391	実施内容参照	東野公民館
学級・講座	地区内女性を対象に、主体的な学習・交流を図る	市・地	継続	12	173	14	1,391	【成果と課題】 ○新たに人を含めた新規入会者も増え、新しい知り合いが会の中でできている。 ○内容は昔から会に在席されている方が中心に組み立てているが、新しい方の意見も取り入れながら組み立てることができた。 ●会の目的や、みんなの学級であることを共通意識として持ちながら進めていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 館長、主事が主導とならないように会員と一緒に内容を考え、会員が仲良く交流し、学習できる内容を入れ込んでいく。	東野公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	書初め書道教室	市・地	継続	1	11	11	2,693	1月4日	東野公民館
学級・講座	小中学生を対象に、書道の上手な上達を図る機会を設ける	市・地	継続	1	11	11	2,693	【成果と課題】 ○時間中に課題が終わった子が上級生に学校の話をするなど書道以外の時間で学校の様子の情報共有ができていた。 ●課題以外にも新年の抱負なども書いてもらおう等の工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 毎年、このこの教室で学校の課題を終わらせる子もいる。出来上がった課題を皆でほめたり、地域の大人からも褒めてもらえるような機会としたい。	東野公民館

東野公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	東野図書分館お楽しみ会	市・地	継続	4	60	15	200	実施内容参照	大宮諏訪神社など
	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図り、本を通じた参加者同士の交流の場とする	市・地	継続	4	60	15	200	実施内容参照	大宮諏訪神社など
	目的	第1回 4月16日(日) 大宮諏訪神社での読み聞かせ 第2回 7月1日(土) 七夕会 第3回 10月29日(日) 大宮諏訪神社での読み聞かせ 第4回 12月9日(土) お楽しみ会	市・地	継続	4	60	200	実施内容参照	大宮諏訪神社など
学級・講座	夏休み子ども寺子屋	市・地	継続	1	60	60	2,693	7月28日、29日、30日	東野公民館など
	東野地区内の小学生を対象に、夏休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。	市・地	継続	1	60	60	2,693	7月28日、29日、30日	東野公民館など
	目的	夏休みの3日間、東野地区基本構想部会と公民館が連携し、子ども達の居場所や子ども同士の交流、子どもと地域の大人たちの交流を目的に実施。 1日目 7月28日(金)…座禅体験(長久寺)、動物園へ行ってみよう 2日目 7月29日(土)…環境の話(お魚博士)、川遊びに行こう(野底川) 3日目 7月30日(日)…工作で行灯を作ってみよう、ボール遊びをしよう	市・地	継続	1	60	2,693	7月28日、29日、30日	東野公民館など
学級・講座	春休み子ども寺子屋	市・地	継続	1	60	60	2,693	3月22日、23日、24日	東野公民館など
	東野地区内の小学生を対象に、春休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。	市・地	継続	1	60	60	2,693	3月22日、23日、24日	東野公民館など
	目的	春休みの3日間、東野地区基本構想部会と公民館が連携し、子ども達の居場所や子ども同士の交流、子どもと地域の大人たちの交流を目的に実施。 1日目 3月22日(金)…トランポリン教室(松川町公民館)、稲葉クリーンセンター、グリーンハレー千代 2日目 3月23日(土)…工作、エスバード(施設見学、オリジナルコースター作り) 3日目 3月24日(日)…防災学習	市・地	継続	1	60	2,693	3月22日、23日、24日	東野公民館など

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2023東野地区公演	市・地	継続	3	200	60	2,693	実施内容参照	大宮諏訪神社など
	地区内の5会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのもつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す	実施内容	【成果と課題】 ○地区実行委員会で、見に来る人も、演じる人も、運営する自分たちも笑顔になるような、東野らしい皆が楽しめる地区公演を実施できた。 ○分館の公演は分館が主体で進めてくれていて、分館内のつながりを強める機会となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 地区公演を点として考えるのではなく、文化部でも協議しながら、実施に活動と結び付けて考えた際に何ができるのかを文化部でも協議しながら、実施に向けて進めていく。						
文化事業	目的								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	第51回東野区民文化祭	地区費	継続	2	560	480	2,693	実施内容参照	東野公民館
	地区住民を対象に、芸術文化に触れ、住民相互のコミュニケーションを図る機会として実施。	実施内容	【成果と課題】 ○芸術発表では、普段夜間の利用で地区住民に活動が知られていない団体にも声を掛け、発表の機会とし、住民も活動を知れコミュニケーションをとる機会となった。 ○中学生ボランティアの姿を多くも地区住民に見てもらえたことができた。 ●展示発表会では、出品者が説明する場面もあったが、作品の説明や出品者が来られない時に説明ができない場面があった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 多くの住民が楽しみにしているが、出演や出品団体が減少している。公民館を活用している多くの団体に声を掛けると共に、団体の発表の場を作っていく。						
文化事業	目的								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	お正月行事	地区費	継続	1	32	32	2,693	1月14日	東野公民館
	子どもを対象に、昔の遊び・餅つきなどを体験を通して多世代交流と文化継承を図る	実施内容	【成果と課題】 ○コロナ禍も明け、久しぶりにお餅つきを行い、できたてのお餅を参加者と一緒に食した。久しぶりのお餅つきを楽しみにしていた参加者もあり、皆で楽しく正月行事を行った。 ○基本構想推進部会と共催の中で、伝統的な食事である七草がゆについての勉強会も行った。 ○参加された子どもにも、はじめて聞いたこともあったようで、伝統行事について学ぶ機会ともなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 引き続き、開催を計画していく。学習の部分も大切にしながら、内容を各団体と協議していく。						
文化事業	目的								

東野公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	しめ縄づくり		市・地	継続	1	19	19	2,693	12月12日	東野公民館
	住民を対象に、高齢者の持つ知恵や技術を次世代に繋げる交流の機会を図る	実施内容	正月を迎える準備として、正月飾りを自分の手で作ることに挑戦する機会として開催した。薫すぐりから体験し、縄ない、飾りの作成。 講師：大木島勇司氏							
	目的		【成果と課題】 ○参加者は大人が多く、自宅に飾る用のおやすを毎回楽しく作っている。 ●毎年お願いしている講師のお1人が体調不良となり、講師は1人での実施となった。参加者の中で長く参加いただいている方に講師をお願いするなど、今後も引き継いでいけるような体制が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 毎年楽しみにしている方もおり、来年度も実施する。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ランジソフトボール大会		地区費	継続	2	150	75	2,693	5月22日、23日	飯田東中学校
	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	実施内容	屋外で楽しめる競技を通して地区民の交流の機会として2日間に分けて実施。 多くの住民が参加し、町内をまたいだ交流が図れた。 参加チーム数8チーム 優勝：東新町1. 2・鈴加東新合同チーム 準優勝：高羽町南							
	目的		【成果と課題】 ○多くの住民が平日夜間でも参加し、試合を通して町内だけでなく、町外の住民とも交流することができた。 ●参加者の固定化も戻受けられるため、より多くの住民が参加しやすいよう各町内での声掛けや合同チームを検討するなどしていく。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 より多くの住民が参加しやすく、交流も図れるようにルールや要項を検討していく。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるバレー大会		地区費	継続	2	200	100	2,693	7月10日、11日	飯田東中学校
	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	実施内容	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として2日間に分けて実施。 参加チーム数：14チーム 優勝：錦町Aチーム 準優勝：宮ノ上Bチーム							
	目的		【成果と課題】 ○運動量が多いが、多くの世代の参加があるため、世代を超えた住民同士の交流の機会として貴重な場となった。 ○地区内でも浸透し、この日の為に町内で練習するなど、町内のつながりを強める機会もなっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 運動量が多いため、運動不足解消にもつながるが、高齢者にとっては難しいスポーツとなっている。一方で、若年層や青年層の参加が多く、その層の交流の機会として大切にしたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	クッパ大会		地区費	継続	2	190	95	2,693	11月8日、9日	飯田東中学校
	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	実施内容	コロナ禍の中、屋外で楽しめるニュースポーツに挑戦しようと2日間に分けて実施。今年度で4回目。 参加チーム26チーム 優勝：諏訪町Aチーム 準優勝：諏訪町Bチーム							
	目的		【成果と課題】 ○地区で行われて4回目を迎える。地区内でも浸透し、ルールを覚えた住民が増えている。 ○寒い中での競技であるが、多くの住民が参加している。ニュースポーツの楽しさを感じてもらうことができている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 経験に左右されない部分も競技の中にあり、失敗しても笑い合える住民同士の関係性がより強固になっている。次年度もニュースポーツの楽しさを地区内に波及させるため、実施したい。							

東野公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール大会		地区費	継続	1	100	2,693	2月4日	飯田東中学校
	目的	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として実施。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 参加チーム数:31チーム 優勝:囲基ボールクラブBチーム 準優勝:宮の前Bチーム							
	実施内容	【成果と課題】 ○囲基ボールは老若男女だれでも参加しやすいニュースポーツであることから、参加しやすい日曜日に開催。結果、多くのチームが参加し、住民同士の交流が行えた。 ●同日に別の事業があり、子ども達の参加が少なくなっていました。事業予定の共有を密に行う必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 社会教育関係団体からもチームが参加し、また、平日夜間の体育部事業には参加されない世代の参加があるなど住民同士の知り合いが増えていく機会として継続して実施する。							
体育事業	ペタンク大会		地区費	継続	2	200	2,693	9月4日、5日	飯田東中学校
	目的	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として今年度で5回目を迎える。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行う多くの人が参加しやすいように東野ルールを適用し、実施。 参加チーム数:28チーム 優勝:錦町Aチーム 準優勝:宮ノ上Dチーム							
	実施内容	【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も継続して実施し、各町内から1チームでも参加できるよう声掛けを行い、より多くの住民の交流を図る。							
広報事業	まちづくり会報「ひがしの」発行		地区費	継続	5	30	2,693	通年	-
	目的	年間発行回数:5回 各回発行部数:1300部 広報部員とまちづくり会議選出の1名が編集を行い、まちづくり会議が発行している。住民に問題提起をし、考えてもらうような、地域に密着した誌面作りを行った。 今年度は住民の顔が見える様に、顔写真を多く出し発行した。 各号発行:第74号6/14 第75号9/13 第76号11/15 第77号1/31 第78号3/27							
	実施内容	【成果と課題】 ○写真が多く掲載され、住民も目を通すきっかけになるようで、多くの写真を掲載していきたい。 ●地域の問題を提起し考えてもらう内容については広報部でもその課題について話し合い、考えていくようにしたい。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 継続して、発行していくが、課題提起の記事と事業の記録としての記事のバランスを考えながら、内容を協議していく。							

東野公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	キッズチャレンジ手作り体験	市・地	継続	1	32	32	2,693		東野公民館
	実施内容	カップケーキ手作り体験 講師：有限会社トップ代表取締役 原 寛 氏 コロナ禍も明け、飲食の制限もなくなったことから、子どもが喜ぶ食べ物をみんなで作って一緒に食べて交流したいという想いから、カップケーキ作りを行った。 グループに分かれ、講師にご用意いただいたカップケーキを参加者それぞれでデコレーションし、思い思いのクリスマスケーキを作り、食した。							
	目的	【成果と課題】 ○自分の好きなトッピングをたくさん載せるなど個性が出せ、子ども達のオリジナルケーキとなった。 ○参加した子どもだけでなく、保護者からも好評で、写真を取り合ったり、講師へ質問をしている場面も見られた。 ●子どもたちに体験させたいことを出し合う際に、なぜその体験をさせたいのか等理由を部員の中でも共有していくことで、より部員にとっては自分事の事業となるようにしたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今の子ども達に必要な体験を提供できる場であり、それを話し合う機会が育成部会で作られる。その時間を大切にし、部員から出てくる意見を大切にしたい。							
育成事業	小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈	地区費	継続	1	38	38	38	3月15日	東野地区内
	実施内容	地区内の小中学校の卒業生へ地域として、卒業を祝い、卒業後の活躍を願って記念品を贈呈。 小学校卒業生へは、獅子頭のストラップのお守りを、中学校卒業生へは、責任がある行動が出来るようにと印章をそれぞれ贈呈する。							
	目的	小学生・中学生卒業生を対象に、地域に居守られて育ったことを実感する機会とする 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 保護者や児童、生徒から感想や疲し方などを検討し、より地域を感じられる機会としたい。							
合同事業	橋北・橋南・東野地区 二十歳の集い	市・地	継続	1	71	-	96	1月7日	飯田市公民館
	実施内容	実行委員会を組織し、新成人が自ら企画運営に携わり地域の大人と関わる機会を持つ。 地域学習や成人式典内の催を通じて、新成人が地域の魅力を再発見し、改めてふるさとに愛着と誇りを持てる機会とする。 【開催概要】 写真撮影(全体、クラス別、地区別)、式典(開会の辞、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、地域学習発表、二十歳代表挨拶、記念品紹介、開会の辞)、祝賀会(ムービー上映、ビンゴ大会)							
	目的	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 開催会場、実施の仕方について検討の必要あり。							

東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	92	-	5,793	7月16日	橋南公民館
	地域住民を対象に、身近な場所でのレベルの高い音楽を楽しめる機会を図る	3地区の公民館委員を中心に、県外からプロの演奏者を呼びコンサートの企画・運営を行う。Aru企画共催事業。 【開催概要】 演奏者:なついろカルテット 【成果と課題】 プロの演奏を身近な場所で楽しめる機会として実施。橋南夏祭りと同時開催とし、事前のチラシ配布や夏祭りでのアナウンスによる誘導を行うことで、多くの方に足を運んでもらうことができた。子どもから高齢者まで多くの方が訪れ、音楽に触れる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 開催時期、依頼団体など工夫しながら、来年度以降も続けていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室「青空スクール」	他会計	継続	36	3,996	111	458	通年	丸山小学校ほか
	地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す	丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。平成19年より開始。放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。今年度は111名の登録があった。 【通常の活動】 活動日:毎週水曜日(33回) 活動内容:バドミントン(体育館)・卓球(ブレイルーム)・ミニサッカー(グラウンド)・工作(図工室) 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 8/20 お楽しみ会(ホバークラフトを作ろう) 12/16お楽しみ会(囲碁ボール) 3/3 まとめの会 【成果と課題】 ○活動を通じて、丸山小学校の児童が3地区の大人と地域をまたいで顔見知りとなり、学校外で出会ってもあいさつをし合える関係作りができている。各地区の公民館事業への入り口となったり、地域の大人にとっても子どもたちと一緒に遊び、子どもと顔見知りになる事が楽しいと感じてもらっている。お楽しみ会では保護者との懇談の時間をとり、地域と保護者が考えていることの情報共有を行っている ●参加希望児童の増加やスタッフの高齢化など運営上の課題があり、学校や教育委員会などとも協議していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域の子どもと大人が顔見知りになり、お互いにとって良き関係性作りができている。運営上の課題を協議しながら継続する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校PTA公民館共催講演会	市・地	継続	1	42	458	3,232	12月19日(火)	丸山小学校体育館
	丸山小PTAおよび教職員、地域住民を対象に、人権教育及び家庭教育の推進を図る	丸山小学校、丸山小学校PTA、羽場公民館、東野公民館と共催。 テーマと講師選定はPTAの課題意識、興味関心から設定。今の時代を生きる子ども達の実態や現状を改めて知りながら、各家庭にも持ち帰ることが出来るよう意識して実施。 テーマ:「今、子ども達に必要なこと、大切なこと」 講師:矢澤朗子氏(南信教育事務所、ソーシャルワーカー) 【成果と課題】 ○保護者自身の幼少期を振り返る時間も作りながら、子どものことについて時間をかけて考える場となり、不登校やインクルーシブ教育について理解を深めることができた ●地域からの参加者が非常に少なく、周知に工夫が必要 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 PTAの課題意識や興味関心を大切にしながらテーマ設定をしていく 地域からも多くの方に参加してもらえよう組合回覧以外の方法での周知も検討したい							

— 74 —

座光寺公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	びよびよ学級(0-1歳学級)	市・地	継続	11	109	18	46	実施内容参照	座光寺公民館
	0～1歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。		・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 開催日 5/19親子遊び・座光寺図書館案内、6/23座光寺つどいの広場訪問、7/14来賓講演、8/25親子遊び・おんが組講座、9/15工作、10/20竹田人形館訪問、11/17クリスマス会準備、12/15クリスマス会、1/19文化祭作品づくり、2/16新聞遊び、3/1手型足型作品づくり				【成果と課題】 幼児の発達段階にあわせた体を使った遊びの指導や子育てに関する相談に応じながら、母親同士の交流する機会づくりに取り組むことができた。 親子で楽しみながら学習する要素を取り入れていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の希望を聞きながら、子育てに関する悩みや課題解決につながる講座を組み立てていきたい。		
学級・講座	たんぽぽ学級(2-3歳学級)	市・地	継続	11	65	11	54	実施内容参照	座光寺公民館
	2～3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てをする親を支える」「仲間づくり」の場づくり。		・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 開催日 5/31手形とり、座光寺図書館案内、6/21地区内探検(竹田人形館・元善光寺他)、7/13トイレットレーニング講演・座光寺つどいの広場紹介、8/24親子遊び、9/21電車でおかけ(中川村ふどう祭り)、10/19飯田消防署訪問、11/16運動会(体を使った遊び)、12/14クリスマス会、1/18文化祭作品づくり、2/22親子ヨガ、3/7手形作品づくり				【成果と課題】 幼児の発達段階にあわせた遊びの指導や子育てに関する相談に応じながら、母親同士の交流する機会づくりに取り組むことができた。 親子で楽しみながら学習する要素を取り入れていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の希望を聞きながら、子育てに関する悩みや課題解決につながる講座を組み立てていきたい。		
学級・講座	子育て応援講座	市・地	継続	2	17	29	100	実施内容参照	座光寺公民館
	0歳～3歳児までの親子を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく子育て支援グループの発足を図る		現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座として、0歳～3歳の子どもを持つ親子全員を対象に、2回実施した。 第1回 10/27 絵本の読み聞かせとスマホとの付き合い方 講師：下沢 洋子先生 参加者 第2回 1/28 ファミリーデー(パパ子ふれあい遊び、ママヨガ) 講師：森下 知里先生 参加者				【成果と課題】 スマホという身近で便利な道具をテーマにして子ども達の発達へのリスクなどを扱ったことで、各母親が危機感を持って真剣に向き合う講座となった。 第2回では普段あまりない父親のみでの親子遊びと母親単独でのヨガを行ったことにより、父親同士・母親同士のつながりづくりに結びついた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の希望を取り入れながら、学習だけでなくつながりづくりとなる講座を組み立てる。		
学級・講座	三六災害の聞き取り	市・地	新規	1	16	16	4,151	3月2日	座光寺公民館
	地域住民を対象に、「ともに学び、ともに成長する」場としてお互いがお互いをお互いやれる学びと交流の機会とする。		地域の古くから災害の記憶を聞き取り、地域の歴史について学ぶとともに、現在の日常を足えなおす学習の機会として開催。 三六災害を経験した地区内のお年寄りに、それぞれ当時の記憶を話していただいた。				【成果と課題】 実際に被災した地域住民の話を聞くことで、昨今の災害への対策を考えることができ、住民同士の交流の機会にもつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き住民同士が交流して学びあえる講座を組み立てる。		

座光寺公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	麻績いきいき大学(一般教養講座)	市・地	継続	4	39	28	4,151	5月24日、9月20日、11月9日	座光寺公民館他
		・陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、水墨画部、詩吟部、キーボード・アンソナルに入部し、各部で自主的な運営企画を随時行う。その他に全体活動として一般教養講座を開催しており、一般教養のみの受講生もいる。 第1回 5/24「飯田城そぞろ歩きのコツ」 参加者:16名 第2回 9/20「ニューススポーツ交流 囲碁ボール」 参加者:8名 第3回 11/9「かんてんばっば工場見学とバスの旅」 参加者:15名 訪問先:かんてんばっばガーデン、光前寺 講座の企画のために運営委員会を計3回実施 第1回 4月19日 第2回 7月20日 第3回 1月31日							
	高年齢者の生涯学習推進を目的に「ともに学び、ともに成長する」場とする。	【成果と課題】 各学部の活動は参加者による自主運営により随時開催され、その活動は高齢者のやりがいとなっている。 教養講座については、参加者から選出された運営委員が主体となり、同年代の方向けの悩み課題や自身の興味関心から講座の組み立てを行っており、学習意欲の向上と学習機会の確保につながっている。 参加者の高齢化に伴い、講座に出ることが難しい方もいるため、より広い年齢層の参加促進が課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 運営委員の負担軽減も図りながら、多くの方が興味を持てる講座を組み立てていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	座光寺地域探訪	市・地	継続	1	-	10	4,151	11月18日	座光寺地域内
	小中学生とその保護者を対象に、座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む。	地域の文化や歴史資源から自分たちの地域に誇りと愛着を持ち、地域を語ることができると人材育成のため、地域内の歴史資源を歩いて回る事業を歴史に学び地域をたずねる会との共催事業として計画。雨天により中止 行程:原宮崎会所→伊那街道→善光寺街道→宮崎堤→大堤→耕雲手→二十三屋敷 【成果と課題】 座光寺上段に残る歴史資源を回ることにより、親子で地域の文化や歴史を学ぶ機会になる。 雨天により中止となったため、開催時期の再考や屋内で学習できる事業組み立ても含めて検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き地域内の歴史資源を活用した事業展開を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	歴史講演会	市・地	継続	2	80	40	4,151	7月16日、2月3日	座光寺公民館他
	地域住民を対象に、座光寺の歴史や習慣・文化を学習し地域への愛着心を育む。	地域の文化や歴史資源から自分たちの地域に誇りと愛着を持ち、地域を語ることができると人材育成のため、歴史に学び地域をたずねる会との共催事業として実施。 日時:7月16日 「元善光寺の善光寺如来絵伝の絵解き」 会場:1回目 麻績舞台校舎 2回目 元善光寺(同内容で2回実施) 講師:小林鈴子氏(長野郷土史研究会副会長) 日時:2月3日「5世紀ヤマト政権を支えたイナノの馬と人」 会場:座光寺公民館 講師:小林正春氏(長野考古学会会長) 【成果と課題】 地域に残る歴史・文化的遺産(善光寺如来絵伝、古墳)を扱った講演により、地域のことを深く学び地域に愛着をもって語れる人材の育成に寄与した。 若い世代の参加が少なかったため、若い世代にも参加してもらえるよう講座の内容を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域内の歴史資源を扱いながら、若い人たちも興味を持てる講座を組み立てていく。							

座光寺公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	古文書講座		市・地	継続	12	240	20	実施内容参照	座光寺公民館
	目的 地域住民を対象に、座光寺の歴史や習慣・文化を学習し地域への愛着心を育む。 実施内容 「古文書が読めたら世界が広がる」～ゼロから始めよう古文書講座～ 講師：歴史研究所 羽田真也氏 日時：毎月第3金曜日 共催：歴史に学び地域をたずねる会						【成果と課題】 年齢や男女問わず様々な方が参加しており、実際の古文書を通じて情報を得ることで地域の歴史や文化をより身近に感じられる機会となっている。 座光寺地域にあった古文書を扱うため、地域の地名や人名が出て、地域に親しみやすい講座となっている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 引き続き地域内の古文書を扱う講座として継続する。		
文化事業	いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演		地区費	継続	1	98	98	8月4日	座光寺保育園
	目的 子どもたちを対象に人形劇を通じて芸術文化の振興を図る。 実施内容 保育園、保護者会、公民館が連携して開催。 劇団「そらのゆめ」さんによる公演と園児との給食交流会を行い、劇人との交流を図ることができた。						【成果と課題】 コロナ禍で開催できず、久しぶりの保育園公演となった。園児たちも巻き込んだ劇となっており、子どもたちも興味を持って観劇することができて、人形劇文化に触れる機会となった。また、給食を食べながら触れ合うことで、劇人と園児の交流が深まり、人形劇をより身近に感じてもらうことができた。 園内の大会場に冷房がなく、熱を出す子どもがでてしまうなど熱中症対策が大きな課題となっている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 開催場所等検討しながら、園児が人形劇を身近に感じてもらえる講演づくりを行う。		
文化事業	座光寺人形劇まつり		地区費	継続	1	307	307	8月5日	座光寺公民館
	目的 座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて芸術文化振興を図る。 実施内容 公民館内の2部屋でローテーションを組み、3劇団リレー形式で公演を実施した。 あわせて、公演が子どもたちの印象に残り、子どもたちが人形劇に親しみを持てるように、劇団からのクイズ・おたのしみ抽選会・写真撮影を行った。 公民館前では軽食の屋台を設営し、公民館内に自由に利用可能な交流スペースも設けた。 ・人形劇まつり実行委員会 7月27日(木)開催 公民館文化委員、公民館正副部長、壮年団、PTAが集まり、各団体間の連携による一体的な会場運営について協議した						【成果と課題】 3劇団の連続公演により効率的なタイムスケジュールで運営でき、より多くの方が観劇することができた。特に地元小学生の上演は地域内でも人気であり、多くの地域住民に人形劇を観劇してもらう機会となった。 スケジュールが合わず、公演後の交流会に劇人が参加できなかったため、対人的な交流によって人形劇に親しみをもちつことが難しかった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 座光寺小学校の人形劇を取り入れながら、大人を含めた地域住民に関心をもちってもらう人形劇まつりの開催に努める。		

座光寺公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺地域文化祭		市・地	継続	1	800	4,151	2月3日、4日	座光寺公民館及び周辺施設
文化事業	地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。	実施内容	【成果と課題】 地域の個人や団体の成果発表の場として、展示や発表が多く出されていた。各体験コーナーでは、子どもたちと地域の大人が交流する様子も見られ、住民同士のつながりをつくる一助になった。 インフルエンザやコロナウイルスの感染拡大により、欠場する団体があったほか、小中学校の各発表への参加が取りやめになってしまい、これまでの成果を発揮することができなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染対策を講じながら、引き続き各種団体の活動発表の場をつくとともに、参加者が増加するよう工夫した取組を検討する。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	大人の交流事業		地区費	継続	1	12	12	2月24日	座光寺公民館
文化事業	大人を対象に体験学習を行い、学習意欲の向上を図る	実施内容	【成果と課題】 ワインをテーマとして大人が興味を持てる内容にしたため、興味関心を持って講座を受ける方が多かった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き興味関心にあわせて学習意欲向上につながる講座を組み立てる。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	麻績の里地域づくり種まき大賞		地区費	継続	1	45	45	2月3日	座光寺公民館
文化事業	地域に良い種を蒔いてくれた方を表彰することでの新たな芽吹きへとつなげる。	実施内容	【成果と課題】 子どもたちとのふれあいを大切にして動物の飼育を行っている当団体を表彰したことで、表彰者自身も活動に自信を持つことができ、さらなる活動の推進につながったと思われる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き地域内で取り組まれている活動を探し、表彰していく。						

座光寺公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺地域二十歳の集い		市・地	継続	1	32	41	1月7日	座光寺公民館
文化事業	座光寺地域の二十歳の方(4名)と文化部員が中心となって実行委員会を組織し、当日の企画運営を行った。記念式典と祝賀会を開催。 【式典内容】 地域からのお祝い企画(餅つき)、座光寺の歌斉唱、来賓祝辞、祝電披露、二十歳代表あいさつ、恩師からの言葉、保護者・来賓からのエール、地域学習報告、記念品紹介 【地域学習の内容】 「座光寺の小学校の今と昔」をテーマに校舎内探索と教員への聞き取り ・実行委員会 9月2日、9月21日、10月13日、11月7日、12月11日、1月5日開催	実施内容					【成果と課題】 当初地域学習や式典の打合せに意欲的でなかった実行委員が、文化部員との顔合わせや会議を重ねるにつれて、意見を出し合い自分たちで組み立てを進めるようになり、変化を感じた。 地域からはお祝いの企画として餅つきを行い、二十歳の方も含めて全員で餅をつくことで会場一体での取組になり、地域で祝う式典を強調することができた。 地域学習や祝賀会等で二十歳の方と地域の方との交流が少なかったため、地域学習の内容も含めて地域とさらに関わられるように検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 二十歳の方と地域の方の交流やふれあいを大切にして事業の組み立てを行う。		
	今年度二十歳を迎える方を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持ってもらうようにする。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	春季・冬季スポーツ大会		市・地	継続	2	240	4,151	6月4日、3月3日	座光寺小学校校庭、体育館
体育事業	春季・冬季スポーツ大会						【成果と課題】 ニュースポーツを含めて複数の種目を設けたことにより、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のスポーツ大会となり、コロナ前同様に体を動かす機会となった。 人数が少ない地区については、他地区との合同チームを認めたことで、地区を越えた住民交流につながった。 地区によっては人数集めに苦労しているとの声もあり、住民に負担をかけないやり方を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 住民に負担をかけず、スポーツを通じた交流の機会づくりを検討する。		
	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺地域市民運動会		市・地	継続	1	889	4,151	10月8日	座光寺小学校校庭
体育事業	座光寺地域市民運動会						【成果と課題】 開催内容を見直し、半日日程での開催としたことにより、種目への出場要請が減り、地区の負担軽減につながった。 また、小学生対象種目の実施、中学生企画による種目の実施、飯田OIDE長姫高校による試食品フースの出店など、世代を超えて子どもと大人が交流する機会となった。 地区への負担軽減を図りながら、交流の機会をどう確保するかが今後の課題である。		
	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地区内のコミュニケーションを図る	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区への負担軽減を図りながら、交流の機会を確保するよう検討する		

座光寺公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区交流月間		地区費	3	62	62	4,151	6月1日～2月29日(実施日は各地区による)	座光寺地域内各地区
	目的	住民の体力増強とスポーツ及び懇親会を通じて地区内の交流や親睦を図る	継続						
	実施内容	「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」をテーマに、スポーツにとらわれず地区住民が交流を図れる場として、各地区に実施を依頼。期間6月～2月に各地区で開催日を決め企画運営を行う。 【成果と課題】 分館がない座光寺地域において、地区毎に取組み、地区の絆づくりが目的とされる貴重な事業となっている。 今後は実施地区のさらなる増加を図る必要がある。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 地区内の交流が促進されるよう工夫を凝らしながら事業を実施する							
体育事業	おうちde簡単ストレッチ		地区費	3	-	-	4,151	実施内容参照	-
	目的	住民の健康推進及び体力増強を図る	継続						
	実施内容	体育部員が家でできるストレッチ体操を紙面にまとめ、各戸配布で紹介することにより、住民に自宅で体を動かす機会にしてみようため実施。 各号表面にストレッチの紹介、裏面に座光寺地域内のスポーツ団体の紹介を掲載。 【内容】 7月 表：背中、体幹トレーニング 裏：野球クラブ紹介 1月 表：腸活ストレッチ 裏：バレークラブ紹介 3月 表：股関節ストレッチ 裏：剣道クラブ紹介 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 地域内で活動する団体紹介は好評のため、内容を一部変更しながら継続したい。							
広報事業	広報座光寺		地区費	6	-	-	4,151	実施内容参照	-
	目的	公民館事業に限らず地域の活動経過や取組みの紹介、地区の歴史等を掲載し、地域を知るための情報提供。	継続						
	実施内容	公民館広報部と自治会選出員(4名)で構成されており、公民館事業だけでなく広く地域事業に関わる内容を掲載。 (実施内容) 発行：年6回(6月、9月・運動会特集、12月、二十歳の集い特集、3月) 発行部数：1300部(全戸配布) 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 部員自身も地域への意識を高めることができる紙面づくりに取組んでいきたい。							
広報事業	広報座光寺お知らせ版		地区費	12	-	-	4,151	実施内容参照	-
	目的	座光寺の次月の予定をお知らせ版として集約し配布することで、情報の一本化だけでなく幅広い情報を地域への発信をする。	継続						
	実施内容	広報座光寺では記事に掲載しきれない毎月の地区の情報や、次月のお知らせを各戸へ発信する。 (実施内容) 発行：毎月最終木曜日 年12回 発行部数：1300部(全戸配布) 評価 【成果と課題】 情報がA4用紙1枚に集約されているため、地区でもお知らせ版から情報を得ることが定着している。 毎月発行のため、主事中心に紙面構成せざるを得ない状況である。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 漏れない情報提供のため、今後も必要な情報を発信していく。							

座光寺公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春書初め会	地区費	継続	1	20	20	4,151	1月4日	座光寺公民館
	目的	お正月の世代間交流事業として実施。 子ども達は各自好きな言葉、書きたいことを持ち寄り集中して取り組む。 健全育成部と保護者は子どもたちの書を見守りながら、一緒に書いたり指導をする。 講師：塩澤哲夫氏 参加者：小学生11名、中学生2名、保護者7名、育成部5名							
	実施内容	【成果と課題】 子どもたちは一列に並びながら集中して書に取り組んでおり、書初めの経験を積むことができた。 大人の中にも一緒に書を書く方がおり、子どもへ指導するなど親子で触れ合う場面も見られた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 大人にも書を書いてもらえる機会づくりを検討したい。							
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	一年間実施した「麻績の里体験学校」の活動をスライドショーで振り返った後、子どもたちに感想や反省を出してもらい、事業ごとに紙にまとめて次年度事業へつなげていく。保護者に対しても次年度事業で取り組んでほしいことなどを聞いた。 参加者：保育園2名、小学生7名、中学生1名、保護者6名、育成部6名							
	実施内容	【成果と課題】 子どもたちから意見をだしてもらっただけでなく、保護者からも取り組んで欲しい事業を聞き取ったことで、次年度の活動へつなげる取組ができた。 保護者や子どもからは現状の事業で良いとの反応が多く、新たな事業展開の参考とすることはできなかった。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 活動を振り返る機会としてまとめの会は継続しながら、より多くの方の意見を拾えるように検討する							
育成事業	座光寺小学校科学実験教室	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	子どもたちが体験を通じて自然や科学に興味を持てるような授業を提供するために実施。 コロナウィルスによる学級閉鎖の影響やタイムスケジュールを考慮して、1日開催で予定していた内容を2日間に分けて開催。 講師：おもしろ科学工房 11月24日 3年生38名 「超低温の不思議な世界」 1月26日 2年生43名 「空気の実験」 6年生40名 「モデルロケット製作と打ち上げ」							
	実施内容	【成果と課題】 子どもたちの目の前で多くの実験をしていただいたことで、科学を体験する機会となった。製作工程において、健全育成部員が子どもたちの補助をしたことで地域の方と交流する機会にもなっている。 平日中の開催のため、スタッフの負担軽減を考える必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 科学に触れ合う授業は維持しながら、PTAなど各種団体と連携した事業展開を検討する。							

座光寺公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと体験	市・地	継続	2	37	37	4,151	9月24日、11月5日	座光寺地域内、麻績のひろば
	目的	地域の文化や歴史資源から郷土を愛する心を育て、自分たちの地域を感じる事業として実施。 9月24日 古墳ウォークラリー 講師：歴史に学び地域をたずねる会（共催） 参加者 保育園児3名、小学生5名、保護者5名、育成部6名 座光寺地域内の古墳をスタンブラー形式で回り、各所で説明を聞いて学習する ・歴史に学び地域をたずねる会との合同会議及び現地確認 7月19日、8月23日開催 11月5日 火おこし体験 講師：飯田市文化財保護活用課 参加者 保育園児4名、小学生10名、中学生1名、保護者9名、育成部7名 昔の生活の様子を文化財保護活用課職員に話していただいた後、実際に火をおこす体験を行う							
	実施内容	【成果と課題】 座光寺内の古墳を回って解説を聞いたことで、地域の歴史資源について子どもたちに学んでもらうことができた。 火をおこすという原始的な体験と古代の座光寺に関する話を通じて、古代の暮らしの様子を学ぶことができた。 小さい子供には歴史の話が難しい様子も見受けられたため、子どもにもわかりやすい話に工夫したり、体験を中心にして事業を組み立てる必要がある 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちが楽しめる事業組み立てを継続する							
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	地区費	継続	5	16	16	4,151	4月1日、2日、3月16日、30日、31日	座光寺地域内
	実施内容	麻績の里舞台桜・石塚桜や周辺にある麻績の舞台校舎・竹田人形館等の座光寺地域の資源について学習し、まつりや桜観光にきた方にガイドを行う。 令和5年3～4月 子どもガイド登録 15名 ガイド実施日 4月1日、2日 令和6年3～4月 子どもガイド登録 16名 事前学習会 3月16日 ガイド実施日 3月30日、31日（桜まつり期間中）							
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	市・地	継続	1	18	29	4,151	8月26日	飯田市美術博物館
	実施内容	星空観察を通じて、科学に親しむ心や自然環境の素晴らしさを実感してもらう機会を提供。 第1部 テーマ：「プラネタリウムで宇宙をのぞこう」 内容：飯田市美術博物館プラネタリウムにて宇宙と星空の解説動画鑑賞 講師：飯田市美術博物館プラネタリウム担当 第2部（雨天のため中止） テーマ：「夏の星空を観察しよう」 内容：校庭で夜空を見ながら、夏の星座・月の観察 講師：奥村茂実氏							

座光寺公民館の事業報告

No.9

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校	子ども科学教室	市・地	継続	1	22	22	4,151	6月24日	エスバード
	小中学生とその保護者を対象に科学を身近に感じてもらう、また、身近な資源について考える力を育む。	実施内容	【成果と課題】 小中学生が科学を身近に感じられる講座として、エスバードの信州大学工学部柳原教授を講師に迎えて実施。 講義名：「飛行機と空飛ぶ車の謎inエスバード」 参加者：小学生12名、中学生1名、保護者9名、育成部8名 内容：飛行機と空飛ぶ車に関する説明、模型飛行機づくりと飛行機飛ばし、ドローンデモ飛行と飛行プログラム実演							
	目的		評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校	子ども自然体験	市・地	継続	2	21	21	4,151	10月15日	パノラマファーム大門
	小中学生とその保護者を対象に、自然と環境について考え、地域への愛着心を育む。	実施内容	【成果と課題】 水辺の広場や地域資源から自然と環境について考える事業として、7月16日に水辺の広場委員会との共催で水生生物観察会、10月15日にパノラマファーム大門・自治会総務文教部との共催でりんごまつりを計画。 水生生物観察会については、川の水位上昇により中止となった。 パノラマファーム大門りんごまつりでは、眺望が良い高台のりんご園にて、りんご狩り、外遊び、焼肉のタレづくりを実施した。 ・水辺の広場委員会との合同会議 5月18日、7月6日開催 ・パノラマファーム大門、自治会総務文教部との合同会議 10月10日開催							
	目的		評価							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校	水辺の広場で遊ぼう	市・地	継続	1	-	35	4,151	7月16日	水辺の広場
	子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人たちの交流、を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	実施内容	【成果と課題】 水辺の広場や地域資源から自然と環境について考える事業として、に水辺の広場委員会との共催で水生生物観察会を計画。川の水位上昇により中止となった。 ・水辺の広場委員会との合同会議 5月18日、7月6日開催							
	目的		評価							

座光寺公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	麻績っ子クラブ(小学校クラブ活動)支援		地区費	1	112	112	213	6月3日	座光寺小学校、座光寺公民館
C S 協働	小学生と地域で活動するグループや団体との交流を通じて、ふるさとへの愛着や文化芸術やスポーツの振興を図る。	実施内容	1年に1回の小学校クラブ活動である麻績っ子クラブ(高学年のみ)に地域のグループや団体、個人の方が講師となり、支援する。 公民館が窓口となり、先生と講師が協力して企画運営する。 (実施種目) 卓球、マレットゴルフ(大雨の影響で中止)、ボッチャ、ワンバウンドふらば～るバレー、ペタンク、生け花、手芸、歴史探訪、ヨガ ・講師と小学校の打合せ 5月15日開催						
	目的	評価	【成果と課題】 地域の方が講師となることによって、地域の大人と子どもとの交流が生まれ、地域へ目を向ける機会となった。特に、歴史探訪では地域内の歴史・文化資源の説明を聞きながら見て学び、地域への愛着を育む取組となった。 講師となる地域の方によっては、1種目20名前後の子どもたちに対応することを負担に感じている声もあり、子どもたちにも多くの選択肢を与えるためにも、種目増加を図る必要がある。 【次年度の方向性と取組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き地域内で活動する団体個人と協力しながら、取組を続ける。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働	総合的な学習の支援		市・地	7	266	38	213	4月～11月	座光寺小学校
	小学生を対象に、地域の人のつながりや様々な文化・風土を学習することで、郷土への愛着やほこりを持つ心を育む。	実施内容	総合的な学習の時間で、地域での学びを支援し、学校・家庭・地域がつながる取り組みを行う。 実施学年：小学校5年生 内容：米作りへの協力(田起こし、代かき、田植え、稲刈り、はざかけ、脱穀、収穫祭) 協力団体：JA青年部の皆さん						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働	座光寺の子どもを語る会推進委員会		地区費	5	115	23	4,151	実施内容参照	座光寺公民館
	座光寺の子どもを語る会 育成について小学校・PTA・地域の三者が連携し、現状の把握と課題に対する取り組み及び報告を行う。	実施内容	【成果と課題】 各団体が忌憚なく現状や子どもに対する思いを意見交換したことにより、課題の把握と自分たちでできる取組を話し合うことができた。 構成員が各団体の長であるため、任期により人が変わることから、取組や意見交換した思いを継続することが課題。 【次年度の方向性と取組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き子どもへの思いや現状を共有できる会を開催していく。						

座光寺公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	座光寺の子どもを語る会		市・地	継続	1	40	4,151	9月15日	座光寺小学校
C S 協 働	座光寺の子どもの健全育成について小学校・PTA・地域の三者が集い、事例発表と意見交換を行う。		実施内容	【成果と課題】 今までのような講演を聞いて子どもについて語る形式から、子どもたちの意見をもとに地域の大人ができることを話し合う形式に変え、様々な良い意見が出た。時間を区切ってテーマとグループを変えたことで、より多くの人の意見に触れる機会ができ、新たな考えを知ることができた。 PTAの参加者が少ないため、参加者増加につながる取組が必要。 評価 【次年度の方向性と取組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 参加者増加につながる内容を模索していく					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館女性委員の会		地区費	継続	2	5	4,151	8月16日、10月14日	座光寺公民館
そ の 他	公民館委員に所属する女性を対象に、委員会の枠を超えた横のつながりがつくりと女性ができる地域づくりについて考える機会とする。		実施内容	女性ならではの柔らかい発想を地域づくりに生かしてもらえよう、交流の場として地域内他女性団体とともに料理教室を実施。 また、座光寺と奈良・東京との交流に際し、奈良・東京からきた方々へのおもてなしを女性委員の会と他女性団体で実施。 8月16日 「奈良と東京の子どもたち歓迎式における夕食づくり」 協力団体：座女子力 10月14日 「料理教室（スバゲティミートソース・ニョッキきのこクリームソース）」 講師：佐々木聡氏、小島寛隆氏 協力団体：座女子力 評価 【次年度の方向性と取組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 女性の方のニーズを捉え、事業の組み立てを行う。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校地域人教育		地区費	継続	23	184	4,151	4月～1月	座光寺地域内
そ の 他	飯田OIDE長姫高校地域人教育		実施内容	毎週金曜日に座光寺地域を訪れ、地域の課題やテーマを見つけて活動。今年度は座光寺の食の知名度向上と魅力向上のために、飯田下伊那の中高生をターゲットとして、流行中のりんご飴の製作・座光寺地域運動会や丘のまちフェスティバルでの販売とPRを実施した。 (授業の中で関わった地域の方) 公民館長、吉丸屋、元善光寺住職、川本屋、パノラマファーム大門、代田農園、ノエル洋菓子店 評価 【成果と課題】 地域の中で取組を進めたことで、生徒たちが学んだことを自分の言葉にまとめて示すことができるようになった。地域の方も高校生が地域課題解決に取り組みむ姿勢や成果発表を見て感銘を受けており、今後の活動の原動力になった。 関わった団体が少数となってしまったため、地域内で活動に取り組みむ団体や個人と、高校生との関わりの機会をより多く確保していく必要がある。 評価 【次年度の方向性と取組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 高校生が地域に出る機会の確保に努めたい					

座光寺公民館の事業報告

No.12

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域づくり学習会	市・地	継続	1	53	53	4,151	9月10日	座光寺公民館
その他	地域住民を対象に個々の願いや意欲を地域活動へつなげる学びを図る。	地域で課題となっている事項に関して、知識を深め、新たな発見に結びつけるため実施。 テーマ「リニア中央新幹線とスマートインターで変わる座光寺」 講師：飯田建設事務所、飯田市リニア推進部、座光寺地域自治会							
	実施内容	【成果と課題】 新交通網時代のインフラ整備とまちづくりのあり方を考える機会となり、多くの方に参加してもらえた。 出席者から盛んに発言が出るなど、地域課題であるリニア等への関心の高さがうかがえた。 想定よりも参加者の年齢層が高く、次世代を担う青年層の参加が少なくなった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 地域住民のニーズに応えた地域課題を取り上げ、参加者の増加を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	42	42	4,151	2月3日	座光寺公民館
その他	地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようにすべきか意見交換する。	地域課題に対して地域全体で意見交換する機会として実施。 講師から新幹線佐久平駅のある佐久市の事例を発表していただいた後、リニア時代の土地利用をテーマに4～5人のグループに分かれて意見交換を行った。 講演「リニアと飯田下伊那の産業・暮らし～佐久市との比較から考える～」 講師：しんきん南信州地域研究所							
	実施内容	グループワーク メインテーマ「リニアとスマートインターで変わる座光寺～土地の活用を考える～」 トークテーマ ・企業の誘致についてどう考えるか ・駅とのアクセス方法や座光寺駅前整備は何か必要か ・地域が活性化する商店や飲食店はどうかと良いのか ・農地の有効活用や観光となる農業は ・史跡等の資源を生かした観光を活発に活用するには ・2拠点生活と学生の住みやすい町について 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 若い世代が参加して、地域課題を自分ごととして捉えてもらう工夫が必要である							

松尾公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級		市・地	継続	5	180	36	実施内容のとおり	松尾公民館
	目的	開催間隔：月1回程度実施 内容：10/13開講式（自己紹介、お約束、お友達になろう）、11/10ふれあい遊びをしよう、12/22親子で絵本を楽しもう、2/9ハーバリウム作り、3/14閉講式（ふれあい遊び、記念品づくり） 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	0歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級		市・地	継続	18	450	25	5月～3月	松尾公民館
	目的	開催間隔：2学級に分け、それぞれ同内容で月1回程度実施 内容：①開講式（みんなでお話、②助産師さんのお話、③おもちゃを作ろう、④ふれあい遊び・わらべ歌、⑤動物園へ行こう、⑥ミニ運動会、⑦クリスマス会、⑧親子で絵本を楽しもう、⑨新聞紙遊び、⑩閉講式（ふれあい遊び、記念品づくり） 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	1歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	2歳児学級		市・地	継続	11	192	18	5月～3月	松尾公民館
	目的	開催間隔：前半2学級に分け同内容で、後半は合同として月1回程度実施 内容：①開講式（みんなでお話、②ふれあい遊び、③大きな布で遊ぶ、④みんなのミニ運動会、⑤動物園へ行こう、⑥小麦粉粘土、⑦クリスマス会・お楽しみ会、⑧新聞紙遊び、⑨閉講式（記念品づくり） 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	2歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	3歳児学級		市・地	継続	9	190	21	5月～3月	松尾公民館
	目的	開催間隔：月1回程度実施 内容：5/8開講式（みんなでお話、ふれあい遊び）、6/12親子で体を動かそう、7/3七夕飾りづくり、9/4小麦粉粘土、10/2秋のお散歩、11/6ミニ運動会をするよ、12/12クリスマス会（プレゼント交換、パンづくり）、2/5新聞紙遊び、3/11閉講式（お別れ会、記念品づくり） 運営：保健師、担当保育士主導							
	実施内容	3歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る							

— 88 —

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	松尾サイエンススクール	市・地	継続	29	2,125	-	12,783	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
	小中学生を対象に、科学への関心向上を図り、物づくりや原理追及のおもしろさを伝える	市・地	継続	29	2,125	-	12,783	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	松尾版高校生講座	市・地	新規	4	34	10	387	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	高校生を対象に、高校生同士や地域住民との交流を深め、松尾の良さを考える機会とする	市・地	新規	4	34	10	387	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
	高校生を対象に、高校生同士や地域住民との交流を深め、松尾の良さを考える機会とする	市・地	新規	4	34	10	387	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	そば打ち教室	市・地	新規	6	52	10	12,783	実施内容のとおり	松尾公民館
学級・講座	地区住民を対象に、そば打ちを体験し、共同作業を通じて人とのつながりづくりを図る	市・地	新規	6	52	10	12,783	実施内容のとおり	松尾公民館

学級・講座	松尾サイエンスが主催し、おもしろ科学工房の協力により、科学実験教室を実施。小学校や児童クラブなどのクラブ活動支援も行った。 5/23、6/6、6/20、7/11、9/5、9/26 松尾小学校クラブ活動支援 5/10、6/6、8/21、10/3、10/24、1/16、2/21 聖クララ幼稚園科学あそび 6/7、11/16 松尾小学校5、6年生科学実験教室 6/25、11/4、12/9 松尾サイエンススクール 5/20、7/9、7/29、地区内PTA支部や分館からの出張科学実験教室 7/26 児童クラブ科学工作教室(同日2回に分けて実施) 10/6、12/15、12/20 丸山小学校・伊賀良小学校出張科学実験教室 10/22 松尾地区市民運動会モデルロケット 2/4 松尾地区文化祭おもしろ化学教室	【成果と課題】 ○青少年健全育成会や松尾小学校(クラブ活動)などとも連携して、地区内外の子どもたちに、科学やものづくりのおもしろさを伝えられている。過去にスタッフとして参加していた高校生の保護者がスタッフに加わるという繋がりもあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 公民館の活動の一つとしてスタートし、現在ではスタッフが主体となって企画運営している。この経過を大切に、引き続き公民館はサポートするような体制で活動していきたい。	評価
	松尾地区区内の高校生有志10名が集まり、自たちが松尾地区の中でやりたいことを話し合い、今年度は松尾地区市民運動会への実行委員としての関わりと競技(ウルトラクイズ)の企画、松尾地区文化祭への実行委員としての関わりとブース出展(1分間ギネス記録に挑戦！)を自主的に実施した。 8/26顔合わせとやりたいことの話し合い 10/15運動会に向けた役割確認とウルトラクイズの出題考案 12/13文化祭に向けたブース出展の案出し 1/20文化祭に向けた最終打ち合わせ その他各実行委員会にそれぞれ参加		
学級・講座	道具の準備、粉の振分等、準備から片付けまでをそば打ちの一連の作業として、参加者でチームを組んで共同作業をしながら、そば打ちを以下の日にちで連続講座として実施した。 実施日：7/23、9/17、10/29、11/25、12/29、1/14 講師：佐々木隆彦さん、薮柄富男さん	【成果と課題】 ○会場の広さに合わせた人数制限を設けた講座だが、地区内外から定員に達する参加者が集まった。チーム制にすることで、参加者同士の距離を縮めることができた。 ●参加者同士の距離を徐々に近づけることはできたが、その後の主体的なつながりづくりには至っておらず、それに向けての働きかけ方の検討は必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 気軽に参加してつながりがりができる場として、今後もその後のつながりを意識した組み立てをしていく。	評価

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子パン作り教室	市・地	継続	1	20	20	222	12月11日	松尾公民館
	実施内容 親子を対象に、食育への関心向上を図る	【成果と課題】 コロナ禍後で久しぶりの通常開催が可能なか中ではあったが、今年度は昨年からの繋がりがあある乳幼児学級に参加している親子を対象に行った。親子でパン作りをすることで、パン作りの技術だけでなく親子のふれあいの機会の提供、ふれあいを考える機会とすることができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者からは大変好評で複数回の実施を希望する声もあるため、さらに年代を幅広く親子にアプローチできるように検討していきたい。							
文化事業	親子映画観賞会	地区費	継続	1	89	89	12,783	7月8日	松尾公民館
	実施内容 親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	【成果と課題】 ○親子の参加者が多く見られ、気軽に公民館に来てもらえる機会として文化委員会の中でも改めて共通認識が持てた。映画館で静かに観ることがまだ不安な世代の子を持つ親にとって、貴重な経験が出来る場にもなっている。 評価 ●過去には祖父母の参加も多かったが、今回は少なかつたため、そうした世代の参加へのアプローチも検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 初夏の文化事業として定着している。来年度も内容を吟味して実施していきたい。							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023	他会計	継続	7	759	162	12,783	8月4日～6日	松尾公民館ほか
	実施内容 地区内の6会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのもつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す	松尾地区実行委員会として、以下の会場で人形劇を開催。 8/4 10:00～・13:30～ 松尾公民館／影絵劇団かしの樹 春日部事務所 8/4 19:00～ 上溝集会所／げきだんはてな 8/5 10:00～ 新井コミュニティ消防センター／劇団 ぶらんこ 8/5 10:00～ 毛賀区民会館／ダンボールシアター 8/5 13:00～ 清水コミュニティ消防センター／倉敷市立短大 子どもの劇場 8/6 10:00～ 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度はコロナ前から久しぶりの開催ということで各分館で様子見な部分もあった。本館、分館ともにフェスタ開催のイメージを取り戻した次年度は、より主体的で積極的な取り組みになるよう働きかけていく。							
文化事業	第20回松尾踊ってみよう会	市・地	継続	1	70	70	12,783	12月3日	松尾公民館
	実施内容 踊りを趣味としている地区住民を対象に仲間意識と技術の向上を図る	【成果と課題】 ○昨年度に引き続き観客が多く、出演者同士だけでなく出演者と観客で再会を喜ぶ声、お互いを称え合う声が多く聞かれた。 ●出演する個人・団体が少ないため、周知の徹底は必須である。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、地区内外の関係者に呼びかけを行い、継続して実施できる体制を整えていく。							

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	松尾地区文化祭		市・地	継続	1	2,000	2,000	12,783	2月3日、4日	松尾公民館
	目的	地区住民を対象に、芸術発表や文化展を通じて文化意識の向上を図る								
	実施内容	文化委員会が中心となり、実行委員会を組織し、2日間に渡り、文化展(分館・各種団体・個人・保育園・小学校等の作品展示)、催し(おもしろ科学教室、飯田OIDE長姫高校「テックレジンジャー」ジョー、体組成計体験、消防自動車と遊ぼう、高校生講座企画等)、芸術発表会(芸能団体が所属する地区、各種団体、小学校合唱部、中学校吹奏楽部等)を実施した。								
評価	【成果と課題】 ○2日間でコロナ前を超える来場者となった。文化展、芸術発表、催しの全ての面で保育園児から高校生までの子どもたちの様子に地域の人たちが感性・感動する場面がつけられた。 ●文化展に出展する個人が減少してきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 中学生・高校生が実行委員としても参加してくれており、幅広い世代が交流、学習できる場として継続していく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	古き松尾を巡る「ぼちぼちさんぽ」～松尾一周の歌より～	市・地	継続	1	53	53	12,783	11月12日	松尾天竜グラウンドほか	
	目的	松尾地区の文化財をはじめとする特徴的なポイントを歩いて回るウォーキングコースを設定して実施。各ポイントの特徴が書かれたカードを作成して配置したり、完歩賞に飲食店の商品引換券を用意したりと、楽しみながら松尾の文化が学べる事業とした。								
	実施内容	松尾一周の歌をテーマに、今回は寺所区、新井区、明区でコースを設定した。								
評価	【成果と課題】 ○文化財等だけでなく、梅花藻なども取り上げ、身近にある自然についても知ることができるなど、幅広く地域を学べる事業として動き出すことができている。 ●松尾のお店を知る機会としても商品引換券への協力店舗を募集しているが、認知度がまだ低いため、今後も商店側への周知にも力を入れる必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の年代層は幅広いため、今後とも参加者が限定的にならないように、周知しながら計画を進めていく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
文化事業	令和5年度松尾地区二十歳の集い	地区費	継続	1	111	111	12,783	1月7日	松尾公民館ほか	
	目的	二十歳の成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る								
	実施内容	二十歳の成人有志、公民館文化委員で組織する実行委員会体制で二十歳の集いの企画、準備、運営を実施。準備の中で二十歳の成人実行委員が、地域学習(10/29)、中学校恩師からのビデオレター撮影(12/3、12/10)を実施。今年度の地域学習は、子どもの頃からある八幡駅前のお店「じゅんじゅん」を取り上げ、インタビューを実施した。 当日は、松尾公民館で式典(常盤太鼓「心SHIN」)による祝打ち、主催者あいさつ、祝辞、地域学習の報告、恩師のビデオレター上映、二十歳の成人代表あいさつ等)、シルクホテルで祝賀会(二十歳の成人実行委員による企画、進行)という流れで開催した。								
評価	【成果と課題】 ○4年ぶりに松尾公民館を式典会場に戻したことで、ご家族からの祝福の声や友人同士で祝い合う声などが多く聞かれ、身近な場所での式典を実施する良さを改めて確認できる機会になった。地域学習の報告を式典の中に入れたことで、皆で地元を振り返るきっかけとしても良い機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者が再会を喜び、過去を振り返りながら祝い合える機会として、当日に向けて組み立てていく形を継続していく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
体育事業	分館役員対象ニュースポーツ体験会	市・地	継続	1	82	104	85	5月14日	松尾小学校	
	目的	公民館委員および分館委員を対象に、ニュースポーツの普及及び分館相互の情報交換を図る								
	実施内容	ニュースポーツの体験会(種目:ポッチャ、モルック)。 近年徐々に各分館に定着しているポッチャと、新たなニュースポーツとしてモルックを取り上げてスポーツ委員が中心となり実施。モルックは馴染みのないスポーツという事もあり、気軽に体験してもらうために段ボール製のものを用意して体育館で実施した。								
評価	【成果と課題】 ○体験会を通じて新たなニュースポーツを分館で取り組むきっかけの事業になっている。今回もこの事業の後にモルックを各分館の事業で取り組み、逆に分館から本館に本館事業で取り入れてほしい旨の意見が出てくるような関係性が生まれてきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 スポーツ事業を通じて年度当初での本館と各分館との意見交換のための事業としても継続していきたい。									

松尾公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ふらば～るバレー大会		地区費	継続	1	224	12,783	6月25日	勤労者体育センター
	目的 地区住民を対象に運動機会の提供とふらば～るバレーの普及を図る	分館ごとのチームによる分館交流ブロックと自由参加チームによるふれあいブロックに分かれてフンバウンドふらば～るバレーを実施。ケガ人が多くでてしまう寒い時期(1月)の開催を変更するため、6月のニュースポーツ大会と時期を入れ替えて開催した。 結果： 分館交流ブロックA優勝 新井分館、分館交流ブロックB優勝 城分館 ふれあいブロックC優勝 レジェンド、ふれあいブロックD優勝 上溝フラバール同好会							
体育事業	実施内容	【成果と課題】 ○分館ごとの声掛けによる参加者も多く、ふれあいブロックには中学生・高校生の参加もあるなど、様々な方に参加してもらうことができた。ケガ人もなくできた。年度内最初の分館スポーツ委員の選手集めが必要な事業でもあり、計画から実施までの間で各分館同士や本館委員が一体感を強められる機会にもなった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き分館の一体感作りのために計画していきたい。							
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ニュースポーツ大会		市・地	継続	1	200	12,783	1月28日	勤労者体育センター
	目的 地区住民を対象に、運動機会の提供とニュースポーツ振興を図る	分館交流ふらば～るバレー大会との開催時期入れ替えに伴い、初の1月開催となった。分館ごとのチームによる分館交流ブロックと自由参加チームによるふれあいブロックに分かれて、ポッチャと囲碁ボールの2種目を実施。 結果： 分館交流ブロック 総合優勝 清水分館、準優勝 城分館、第3位 水城分館 ふれあいブロック(ポッチャ)Dブロック優勝 BK☆JOE 蒼 ふれあいブロック(ポッチャ)Eブロック優勝 レジェンドB ふれあいブロック(囲碁ボール)Dブロック優勝 上溝ボンバーズ ふれあいブロック(囲碁ボール)Eブロック優勝 代田区厚生部							
体育事業	実施内容	【成果と課題】 ○分館交流ふらば～るバレー大会に倣って、自由参加のふれあいブロックを設けたことで参加者の幅に広がり生まれ、障害のある方の参加もあった。分館の交流だけでなく、ふれあいブロック参加者や応援に来た方など地区全体で交流する機会にも繋がっている。 ●全体的に女性参加の少なさが感じられた。女性の参加しやすい観点でも検討が必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 幅広い参加、交流ができる機会として、種目も含め、誰もが参加しやすい形を検討して計画する。							
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	松尾地区市民運動会		地区費	継続	1	3,000	12,783	10月22日	松尾小学校
	目的 地区住民を対象に住民相互の交流を図る	台風やコロナ禍での中止、縮小開催を経て、5年ぶりに通常通りの1日開催となった。コロナ禍を経て、時間短縮や選手要件の緩和などを行い、できる限り老若男女幅広く誰もが楽しく参加できる分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツなどの競技で組み立てて実施。 主催：松尾地区市民運動会実行委員会 協力：松尾地区文化体育振興会 分館対抗の結果：総合優勝 上溝分館 準優勝 明分館							
体育事業	実施内容	【成果と課題】 ○保育園から高校までの子ども達の参加が多く、特に中学生・高校生が実行委員としても生き生きと活躍する姿から地区住民が、運動会の大切さを実感・共有することができた。 ●分館からは、高齢者が参加できる種目がなく、参加したくてもできないという声もあり、幅広い年代の参加の観点で検討していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 分館との連携が必須だが、意見交換・意識共有を丁寧に行いながら、今年度ベ－スの運動会を改良する形で開催に向かっていく。							
	評価								

松尾公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	公民館報学習会	市費	継続	1	19	19	19	5月8日	松尾公民館
	目的 本館および分館委員を対象に、 館報の役割を学び、作製技術の向上を図る			公民館広報委員を対象に、館報の企画編集に関する学習会を実施。基礎知識だけでなく、新聞と館報の違いや地区ごとに異なる館報の特徴、写真撮影のポイントなどについて学習した。 講師：佐々木崇雅さん(南信州新聞社)					
	実施内容			【成果と課題】 ○初めて広報委員として活動する方が多く、館報づくりに対する難しい印象を少し和らげることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度は広報委員経験者(2年任期の2年目の方)が多いため、必要に応じて館報をつくっている中での悩みなどに応じた形で学習会を開催する。					
広報事業	公民館報「まつお新聞」の発行	地区費	継続	4	304	19	12,783	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
	目的 地区住民を対象に、 館報発行を通じて、地域課題等を掘り起こし、課題意識の啓発を図る			内容：館報「まつお新聞」の発行(1回発行に付き4回会議実施) 7/1 第262号 10/1 第263号 1/1 第264号 3/31 第265号 発行部数：各号4,700部 印刷会社：龍共印刷					
	実施内容			【成果と課題】 ○コロナ禍後に本格的に各分館事業、本館事業が動き出す中で、取捨選択しながら掲載する内容を精査して地区住民が知りたい内容、見てもらえる内容が意識されている。 ●取り上げる内容が多くなりすぎて、誌面にはめ込むので精一杯なときもあるため、取り上げ方や工夫を話し合う時間があると良いのかもれない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 館報が地域にとってもっといった意味を持つものなのか(記録保存、住民への課題提起など)、常に確認しながら継続して発行したい。					
企画事業	分館役員研修会	市・地	継続	2	67	34	50	7月3日、1月17日	松尾公民館
	目的 分館長、副分館長、分館主事を対象に 公民館活動への理解向上と分館活動の推進を図る			総務企画委員会の企画運営のもと、コロナ禍後に動き始めた各分館の役員同士で、事業計画にあたっての悩みや事業実施してみてもの感想、取り組みにしている工夫などを情報交換できるようにグループワーク形式の研修会を実施した。					
	実施内容			【成果と課題】 ○コロナ禍後に本格的に再始動する分館活動に取り組みにあたって、同じ立場の分館役員同士で意気込みや悩みを共有することができたため、他の分館の活動を参考にしたり、本館との連携を意識した分館活動を前向きに考える機会にできた。 ●今年度は丁寧な2回開催したが、1回開催でも十分という声もあったため、取り上げるテーマの優先順位をつけながらより効果的な開催をしていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 分館の状況によっても様々な悩みや課題がある中で、1つ1つ共有しながらみんなで考え合える機会として継続していく。					

松尾公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	松尾地区学習会(松尾セミナー)	市・地	継続	1	14	14	12,783	9月30日	実施内容のとおり
企画事業	目的	昨年度に引き続き、春日 宇光氏・伊藤 蔵之介氏(飯田市教育委員会 文化財保護活用課)を講師に、飯田市内郷考古博物館で出土品の見学や時代背景等の事前講義の後、竜丘地区の古墳と松尾地区の古墳について現地見学を実施した。 今回見学した古墳は、塚原二子塚古墳(桐林)、馬背塚古墳(上川路)、姫塚古墳(松尾上溝)。							
	実施内容	【成果と課題】 ○昨年から連続して他地区の古墳と見比べられる機会となったことで、飯田古墳群の貴重さやそれが飯田にある意味や松尾の古墳の特徴について、考える機会になった。 ●参加者が固定化されてきてしまっているため、参加者の広がりを持たせられるように周知方法等を工夫する必要がある。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 松尾にも古墳が多くあるが、それらを保存・管理する団体は縮小傾向または、明確な団体がないため、こうした機会を通じて、地区住民の保存に対する意識を高めながら、組織化をねらっていききたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	結い未来プロジェクト	市・地	継続	1	204	204	204	11月6日	緑ヶ丘中学校
CS協働事業	目的	緑ヶ丘中学校生徒を対象に、キャリアプランニングの向上と人間関係形成・社会形成能力の向上を図る							
	実施内容	緑ヶ丘中学校区(松尾、下久堅、竜丘)を中心に市内から複数の企業や団体がブースを設け、2学年生徒が2ヶ所を選び企業説明や地域に根差した生き方やその想いなどを聞いた。今年度は、コロナ禍で縮小開催した経験もふまえて、開催時期を例年の7月から11月に変更して開催した。 生徒、教員を中心に全体の内容を検討。公民館スタッフがサポートをしながら、担当教諭を中心に参加企業および団体の選定。 8月～10月 今年度の方針や内容の検討企業の選定・依頼 10月 参加企業と中学校との事前打ち合わせ 11月6日 当日 評価 ●過渡期ということもあり、学校との情報共有が上手いかず、地元企業との調整が噛み合わない部分があったため、年度当初からさらに連携を図っていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 参加している地元企業の方からは、生徒たちのためになればと毎年非常に前向きにご対応いただいている。今後もこの関係性を崩さず、こうした意識を他の企業にも広めていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	緑ヶ丘中学校ボランティア事業	地区費	新規	68	144	-	653	6月から3月	緑ヶ丘中学校区3地区
CS協働事業	目的	緑ヶ丘中学校生徒を対象に、地区行事等へのボランティア活動参加を通じて、地域住民との交流、地域での自己有用感の形成を図る							
	実施内容	【成果と課題】 ○地区や事業の内容によって参加する生徒数にばらつきはあるが、中学生が参加できるボランティアを自ら選んで参加できる仕組みを構築したことによって、中学生が地域事業に参加する数、地域の方と関わる機会が増加した。参加した中学生から活動する楽しさや地域の人の優しさへの感想が多く寄せられ、地域住民にも中学生にも将来に繋がる機会にできた。 ●中学生にとって地域の活動がより身近になるために、生徒たちが進んでボランティア事業に関われる仕組みを学校と連携してつくっていききたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 学校からも地域住民からもこの事業に賛同する声が出てきているため、次年度も学校運営協議会等でも協議し、改善点を見つければ、中学生と地域住民の架け橋になるもの1つとして確率していく。							

松尾公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協 働 事 業	ふるさと学習	市・地	新規	1	50	-	22,014	11月6日	ほっ湯アッブル
	緑ヶ丘中学校生徒の関心をもとに、地域の魅力や課題に対する意識を高め、行動できるような機会とする	【成果と課題】 ○生徒たちがほっ湯アッブルを地域の魅力と捉えたと同時に、そこにある課題に着眼して取り組む経験を積んでもらうことができた。その思いを健康フェス等を通じて地区住民とも共有しながら、進めることで、地域住民の中にも中学生と関わることにへの意識を高めることができた。 ●クラス単位での活動であったため、この関わり方の継続性をどう持たせていくかが課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 ☒現状維持 ☐縮小 1年4組がクラス替えとなってしまうため、クラスとしての継続的な関わりはできないが、次年度以降のほっ湯アッブルリニューアルへの取り組みへの関わりに向け、前向きな生徒の発言もあったため、個々の関わりとであっても中学生が今回の経験を活かせる機会をつくっていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	松尾地区還暦の会	地区費	継続	1	45	-	156	10月28日	実施内容のとおり
	地区内の60歳を迎える住民を対象に、「還暦」という節目の機会の式典実施を通じて同年同士の交流を図る	【成果と課題】 ○現住所が松尾だが、松尾出身ではない方も参加することもあり、同窓会のようにならぬように気をつけながら、開催計画を進め、日が近づくにつれて、実行委員の主体性が高まっていた。還暦の会開催後も、役員を中心に継続したつながりができている。この会をきっかけに改めてつながりが生まれる事業とすることができた。 ●年代によってつながりがない場合があり、その場合主体的に動き出すまでに時間がかかるため、今後も丁寧に見ていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 ☒現状維持 ☐縮小 還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行っていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	学校体育施設開放運営委員会・調整会議	0円	継続	8	400	-	-	実施内容のとおり	松尾公民館
	利用団体を対象に、学校施設の有効活用を目指す	【成果と課題】 ○限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ちよく有効に利用できるように調整している。年々反省をもとに運営方法、調整資料が充実されてきている。懸念事項だった緑ヶ丘中学校の駐車場の確保については、駐車券発行で対応するように動き始めることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 ☒現状維持 ☐縮小 次年度も、地区内の団体が譲り合い、気持ちよく利用できるようルール整備、調整を行っていききたい。							

下久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ほっかぽか(0～3歳)	市・地	継続	12	120	10	48	【成果と課題】 ○子育てが初めてのお母さんが子育てで経験の長いお母さんと繋がり、相談し、交流する機会となった。 ●コロナの影響でのお休みは昨年より減り、活動の制限が減ったが、感染を心配する声もあるため、接触が多い行事は感染対策を徹底して行う必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 参加者の声も聴きながら検討をしていく。年齢に応じた講座内容が出来るように保健師・保育園の先生とも相談しながら組み立てを行う。		下久堅公民館他
	実施内容 0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る									
	目的 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									
学級・講座	実施内容 地区民を対象に、地域の将来を語り合い、今すべきこと、したい事を実践することから学習と交流を図る									

下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	ひさかた和紙講座	市・地	継続	28	420	60	2,592			下久堅地区内
学級・講座	目的 地区住民を対象に、ひさかた和紙の認知や担い手の発掘を図る	この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、ひさかた和紙の会の活動を支援しながら、子どもたちによる手漉き和紙での卒業証書制作を実施し、子どもたちの郷土愛を育むよう和紙の会を支援していく。また、紙漉き技術の継承や、和紙の域内消費の拡大などにつながる講座等を実施し、新たな担い手の育成を図る。 【開催概要】 5/14、6/11、7/9、7/23、8/27、9/24、10/29 楳畑草刈り作業 11/19、20 楳収穫 11/21 楳蒸し・皮むき 12月～3月 毎週水・日曜日 たくり作業 役員会：毎月第2木曜日 ○小学校連携事業 5/23トロアオアイの種まき指導(下久堅小学校1年生) 7/10トロアオアイの間引き(下久堅小学校1年生) 10/16トロアオアイの収穫(下久堅小学校1年生) 11/20 楳の収穫、皮むき体験指導(下久堅小学校1・3・5年生) 12/14、15 紙漉き体験指導(下久堅小学校1・3・5・6年生)								
	実施内容	【成果と課題】 ○まちづくり委員会や各団体と連携し、ひさかた和紙の材料づくりから体験まで関わっていただけの方は増えてきている。また、昨年同様、多くの方の協力もあり、材料の育成に関しては計画通りに進めることが出来ている。 ●しかし、ひさかた和紙を後世に伝える担い手の育成にはまだまだ手を掛けられない。特に紙漉き作業はこれまで一人の職人のみ担当していたが、紙漉き講師養成に力を入れ、徐々に紙漉きをしっかりと行うことができる地区内の人材を養成することができるようになってきている。 ○また、今年度よりこれまで公民館が行っていた会計や様々な調整機能の一部を住民の方が主体的になっていただけるように働きかけを行い、自立した組織として動き始めている。下久堅の子どもたちにとっては地域への愛着を育むツールとして和紙は欠かせないものであり、卒業証書制作を自らの手で行う取り組みは今後も継続していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も引き続き小学校での卒業証書制作を中心に子どもたちの郷土愛を育み、様々な取り組みを通じて、地域内外への情報発信・連携を通して、次世代のひさかた和紙の担い手を育成できるように和紙の会を支援していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数		開催期日	開催会場
	ふるさとコンサート	市・地	継続	1	300	300	2,592		7月16日	下久堅公民館
文化事業	目的 地区住民を対象に、プロの音楽を身近に感じること	公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がプロの音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じて依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も計画していたが、部員の減少により活動が縮小したため金管バンドの出演が叶わなかった。しかし今年度は150周年記念行事としての位置づけである「ひさかたふたあい夏祭り」と併催することで、小学校だけでなく中学校合唱部や保育園の発表、さらには地域の各種団体の発表の場にもなった。								
	実施内容	【成果と課題】 ○中山間地域はプロの生演奏を聴く機会が少なく、貴重な機会である。今年度は金管バンドの参加ができなかったが、来年度は子どもたちがプロの演奏に触れる機会としても金管バンドとのコラボする方向で計画していきたい。 ●一方で発表の場となりすぎてしまつとプロの演奏を落ち着いて聴くことが難しくなってしまうため、来年度はプロの演奏を聴く場に主軸を置きたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍であることをふまえて、どのような事業ならコロナ禍でも開催できるかを検討する。小学校・中学校との連携も視野に入れながら、事業計画を行う。 今年度は150周年事業の位置づけがあったため、多くの方が来場し、子どもたちの発表の機会となったが、来年度はプロの演奏を落ち着いて聴くことができる機会として位置づけを行いたい。								

下久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ひさかたウォーキング			市・地	継続	1	35	2,592	11月5日	下久堅地区内
	目的	地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催	【検討過程】 9/8 文化部会 コースのポイントについて検討→決定 9/9 コース下見 9/22 文化部会 当日の運営方法について協議 11/5 ひさかたウォーキング開催							
		実施内容	【成果と課題】 ○例年豚汁や五平餅が振る舞われており、食が魅力の一つだったが、コロナ禍で食の提供が難しかったため、食以外も魅力あるコースとなるように工夫した。特に今年度は史跡の発掘調査が行われている河原遺跡などをめぐり、調査作業職員による解説などを取り入れ魅力ある講座とすることができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域住民が地域の史跡や自然、文化に触れる機会として、柔軟に検討する。							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る	市・地	継続	1	500	-	2,592	8月3日～6日	下久堅公民館
文化事業	目的	実施内容	【成果と課題】 昨年度は中止となってしまったが、今年度はコロナ禍で活動が停滞している分館を支援するためにも、コロナ前で行っていた6つの主体①下久堅保育園 保護者会 ②下虎岩分館 ③虎岩分館 ④知久平分館 ⑤南原分館 ⑥柿野沢分館 が主体的に開催できるように早期から計画し準備を進めた。 各分館では夏祭りや納涼祭と併催するなど飲食を含む行事であったため、年度当初は感染防止の観点から戸惑いの声が上がっていたが、ひさかたふれあい夏祭りを本館で実施するなど住民同士が集う場が開催できたことで、各分館でも夏の行事として地区公演が行うことができた。 【検討経過】 5/12 文化部会 6/22 文化部会 7/5 第1回地区実行委員会 7/19 第2回地区実行委員会 7/28 文化部会							
		評価	【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 各分館で開催する方向で準備を進められるよう本館として支援する。							
文化事業	下久堅地区二十歳の集い		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	二十歳を迎える地区住民を対象に、二十歳を初うと共に地域を感じる機会とする	市・地	継続	1	24	24	2,592	1月7日	下久堅公民館
	目的	実施内容	【成果と課題】 二十歳の集いの開催に向けて、実行委員会を組織し、企画の準備運営を行う。今年度は地域学習として小学校以来のひさかた和紙の紙漉き体験をするだけでなく、紙漉きを行うまでの作業にも参加する内容で実施した。また当日は地域で活動する団体のPRする場を設けたり、地域学習で学んだ内容について実行委員の言葉で発表したりし、二十歳の節目に地域に目を向ける機会とした。地域の将来について考え実践している地域の大人の思いに触れることから、二十歳の皆さん自身のこれからの生き方を考える機会として実施。 【検討経過】 8/28 実行委員会 式典までの流れを確認 9/25 実行委員会 10/8 地域学習 10/18 実行委員会 地域学習振り返り 11/18 和紙の活動に参加 12/2 文化部会 12/18 式典・交流企画準備							
		評価	【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今後もコロナ禍で飲食を伴う交流企画が必要となることが予想されるため、より新成人が主体的に組み立てられるように検討していく。							

下久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ひさかた盆野球大会	地区費	継続	-	-	-	2,592	8月15日(中止)	下久堅運動場他
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	お盆の時期に帰省をしてくる方も交えて普段は集まらないような方たちが集まり、交流する機会として実施している。今年度は感染対策を講じた上で開催予定であったが雨のため中止となった。 【検討経過】 8/7 体育部会・主将会 運営方法について検討 8/12 体育部幹事会 当日の悪天候が予想されるため中止を決定							【成果と課題】 ○雨天により中止となったが、コロナ禍でも中止だけでなく工夫して開催する方向で検討が進められた。お盆に地元を離れた若者と地区住民が世代間交流できる機会である。 ●一方、コロナ禍で移動の制限や野球以外の繋がりの模索する必要があるなどの課題がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 公民館で主催する以上多くの住民が参加できような競技を検討していく必要がある。
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ大会	地区費	継続	1	90	90	2,592	5月28日	下久堅公民館
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	これまで地区恒例の事業であった分館対抗ソフトボール大会の代わりとして、コミュニティスポーツ大会を実施。今年度も昨年度好評だったモルックを行った。また、運動会前に各分館で参加し、各分館の活動を促進するため開催時期を運動会前の年度当初とした。 【検討経過】 4/10 体育部会 競技内容について検討 5/8 体育部会 対戦方法などの検討 終了後、本館部員で詳細の検討 5/28 当日開催							【成果と課題】 ○昨年同様、小学校のPTA事業と連携した親子体験学習としても共催することで、多くの親子に参加してもらえたことができた。また、運動会前に分館でチームとして出場してもらうことで、分館の団結力の向上を狙って開催した。 ●コロナ前と比べ分館の参加人数が減ってしまったっており、分館の役員だけの参加も目立つため、分館へどのように働きかけを行っていくか検討していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 コミュニティスポーツを開催する上で、子どもからお年寄りの方まで広く声かけを行い、より多くの人に参加してもらえような働きかけを行っていく必要がある。
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	下久堅地区市民運動会	地区費	継続	-	-	-	2,592	10月15日(中止)	下久堅小学校校庭
	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る	地区住民が楽しく、気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人と人が交流できる機会として、また健康増進の機会として実施する。 昨年同様、早期よりコロナ禍での開催方法について検討し、各分館の意向を聞き取った結果、昨年と同様に半日開催で屋食をとらず計画。また分館対抗だけでなく一般参加の競技を取り入れ、準備を行ったが、雨天中止となった。 【検討経過】 8/7 体育部会 運動会の開催の確認、種目等の検討 8/23 公民館委員会 8/31 第1回中学生実行委員会 9/11 役員総会 9/13 第2回中学生実行委員会 10/3 第3回中学生実行委員会 10/5 正副係長会 10/10 体育部会							【成果と課題】 ○運動会の開催にあたり、年度当初は各分館が主体となって誘い合い参加してもらうことを大切に、終日開催を目指していた。しかし、昨年度半日開催を実施しているため、各分館に開催方法について尋ねると、今年度も是非半日で開催してほしいという意見が多数を占めた結果となり、半日開催で計画した。昨年度の反省会では役員だけの運動会ではないか、半日開催で不完全燃焼であるなどの意見もあったため、来年度は終日開催ができるように各分館への働きかけを行いたい。 一方、人集めはコロナ前から課題でもあったが、コロナ禍ではより顕著な課題であるため、引き続き各分館の負担が軽減できる運営方法を検討したい。また、中止となってしまうが、一昨年同様、地域住民の繋がりを作る機会として代替事業を先行して春に実施できたことは一つの成果である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 地区住民が安心して参加でき、参加したいと思えるような運動会のあり方について改めて検討する。
	目的	評価							

下久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	秋季スポーツ大会	地区費	継続	1	47	47	2,592	5月30日	下久堅小学校校庭
	目的	子どもから高齢者まで、気軽に楽しめるスポーツを通して健康増進及び多世代交流を図る。昨年度は時期をコロナが感染が増える時期を避けるため、年度当初の開催を検討し実施したが、これまで冬の時期にワンバウンドふらばーを行っていたが、感染拡大防止の観点で中止となってしまうことが続いていた。今年度は秋季に開催することで、そうした中止のリスクを回避でき開催できた。また、春にコミュニケーションスポーツを行っているため、秋はワンふらを行い、春に少なかった分館からの参加を多く募ることができた。							
	実施内容	【検討経過】 11/21 体育部会 競技内容の確認・主将会 11/26 開催当日							
広報事業	広報「ひさかた」の発行	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	年間4回発行(1回発行部数:950部) 地区事業の記録や、その時々地域の動きなどを特集として掲載した。特に昨年度は組織の体制の在り方や、記事の内容について協議を多く行い、発行を下久堅公民館としていたところを新たに下久堅地区まちづくり委員会変更。地域全体の広報誌として位置付けを行った。 187号 6月末日発行 188号 9月末日発行 189号 12月末日発行 190号 3月末日発行							
	実施内容	地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心の向上を図る							
育成事業	魚のつかみ取り体験	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	親子が体験活動を通じて、ふれあうことを目的に開催する。毎年地区内の川でさかなのつかみど体験を開催した。昨年度から小学校PTAと連携し、親子体験学習というPTA事業との共催として今年度も実施し、多くの親子の触れ合いの場、地区の自然に触れることができる場として開催することができた。また、部会では毎年やっているから今年もやるではなく、なぜやるかをしっかり検討した。							
	実施内容	【検討経過】 5/26 育成部会 6/13 育成部会 事業の内容を検討 7/23 当日 8/4 振り返り会							

下久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ひさかたふれあい夏祭り		市・地	継続	1	800	2,592	7月16日	下久堅小学校他
その他	実施内容	運営する部員も楽しめるものにする企画として地区を挙げた公民館文化部として初めて地区全体を対象としたお祭りを開催。地区の住民が集い交流しながら、子どもから大人まで広く楽しめる企画をまちづくり委員会と協力して実施した。 公民館文化部が中心となって企画したが、体育、育成、広報部会も協力して盛大に開催することができた。 【検討経過】 6/6 第1回実行委員会 7/3 第2回実行委員会							
	目的	コロナ明けの新たな事業として地域の絆を実感し、下久堅地区住民全体が集って楽しめる事業の充実を図る 評価 ●一方で、夏祭りの反響が予想以上にあり文化部としてなんとか続けていきたいが、夏祭りを毎年続けるとなると同様に outlet や芸能発表がある文化祭との違いや位置づけはどうするかという課題が生まれた。また、150周年記念でなくとも多くの子どもたち、また地域の方に来てもらえるように、保護者世代や現役世代の意見をとり入れていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 文化祭今年度初めて実施した内容を来年度に繋げながら、実施主体を実行委員会体制で行うことを検討する。壮年団や保育園保護者会、小学校・中学校各PTAを実行委員として実施する方向を目指す。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学校米作り体験		地区費	継続	10	100	20	毎週月・火・木・金	下久堅小学校
その他	実施内容	地域の団体である子牛会が農業指導を行い小学校5年生の米作りを授業の中で行う取組で今年で10年以上続いている。担い手となる子牛会の高齢化が進む中で、授業として扱うテーマとして米作りで良いか、地域としてどんな体験を子どもたちに学んでほしいかなど、学校運営協議会や、学校とまちづくり委員会との打ち合わせを重ね、今度の方向性について話し合うこう時間を多くとった。 【開催概要】 4/26～10/10 あぜぬり、田お越し、代掻き、田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭 事業に関する話し合い11/18、1/30、2/14							
	目的	小学生を対象に、地域での食育を推進し、地域の人とのコミュニケーションも含めた地域学習の推進を図る 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校運営協議会だけでなく、来年度も多く話し合いの場を持ち、検討していく。また公民館とPTAと連携を深めることができているので、米作りの関係についても協力いただけるようにPTAとコミュニケーションを取っていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅放課後子ども教室		市・地	継続	週4回	766	17	毎週月・火・木・金	下久堅小学校
その他	実施内容	心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを行う。また、地域の人材を活かし月に1～2回程度、読み聞かせやおやつ作りなどの活動を行う。							
	目的	小学生を対象に、地域の子育て環境改善と体制の充実を図る 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子育て環境の充実と地域の子どもは地域で育てるという当初の目的を再確認し、協力していただけるスタッフを増やし、継続に努める。							

上久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」	市・地	継続	11	44	6	12	実施内容参照	上久堅保育園ほか
	保育園入園前の幼児とその親を対象に、様々な体験等を通じた子育てについての学習、親子の情報交換による子育て不安の解消、子どもの健全な育成を図る。	市・地	継続	11	44	6	12	実施内容参照	上久堅保育園ほか
	学級・講座	市・地	継続	11	44	6	12	実施内容参照	上久堅保育園ほか
学級・講座	上久堅の民俗と村誌を読み語る会	地区費	継続	3	28	11	1,168	実施内容参照	上久堅公民館
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさとの再認識を図る。	地区費	継続	3	28	11	1,168	実施内容参照	上久堅公民館
	学級・講座	市・地	新規	1	9	9	1,168	7月22日	十三の里
学級・講座	親子わくわくパン教室	市・地	新規	1	9	9	1,168	7月22日	十三の里
	小学生とその保護者を対象に、地域住民の活動を学習し、また、次世代の担い手の育成を図る。	市・地	新規	1	9	9	1,168	7月22日	十三の里
	学級・講座	市・地	新規	1	9	9	1,168	7月22日	十三の里
学級・講座	いいだ人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	市・地	継続	1	37	37	1,168	8月3日	鼎文化センター
	上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること	市・地	継続	1	37	37	1,168	8月3日	鼎文化センター
	学級・講座	市・地	継続	1	37	37	1,168	8月3日	鼎文化センター

出生数減少や地区外への入園等の理由で参加者が減少していることから、上久堅保育園に協力いただき未就園交流も兼ねて実施。様々な活動を通じて子どもたちの健全育成を図ることはもとより、親同士の間でも大切にしなが事業を行った。

①5/16 自己紹介・お外遊び ②6/13 どんご遊び ③7/14 夏祭り ④8/22 水遊び ⑤9/30 保育園運動会 ⑥10/17 文化祭作品作り ⑦11/7 焼き芋・紙芝居 ⑧11/14 焼き芋大会(千代との合同) ⑨12/19 クリスマスコンサート ⑩1/16 リトミック ⑪2/22園児と交流・おたのしみ会

『上久堅の民俗』、『上久堅村誌』を読みながら、今の上久堅と比べて感じたことや気になったことを参加者同士で語る機会とした。

①5月31日 満蒙開拓 8名参加
②6月24日 飯田アカデミア 第99講座サテライト 9名
③1月13日 小正月行事「餅つき、餅花づくり」 11名

地域住民の呼びかけで始まった十三の里の活動について学習する機会として、食工房十三の里を講師に実施した。

講師…十三の里 山田礼子さん
メロンパン・ゼリー

上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること

上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること上久堅地区の立地的に、市街地で平日に行われる有料公演を観賞すること

【成果と課題】
○保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会になると共に、保健師や保育士に子育てについて気軽に相談できる場となった。
●様々な事情により参加者の減少が顕著であり、1組のみの回もあるため親同士の情報交換等本来の目的が果たせていないのが現状。

評価
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
現在の乳幼児学級に加え千代・龍江地区と合同の学級を新たに実施。同じ年齢の子を持つ親同士が親睦を深めると共に、情報交換・相談し合える場として行く。

【成果と課題】
○参加者同士が自分の体験を話し聞き合うことで、地域について考える機会となった。餅花作りでは、地域の伝統文化を小学生に知ってもらう機会となった。
●参加者の固定化により、貴重な体験談を次世代へと繋げていくことができていない。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
地区の方の声から内容を決め、講座を作っていく。

【成果と課題】
○普段から食べている十三の里のパン作りを体験することで、作り手の地域への想いを感じてもらう機会となった。
●対象を親子とすると参加が極端に減少してしまうため、保護者世代の公民館活動への参加を促す働きかけを検討していく必要がある。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
継続して行うか、別の講座の一環として行うかなど、実施の有無から検討する。

【成果と課題】
○全校児童の半数以上もの参加があった。上久堅地区では体験のできない大型ホールでの観劇を体験させることができ、子どもの笑ったり驚いたり表情豊かな姿を見ることができた。小学生は縦割りの班を編成することで、高学年が低学年の世話をしたり、子ども同士で声を掛け合い行動する姿が見られた。
●公共交通機関利用の体験もさせたいが、立地的に難しい。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
バスのレンタル費等が高騰する中ではあるが、地域の子ども達が大変人形劇を観賞する貴重な機会として継続していきたい。

上久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館料理教室		市・地	2	27	15	1,168	実施内容参照	上久堅公民館
学級・講座	地区住民を対象に、料理の基本や栄養について学び、食生活の改善を図る。		継続				【成果と課題】 ○性別問わず実施したが男性料理教室時代の参加者が多く、料理の基本から学ぶ機会となった。挑戦したい料理や上久堅産小麦粉に合うであろう料理など参加者と対話しながら計画を立てることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の声を聴きながら内容を検討し、実施する。		
学級・講座	地区内女性を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。		継続				【成果と課題】 ○参加者同士初めて話をする間柄の方もいたが、参加者について深く知ると共に繋がりづくりのきっかけとなった。普段の公民館活動には参加していない方もおり、「更年期について」や「子どもの性教育について」など女性ならではの悩みを聞くことができた。今後の講座の参考としたい。 ●今年から始めた講座のため、地区住民へ広く周知をしていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和6年度の本格実施を目指し、地区内の女性達の声を聞き講座の組み立てを行っていく。		上久堅小学校ほか
学級・講座	地区内女性を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。		新規	2	11	6	601	実施内容参照	上久堅小学校ほか
学級・講座	地区内女性を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。		継続				【成果と課題】 ○参加者同士初めて話をする間柄の方もいたが、参加者について深く知ると共に繋がりづくりのきっかけとなった。普段の公民館活動には参加していない方もおり、「更年期について」や「子どもの性教育について」など女性ならではの悩みを聞くことができた。今後の講座の参考としたい。 ●今年から始めた講座のため、地区住民へ広く周知をしていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和6年度の本格実施を目指し、地区内の女性達の声を聞き講座の組み立てを行っていく。		上久堅小学校ほか
学級・講座	地区内女性を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。		継続	18	222	33	50	実施内容参照	上久堅小学校ほか
学級・講座	地区内女性を対象に、住民同士の交流と親睦を図る。		継続				【成果と課題】 ○年度当初に打合せを行うことで、学校側と地域側のつながりが生まれお互いの声をかけやすい関係性を構築することができている。 ○多くの地域の方が関わってもらうことで、地域の子どもは地域で育てる環境作りの一環となった。総合学習でのつながりから学習支援ボランティアとして関わるようになっていった方もおり、地域住民が小学生とつながり続けるきっかけとすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き地域と学校をつなぐ取り組みを行っていきたい。		上久堅小学校ほか

上久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生への方言人形劇指導		市・地	2	18	9	9	実施内容のとおり	上久堅小学校
	小学生を対象に、郷土のことは学習することにより、ことはからふるさと上久堅の素晴らしさを再認識することを図る。	実施内容	小学校3年生が人形劇フェスタで上演した演目を方言版にし、文化祭にて方言版「さるかに合戦」を披露した。 講師…上久堅を学ぶ会「方言部会」 ・10月13日 方言部会打合せ ・10月27日 1回目方言指導（読み合わせ） ・11月14日 2回目方言指導（動き付き） ・11月19日 上久堅地区文化祭にて発表 ・12月10日 人形劇定期公演にて発表	評価	【成果と課題】 ○地域の方と小学生との世代間交流の場となると共に、方言という文化を次世代へ繋いでいく機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 母体である上久堅を学ぶ会が解散してしまいが、子どもの地域に関わる思い出やコミュニケーションの機会として、現状の取り組みを継続する方法を小学校と連携し検討していく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業	地区費	継続	2	66	44	1,168	実施内容参照	地区内
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさと上久堅の素晴らしさを再認識・再発見を図る。	実施内容	地区内の桜の名所を始め、上久堅にある自然地形を活かし、各所にある郷土学習資料を学び、地区を再発見したり、地区をPRしたりする機会として実施。 ①4月2日 お花見ウォーキング（共催：桜を愛する会） 20名 1日開催を半日開催に変更しコロナ対策を行ったうえで4年ぶりに実施。 ②3月9日 上久堅小6年生とめぐる 上久堅ウォーキングツアー 44名（うち6年生9名、担任1名） 6年生が総合の時間にて作成したウォーキングコース（「神之峰コース」「北田遺跡コース」「小野子コース」）のうちの「北田遺跡コース」を基に実施。ガイドも6年生が務めた。	評価	【成果と課題】 ○【お花見ウォーキング】地区内外から多くの参加があり、上久堅の誇る1本桜を知ってもらう機会となった。 ○【6年生】保育園児から高齢者まで広い世代の参加があり、6年生の解説時には「よく調べたなあ」「小さい頃の遊び場だったけど、詳しくは知らなかった」等の声があった。6年生にとっては1年間の成果を発揮し達成感を得る機会となり、参加者にとっては地域を改めて学ぶ機会となった。また、小学生の地域への想いに感化された大人たちが「自分たちも地域のために頑張ろう」と感化される結果となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 まちづくり委員会と連携しながら、地区の魅力をj知る事業として内容を検討していく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	南信州狼煙リレー	地区費	継続	1	20	20	1,168	8月26日	神之峰城址
	地区住民を対象に、郷土の歴史や風物などを学習することにより、ふるさとの再認識を図る。	実施内容	この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるために実施。飯田下伊那の各地区公民館へも呼びかけ武田信玄狼煙会として狼煙上げを行った。 狼煙への点火は上久堅小学校6年生3名及び担任が武将姿で行った。	評価	【成果と課題】 ○小学6年生による点火が恒例となっていることから保護者の参加もあり、神之峰や狼煙について学んでもらう機会となった。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 元公民館役員とも連携しながら、親子が参加しやすいよう楽しい内容を含めることも視野に企画していく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日赤紙芝居「知久のお殿様」	市・地	継続	1	40	40	1,168	12月17日	上久堅公民館
	地区住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高め、引き継ぎ提供することを図る。	実施内容	地区住民からの提案で日赤紙芝居分団によって製作された「知久のお殿様」を上演。 【成果と課題】 ○知久氏3代の歴史をわかりやすく短時間でまとめてあり、地域について学ぶ入口としてとても充実した内容であった。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 単発事業ではあるが、地域の財産・歴史について勉強できる機会を引き続き提供していく。						

上久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ学習会	市・地	継続	1	12	12	1,168	6月12日	上久堅公民館
	公民館役員を対象に、人形劇フェスタについて話を聞くことで、人形劇に対してもっと興味を抱き地区委員として携わる機運を高める。	飯田市初のプロ人形劇団である人形劇DALAの関島路乃氏、吉澤亜由美氏を講師にお招きし、劇人からみた人形劇フェスタと地区公演の魅力、スタッフに希望すること、地区公演で大切にしたい事などの話を伺った。 【成果と課題】 ○人形劇フェスタの運営を初めて担う委員も多く、話を聞くだけでなく多くの質問が上った。文化委員会の振り返りにおいては、フェスタ当日に生かすことのできる情報もあり勉強になったとの意見が上がった。いいだ人形劇フェスタを理解するための大切な機会であると感じた。 ●今回も文化委員以外の公民館委員の参加が少なかったため、いかに自分事として考えていただくかが課題である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 委員より「なぜ飯田で人形劇なのか今一度立ち振り返り勉強したい」との意見も出ていることから希望に合った講師の選定を行い、地区公演を自分事として考えられる担い手の育成を図る。							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023上久堅地区公演	市・地	継続	5	260	64	1,168	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	地区住民を対象に、身近な場所で公演を行なうことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。	実行委員会を保育園保護者会・各分館・文化委員会で組織し、コロナ禍前の規模に戻し地区内5会場を実施。各会場で工夫をこらした「+α」に取り組み、いいだ人形劇フェスタを地区から盛り上げた。日、場所、劇団、スタッフ(団体名)、観劇者数は以下のとおり。 ①8/4 上久堅公民館 劇団虹色どんぐり・九人の力 保育園保護者会・小学生ボランティア 64人 ②8/4 上久堅公民館 ダンボールシアター 文化委員会・ボランティア 63人 ③8/5 上久堅公民館 おうみたけとり座 3、4分館 42人 ④8/5 小野子下集会所 コロナ団・桜でんぶ 5、6分館 49人 ⑤8/6 上久堅公民館 ささきりょう・なにぬの屋 1、2分館 42人 【成果と課題】 ○各会場とも「来場者に喜んでもらうにはどうしたらいいか」と地域の方々の顔を思い浮かべながら趣向を凝らした会場づくりを行うことができた。声出し等制限することなく実施できたため、観劇者の笑顔や笑い声が役員のやる気・達成感にもつながった。小中学生のボランティアの参加もあり、積極的に運営に関わってもらうことができた。 ●若干の温度差がある。どの会場も同じ温度感で取り組めるような投げかけが必要である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民のもっとも身近な場所での公演ができるよう現在の公演数を維持し、実行委員が自分事として運営に携われる気運を高めていく。							
文化事業	上久堅地区文化祭	地区費	継続	1	500	500	1,168	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供する。	本来隔年開催であったがコロナ禍で4年ぶりの開催。様々な芸能分野で活躍する地域の方々の発表の場であり、様々な団体・個人が活躍できる展示の場を提供、また、地域の特産品などを提供する場を設け、地域の文化度をより一層高めた。 共催：各種グループ団体 催し(11月19日)：わいわい広場(8店)、キッチンカー ほか 芸能発表(11月19日)：9団体+ブロ3団体 のど自慢大会(11月19日)：10グループ 展示(11月12日～19日)：一般作品、上久堅保育園、上久堅小学校、竜東中学校作品 ほか 【成果と課題】 ○当日は来場者も多く、地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会となった。今年度は、地区民の活躍の場を増やすため自慢大会を実施した所、多くの参加・応援があり会場が一体となった。文化展においても、地区民同士が声を掛け合い参加を促すことで、個人の成長が増加すると共に、展示品を見ることでお互いの新たな一面を知るきっかけにもつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 幅広い年代層が一室に集える機会であるので、今後も地区民が参加し、楽しめる場として展開していきたい。							

上久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	上久堅を知る	市・地	継続	1	14	14	1,168	9月10日	上久堅郷土歴史資料館
	文化委員が「知りたいこと」を毎年話し合い、今年度は『知久氏』をテーマに歴史資料館にて絵図を見ながら説明を受け、その後神之峰にて現地学習を実施した。 テーマ…絵図で巡る知久氏の歴史 講師：福島晴啓さん								
	地域住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る								
文化事業	実施内容						評価	【成果と課題】 ○先に絵図で歴史についての説明を受けることで、その後の現地学習でもイメージが付きやすく、地域の歴史について再度学ぶ機会となった。 ●委員以外の地区住民の参加があまり得られなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 座学だけでなく現地学習といった方法や外部の講師を招くなど、今回の内容を踏まえて継続して検討したい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	令和5年度上久堅地区二十歳の集い	市・地	継続	1	4	4	4	1月7日	上久堅公民館
	二十歳の成人全員と文化委員を中心に実行委員を組織し、地域の方の協力をいただきながら内容を検討、実施。二十歳の成人全員が市外在住のため、Zoomも活用しながら全員で作り上げることが意識した。 ・二十歳の集い実行委員会を開催し、二十歳の集い式典・祝賀会準備 ・二十歳の集い実行委員による地域学習の実施 …文化祭への出店 ・式典：式辞、二十歳の抱負、恩師のお言葉 ほか ・記念撮影：二十歳の成人、市長、恩師、保護者 ・祝賀会：地域学習の発表、記念ムービー上映								
	二十歳の成人を対象に、自分の生まれ育った地域について考える機会とする。また、地区全体で二十歳の成人をお祝いし交流を図る。								
文化事業	実施内容						評価	【成果と課題】 ○全員が市外在住ではあったが、全員参加のLINEグループにて連絡を取り合い、それぞれに役割を持ってもらうことで、責任感を持って自分事として取り組むことができた。 ○地域学習では運営側の地域の大人たちの姿を見ることが、感謝の気持ちや自分たちに出来ることを考えてもらう機会となった。 ●地域学習については大人側の提案を受け、内容を決定した。二十歳の成人の想いを引き出し、地域学習に繋げていければより良かった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 二十歳として地域学習等で地域に関わるきっかけを大事に、地域の魅力や地元の温かさに触れることのできる機会を考え、繋いでいく。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流女性スポーツ大会	地区費	継続	1	100	100	1,168	6月4日	上久堅小学校
	これまで実施してきたソフトバレーボールでは、高齢者や体を動かすことが苦手な方の参加が難しかったことを受け、年齢関係なく実施できるモルックを行った。 各分館から2チームずつ出し合い、“分館対抗”ではなく順位を付けない“分館交流”として住民同士の交流を図った。								
	地区内女性を対象に、女性のスポーツ活動促進と女性同士の親睦を図る。								
体育事業	実施内容						評価	【成果と課題】 ○種目変更により、幅広い年齢層の参加があり、女性同士の世代間交流の場とすることができた。モルックは老若男女ができる種目であることから、分館でも積極的に取り入れていきたいとの声があった。 ●女性のみの大会ということで、分館によっては参加者の確保が難しい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 幅広い世代の女性の参加があることで多くの子どもも一緒にいて来るため、女性というくりにとらわれず、来た人たちが皆参加できるよう「春季スポーツ交流会」という形で開催を検討していく。	

上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗ソフトボール大会		地区費	1	158	158	1,168	8月27日	農村広場
	実施内容		継続						
	目的	コロナ禍以前は各分館1～2チームを選出しリーグ戦を行っていたが、今回は1チームずつの6チームでソフトボールの試合を行った。 優勝6分館、準優勝5分館、第3位4分館 地区住民を対象に、スポーツ活動促進と親睦を図る。 【成果と課題】 ○中学生から高齢者まで幅広い世代の参加があり、スポーツを通じた世代間交流の機会となった。全ての分館で慰労会が実施され、分館内のつながりも深まった。 ●応援として女性も来るものの、試合出場者は1名のみであった。また、各分館1チームの出場としたことで高齢者についても同様に応援のみの方が多いように見受けられた。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今回は応援のみとなってしまった方々も参加できるような形を検討する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	上久堅地区運動会		地区費	1	400	400	1,168	10月8日	農村広場
	実施内容		継続						
	目的	分館対抗種目を残しつつも分館関係なく自由に参加できる種目をメインに、午前中の半日開催とした。 分館毎の人口に大きく差があることから、今回試験的に6つの分館を3つつつ2チームに分け玉入れを行った。 地区住民を対象に、住民の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る。 【成果と課題】 ○企画委員会では後ろ向きな意見が出るが多かったが、玉入れの各チーム名決めて大いに盛り上がり、積極的な意見出しが行われた。小さなことではあるが、運動会に向けて団結力が強まった。 ○当日は多くの参加があり、地区住民が親睦を深める場となった。 ●自由参加競技と分館対抗競技を上手に組み合わせしていく必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ前のように中学生などが積極的に関わられるよう運営方法を検討していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ交流会		地区費	1	100	100	1,168	2月4日	上久堅小学校
	実施内容		継続						
	目的	誰もが気軽に参加できる3種類のニュースポーツを各分館2チームずつ出し合い対戦。今回は勝敗を付けず、交流をメインに実施した。 〈実施種目〉囲碁・将棋、モルック、ポッチャ 地区住民を対象に、住民の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る。 【成果と課題】 ○誰もができる競技にすることで、広い世代の参加があった。高齢者が小学生にやり方を教えるなど、世代間交流の場にもなった。 ●少数でも実施可能な種目のため、分館役員しか参加していない分館も見受けられた。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 多くの地区住民が参加できるように開催方法・周知方法を引き続き検討する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみひさかた」発行		地区費	4		650	1,168	実施内容参照	-
	実施内容		継続						
	目的	公民館活動はもちろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけ年4回発行した。 ・紙面発行 発行数：4回（5月、9月、12月、2月）、発行部数：650部 広報委員会を中心に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を図る 【成果と課題】 ○広報委員会が分担し取材など全員で関わり、読みやすい紙面、読んで楽しい紙面づくりを心がけた。 ○新しい連載枠を企画するにあたり、委員全員で意見を出し合い議論することができた。 ●前年の館報を基に割付を行うため、掲載記事が固定化されている。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 多くの地区住民に読んでもらえる紙面を目指し、内容の充実を図っていく。							

上久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報発送サービス事業		地区費	4	88	22	22	実施内容参照	-
	全国各地の上久堅出身者を対象に館報を郵送し、生まれ育った地域の情報を知らせてもらう	実施内容	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今のようになっているか知っていただく機会として行った。上久堅をPRすることを目指し、様々な地区内チラシを同封。 (実施内容) 発送：年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者：22名						
	目的	評価	【成果と課題】 ○毎回発送されてくるのを楽しみされる方も多く、生まれ育った地域の情報を発信する良い機会となっている。 ●購読者の高齢化もあり、毎年登録者数は減少傾向にある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き新規購読者を増やすための取り組みやPRを行う。						
CS協働	上久堅小学校PTA・公民館三者共催公演会		市・地	1	100	100	1,168	11月11日	上久堅小学校
	小学生とその親・一般を対象に、生の芸術文化に触れることで、感性豊かな人材の育成を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○人形劇は巡回公演などで見る機会も戻りつつあるが、音楽はあまり機会がない中で、地域の大人、保護者、子どもが一緒に楽しむ機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍以前は「学齢期の子どもたちが基本的な生活習慣を身につけること、またその親の悩みを解消するための講演会」を開催していた。こういった機会も設けていく必要があるため、今後の方向性について三者で協議していく。						
	目的	評価							
	ふるさと自然体験2023		市・地	1	67	67	1,168	7月9日	興禅寺
企画事業	地区住民を対象に、地域で育てる子ども像を模索し、次世代を担う人材の育成を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○地区内のお寺を会場に、写経・座禅・自分で捕まえた魚を捌くなど日常生活では体験することのできない体験を小学生にしてみることができた。 ○当日は雨のため内容の変更も余儀なくされたが、小学生を楽しませたい・体験させてあげたいという思いから臨機応変な対応をすることができていた。地域の子どもは地域で育てるという想いを強く持つてもらった機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 大人も子どもも上久堅の豊かな自然を通じて楽しみながら学習でき、ふるさとへの愛着を深められるような内容を企画・検討していきたい。						
	目的	評価							
			市・地	6	127	34	1,168	実施内容参照	各区集会所等
企画事業	分館自主活動		地区費	6	127	34	1,168	実施内容参照	各区集会所等
	地区住民を対象に、身近な問題について身近な場所で行い、地域住民の交流を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○コロナが5類となったことを受け、全ての分館で自主活動を再開することができた。より良い機会にしようと、住民同士の対話から実施内容を変更した分館もあり、スポーツや伝統的な遊びなどそれぞれの集落の特徴や住民の興味関心に沿った分館活動が展開された。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各分館の状況にあわせて、地域のさらなる活性化となるよう推進していきたい。						
	目的	評価							

上久堅公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企 画 事 業	世代交流しめ縄飾り講習会	市・地	継続	6	87	20	1,168	12月10日、12月17日	各地区集会所
	地区住民(特に子どもと高齢者)を対象に、大切な伝統文化の子どもたちへの継承と世代間交流を図る。	【成果と課題】 地区内の高齢者の方を講師に迎えお正月のしめ縄飾りづくりを教わることに より、昔ながらの伝統文化の継承と分館内の多世代が交流し親睦を深める 機会として分館毎に実施。 1分館…12/17、14名、原平集落センター 2分館…12/17、16名、下平集会所 3分館…12/17、17名、風張集会所 4分館…12/10、9名、越久保センター 5分館…12/17、20名、大沼館 6分館…12/17、11名、蛇沼集会場 【成果と課題】 ○小学生の子どもだけでなくその親世代も参加し、伝統文化や技術の継承を図ることができた。 ●コロナ禍で分館事業の中止が相次いだため、事業に対する関心が薄れているのではない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 小学校・保育園PTAとの連携を図り、より多くの子ども達に伝統文化に触れてもらえる機会として実施を継続する。							
そ の 他	第28回 ひさかたの火まつり(屋の部)	他会計	継続	1	80	80	1,168	8月16日	北田遺跡公園ほか
	地区住民を対象に、手作りのお祭りを作り上げながら交流を深めるとともに、地域の宝である北田遺跡の活用を図る。	【成果と課題】 ひさかたの火まつり実行委員会主催のまつりを組織的に支援。上久堅公民館は文化委員会・企画委員会を中心に子どもの健全育成、住民交流、北田遺跡公園の利活用を目指し、屋の部火おこしセミナーにおいて、竹細工教室・火おこし体験・火種作り大会を実施。例年実施していた流しそうめんは新型コロナウイルス感染症の観点から、そうめんを配布する形へと変更して実施した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催することが目的とならないよう、火まつりの目的や意味を改めて考え、内容を検討していきたい。							
合 同 事 業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	61	61	94	5月13日	竜東中学校
	竜東中学校区の小学校6年生と中学生を対象に、子どもたちの縦のつながりや学校と地域のつながりを大切にし、心身共にたくましく健康やかな子ども達の育成を図る。	【成果と課題】 上久堅・千代・龍江公民館主催・竜東中学校の共催で開催。地域の縦のつながりを大切に地区ごとの縦割りチーム15チームと、3地区合同の保護者チームの計16チームを編成し4ブロックに分かれて総当たり戦を実施。各コートの審判は3地区の公民館委員が務めた。 種目：囲碁ボール 参加者：小学6年生(19名)、中学生(42名)+保護者(7名) 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 3地区と学校・PTAとで協力し次年度以降も継続して実施していきたい。開催日については検討事項とする。							

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)	市・地	継続	16	128	15	25	実施内容参照	千代公民館ほか
	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ、楽しさを知ってもらう事、親同士の仲間づくりを図る	市・地	継続	16	128	15	25	実施内容参照	千代公民館ほか
学級・講座	健康福祉委員会・民児協懇談会	地区費	継続	1	19	19	20	9月12日(火)	千代公民館
	一般を対象に、千代地区の福祉についてともに考え、解決していく意識の醸成を図る	地区費	継続	1	19	19	20	9月12日(火)	千代公民館
学級・講座	新春書き初め教室	市費	継続	1	12	12	1,457	1月6日(土)	千代公民館
	地区住民を対象に、世代間交流を通じて、地育力の向上を図る	市費	継続	1	12	12	1,457	1月6日(土)	千代公民館
学級・講座	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ、楽しさを知ってもらう事、親同士の仲間づくりを図る	市・地	継続	16	128	15	25	実施内容参照	千代公民館ほか
	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ、楽しさを知ってもらう事、親同士の仲間づくりを図る	市・地	継続	16	128	15	25	実施内容参照	千代公民館ほか

千代公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさと講演会	市・地	継続	1	22	22	1,457	1月20日(日)	千代公民館
	目的	【成果と課題】 ○参加者アンケートから、化石が採れることは知っていたが改めて聞くことができ てよかったとの感想が上がった。参加した子どもたちも、現物の化石を食い入るよ うに見ていた。 ○子どもにも分かりやすい内容であったが、大人も改めて地域の化石について知 る機会となり大変好評であった。 ○来年度は千代小学校の地域を知る授業でも化石をテーマに行う予定であり、つ ながりが持てる内容となった。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ふるさと講演会を委員会持ち回りにして、今年度で1周した。青少年育成委員会 が主催したことで、「今、子どもたちに学んでほしい内容」を考えることができた。来 年度は分科委員会が主催となるため、文化委員会として地域にとって必要な学 び・テーマを検討していく。							
	実施内容	○文化・体育・育成の専門委員が年替わり持ち回りで企画し、千代にまつわ る内容や身近に感じるテーマについて講演会を行う。 ○今年度は青少年育成委員会が企画し、小学生親子にとって必要な地域の 学びを検討。千代地区で採取される化石について学ぶ機会が少ないことを 踏まえ、以下の内容で講演会を行った。 [演題]千代の化石を知ろう [講師]川谷文子先生(飯田市美術館博物館 学芸員) [内容]千代地区で化石が出る理由、この地域に生きている化石の解説(現 物を見ながら)、地域の先人:長谷川善和さんとは [参加]大人10名、小学生5名、委員スタッフ7名							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	毛呂窪天文台 星空観察会	地区費	新規	2	34	24	1,457	実施内容に記載	毛呂窪天文台
	目的	講師:川手俊美さん(星空案内人) スタッフ:太田いく子さん、金田千春さん、関口かおりさん ○地域にある天文台を活用し季節ごとの星空観察会を実施する。 7/22 中学生向けに募集したが集まらず、一般向けに変更。参加者10名。球 状星団の観察を計画したが、曇天のため月の望遠鏡観察に変更。その他、 季節の星座の観察など 9/8 小学生向けに募集し、親子24名が参加。曇天のため望遠鏡観察なし。 季節の星座の観察、室内での解説、設置されている望遠鏡の見学 1/12 中学生・一般向けに募集したが集まらず、中止							
	実施内容	地区住民を対象に、毛 呂窪区に位置する民設 天文台「毛呂窪天文台」 を活用し、千代の星空を 見ること自然に親し み、魅力や愛着を深め る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	中学生版:万古溪谷橋の木ツアー	市・地	継続	1	12	12	67	8月26日(土)	万古溪谷
	目的	【成果と課題】 ○千代地区以外の中学生も含め、千代の自然に触れる機会となった。 ●このツアーに参加した中学生が、小学生向けツアーでボランティアにつながら う、継続して呼び掛けていく必要がある。 【次年度の方向性との取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 小学生向けの柵の木ツアーは多く参加があるものの、その後の継続性が課題に なっている。中学生向けのツアーを軌道に乗せ、継続した関わりを作っていく。							
	実施内容	○竜東中PTAと共催 ○青少年育成委員会主催の万古溪谷橋の木ツアーよりも上級者向けのコース で行い、地域の自然と魅力、またそれを楽しみながら守る地域住民に触れて もらう。							

千代公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人形劇フェスタかんげきバスツアー	地区費	継続	1	47	47	126	8月3日(水)	鼎文化センターほか
	主催：千代公民館、千代図書館 協力：しゃくなげの会(学童保育)	【成果と課題】 ○両小学校の児童を混合したことで、学区を超えた交流につながった。 ○リーダーを指名したことで、当初頼りなかった児童にも自覚が生まれ、班を率先してまどめてくれた。スタッフからも子どもの成長を感じられたとの声が上がった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 夏休みの子どもの居場所づくりにもつながっており、スタッフとなる千代図書館 やしゃくなげの会とも相談し内容を検討する。また、情報交換会を通して他地区の工夫も参考にしながら、子どもたちの交流につながる観劇バスツアーを計画していきたい。							
	実施内容 小学生を対象に、文化芸術に触れるとともに、地区内の交流を深める機会とする	評価 主催：千代公民館、千代図書館、千代小学校の児童が同じ班になるよう編成し、地区内での交流を図る。また、情報交換会での他地区の事例も参考にし、リーダーを指名して班員をまどめてもらうよう工夫にした。 ○観劇の際には自由席とし、親子で参加した方は希望すれば一緒に観られるようにした。 《行程》 千代公民館→千栄小学校→かざこし子どもの森公園「窯焼きピザづくり体験・昼食」→鼎文化センター「観劇：人形劇団ひとみ座『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』」→千栄小学校→千代公民館							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023千代地区公演	地区費	継続	3	184	184	1,457	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	主催：いいだ人形劇フェスタに併せ、地域の方と劇人が「みる・演じる・ささえる」それぞれの立場で人形劇フェスタを盛り上げる機会として実施する。 ○文化委員会主催で本館公演を行うほか、分館が主体となつて行う公演についても、必要に応じて支援・連絡調整する。 ・8/4 法山公演(法山分館主催・法山地域振興センター) ・8/5 千栄小公演(文化委員会主催・千栄小体育館) ・8/6 千代小公演(分解委員会主催・千代小体育館)	【成果と課題】 ○ブレフェスタに参加した委員から提案があり、文化委員会講演でお楽しみ抽選会を行い盛り上がった。千代小学校公演の交流会では、会場責任者会での登壇者からの話を参考に、地元の「くるみの会」に五平餅を作ってもらい、海外劇団の方に食べていただく機会となった。また、委員がポテトク(翻訳機)を持参し、竜東中人形劇団と海外劇団の交流を促すことができた。 ●一方で、千栄小公演はあまり集客がなかった。観客のターゲットを考え、どのような劇団を希望するか文化委員会で話し合いたい。また、千代小公演、千栄小公演では、熱中症対策として大型の扇風機を使っていたが、それでも暑かった。会場を公民館にする等の検討が必要だと感じた。アンケートには「夏の開催を見直した方がいい」との意見もあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 オリジナル企画の活用も視野に入れながら、人形劇フェスタが地域に目を向ける機会となるよう、更なる取り組みを検討する。							
	実施内容 一般を対象に、地域の方と小学生が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、地育力の向上を図る。	評価							

千代公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区文化祭	地区費	継続	1	300	300	1,457	11月12日	千代小学校
	目的 一般を対象に、文化に触れる機会づくりと地域の交流および各団体の活動の活性化を図る	【成果と課題】 ○1年ごと千代小・千栄小を会場として開催しているが、昨年度の中止を受け、今年度も千代小を会場として行った。 ○各種団体による成果物の展示や活動PR、各専門委員や団体による催しコーナーを開催した。併せて今年度は芸能発表を行った。 評価 ●多くの方に足を運んでいた分、運営上の課題が散見された。文化委員会で共有し、次年度の改善につなげる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 運営上の課題はあるものの、3年ぶりに飲食あり・芸能発表ありの文化祭となり、多くの住民が参加し交流する機会となった。今回の反省を委員会で共有し、地域住民の交流や活動する団体の活性化につなげる。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区二十歳の集い	市・地	継続	1	13	13	16	1月7日(日)	千代公民館
	目的 二十歳を迎える世代を対象に、地域について学びながら、成人として地域社会での役割を自覚し、かつ地域への愛着形成を目指す。	【成果と課題】 ○文化委員会と新たに二十歳を迎える世代で二十歳の集い実行委員会を組織し開催。実行委員会ではZoomを活用し、地区外に住んでいる成人も含めて、多くが関わられるようにした。 ○地域学習：くるみの会と文化祭での出店 ○式典：祝いの舞（羊平獅子舞保存会）／黙祷／主催者挨拶／まちづくり会長、市議会議員 祝辞／来賓紹介／二十歳代表挨拶／乾杯／恩師よりお祝いのメッセージ／近況報告／飯田市消防団第13分団より／万歳三唱 ○式典終了後、二十歳の成人が企画・運営を行い、竜東中学校区祝賀会を開催（不動温泉佐和屋） 評価 ○近況報告では、現在地区外に住んでいる成人からも地域へ帰ることを考えているとの声が多く聞かれ、来賓にとって背中を押される内容であった。 ●本来であれば二十歳の成人の興味・関心から、主体的な地域学習に繋げることが理想であるが、時間的制約もあり、館長・主事の提案で進めざるを得なかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 小規模地区であることの強みを生かし、次年度も多くの成人が関わることができ、二十歳の集いを企画していく。							
	実施内容								

千代公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンふらバレー大会	市・地	継続	1	97	97	1,283	5月21日(日)	千代小学校体育館
		【成果と課題】 ○若年層が参加しやすい交流事業として、体育委員会が実施した。 ○参加チーム：6分館連合から6チーム(選手登録97名、総参加者約150名) ワンふらバレーを総当たりで実施した。 優勝：米川 準優勝：法山 3位：野池 ○コロナ禍で中止が続いていた体育事業だが、4年ぶりに再開する大会となった。準備段階では選手集めが懸念されたため、R1年度よりチーム数・コート数を絞っての開催になった。							
	地区住民を対象に、地区住民で交流事業を 目 的 作り上げ、住民同士の 交流を図る。	実 施 内 容	評 価 ○次年度の方向性と取り組み □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の反省をもとに、「各分館連合2チーム」「試合時間10分」「2コート」と、R1年度よりは縮小するが、今年度よりはやや拡充方向の意見が出ている。また、開催時期についても6月の操法大会前あたりに調整できるよう、次年度の計画を行っていく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	千代地区市民運動会	地区費	継続	1	-	-	1,457	10月15日(日)(中止)	千代山村広場グラウンド
		【成果と課題】 ○コロナ禍による中止が続き、運動会の運営を経験している体育委員がいない中で計画した。例年にとらわれることなく、改めて何を大切にして運動会をするのか、そのためにどのような内容にするのかを、体育委員全員で考えあう機会となった。 ○中学生も大人とともに役員会・準備作業に参加し、一緒に考え行動する主体として参加してもらった。一緒に作り上げたからこそ「中止になって悔しい。やりたかった」との声が上がった。 ●半日開催や種目の変更など、コロナ禍以前からの変更点について、効果や課題を検証できなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍以降、地区住民の交流は減少傾向にあり、運動会の再開に期待する声は大きい。幅広く地域住民が交流できる機会として、次年度の開催に向け準備をしていく。							
	地区住民を対象に、地区住民で交流事業を 目 的 作り上げ、住民同士の 親睦を図る	実 施 内 容	評 価 ○以下のとおり準備作業を進めたが、当日雨天により中止となった。 【準備過程】 7/21 関係団体正副委員長会(開催方針の説明・協力依頼) 8/25 竜東中学校生徒への説明会 9/22 全役員会(役員スタッフ全員参加) 10/8 運動会全体作業・前夜祭 10/14 前日準備 10/15 当日朝：中止を決定						

千代公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲基ボール大会	地区費	継続	1	127	127	1,067	2月4日(日)	千代小学校体育館
	実施内容	○中高年層や女性に参加しやすい交流事業として、体育委員会が実施した。 ○参加チーム：6分館連合から12チーム(選手登録127名、総参加者約160名) ○分館対抗で行い、総当たり戦で行った。分館内で練習ができるよう、2週間にわたって練習期間を設けた。 優勝：下八B 準優勝：下八A 3位：法山B							
	目的	40歳以上の中高年層及び女性を対象に、健康増進、交流を図る							
広報事業	館報千代の発行	地区費	継続	6	4,920	820	1,457	-	-
	実施内容	○広報委員会が企画・編集を行い、地区の広報や、地域の魅力や課題を発信を目的として年6回発行する。 ○地域のイベントだけでなく、地区住民にフォーカスした紙面づくりを行う。 《取り上げた主な記事》 [328号]まちづくり委員会始動、グリーンツーリズム説明会、のど自慢大会優勝 [329号]よこね田植え、ワンふら大会、豪雨災害、河鹿がえる祭り、千代峠交流会 [330号]伝統芸能と野外音楽祭、人形劇フェスタ、千栄子ども夏祭り、りんごん [331号]保育園運動会、雲母が丘祭、子ども夢学校、稲刈り・収穫祭、天龍峡マ ルシエ [332号]二十歳の集い、年男男女、文化祭、相田一人講演会、ふるさと千代会 [333号]一年を振り返って、囲基ボール大会、ふるさと講演会、飯田市公民館大会							
	目的	一般を対象に、地域の新聞を発行し、地域の情報を発信するとともに、地域の資料として保存していく							
広報事業	ふるさとへの便り発送事業	他会計	継続	6	114	19	-	-	-
	実施内容	○千代地区出身者のうち希望者に対して、故郷の情報を伝えるために館報千代を送る。							
	目的	地区外の千代地区出身者を対象に、故郷の情報を伝えるために実施							

【成果と課題】

○多くの分館で慰労会を行い、地区住民の交流につながった。

○複数の分館で、大会前に予選会を行い、地区住民の交流を促すことができた。

●ルールに関して徹底してほしい等の意見もあり、多くの住民が楽しく参加できるよう、次年度あらためて確認が必要である。

●年間を通じ、体育事業の再開に合わせて地区住民の交流が再開したとの声がある一方で、分館によってはいまだに慰労会を見合わせているところもあり、温度差が色濃く見られる。

評価

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小

年間を通じ、体育事業の再開によって地区住民の交流が図れたとの意見が多かった。体育委員だけでなく各分館役員とも協力しながら、地区の交流活性化に努める。

【成果と課題】

○積極的な取材活動を行い、広報委員自身が地域の行事に足を運ぶ機会となった。

○豪雨災害やコラム(イナズマ)など、地域の課題に着目する記事を掲載できた。

●内容が例年固定化されてきており、委員の工夫を生かしていない。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小

館報づくりについての研修機会を生かし、委員の工夫が反映されるような公民館報を検討していく。

【成果と課題】

○ふるさと千代会でも話題に取り上げていただき、千代地区出身者にとって楽しみにしていたことを実感した。

●ふるさと千代会自体もそうであるが、希望者は年々減少傾向にある

評価

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小

地区出身者にとって千代地区を知ってもらう・つながりを持ってもらう手段であり、今後も継続して実施していく。

千代公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	万古溪谷橋の木ツアー		市・地	継続	1	-	126	6月23日(土)(中止)	万古溪谷
育成事業	目的 小学生とその親を対象に、自然に親しみ、地域の再発見と地域への愛着を深める		講師：万古溪谷会 ○青少年育成委員会が主催し、小学生親子を対象として行う。また、中学生以上には案内人見習いとして準備段階から加わってもらい、今後の万古溪谷会の活動への繋がりを狙う。 ○上記の内容で計画したが、6/2豪雨災害により林道千遠線の崩落・唐沢の滝まで下りる階段の損壊により、6/16に中止を決定した。 ○申込数：児童23名、保護者15名、中学生ボラ1名、先生4名、案内人5名、ほか16名 合計64名 ○準備過程 5/15 栃の木ツアー実行委員会 6/7 スタッフ向けの救命講習会 6/12 中止決定 6/18 整備調査(中止後であるが、万古溪谷会とともに損壊状況の調査)						
	実施内容		【成果と課題】 ●小学生に、千代の宝を五感を通して感じてもらう機会であるが、安全を考慮し中止せざるを得なかった。 ○今年度初めて、一般救命講習会を行った。青少年育成委員会として体験を通した活動も多く、緊急の際の初動について学ぶ機会となった。 ○万古溪谷会とともに整備調査に入ったことで、損壊箇所を確認することができ、来年度に向けた準備につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 小学生からは中止に対して残念だとの声も多く、次年度についても開催を検討していく。学校にも協力いただき、学校でのふるさと学習との関連も考えていく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ウォークラリー大会		地区費	継続	1	33	126	9月2日(土)	田力・荻坪・野池
育成事業	目的 小学生親子を対象に、地域を学びながら歩くことを通して、地育力の向上と郷土への愛着形成を図る		主催：青少年育成委員会 協力：文化委員会、北部分館、野池分館 ○地区内を6コースに分け、年替わりでコース内を散策し、クイズを解きながらウォーキングを行う。 ○今年度は田力・荻坪・野池コース約6kmを歩き、珪化木、林芋村、よこね田んぼ、野池観音、野池神社、アバマキ、島岡亮太郎等について出題した。 ○実施に際しては青少年育成委員で事前に下見・コース整備を行い、当日はチェックポイントの案内を行った。また、北部・野池分館の方に協力いただき、休憩所を設けていただいた。						
	実施内容		【成果と課題】 ○参加者からは、クイズを通して初めて知って知ったことがあった、家族で楽しい時間を過ごせたとの感想をもらえた。 ○コース下見に際して、委員自身も地域について学ぶ機会となった。 ●気温が高く、熱中症の恐れがあることから、急遽コースを短縮することとなった。 ●千栄地区の児童の参加が少ない。千代全体に広がること。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 次年度についても、青少年育成委員会で企画し実施していく。今年度の反省を生かし、開催時期についても検討していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	創作教室		市・地	継続	1	48	48	11月12日(日)	千代小学校体育館
育成事業	目的 小学生親子を中心とした一般を対象に、世代間交流を通して、地育力の向上と郷土への愛着形成を図る		○文化祭に併せて、工作教室を行う。 ○創作物：水引アケセサリー、紙ヒコーキ、ビーズ飾り、カイト ○講師：飯田女子高校手芸クラブ(篠田未琴さん、林萌菜美さん)、野田充夫さん、関口兼華さん ○飯田女子高校手芸クラブは今回初めて講師依頼し、打ち合わせ・振り返りともに高校生に参加してもらった。						
	実施内容		【成果と課題】 ○青少年育成委員だけでなく高校生や地域住民に担っていただき、世代間交流につながった。特に、高校生は地域との関係が希薄になりがちであり、今回のように関わったことは地域にとっても、高校生の将来にとっても大きな成果となった。 ○打ち合わせ・振り返りともに参加してもらったことで、当日だけではない継続した地域とのつながり作りになった。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も文化祭に合わせ企画を行う。今回できたつながりをもとに、次年度も企画していく。						

千代公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働	おたんじょうび本プレゼント事業		地区費	継続	63	63	63	実施内容に記載	千代小・千栄小
	地区内小学生全員を対象に、本に親しみ、地域の図書館を利用してもらう機会を増やす		地区費	継続	63	63	63	【成果と課題】 ○子どもたちが図書館へ足を運んで本を選ぶことで、図書館の利用率向上に寄与している。 ○プレゼントを楽しみにする子どもも多く、読書推進につながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、継続して実施していく。また、実施にあたって図書館の利用やお楽しみ会についてもPRをしていく。	
	実施内容		地区費	継続	63	63	63		
C S 協働	ふるさと学習「炭焼きに学ぶ」		市・地	継続	6	6	6	11月21日(火)	旧ごんべえ邑炭焼き小屋
	小学生を対象に、炭焼きを通して地域の歴史と現状を知り、地域資源の活用について考え、地域への愛着醸成を図る		市・地	継続	6	6	6	【成果と課題】 ○昨年度も炭焼き体験と、その前後での調べ学習を行っていたが、本年度はさらに炭の効果について研究し、学びを深めた。 ○一連の学習成果を授業参観で発表したことで、小学生から地域の大人に対して、学習内容を伝えることができた。 ●炭焼きについて伝えられる人が減っており、今後の継続性が課題 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の伝統産業について、学習内容が充実し、さらにそれらを発表することで大人が学ぶ機会となった。地域の伝統産業について伝えられる方が減っており、今後地域への広がりを検討する。	
	実施内容		市・地	継続	6	6	6		
C S 協働	科学実験教室		市・地	新規	2	14	14	3月4日(月)	千代小・千栄小
	小学生を対象に、科学実験を通して科学への興味を促す。また地域の方との交流を行う。		市・地	新規	2	14	14	【成果と課題】 ○6年生の思い出づくりに合わせ、科学に対する興味関心へとつながっている。 ○地域の方も一緒に講師となっていて、地域の方にとっても小学校における活躍の機会になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 他の学年にとっては6年生の門出を祝いながら、自分たちも卒業の時には打ち上げることを楽しみにしており、今後とも継続して実施していく。	
	実施内容		市・地	新規	2	14	14		

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いいだ人形劇フェスタ2023観劇電車ツアー	他会計	継続	1	5	5	105	8月3日(木)	丘の上結スクエア
	図書分館係員と協力し、地区内の小学生が飯田の人形劇の祭典であるフェスタの雰囲気に触れる機会として実施。								
	【内容詳細】 開演：10:30 劇団：人形劇団あつけらん「めっきらももきらどおんどん」 引率スタッフ：図書分館係員2名、館長、主事								
学級・講座	児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。								
学級・講座	小学校の児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に								

龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼの会」	市・地	継続	21	22組	4組	33	【成果と課題】 ○参加者が少ない中だったが、同世代の子どもを持つ親同士の一つながりがくりの場になった。 ○家庭でできない遊びを学級にて経験し、家庭でも行っていただくことで親子のふれあいの時間が増えた。 ○スタッフとして主任児童委員が参加してくれたので、子どもたちの様子を知り連携を取りやすくなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者数の減少を踏まえ、来年度は千代・上久堅・龍江の3地区区合同での乳幼児学級を行い、親同士の交流をさらに図っていく。		龍江公民館、龍江保育園 他
	保育園入園前の幼児と親を対象に、子供が心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊びなどを通して、子供の社会性や親子の繋がりを育てると共に、親同士の相互交流の場とする。	市・地	継続	21	22組	4組	33	【成果と課題】 ○参加者が少ない中だったが、同世代の子どもを持つ親同士の一つながりがくりの場になった。 ○家庭でできない遊びを学級にて経験し、家庭でも行っていただくことで親子のふれあいの時間が増えた。 ○スタッフとして主任児童委員が参加してくれたので、子どもたちの様子を知り連携を取りやすくなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者数の減少を踏まえ、来年度は千代・上久堅・龍江の3地区区合同での乳幼児学級を行い、親同士の交流をさらに図っていく。		龍江公民館、龍江保育園 他
	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市・地	継続	9	280	-	35	【成果と課題】 ○回数を重ねていく度に地域の協力者との交流する場面が増えていく様子があった。 ○地域の大人にほめてもらい、嬉しいような園児の姿が多く見られた。 ○園児との交流の機会、成長を見られる機会は地域の大人に元気を与えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 園児が畑作業に関われる経験、地域の大人との交流の機会として引き続き実施する。		龍江保育園・山畑
学級・講座	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市・地	継続	9	280	-	35	【成果と課題】 ○回数を重ねていく度に地域の協力者との交流する場面が増えていく様子があった。 ○地域の大人にほめてもらい、嬉しいような園児の姿が多く見られた。 ○園児との交流の機会、成長を見られる機会は地域の大人に元気を与えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 園児が畑作業に関われる経験、地域の大人との交流の機会として引き続き実施する。		龍江保育園・山畑
	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市・地	継続	9	280	-	35	【成果と課題】 ○回数を重ねていく度に地域の協力者との交流する場面が増えていく様子があった。 ○地域の大人にほめてもらい、嬉しいような園児の姿が多く見られた。 ○園児との交流の機会、成長を見られる機会は地域の大人に元気を与えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 園児が畑作業に関われる経験、地域の大人との交流の機会として引き続き実施する。		龍江保育園・山畑
	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市・地	継続	9	280	-	35	【成果と課題】 ○回数を重ねていく度に地域の協力者との交流する場面が増えていく様子があった。 ○地域の大人にほめてもらい、嬉しいような園児の姿が多く見られた。 ○園児との交流の機会、成長を見られる機会は地域の大人に元気を与えた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 園児が畑作業に関われる経験、地域の大人との交流の機会として引き続き実施する。		龍江保育園・山畑
学級・講座	図書館お楽しみ会	地区費	継続	3	67	-	2,578	【成果と課題】 ○普段図書館を利用している親子以外も、お楽しみ会をきっかけに公民館に来ていただくことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き親子で参加できる会を計画する。		龍江公民館
	図書館お楽しみ会	地区費	継続	3	67	-	2,578	【成果と課題】 ○普段図書館を利用している親子以外も、お楽しみ会をきっかけに公民館に来ていただくことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き親子で参加できる会を計画する。		龍江公民館
	図書館お楽しみ会	地区費	継続	3	67	-	2,578	【成果と課題】 ○普段図書館を利用している親子以外も、お楽しみ会をきっかけに公民館に来ていただくことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き親子で参加できる会を計画する。		龍江公民館

龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	伝統文化体験(和紙作り)			市・地	3	52	-	19	【成果と課題】 ○事前学習を実施することで昔の暮らしや地域に住む人々が大切にしていたものなど歴史を学ぶ機会になった。 ○伝統を継承する地域の大人から、直接教わることでできた。 ○保護者の方にも多くご協力いただき、龍江の伝統文化に触れてもらうことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校、PTAと連携しながら今後も継続して行う。		龍江小学校
	目的	龍江小学校6年生を対象に、龍江でも以前行われていた紙漉を復興し、伝統文化として継承していく。		継続							
	実施内容	1/30 事前学習「和紙の里龍江について」、楮とり、楮の皮むき 2/1 楮の白皮煮、白皮煮叩き、トロアオイの根叩き 2/6 紙漉き									
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照 <th>開催期日</th> <th>開催会場</th>	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校お助け隊			地区費	1	1	-	105	【成果と課題】 ○かねてより学校は敷居が高く入っていきづらいとの声があったが、学校から授業補助をお願いを受け、お2人を中心にご協力いただいた。日常的に学校に行き子どもと接する機会が生まれ、学校との距離がなくなり嬉しいとお声が上がった。 ●年間名簿の更新がされおらず、実際に声をかけることのできる人が分らない状態である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 小学校、現お助け隊の方々と協力し、名簿の更新を行いお助け隊を組織化する。		龍江小学校
	目的	龍江小学校児童を対象に、地域と学校が連携して教育活動に関わる心とにより龍江を愛する心を育む。		継続							
	実施内容	地域住民がボランティアとして学校の補助を行う。 【内容詳細】 《講師》 ○読書(読み聞かせ):山平由里さん(龍江図書館長)、他協力員7名 ○総合(おやす作り):鳴海和彦さん ○授業補助:林宗吉さん(民生児童委員)、伊藤みず穂さん(主任児童委員) 《実施日》 11/30読み聞かせ【感染症拡大のため中止】、12/15 1・2年生おやす作り 授業補助は通年									
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照 <th>開催期日</th> <th>開催会場</th>	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校地域クラブ			地区費	7	318	-	53	【成果と課題】 ○地域クラブは子ども達にとっても楽しみであるようで、楽しみながら伝統を学ぶことができた。 ○講師である地域の大人を名前で呼び、交流する姿が見られた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 これからも長く続いていくように、講師の担い手育成についても話をしたい。		龍江小学校
	目的	龍江小学校高学年を対象に、地域と学校が連携して教育活動に関わる心により龍江を愛する心を育む。		継続							
	実施内容	龍江にある伝統文化や資源を活用し、地域の大人が講師となって子どもたちに教える。学校と連携して実施。 【内容詳細】 《講師》 ○郷土料理:塩澤紀美さん、JA女性部「つぼみの会」の皆さん ○将棋:松尾謙一さん、塩澤敏彦さん ○今田人形:澤柳太門さん、鳴海和彦さん ○伝統と文化:塩澤俊夫さん ○お茶・お花:大原喜代子さん 《実施日》 5/31クラブ打合せ会、6/20、7/6、7/20、9/21、10/19、1/25クラブ感謝の会									

龍江公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023龍江地区公演	他会計	継続	2	162	-	2,578	実施内容参照	実施内容参照
	目的	地域の方と劇人が「みる・演じる・ささえる」それぞれの立場で人形劇フェスタを盛り上げる機会として実施。 文化部中心で本館公演を行うほか、分館が主体となって行う公演についても、必要に応じて支援・連絡調整を行う。 【内容詳細】 8/5(土) 開演：10:00 会場：龍江公民館 劇団：劇団むう「森のともだち」 8/6(日) 開演：13:00 会場：今田人形の館 劇団：トンチキSTEPS「トンチキ劇場 ナンジャ・コレ」、今田人形座「壺坂霊験記」山の段							
	実施内容	【成果と課題】 ○今回フェスタに関わるのが初めての役員が多かったため、今までのやり方にとわられることなく主体的に相談し、準備を進めることができた。 ○今田人形座のジョイント公演が子ども向けの劇団であったため、親子連れの参加が多く、今田人形の上演を見てもらう良い機会となった。 ●龍江公民館での公演日が龍江保育園の行事の日と重なってしまっため、地区内の保育園児が観劇できなくなりました。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 関係機関と早めに連絡をとり、多くの人にみてもらえるようにする。 分館公演が復活の際には、分館同士の進捗状況や情報共有ができるようにする。							
文化事業	龍江地区文化祭・芸能祭	市・地	継続	1	300	-	2,578	2月3日(土)、4日(日)	龍江公民館
	目的	テーマ「みんなで楽しむ文化祭」 公民館を利用する団体、個人の方を中心に、日頃の活動の成果を発表する展示を行った。 初の試みとして、文化部企画で輪投げを行った。 飲食を可能としたため、調理室を飲食スペースとして開放した。							
	実施内容	【成果と課題】 ○テーマを決めることで中心となって運営する文化部が、文化祭をどのような機会にしたいかを考えるきっかけになった。 ○普段公民館にこない子ども達にも、輪投げをきっかけに公民館に来てもらい、公民館は楽しい場所だと思ってもらえたら。という意図を持って行ったが、家族で参加してくれる方が多く、楽しんでもらうことができた。 ●芸能祭を含む催しは2日目に集中しているため、1日目に来てくださる方は少ない。2日間行う意味はあるかと話題になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 2日間行う意義を確認し、日程の設定を行う。							
体育事業	市民運動会の代替事業として実施。 世代を問わず参加でき、練習なしで誰でもできる種目を体育部で検討。 市民運動会を実施していた際に使っていた道具を活用し、新たな種目を考案。 【種目】 体力測定(反復横跳び、握力、立ち幅飛び、上体起こし、シャトルラン、6分歩行、体組成測定、ソフトボール投げ、ハンドボール投げ) なかよし対抗競技(スリッパ飛ばし、紙飛行機飛ばし、ねらえ！どまんか！、近くに寄せて！) 地区住民を対象に、住民の体力増進と住民のコミュニケーションの機会とする。 地区住民を対象に、住民の体力増進と住民のコミュニケーションの機会とする。 地区住民を対象に、住民の体力増進と住民のコミュニケーションの機会とする。	市・地	継続	1	152	-	2,578	10月9日(月・祝)	龍江小学校体育館
	目的	【成果と課題】 ○家族で気楽に参加してもらったことができた。 ○子ども大人関係なく対等で競うことができたことで盛り上がった。 ●種目やチャランの雰囲気で大人が参加しにくかったとの意見があった。 ●なかよし対抗競技は1人ずつ行う種目であったため、応援し合う雰囲気や会場が一つになって盛り上がる雰囲気は弱かった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 わくわくスポーツ大会の成果や課題を踏まえ、市民運動会の今後の在り方を協議する。							
	実施内容	【成果と課題】 ○家族で気楽に参加してもらったことができた。 ○子ども大人関係なく対等で競うことができたことで盛り上がった。 ●種目やチャランの雰囲気で大人が参加しにくかったとの意見があった。 ●なかよし対抗競技は1人ずつ行う種目であったため、応援し合う雰囲気や会場が一つになって盛り上がる雰囲気は弱かった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 わくわくスポーツ大会の成果や課題を踏まえ、市民運動会の今後の在り方を協議する。							

龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第31回龍江絆駅伝	地区費	継続	1	146	-	2,578	12月3日(日)	今田平農村広場 他
	地区内外住民を対象に、体力増進とコミュニケーションの場とする。	地区内の交流と団結により、地域の活性化や地域づくりにつながるきかけの場となるように体育部で計画。 龍江地区だけでなく、近隣地区や地区外サークルなど地域内外の交流の場にもなるよう、幅広く周知した。 【開催概要】 八重桜街道周回コース(累計10.3km) 15チームが参加 人気の豚汁サービスを復活。							
	目的	【成果と課題】 ○今年二十歳になる世代が、地域学習をきっかけに地域に関心を持ってくれるようになりチームを組んで参加してくれた。 ○当日の運営スタッフとして、他の専門部にも協力してもらったことで地区全体の事業であるという意識を持ってもらうことができた。 ●龍江地区内からの参加が年々減少している。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 龍江地区内からの参加が増えるような工夫を考える。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江新聞	地区費	継続	25	255	12	2,578	実施内容参照	龍江公民館
	龍江地区住民を対象に、公民館事業に限らず地域の様々な情報を取り上げ、住民が地域を誇り、地域を愛するきっかけづくりを目的として実施。	年間12回(882号～892号)、1回1,100部を発行。1号発行につき、2回会議を実施した。 昭和24年8月から絶えず発行している伝統ある地区の新聞であることを大切に、地区内各所へ部員が足を運び、取材をして新聞形式で原稿を執筆し紙面へ掲載する。 龍江地区出身の方や、ゆかりのある方で希望する方に郵送を行う。							
	目的	【成果と課題】 ○持続可能な龍江新聞にするために、部長を中心に誰が部員になっても活動を行えるような工夫を考えることができた。 ○記事が固定化しないよう、部員がそれぞれの立場(消防、PTA、りんご農家、各區に関すること)でアンテナを高く様々な情報を共有をすることができた。 ●新聞部は大変と印象が地区内にあり、なり手が少ない。今年度生まれた工夫を活用することで少しでも楽しさややりがいを感じてもらえるように取り組む。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和6年度11月に900号が発行される。四面での発行になるため、部員みんなで意見を出しながら準備をする。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	龍江ホームページ運営	地区費	継続	17	68	4	2,578	通年	龍江公民館
	一般を対象に、閲覧者が龍江地区の魅力を知る機会を提供する。	ホームページ運営委員会(専門委員会)が、公民館事業に限らず地域の様々な情報を取り上げ、リアルタイムな情報発信のツールとして日々更新を行う。 龍江地区の魅力を地区内外へ広く周知することを目的としている。 さくらの特集ページを作成。今年度末に公開に向け、取材・打合せを行った。							
	目的	【成果と課題】 ○ホームページ以外にも、Instagram、YouTube等も並行して活用し、情報発信を行うことができた。 ○事業やイベント情報等、リアルタイムな情報発信を行うことができた。天候等の影響で事業の内容を一部変更する際には、Instagramを活用した情報発信が有効となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 日々の情報発信を引き続き行う。 「龍江の未来を切り拓く」と題した、地区内のヒトにフォーカスしたコーナーの更新に力を入れて行く。							

龍江公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ふるさと探検	市・地	継続	1	-	74	2,578	6月3日(土)【中止】	龍江地区内(4区)
	保育園児、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする。	実施内容	地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶ機会とするため、青少年健全育成部、文化部、小学校PTA、福祉委員会共催事業として企画。 各ポイントの名所の紹介を地元の方に依頼。 今年度は4区コースで計画を行ったが、豪雨のため中止。 4月16日に青少年健全育成部で下見を実施。						
	目的	【成果と課題】 ○多くの親子が申し込んでくれた。 ●一般の方にも参加してほしいと思い計画を行うが、最近はお子向けの事業という雰囲気になってしまっている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も4区コースで計画を行う予定。コロナ前に行っていた体験メニューについても実施の方向で検討する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子で段ボール獅子頭をつくらう	地区費	継続	1	16	-	2,578	7月16日(日)	龍江小学校体育館
	保育園児、小学生と親を中心にふるさと龍江の伝統文化に触れ、愛着と誇りを持てる機会とする。	実施内容	親子で工作を行うことを通して、気軽に地域の伝統文化に親しんでもらう機会として企画。また、子どもの頃から獅子舞に触れ身近に感じ、いざれ担い手になってほしいという想いもあり、実施した。 【内容詳細】 主催：一区大獅子保存会 講師：NPO法人いいだ人形劇センター わたちやん						
	目的	【成果と課題】 ○工作を通じて龍江地区の伝統の一つである獅子舞を知り、楽しんでもらうことができた。 ○親子で参加してもらうことで親子のふれあいの時間となった。 ○人形劇フェスタの際に入口に展示することで多くの人に見てもらえることができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子ども達に地域の伝統文化に触れてもらう機会を設けたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	水辺の楽校魚つかみ取り大会	地区費	継続	1	50	-	2,578	9月23日(土・祝)	水辺の楽校
	保育園児、小学生と親、地区住民を対象に、親子団らんの場の提供、児童が川に親しみ、自然を大切にすることを育む機会として実施。	実施内容	小学校PTAと下伊那漁業共同組合龍江支部、総合学習館かわらんべと合同で実施。 参加者を4つのグループ(保育園、1・2年生、3・4年生、5・6年生)に分け、小さい子から順につかみ取りを行った。						
	目的	【成果と課題】 ○保育園から小学生を中心に家族で参加してくれた。 ●今回は魚についての説明の時間を設けなかったため、学習の要素が弱くなってしまう。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 保育園児がつかみ取りを行う時は魚が元気でなかなか捕まえられなかったので、つかみ取りを行う順番を工夫する。 水辺の学校についての説明や、魚についての説明を行うことで学習の要素を抑えたい。							

龍江公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	百人一首大会・龍江かるた大会	地区費	継続	1	15	-	2,578	1月21日(日)	龍江公民館
	図書分館と共催で実施。 かるたを楽しむながら龍江地区の文化・歴史・史跡を学ぶ機会とし実施。百人一首は日本文化に触れる機会としている。 両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童の交流の場とする。								
	保育園、小学生、地区住民を対象に、日本文化や地区の歴史を学ぶ機会とする。								
評価	【成果と課題】 ○保育園児には内容が難しいと心配されたが、保育園児が一番に礼を取る姿が何度もあり、かるたを活用して龍江について楽しく学んでくれていることを知った。 ●参加者の固定化。来てくれている子達からは大変好評で、楽しみにしてくれている様子だが、新たな参加者を誘えていない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 おわりの会の際、青少年健全育成部の部長より「来年度はお友達を誘って来てほしい」と伝えた。多くの子が龍江かるたをきっかけに地域のことに関心をもち、楽しみながら学習してもらえよう事業の継続を行う。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	アップルキッズの森	地区費	継続	6	320	105	105	実施内容参照	学校りんご園
	学校りんご園後援会を中心に、小学校児童会環境委員会やPTAと連携しながらりんご園の管理を行う。 【主な内容】 5/17摘果作業(全校児童)、5/27摘果作業(PTA)、9/2草刈り(PTA)、9/28中生種収穫(3.5.6年生)、11/22ふじ収穫(全校児童)、3/6剪定								
	小学校児童を対象に、りんごの生産を通し、食育や地区の産業を知る機会とする								
評価	【成果と課題】 ○後援会をはじめ各関係団体と連携しながら活動することができた。 ○PTAとも連携し一緒に整備作業をすることで、縦のつながりをつくるきっかけになった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 龍江小学校の特色であるりんご園を子ども達が誇りに思い、これからも大切にしていけるよう後援会、PTA、保育園、りんご狩り組合等との連携をこれからも大切にしていく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協 働 事 業	竜峡中学校キャリアフェスティバル2023	他会計	継続	1	-	-	145	7月18日(火)	竜峡中学校
	生徒が作る「キャリアフェス実行委員会」が中心となり、テーマの設定、講師との打ち合わせ、当日の運営を行う。当日は、川路・三穂・龍江にゆかりがあるお店や個人事業主、会社員などの方が中学校に集まり、生徒は興味ある講師がいるブースに行き、講師のご経験、仕事について、職場について、地域について話を聞く。 講師の選定にあたっては、生徒の聞きたい講師・業界を参考にしながら、三穂・龍江・川路地区公民館・中学校で検討し、声かけを行っている。今年度は学校からの要望により、三地区の公民館主事もブースを担当し経験や想いなどを伝えた。								
	竜峡中学校生徒を対象に、将来仕事に就くことへの楽しみを抱き、将来の幅を広げる。								
評価	【成果と課題】 ○参加いただいた講師の皆様から、ご自身の経験を踏まえて人生のメッセージをお伝えいただく場面もあり、社会人として説得力のある生の声を生徒に届けることができた。また、中にはこの地域を選ばず背景、きっかけをお話しいただく方もおり、生徒に地域の魅力を届けることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 職場体験学習等と関わらせながら、必要に応じて学年で実施計画。(全校で行うキャリアフェスティバルは来年度実施しない。)								

龍江公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	竜峡中学校いきいき竜峡講座	他会計	継続	1	-	-	145	12月5日(火)	竜峡中学校
	竜峡中学校の生徒を対象に、三地区にゆかりのある方から仕事や進路について講演いただくことで、自身の進路について考える機会とする。	実施内容	【成果と課題】 ○近年課題となっている表現力や伝える力を養う機会となるよう、三穂出身でイラスト書道を通じてご自身の想いを表現されている「和全」氏を講師として実施。 【内容】 ・講演「日々のやりがい・気を付けていることなどイラスト書道家のお仕事について」、「現在のお仕事を指すきっかけ・母校竜峡中学校での思い出について」 ・イラスト書道のパフォーマンス						
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	たつえの未来を考える会	地区費	継続	1	49	18	2,578	実施内容参照	竜峡中学校
	龍江小学校、PTA、PTAのOB、保育園PTAで連携し、龍江小学校の児童数減少について現状を知り、これからについて話す場とする。	実施内容	【成果と課題】 ○定期的に集まり、話をする中で常に考える機会を担保した。 ●現状の情報共有を行うことができたが、情報共有だけになってしまっていることがあり、具体的な活動や目標等が見えなくなってしまう。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小						
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	61	61	94	5月13日(土)	竜東中学校
	竜東中学校区の小学校6年生と中学生を対象に、子どもたちの縦のつながりや学校と地域のつながりを大切にし、心身共にたくましく健やかな子ども達の育成を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○生徒児童合同の縦割りチームにすることで小学生が中学生の様子を知る機会となり、中1ギャップ予防の一助となっている。 ●開催日の関係で教職員の参加が「学校と地域のつながり」を築くには至らなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小						
	目的	評価	3地区と学校・PTAとで協力し次年度以降も継続して実施していきたい。開催日については検討事項とする。						

龍江公民館の事業報告

No.9

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	武田信玄狼煙リレー		地区費	継続	1	10	-	2,578	8月26日(土)	兔城公園
	その 他 的 目 的	実施内容	飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の狼煙リレーに参加し、先人の文化を感じる。							
		目的	【成果と課題】 ○先人の文化を感じることができた。 ●極めて一部の取り組みとなっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域づくり委員会や専門部と協力し、狼煙リレーに合わせて学習会を行うなど、多くの人が関わる学習の機会となるよう計画する。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	龍江地区二十歳の集い		他会計	継続	1	15	-	25	1月7日(日)	龍江公民館
	その 他 的 目 的	実施内容	実行委員会を組織し、二十歳の成人が自ら企画運営に携わり地域の大人と関わる機会を持つ。 地域学習、式典・祝賀会の計画を通してふるさと龍江に愛着と誇りを持てる機会とする。 式典当日だけの関わりにならないように、式典前に地区実行委員会との合同実行委員会を開催した。 【内容詳細】 《実行委員会》≫9/20、10/5、10/19、10/24、11/9、12/21(地区実行委員会との合同会議)、1/6(前日リハーサル) 《当日次第》記念撮影/開会/今田人形上演「二人三番望」/式辞/祝辞/来賓紹介/祝電披露/恩師より祝いの言葉/二十歳代表あいさつ/二十歳実行委員会あいさつ/閉会 《地域学習》10/9 わくわくスポーツ大会に参加し、わくわくスポーツ大会が始まった背景を体育部長に聞き取りを行った。今後市民運動会が復活される時に自分たちにできることを考え、体育部長に伝える機会になった。 式典の中で地域学習の内容、感じたことを発表。							
		目的	【成果と課題】 ○二十歳の集いを自分たちでつくりたいという想いがあり、自主性や積極性が高く、式典を終えた時、実行委員は達成感を感じることができた。 ○地区実行委員との合同会議を行うことで、式典当日だけの関わりにならないことにつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 二十歳の集いをきっかけにできた若者とのつながりを大切に、地域の中で活躍できる役割、機会を作っていく。 主事と実行委員だけのつながりにならないように、地区の大人とつながることを意識する。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田OIDE長姫高校地域人教育		市・地	継続	28	224	8	2,578	実施内容参照	龍江公民館
	その 他 的 目 的	実施内容	龍江地区研究テーマ「わたしとりんごと」たとつえと～龍江のりんごを使ってPR～」 4月から翌1月の毎週金曜日を基本に活動。たつみ農園松尾さん、丸峽農園藤本さん、天竜峡農園松尾さん、waratte house 杉山さんとはじめ、地域の方の協力のもと実施した。 《内容詳細》 4～6月聞き取り調査・公民館事業への参加、8～9月りんごのシロップ作り、りんごソーダの考案、試作、天竜峡をどり(りんご祭り)への出店、10/22アルクマ熱気球イベントへの参加、9～11月龍江観光プランの考案、11月～1年間の振り返り、12/21成果発表会							
		目的	【成果と課題】 ○高校生の視点で龍江の魅力を探し、地域人教育に関わってくれた大人へ伝えることができた。 ○龍江地区で活動する大人の龍江への想いを聞き、「本気の大人」に出会うことができた。 ●地区として関わる事ができず、一部の方との取り組みになってしまった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 龍江地区の高校生とのつながりが希薄であると感じるため、地元の高校生との取り組みについても検討し、機会を創出したい。							

竜丘公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0・1歳児学級	他会計	継続	12	94	26	70	5/30～3/15	竜丘公民館他
	目的 0・1歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいを図る	乳児の成長発達や育児法などについて学習する。育児相談、情報相談の場とする。 講師に保健師、保育士等をお願いし、育児法、子どもの接し方等について学ぶ。 親の個人相談等保健師に依頼する。福祉健康委員・民生児童委員に支援に入ってもらうことで、相談し合える関係を構築する。 【実施内容】 ①5/30開講式 ②6/21わらべうた ③7/19七夕かざり ④9/13手形足形アート ⑤10/23べじーマッサージ ⑥11/20人形劇 ⑦11/22運動会 ⑧12/20クリスマス会 ⑨1/24新聞紙あそび ⑩2/19手形足形アート ⑪2/22絵本の読み聞かせ ⑫3/15閉講式 おもちゃ作り 【成果と課題】 ○育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、親同士が知りあい、地域内に縦と横のつながりを作る機会。悩みの共有などのおしゃべりができる時間を多めに設定した。また希望もあり手形足形アートを複数回実施した。著しい0・1歳期の成長の実感を得、皆で楽しみながら我が子の成長を記録し比較できる講座となった。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。							
	2・3歳児学級	他会計	継続	12	95	18	89	5/12～3/8	竜丘公民館他
学級・講座	目的 2・3歳児とその親を対象に、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいを図る	講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについて学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。福祉健康委員・民生児童委員に支援に入ってもらうことで、相談し合える関係を構築する。 【実施内容】 ①5/12開講式 ②6/14手形足形アート ③7/12七夕かざり ④9/13運動会 ⑤10/16びざつくり ⑥11/15消防署見学 ⑦11/20人形劇 ⑧12/13クリスマス会 ⑨1/17新聞紙あそび ⑩2/7小麦粉粘土 ⑪2/22絵本の読み聞かせ ⑫3/8閉講式 【成果と課題】 ○育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、親同士が知りあい、地域内に縦と横のつながりを作る機会になっている。夫婦での参加も増えつつある。一緒に工作する時間や歌を多く取り入れ、参加している親御さんのリフレッシュや、育児上の相談につながった。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。							
	乳幼児学級ファミリーデー	他会計	新規	2	56	45	159	6月11日、11月19日	竜丘公民館他
学級・講座	目的 乳幼児とその家族対象に、育児不安を解消し、家族同士の交流、親子のふれあい、母のリフレッシュを図る	講師に保健師、保育士等をお願いし、ワークショップでリフレッシュを行うと共に、乳児と家族はふれあい方や育児法などについて学習しつつ、図書分館と協働しておはなし会を開催する。親の個人相談等を保健師に依頼する。 【実施内容】 ①6/11 親子でパンづくり・おはなし会とふれあい遊び 参加 12組の家族 45人 ②11/19 やきいも・おいしいコーヒーのいれ方講座 おはなし会とふれあい遊び 参加 5組の家族 11人 【成果と課題】 ○日曜日開催のファミリーデーを実施。普段は乳幼児学級に参加できない親の参加の機会となった。一昨年に引き続き企画し開催したが、参加申込家族数が年々増加している。月齢が近い子を持つ家族同士の歓談が見られ、交流とリフレッシュが図れた。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 家族で取り組めるワークショップなど、ニーズを取り入れながら地域の中でのつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。							

竜丘公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)	市・地	継続	50	289	7	319	通年(週1回)	竜丘公民館
	中国帰国者や外国人住民を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。	講師：安藤信貴、片町國臣、西川和憲、磯村裕子、善本勝 【成果と課題】 ○日常の生活習慣、教育・保育、趣味、医療など広範にわたっての話題をとりあげて毎講座を行っている。言葉の勉強だけでなく、スピーチコンテストへの参加や地域探訪で交流を深めるなど、楽しみながら学習する場となっている。 ●コロナ禍によって減少してしまった生徒の再獲得が課題。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 言葉の勉強だけに偏らず、風習や日常生活などを話題にしなが、地域で暮らす仲間として交流する機会を増やしていきたい。							
学級・講座	大人の学校	市・地	継続	9	250	76	2,473	通年	竜丘公民館
	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまとまりと生きがい、地域参画を図る。	【実施内容】 4/25 フレイル予防について知ろう 講師：座光寺保健師 参加：34人 5/26 若返り筋肉トレーニング体操 参加：28人 6/26 高齢者の食事 口腔フレイル予防 講師：管理栄養士 参加：26人 7/25 ストレッチ体操① 講師：健康運動指導士 参加：36人 9/26 ストレッチ体操② 講師：健康運動指導士 参加：30人 10/23 ストレッチ体操③ 講師：健康運動指導士 参加：36人 11/27 フレイル予防講演、体操 講師：座光寺保健師 参加：20人 12/11 囲碁ボール大会 参加：40人 3/25 ストレッチ体操④ 講師：健康運動指導士 参加：30人(見込み) ほか、公民館清掃に年2回参加 各クラブ(絵手紙、もみじ、パズコン、陶芸、ハーモニカ、体操、マレット、切彫)は通年開催 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 後継者育成に注力する。運営委員会主導の講座運営をサポートし、「健康」で地域参画できる高齢者の輝く場づくりに取り組む。 ●運営委員の高齢化が課題。新たな人材の発掘、講座への結び付けが必要。							
学級・講座	家庭教育講演会	地区費	継続	1	36	36	159	11月20日	竜丘公民館
	保育園保護者を対象に、家庭教育の大切さを伝え、意識向上を図る	竜丘保育園との共催で、保育園児、乳幼児の親子を対象に行う。 親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、竜丘保育園児、竜丘保育園未就園児学級との交流を図る。 【実施内容】 期日：11/20(月) 会場：竜丘公民館 劇団：人形劇 ちんどん 演目：イスとイスのおはなし・トラックとらすけ 参加：乳幼児学級より18組(36人) 園児含め全体：85人 評価 【成果と課題】 ○竜丘保育園児、未就園児学級とともに人形劇を観覧。 親子の触れ合いと、子ども交流の場になった。園にきょうだい児がいる親子の参観にもなっており、良い環境でのふれあいができている。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 保育園と日程を調整しながら、継続して行っていく。							

竜丘公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサート		市・地	継続	1	113	6,620	7月17日	竜丘公民館
	竜丘住民を対象に、音楽を身近なものとして親しみ、音楽文化の向上を図る。	実施内容	一流の音楽家による演奏を気楽に楽しみながら、音楽を身近なものとして親しみ、音楽を通じて住民の交流の場、普段ふれる機会の少ない、生のクラシック音楽にふれる機会として開催した。竜丘小学校PTAと連携をとり実施。竜丘コーラスの歌声により開演、弦楽四重奏「なついろカルテット」に演奏いただいた。小学校ブラスバンドとも共演。 (期日)7/17(月・祝) 大人:84人 子ども:29人 合計:113人が観覧						
文化事業	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 次年度は金管五重奏の楽団が来訪予定。小学校ブラスバンドと密に連絡を取り合い、クリニックを含めより良い機会となるように調整する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023竜丘地区公演		他会計	8	1,109	266	6,620	8月3日～8月6日	竜丘公民館他
	一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民の交流を図る。	実施内容	本館公演と各分館での公演を実施。 本館公演では観劇者も劇人もスタッフも楽しめる公演を目指して実施する。各分館では交流会を実施し、劇人との交流を通して「人形劇のまち飯田」を知り、その意味を考ええる機会となっている。 (期日)8/3～8/6 本館で3公演、各分館で1公演ずつ、計10劇団による8公演を実施。 合計:1,109人が観劇						
文化事業	評価	【成果と課題】 ○「開催が久しぶりで運営に不安もあり、また人が来るのか読めず、盛り上がりを感じていたが、子どもの食い入るように見る姿に開催してよかったと思った。」と分館公演から振り返りがあり。会場ごとの交流や催し物など特色ある取り組みを実施した。 ●年度当初、コロナ禍明けの初事業ということもあり検討が鈍った。今年度の活動をばねに、よりよい地区公演を目指して引き続き取り組んでいく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今後も飯田の文化継承と住民の憩いの場となるよう、分館公演をサポートし、本館公演も併せて行っていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘地区文化祭		地区費	継続	1	600	6,620	11月11日～11月12日	竜丘公民館他
	竜丘住民を対象に、日頃の活動の成果を発表し、文化活動のさらなる活性化を図る。	実施内容	(1) 地区内団体、グループ、企業、個人が日頃の活動や成果を発表、交流する (2) 地域における文化活動を活性化させ、地区民の親睦を図る。 (3) 公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。 (4) 分館による展示を行い、地域学習と発表の場とする。 (期日)11/11(土)～12(日) 展示:63団体 発表:2団体 来場者:約600人						
文化事業	評価	【成果と課題】 ○二日間を通し、盛大に行うことができた。各団体とも一年間の成果が表れた展示、発表だった。喫茶コーナーや宝なげ(餅投げ)が復活。子供向けの宝なげ(お菓子投げ)も実施し好評だった。準備に降雨があるなどイレギュラーもあったが、力を合わせて設営をすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 □縮小 今年開催できたことで、来年へのモチベーションも上がっている。地区内他団体からも協力したいとの申し出あり。さらなる年齢を超えた集いの場、地域を感じることのできる場となるよう調整を行う。							

竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分 地区費	事業区分 継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ニューイヤークンサート				1	450	450	6,620	1月14日	竜丘公民館
	目的 竜丘住民を対象に、大人から子どもまでが、音楽をベースにした交流の場とし、芸術振興をはかる。	実施内容	(1) 大人から子どもまで楽しめる身近な催しとして計画する。 (2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。 (3) 竜丘在住のメンバーを中心とした音楽グループに呼びかける。 (期日)1/14(日) 発表者:14団体194名 来場:250人以上 合計450人							
			【成果と課題】 ○幅広い年齢層、ジャンルの音楽が集う和やかな発表会となった。アンケートより「竜丘地区が一つになったようで、よかった」「多くの人が集まって楽しいひと時を過ごす機会。大変な時代の中、和らぎのある竜丘だと実感できました」などの声があった。 ●発表団体が減少傾向にある。 【次年度の方向性と取組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 一部スタッフに負担が偏らないよう、委員全体での参画を計画し、担い手の育成につなげる。							
文化事業	竜丘市民大学講座		市・地	継続	2	47	31	6,620	11月26日、3月17日	竜丘公民館
	目的 竜丘住民を対象に、学習意欲の向上を図り地域づくりの実践につなげていく。	実施内容	竜丘を学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的とし、時代に即したテーマを検討し、年間を通じて開催する。 【実施内容】 ○第1講 11/26(日) 参加者:31名 ・飯田市が構想するリニア時代のまちづくり 講師:市リニア整備課 ・リニア時代の地域づくり 発表:東北スタディツアー参加の高校生 ・リニアと飯田下伊那の産業・暮らし 講師:しんきん南信州地域研究所 ○第2講 3/17(日) 参加者:16名 ・駅模型の見学・学習 講師:市リニア整備課 ・橋脚・駅予定地の視察 説明:JR							
			【成果と課題】 ○第1講では改めてリニア工事の現状を認識し広い視野から「リニア時代の飯田下伊那・竜丘の地域づくり」について考えた。第2講では、模型の見学や工事についての学習を深めながら実際の工事現場を視察。日常生活で使う道路や駅の完成後のイメージを膨らませながら、さらに身近な地域づくりに意識を引き寄せ、「竜丘のみらい」について語り合った。 【次年度の方向性と取組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域にある身近な課題をとらえながらテーマ設定を行い、地域全体の課題として消化できるような口座の運営に取り組む。							
文化事業	竜丘地区二十歳の集い		市・地	継続	1	74	74	101	1月7日	竜丘公民館
	目的 成人を対象に成人自身、社会的自覚と地域に対する理解と愛着をもてるような交流の場にする。	実施内容	地域を担う若者たちのために、地域をあげて二十歳の成人を祝福し激励する。実行委員会を組織し、対象者自ら企画運営に携わり、式を通じて、地域を知り、地域へ参画する第一歩となることを期待して行う。 【経過】実行委員会 4回 地域活動 4回 【式典】(期日)1/7(日) (対象人数)101人 (第1部記念式典)/お祝いの太鼓披露/主催者あいさつ/お祝いの言葉/来賓紹介/祝電披露/成人代表あいさつ(第2部記念行事)思い出のスライドショー/小学校恩師より/中学校恩師よりビデオレター(第3部記念祝賀会)祝賀会/記念花火の打ち上げ 当日参加者:対象者74人、来賓役員21人、スタッフ団体約20人							
			【成果と課題】 ○実行委員は、地域の団体による料理が振舞われる祝賀会は、コロナ禍を経て5年ぶり。地域や関係する団体にとっても、式の開催に関わることで活動が活発化する良い機会となっている。祝賀会の中でも、料理の団体や地区の役員と対象者が交流する場面が見られた。地域全体で祝うあたたかな式となった。 【次年度の方向性と取組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小							

竜丘公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ大会	地区費	継続	1	200	200	6,620	5月21日	竜丘小学校校庭
	目的 竜丘住民を対象に、 スポーツを通して健康維 持と住民の交流を図る	スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力あ る地域づくりにつなげる。 【実施内容】 競技：ペタンク、クッパ 期日：5/21(日) 参加人数：約200人 【成果と課題】 ○コロナ禍明け初めての体育事業であったが、感染対策に留意し実施。分館の体 育委員の尽力により多くの皆さんに参加いただくことが出来た。クッパは初競技 だったが、盛り上がりによって実施できていた。皆さん楽しんで交流が図れていた。 ●晴天に恵まれ大変暑かった。体育館内でやるなど、対策が必要ではとの反省あ り。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 より広い年齢層で楽しめるニュースポーツ競技を選定、よりよい交流の場となるよ う計画する。							
体育事業	竜丘市民運動会	地区費	継続	1	400	400	6,620	10月8日	竜丘小学校校庭
	目的 竜丘住民を対象に、 運動会を通して住民同 士、世代間の交流を図 る	多くの地域住民が練習や大会で集い、親睦・交流を深めると共に、健康増進 に繋がる機会を提供する。 誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。 中学生スタッフに協力してもらえよう、積極的に働きかけを行う。 評価 【実施内容】 期日：10/8(日) 参加人数：約400人 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 しっかりと振り返りを行いながら、今年度の反省や感想の声を吸い上げつつ、来年 度の運動会のあり方について検討を深め、計画していく。							
体育事業	冬季ニュースポーツフェスティバル	地区費	継続	1	90	90	6,620	12月3日	竜丘小体育館
	目的 竜丘住民を対象に、 スポーツを通して健康維 持と住民の交流を図る	気楽に体を動かし、住民同士の親睦が深められるような種目で実施。 (期日)12/3(日) 競技：囲碁ボール、ポッチャ 参加者：約90人 【成果と課題】 ○寒い中ではあったが、老若男女がつどい、ニュースポーツに親しみ交流を図るこ とができた。過去反省から運営も工夫して行うことができた。今後も年齢を問わな い交流の場となるよう、反省を生かしながら計画を行っていききたい。 ●分館ごとに参加者の選出に偏りあり。広い交流の場となるように分館間の意見 交換が必要。 評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 より広い年齢層で楽しめるニュースポーツ競技を選定、よりよい交流の場となるよ う計画する。							

竜丘公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報たつおか発行	地区費	継続	5	—	—	2,200	通年	竜丘公民館
	目的 竜丘住民を対象に、 情報の提供と記録を目的とする。	紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。 読みやすく親しまれる館報づくり、竜丘地域自治会のHPを活用した広報活動を推進する。 370～375号を発行。 【成果と課題】 ○各地区等の行事に広報委員が取材に赴き、記事を制作。公民館活動や地域の取り組みなどをできる限りタイムリーに提供できるよう努めた。 HPIに発行した館報を掲載している。今後も引き続き掲載していく。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小							
育成事業	古墳まつり	地区費	継続	1	100	100	6,620	6月4日	塚原二子塚古墳他
	目的 竜丘地区を対象に、 古墳についての知識の 習得と保存活動の機運 を高める	竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。学びと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。 小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。 (期日)6/4(日) 参加人数:約100人 はにわの野焼き:6/18(日)実施 参加人数:約20人 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区内他団体からも協力したいとの申し出あり。地域の宝を学ぶことのできる場となるよう調整を行う。							
育成事業	水辺の楽校整備・交流事業(川で遊ぼう)	地区費	継続	5	310	60	6,620	川で遊ぼう 8月27日	竜丘水辺の楽校
	目的 自然体験をしながら、子ども の環境への意識を高め、地域への愛着を 育てる	PTAとの協力事業。安全で楽しく自然を学べる場をつくり、昆虫の観察や、自然の中で遊ぶ体験などを通じて、友だちや親子で一緒に学びを楽しむ機会としたい。あわせて、水辺の楽校を知ってもらうことで地域住民の利活用促進をねらう。 草刈り作業等年3回、交流イベントでは自然体験学習、工作体験を行う。 【実施内容】 ○草刈り作業:5/28、7/8、8/20、9/10 参加:延べ約250人 ○交流事業:(期 日)8/27(日) 参加:60名(スタッフ含め) ・おもしろ科学工房工作体験 ・かわらんべ講師水中生物観察 ・PTA共催のかき水提供 を企画。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 中学生ボランティアのと共に、企画運営を行いたい。							

竜丘公民館の事業報告

No.7

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	竜丘あいさつ運動		地区費	継続	10	115	115	6,620	統一行動日 10月25日	竜丘地区
	目 的	竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、あいさつ運動を通して住民の交流を図る	【成果と課題】 ○小学校のあいさつ週間に合わせて実施。テーマを決めて標語の募集を行った。8/24標語の募集、9/20選定。10/25を統一行動日として各分館の協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。のべ参加人数115名。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 小学校と連携した事業となる。連絡を取り合いながら、地域一丸となって事業を推進する。							
		実施内容	標語募集・選定、のぼり旗、クリアファイル作成、各分館であいさつ運動現地指導 (1) あいさつの大切さを見なおす機会とする (2) 大人と子どもがあいさつを通して安心安全な地域づくりを行う (3) できるだけ多くの団体と連携して実施する (期日)統一行動10/25(水) 標語の募集・選定、のぼり旗とクリアファイル作成、あいさつ運動の周知、各分館でのあいさつ運動現地指導依頼。分館では統一行動日以外にもう1日行動日を設定して実施。							
区 分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
民 俗 資 料 保 存	民俗資料保存事業		地区費	継続	-	-	13	6,620	通年	竜丘公民館他
	目 的	竜丘地区を対象に、民俗資料の保存活動の推進を図る	竜丘独自の委員会である民俗資料保存委員会が中心となり、地域の民俗資料の収集、整理、保存にあたる。地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。 ・民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討 ・収蔵品の虫干し ・公民館の展示スペース管理 ・竜丘自由画保存顕彰委員会への参画 【委員会】7回 5/9、6/24、8/24、9/22、10/10、12/21、1/19 【活動】 7/23虫干し、9/28蔵の調査、2/16資料館整理、2/24資料館清掃							
		実施内容	【成果と課題】 ○民俗資料館の清掃や虫干しを実施。建物の老朽化や資料整理の課題があるため、検討していく必要がある。設立50周年を迎えるため、文化祭で特別企画展を実施。委員会の活動の歴史や、保管中の資料などを見ていただく機会となった。丘の語り部 第6集への原稿募集中。令和6年度より編集作業を行う予定。 ●委員の高齢化、一部の委員への負担の偏りが課題。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 委員の高齢化が課題。文化財ボランティアより協力を募りながら、世代の交代と文化の継承に向けて取り組む。							
区 分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協 働 事 業	緑ヶ丘中学校ボランティア事業【緑ヶ丘中学校区】		地区費	新規	68	144	108	653	6月から3月	緑ヶ丘中学校区3地区
	目 的	緑ヶ丘中学校生徒を対象に、地区行事等へのボランティア活動参加を通して、地域住民との交流、地域での自己有用感の形成を図る	緑ヶ丘中学校区(松尾、下久堅、竜丘)の公民館が主に関わっている事業を中心にリストアップし、緑ヶ丘中学校の生徒がボランティアスタッフとして参加できる仕組みを構築し、公民館主事が事務局、中学校が参加呼びかけ、という役割分担で運用開始した。							
		実施内容	【成果と課題】 ○地区や事業の内容によって参加する生徒数にばらつきはあるが、中学生が参加できるボランティアを自ら選んで参加できる仕組みを構築したことによって、中学生が地域事業に参加する数、地域の方と関わる機会が増加した。参加した中学生から活動する楽しさや地域の人の優しさへの感想が多く寄せられ、地域住民にも中学生にも将来に繋がる機会にできた。 ●中学生にとって地域の活動がより身近になるために、生徒たちが進んでボランティア事業に関われる仕組みを学校と連携してつくってきたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 学校からも地域住民からもこの事業に賛同する声が出てきているため、次年度も学校運営協議会等でも協議し、改善点を見つけながら、中学生と地域住民の架け橋になるものの1つとして確率していく。							

竜丘公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	結い未来プロジェクト【緑ヶ丘中学校区】	市・地	継続	1	204	204	204	11月6日	緑ヶ丘中学校
	緑ヶ丘中学校生徒を対象に、キャリアプランニングの向上と人間関係形成・社会形成能力の向上を図る	【成果と課題】 ○コロナ禍を経て、学校側で職場見学やボランティア事業との連動を意識した位置付けの見直しを検討されている中で、学校が主導しながら公民館がつなぎ役になる形が構築されつつある中で、生徒たちにとっても仕事と生き方を考える機会になっている。 ●過渡期ということもあり、学校との情報共有が上手いかわず、地元企業との調整が噛み合わない部分があったため、年度当初からさらに連携を図っていききたい。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 評価 参加している地元企業の方からは、生徒たちのためになればと毎年非常に前向きにご対応いただいている。今後もこの関係性を崩さず、こうした意識を他の企業にも広めていきたい。							
	実施内容	緑ヶ丘中学校区(松尾、下久堅、竜丘)を中心に市内から複数の企業や団体がブースを設け、2学年生徒が2ヶ所を選び企業説明や地域に根差した生き方やその想いなどを聞いた。今年度は、コロナ禍で縮小開催した経験もふまえて、開催時期を例年の7月から11月に変更して開催した。 生徒、教員を中心に全体の内容を検討。公民館主事がサポートをしながら、担当教諭を中心に参加企業および団体の選定。 8月～10月 今年度の方針や内容の検討企業の選定・依頼 10月 参加企業と中学校との事前打ち合わせ 11月6日 当日							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘古墳の会	地区費	継続	-	-	58	6,620	通年	竜丘地区他
	実施内容	【学習部会】 ・竜丘小学校丘のみちしるべ探索 5/12(金) 対象:竜丘小6年生 ・塚原二子塚古墳クイズラリー 6/4(日) 古墳まつり内 参加者:多数 ・古墳学習会 7/26 県立歴史館 他 ・古墳学習会 11/25PM 【古墳公園推進部会】 ・古墳地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める 【古墳公園推進部会】 ・花法師の会、小学校6年生植輪づくり指導、文化祭トンボ玉づくり、除草作業2回/年 草刈り隊作業/毎週日曜日 【調査広報部会】 ・各種団体の視察受け入れ(竜丘小丘のみちしるべ探索、ほか) 【成果と課題】 ○古墳まつりでは小学生を対象に恒例となった塚原古墳群のクイズラリーを開催。多くの子どもが話に耳を傾けてくれた。7月に視察研修を実施。11月に古墳学習会を実施した。いずれも竜丘の古墳に親しみ、古墳の価値などを知ってもらえる機会となった。 ●委員の高齢化、一部の委員への負担の偏りが課題。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 組織の再編、文化財ボランティアより協力を募りながら、世代の交代と文化の継承に向けて取り組む。 評価							
	実施内容	【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 組織の再編、文化財ボランティアより協力を募りながら、世代の交代と文化の継承に向けて取り組む。 評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘児童自由画保存顕彰委員会	地区費	継続	-	-	20	6,620	通年	竜丘公民館他
	実施内容	小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。 竜丘児童自由画の飲田市文化財指定に向けて、自由画の調査活動を行い市の関係機関と連携する。 【委員会】3回 5/16、10/2、2/8 【活動】 9/28蔵の調査、10/16・24自由画と学箱簿調査、11/26 松本大ゼミ視察受け入れ 通年:自由画の文化財指定に関する協力 【成果と課題】 小学校昇降口の自由画レブリカの架け替え、視察や見学の受け入れを行った。自由画の市文化財指定に向けて取り組んでいる。文化祭で、描かれた年度や親族が分らない画について展示情報提供を求めた。 ●委員の高齢化、一部の委員への負担の偏りが課題。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 自由画の文化財指定が秒読み。さらなる活用と地域への啓蒙の計画をたてる。文化財ボランティアより協力を募りながら、世代の交代と文化の継承に向けて取り組む。 評価							
	実施内容	【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 自由画の文化財指定が秒読み。さらなる活用と地域への啓蒙の計画をたてる。文化財ボランティアより協力を募りながら、世代の交代と文化の継承に向けて取り組む。 評価							

竜丘公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	竜丘文化財ボランティア事業	市・地	継続	市・地	継続	4	43	24	6,620	通年	竜丘公民館他
	目的	竜丘の文化財や文化施設を支えるために、竜丘古墳群の環境整備や記録保存にかかわる活動、民俗資料館や児童自由画教室の資料整理等にかかわる活動、竜丘の石造文化財にかかわる調査活動、竜丘の文化財にかかわるイベントの企画や当日の運営について行うボランティア組織。R5.9～募集、活動を行った。									
	実施内容	○学習会・説明会 参加：17人 ・竜丘古墳群とその価値について 文化財保護活用課 春日宇光 ・保護と活用の経過、現状について 古墳の会会長 小林正春 ・児童自由画の価値について 飯田市美術館博物館 榎村洋介 ・児童自由画の保管と市文化財指定の動き 竜丘公民館主事 ・民俗資料館の歴史と現状 民俗資料保存委員長 佐々木政臣 ・民俗資料館、土蔵、自由画展示室の現地見学 ○11/10文化祭準備、11/12片付け 参加：2名 ○2/24 民俗資料館整理・清掃 参加：16名									
その他	放課後子ども教室	市・地	継続	市・地	継続	32	2,714	90	348	毎週水曜日	竜丘小学校他
	目的	地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。									
	実施内容	(期日)毎週水曜(登録)90人(スタッフ)25人 リーダー研修、集団行動訓練、野球、サッカー、軽運動、囲碁ボード、スポーツ吹き矢、ドッチビー、おしなご、工作、太鼓、料理、編み物、読み聞かせ等									
その他	目的	小学生を対象に、放課後の居場所作りと、体験活動の充実を図る									
	評価	【成果と課題】 ○子供たちの社会性や想像力を育て、地域とのつながりを創出する重要な事業。コロナ禍の影響を受けず毎年登録人数が増え続けていることから、子ども・保護者の評価も高く、一層のニーズの高まりを感じた。昨年に引き続きスタッフの募集を行い、新たなスタッフも加入。運営委員会を複数回実施、運営の仕方について案を出し合い、改善に努めた。 ●児童数に対し、スタッフの拡充が課題。スキルアップできる研修会の設定などが必要。									
	評価	【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 今後も子どもと地域の大人との関わりを大切にしていきたい。引き続き地域主体の教室となるようスタッフを募集し、運営を行っていく。									

川路公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すくすく学級」	市・地	継続	14	210	20	100	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	未就園児のいる家庭を対象に、子どもの社会参加促進と、親の育児不安を和らげることを目的とする	市・地	継続	14	210	20	100	【成果と課題】 ○川路地区は近年、地区外から移住してくる子育て世代が増えている中で、未就園児の子どもと親が集い交流する場となっている。各回での呼びかけやチラシでの周知方法の工夫により、今年度は複数のお父さんにも参加いただいた。親同士の周知方法の工夫により、今年度は複数のお父さんにも参加いただいた。親同士が子育てに関する情報を交換したり、地域に関する情報を得る機会となっている。 ○隣接する三穂地区とはお互いに呼びかけあい、どちらの学級にも参加可能な旨を周知し身近な交流の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ①親とおしの繋がりをさらに深められるような組み立て ②引き続きお父さんも参加しやすいような計画	川路公民館ほか
	実施内容								
学級・講座	目的	市・地	継続	3	212	-	1,957	活動内容参照	川路公民館
学級・講座	川路地区民を中心とする参加者を対象に、教養を高め現代的な課題を考えるきっかけ作りおよび川路地区住民の地域への誇りを高める	市・地	継続	3	212	-	1,957	【成果と課題】 ○コロナ禍での工夫(事前予約制、定員制)を継続して行い、開催することができた。また、今年度はお招きする講師について川路にゆかりがある方をテーマにお招きしたことで、運営メンバーも当日をイメージしながら計画を進めることができた。アンケートの回答を見ても、好評であった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 「教養を高めるとともに、現代的な課題を考える契機とする」ための学習の場を川路地区住民主体で作り続けている歴史や目的の再認識ができるようなPR方法を検討。また、夏期大学を通じて学びの実感が得られ、継続的な学びに対する意欲の向上を図り、テーマ性を持った講師選定などを検討する。	川路公民館
	実施内容								
学級・講座	目的	市・地	継続	3	212	-	1,957	活動内容参照	川路公民館
学級・講座	川路地区民を対象に、多世代の交流と伝統文化の継承を図る	地区費	継続	5	109	109	1,957	実施内容参照	川路公民館ほか
	世代間交流事業								
学級・講座	目的	地区費	継続	5	109	109	1,957	実施内容参照	川路公民館ほか

川路公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	歴史文化セミナー		地区費	継続	4	16	4	実施内容参照	川路公民館
	目的	地区内の歴史的建造物等の調査・記録活動の実施 ①4/18 活動のテーマについて検討②5/23これまでの研究・学びの成果やまとめ資料の整理③6/22 これまでの研究・学びの成果やまとめ資料の整理 ④7/21 今後の参加呼びかけについて							
	実施内容	【成果と課題】 ●本セミナーをまとめた会長の引退、会員のご逝去があり具体的な進捗が出ずに、7月のセミナー以降開催できていない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学習テーマを設定した取り組みができない状況であった。会員やこれまでの歴史文化セミナーの活動に関わりある方々と考え、本会の活動の再スタートができるように支援していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	川路さわやか会		市・地	継続	10	150	15	実施内容参照	川路公民館ほか
	目的	毎月1回ウォーキング、健康体操、電車ハイク等を実施 ①4/21(金)ウォーキング・年始総会②5/19(金)電車でお出かけ@丘の上③6/16ポッチャ④7/7(金)健康体操⑤9/15(金)ポッチャ⑥10/20(金)諏訪湖周辺散策(バスハイク)⑦11/17(金)天龍峡散策⑧12/15(金)囲碁ボール・ポッチャ⑨2/16(金)囲碁ボール、ポッチャ⑩3/15(金)ウォーキング・年度末総会							
	実施内容	【成果と課題】 ○会員の健康増進に寄与しながら楽しく参加できるように、会員の意見を尊重して4年ぶりにバスハイクを実施した。また、今年度から新たにポッチャを講座で体験し、好評であったため複数回にわたって公式ルールでの学習や体験を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 月に一度の楽しみとして参加していただいている様子がうかがえる。楽しさを大切にしなが、学級講座として地域に共感・広がり、輪が広がるような動きかけを行っていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023川路地区公演		他会計	継続	3	367	-	実施内容参照	川路公民館、小学校
	目的	公民館、小学校PTA、保育園保護者会、教育育成委員会、天龍峡温泉観光協会、川路地区実行委員会を組織。川路地区区内3会場での地区公演及び本部公演観劇電車ツアーを実施。 8/3(木):有料講演観劇電車ツアー(川路図書館と連携) 参加者:16名 引率スタッフ:図書分館3名、中学生ボランティア2名、館長・主事2名 計7名 8/4(金):公民館公演(文化部会) 観劇者:95名 スタッフ:11名 8/5(土):川路小学校(PTA) 観劇者:128名 スタッフ:16名 8/6(日):川路小学校(教育育成委員会) 観劇者97名 スタッフ:20名							
	実施内容	【成果と課題】 ○4年ぶりの通常開催であったが、ソーシャルディスタンスを意識した会場選定、レイアウトに変更し無事実施ができた。また、劇人との交流の機会を考えてフェスタを楽しめる工夫ができた。 ○地区実行委員会にて、実際に人形劇に関わっている地区の方(DALA関島さん)をお招きし、実行委員会全体で人形劇の歴史や奥深さを確認した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度に向けて人形劇文化やフェスタへの関心を高め、安全に楽しめる形式を検討した上で運営できるよう準備を進めていく。川路地区は子ども達が多く多くの公演に参加できるように公演日の重複がないように調整していることを地区で共有しながら、横の繋がりを、連携の機会をつくる。							

川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	川路地区運動会	地区費	継続	1	250	250	1,957	10月29日(日)	川路多目的広場
	川路地区住民を対象に、住民が一堂に会し、交流・親睦を深める機会の場とし、愛着心を育むことを目的とする。	・より多くの子ども達の顔が見られるような運動会を目指し、部員が主体的にプログラム・種目を検討、実施した。(①美術部の皆さんから「動物の森でGO」を使うサイコロのご提供。②全校生徒からのメッセージ看板のご提供)③吹奏楽部の演奏、ダンス披露④3年生有志による中学生企画(大縄跳び)⑤小学生金管バンドによる開会式ファンファーレ)、その他、園児や未就園児童とそ 【成果と課題】 ○役員が主体的な計画や、働きかけにより子ども達が関わりやすい、また地域らしさを発信する機会作りとして運動会の開催ができた。 ●参加者は限られ、複数種目に同じ方が参加している、人数が少ない、といった声も上がった。							
	目的	【次年度の方向性】 ○拡充 □現状維持 □縮小 世代を越えた地区住民が集う行事としての形式・内容の検討。隔年開催が令和3年度末に決まった中で、開催年ではない年の地域を挙げた交流について検討、働きかけ。							
体育事業	川路地区バレーボール大会	地区費	継続	1	56	56	1,957	6月25日(日)	竜峡中学校体育館
	川路地区の住民を対象に、体を動かす機会を設けるとともに親睦を深めることを図る	競技性の高さから、形式を分館対抗ではなく自由参加形とし、開催した。また、安全性を確保するため、女性・男性それぞれで募集を呼び掛け男子別で試合を行った。 【当日の参加について】男性：3チーム、女性2チーム 【形式】男女別9人制バレーボール(オープン参加型) 【その他】9人集まらない参加希望者も大会に参加できるように、体育部に調整窓口(応募チームへの参加相談・少人数どおしの希望者を合せるチーム編成を予定)を設置。							
	目的	【次年度の方向性】 ○拡充 □現状維持 □縮小 交流の機会として多くの方に参加いただける形式を検討していく。							
体育事業	ソフトボール大会	地区費	継続	1	64	64	1,957	9月10日(日)	竜峡中学校校庭
	川路地区の男性を主な対象に、体を動かす機会を設けるとともに親睦を深めることを図る	競技性の高さから、形式を分館対抗ではなく自由参加形とし、開催した。 【当日の参加について】4チーム 【形式】1チーム9人制(オープン参加型) 【その他】 ①9人集まらない参加希望者も大会に参加できるように、体育部に調整窓口(応募チームへの参加相談・少人数どおしの希望者を併せてチーム編成を予定)を設置。 ②駐車場が広く、芝生定植により整備された多目的広場を会場として予定していたが、芝の発育が悪く、急遽これまで開催していた中学校校庭へ変更した。							
	目的	【次年度の方向性】 ○拡充 □現状維持 □縮小 交流の機会として多くの方に参加いただける形式を検討していく。							

川路公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	川路ワンふら大会	地区費	継続	1	100	100	1,957	1月28日(日)	竜峡中学校体育館
	目的	老若男女年齢問わず楽しめるニュースポーツとしてワンバウンドふらばーる大会の実施。ニュースポーツの特徴を生かし、分館行事として各分館より1チーム以上の参加を呼び掛けた。また、幅広く交流の機会となるべく、オープン参加も可とし、小学校児童にも参加を呼び掛けた。 当日は、分館参加は10チーム、オープン参加は3チーム合計13チームが集い1チーム辺り4試合ずつ交流試合を行った。 優勝を目指し白熱しすぎない様に、交流が目的であることを周知しながら、順位決めも勝ち試合数のみで判断し、同勝率のチームはじゃんけんて順位を決めるなどとし、交流に重きを置いた。							
	実施内容	【成果と課題】 ○小学生を中心としたチームも2チーム参加し、対戦チームでありながら、ラリーを楽しむように交流試合を行う場面も見られた。また、分館対抗型としたことで、多くの方が集い、交流の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続きニュースポーツの特徴を生かした幅広い世代の交流の機会を推進。							
広報事業	館報「かわじ」発行	地区費	継続	4	950	950	1,957	年四回発行	川路公民館
広報事業	目的	・年間発行回数4回(6月、9月、12月、3月)、1回あたり発行部数950部 【成果と課題】 ○役員が積極的に、取材、記事作成、記録撮影を行い、公民館事業だけでなく、地域の動きや地域課題を含めて幅広く掲載できた。まちづくり委員会広報委員会との協働制作により、より広い視点での話題を取り上げることができた。 ○役員の負担を軽減するために、校正資料の事前配布や、時間を決めた進行、ライン等の活用により会議時間の短縮に務めた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 負担を役員全員で分散しつつ、やりたいこと、地域に目を向ける機会を大切に出来るように、考えていきたい。							
	実施内容	【成果と課題】 ○地域学習では、学友林での思い出が、地域への愛着を深めた大きなきっかけの一つであることが伺えた。今年度から整備が始まった学友林整備について、まちづくり委員会会長、副会長、有識者の今村公人氏とともに現地を見学することで、思い出深い地の地域学習に繋がった。 ○実行委員会企画では生け花の経験がある実行委員を中心に両親へのサプライズプレゼント(コサージュ)の手配、作製を行うことで、主体的に「自分たちの節目」という自覚を持ち当日を迎えることができた。 →両親・恩師・地域の方々への感謝の思いを胸に、節目を迎え決意を新たにする機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・帰省者の多いお盆からの実行委員会のスタートを検討していきたい。 ・二十歳の実行委員と、地域との関わりについて、館長や主事との関わりだけでなく、二十歳の集いを地域の大人と「一緒に」組み立てていく意識や仕組みの構築を検討していきたい。 ・参加者の受付手段について、従来はがきにて回答を求めているが、今年度は二十歳の皆さんについてながの電子申請サービスを利用した。問題なく回答を受付できたので、来賓・恩師・保護者についてもはがきからながの電子サービスへの移行を検討したい。							
その他	川路地区二十歳の集い	市・地	継続	1	14	14	21	1月7日(日)	川路公民館
その他	目的	主催：まちづくり委員会 主管：二十歳の集い実行委員会 二十歳の集い実行委員会を中心に企画し、運営は公民館企画会議と連携して行う。 招待する来賓・参列者の皆様をコロナ前の人数に戻しつつ見直しを行い、多くの地域の方に見守られながら二十歳の節目をお祝い出来たことは良かった。 【式典内容】(1)式辞(公民館長)/(2)祝辞(まちづくり委員会会長)/(3)来賓紹介/(4)メッセージ、祝電披露/(5)二十歳を迎えた皆さんの自己紹介/(6)祝杯乾杯/(7)恩師紹介、恩師からの言葉/(8)「思い出スライドショー」/(9)二十歳を迎えた皆さんの代表あいさつ/(10)記念誌紹介、明るい選挙推進委員会より 【二十歳の集い実行委員会企画】(1)20歳の自分への手紙開封/(2)家族へ手作りコサージュのプレゼント 【特記事項】・自己紹介：参列者や保護者を前に自分の近況や将来の夢などを発表する。3月発行の館報かわじにて掲載予定。・思い出スライドショー：家族から事前に集めたメッセージと幼少期の写真を二十歳の皆さんにサブライズで披露。感動的な川路地区の伝統。メッセージは公民館女性副部长2名で読み上げし、BGMは川路出身で愛知を拠点に活動するバンドのキーボード・ストによる生演奏。							
	実施内容	二十を迎える成人を対象に、二十歳の節目に自分自身の育ちや立ち位置を振り返り、自覚や誇りを持つ機会となることを願い、地域をあげてお祝いする。							

川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	夏休みはかわらんべでわになろう！	地区費	新規	1	31	31	54	活動内容参照	かわらんべ
C	高学年の長期休暇中の居場所づくりを目的に実施。 共催：通学合宿実行委員会								
S	【日付】7/25(火)、26(水)、27(木)								
協働事業	【場所】天竜川総合学習館 かわらんべ 【内容】夏休みの宿題、自主学習、自由時間(読み聞かせ、ボッチャ、ペーパータワーなど) 【人数】7/25(火)参加者8名、スタッフ5名、スタッフ4名 27(木)参加者15名、スタッフ4名								
目的	川路小学校児童を対象に、長期休暇中の地域での居場所づくり。								
	【成果と課題】 ○通学合宿実行委員会座長のご尽力により、児童のご家族や有志の方に見守られながら、かわらんべに集い交流ができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 「川路の子どもは川路で育てる」の具体的な活動として、通学合宿実行委員会で引き続き検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	春休みは公民館でわになろう！	市・地	新規	2	-	-	54	活動内容参照	川路公民館
C	高学年の長期休暇中の居場所づくりを目的に実施。 共催：通学合宿実行委員会								
S	【日付と内容】 ①3/22(金)自主学習、フラワーアレンジメント体験(二十歳の集い実行委員会有志) ②3/25(月)自主学習、おもしろ科学工房出前講座(公民館文化部次世代育成事業)								
協働事業	【場所】川路公民館								
目的	川路小学校児童を対象に、長期休暇中の地域での居場所づくり。								
	【成果と課題】 ○二十歳の集いをきっかけに、二十歳の皆さんが主体的にフラワーアレンジメント作製を計画して下さった。また、令和4年度子ども達の学習体験の機会づくりを図ったことでつながったおもしろ科学工房さんと連携し、再び川路地区で科学実験を計画できた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 「川路の子どもは川路で育てる」の具体的な活動として、通学合宿実行委員会で引き続き検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路通学合宿代替事業	市・地	継続	1	-	-	36	開催期日	開催会場
C	学校・PTA・地域からなる通学合宿実行委員会が運営する通学合宿について、平成31年度より通学合宿ができていない状況であるが、子ども達が学校では経験できない体験の機会づくりや、地域の大人との繋がりがづくりを目的に実施・計画。								
S	日時 11/25(土)【インフルエンザ流行により延期】 3/21(木)								
協働事業	内容 竜峡中学校美術部の皆さんが講師となりワークショップ、カネト合唱団の皆さんによる地域学習(講座)、ニューススポーツ体験(ボッチャ)								
目的	対象者 川路小学校5年生・6年生								
	【成果と課題】 ○実行委員会での協議の場を通して、学校・PTA・地域で子どもが集い、学び(体験)、繋がる礎として地域で居場所があることの重要性や意義を確認し、計画出来た。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 宿泊を伴う機会の提供について、4年間実施できていないこと、社会全般で各種活動・行事の制限があったこともあり、子ども達が集う機会・学びの機会の意義について検討していく。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学校クラブ活動	0円	新規	4	32	8	9	実施内容参照	川路小学校
C	コロナ禍でストップしていたクラブ活動を小学校が主体となり再開。今年度は試験的に、ニューススポーツ分野について地域の有識者にご協力をいただき、年四回実施。種目はクラブに参加している児童がやってみることをもとに、実施した。								
S	①6/13(小学校ホール)・顔合わせ・やりたいことを計画・囲碁ボール 【児童6名】								
協働事業	②7/4(小学校体育館)・囲碁ボール・フラバレー【児童7人】③9/5(公民館)・ボッチャ【児童5人】④10/10(公民館)・キンボール【児童7人】								
目的	小学生を対象に、地域の方との交流を図りながら、交流を行う。								
	【成果と課題】 ○コロナ禍に実施できていなかったクラブ活動が復活できたことは良かった。地域の方からニューススポーツを学ぶ機会を通して、子ども達が地域に目を向けるきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子ども達と地域の交流を目指し、内容について小学校と連携しながら検討を進めていく。								

川路公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	キャリアアフェスティバル2023		他会計	1	-	-	145	7月18日(火)	竜峡中学校
	竜峡中学校生徒を対象に、将来仕事に就くことへの楽しみを抱き、将来の幅を広げる。								
	目的	生徒が作る「キャリアフェス実行委員会」が中心となり、テーマの設定、講師との打ち合わせ、当日の運営を行う。当日は、川路・三穂・龍江にゆかりがあるお店や個人事業主、会社員などの方が中学校に集まり、生徒は興味ある講師がいるブースに行き、講師のご経験、仕事について、職場について話を聞く。			【成果と課題】 ○参加いただいた講師の皆様から、ご自身の経験を踏まえて人生のメッセージをお伝えいただく場面もあり、社会人として説得力のある生の声を生徒に届けることができた。また、中にはこの地域を選び暮らす背景、きっかけをお話しいただく方もおり、生徒に地域の魅力を届けることができた。			評価	
	実施内容	講師の選定にあたっては、生徒の聞きたい講師・業界を参考にしながら、三穂・龍江・川路地区公民館・中学校で検討し、声かけを行っている。今年度は学校からの要望により、三地区の公民館主事もブースを担当し経験や想いなどを伝えた。			【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 職場体験学習等と関わらせながら、必要に応じて学年で実施計画。 (全校で行うキャリアアフェスティバルは来年度実施しない。)				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	いきいき竜峡講座		他会計	1	-	-	145	12月5日(火)	竜峡中学校
	竜峡中学校の生徒を対象に、三地区にゆかりのある方から仕事や進路について講演いただくことで、自身の進路について考える機会とする。								
	目的	○近年課題となっている表現力や伝える力を養う機会となるよう、三穂出身でイラスト書道を通じてご自身の想いを表現されている「和全」氏を講師として実施。 【内容】 ・講演「日々のやりがい・気を付けていることなどイラスト書道家のお仕事について」、「現在のお仕事を指すきっかけ・母校竜峡中学校での思い出について」 ・イラスト書道のパフォーマンス			【成果と課題】 ○アンケートでは「自分がその時にやりたいことを大事にしてこれからの将来を決めていきたいと思った」といった感想が多く寄せられ、身近な先輩から進路についてお話をいただくことで、自身の進路について前向きに考える機会となった。 ○学運協では自己表現の弱さについて話題になったこともあったが、当日は積極的に質問などが投げかけられ、生徒たちの主体的な姿勢を見ることが出来た。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も講演を通じて生徒にこうなってほしいという想いを学校と共有し、願った講師を学校と協力しながら選定していきたい。			評価	
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	天龍峡 赤松保護活動		0円	-	-	-	17	3月1日(金)	天龍峡遊歩道
	川路小学校6年生を対象に、天龍峡の赤松再生活動を通して、自分たちが地域の環境保全・美化に関わる機会(未来への種まき)づくり								
	目的	地域で長年活動されている有識者のご厚意で、今年度も小学校と連携し計画・実施。当日は小学校6年生が川路小学校から天龍峡遊歩道まで歩き、赤松の芽の保護活動(目印の打ち込み、伐採した木の運搬)・遊歩道散策を行った。 2/26(月)小学校にて打ち合わせ 3/1(金)当日の予定であったが悪天候のため中止			【成果と課題】 ●近年は年度末に6年生の節目に合わせて行っていたが、卒業式までの間に延期日を設けることができなかった。天候に左右されやすいため、余裕を持った時期に開催できるよう、見直しが必要。			評価	
	実施内容	川路小学校6年生を対象に、天龍峡の赤松再生活動を通して、自分たちが地域の環境保全・美化に関わる機会(未来への種まき)づくり			【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 有識者のご厚意から始まり、今年度まで続いている活動であるが、講師の方の取り組みを地域で知り、引き継いでいけるような体制を、引き続き検討しながら、学校と連携し計画・実施していく。				

三穂公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよっこクラブ)	市・地	継続	17	60	9	26	実施内容参照	三穂公民館など
	目的 0～3歳児とその親を対象に、子育てについて学習、遊びの機会を提供するほか、参加者同士の交流の場とする。	【成果と課題】 ○川路地区との合同開催によって普段関わる機会が少ないお母さんとの交流にもつながり、竜峡中学校区としての将来を見据えた交流の場になった。 ○同世代の子どもが多く集まることで、発達段階に応じた学び・遊びの機会を提供することができた(三穂だけだと3歳が1人であとは0歳といった場合もあった) ●交流がメインになってしまった。もう少し学習の要素を入れたい。 ●試験的に川路の当初計画と三穂の当初計画を合体したため、内容が被っていた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ○次年度はより対象者が減少する。今年度と同様に川路地区や保育園などと合同開催することで参加者にとって充分な交流の機会や発達段階に応じた学びの場を提供していきたい。 ○回によって参加者数に波があり、参加者のニーズを把握しながらの開催を検討していく→内容を精査し、被っている事業などは減らしていきたい。							
	事業内容 【内容】 ①5/24 はじめましての会・図書館探検 ②6/1 さつまいもの苗を植えよう(川路交流) ③6/6 リトミック ④6/8 人形劇を楽しもう ⑤7/4 水遊びを楽しもう ⑥7/13・14夏祭りを楽しもう ⑦7/24手型・足型をとりょう・さつまいまいもパッチを作ろう(川路交流) ⑧9/13子ども目線を体験しよう(防災) ⑨10/11ヤギとふれあい・君崎公園で遊ぼう(川路交流) ⑩さつまいもを掘ろう(川路交流) ⑪10/17音楽コンサートを楽しもう ⑫11/2リトミック・焼き芋 ⑬11/7探れたさつまいもで焼き芋をしよう(川路交流) ⑭クリスマス会(川路交流) ⑮1/15ハッピーマッサージで癒されよう ⑯2/21リトミック(川路交流) ⑰3/13手型・足型を残そう	市・地	継続	1	32	32	106	8月3日(木)	飯田文化会館など
学級・講座	人形劇フェスタ感激電車ツアー	市・地	継続	1	32	32	106	8月3日(木)	飯田文化会館など
学級・講座	目的 三穂地区区の子どもを対象に人形劇の文化に触れる機会を作る。	【成果と課題】 ○オープニングセレモニーに参加したことで「人形劇フェスタが始まる！」という子どもたちの機運を高めることができた。 ○学年を混ぜた班を作り、行動してもらうことで学年を越えた交流を行う事ができ、高学年としての上級生としての自覚をもって団体行動してもらったことができた。 ●マイクロバスの定員を募集人数としたが、すぐに募集人数に達してしまい、参加をお断りしたご家庭が多数あった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度は早めに募集を行うなど多くの子どもに参加してもらえるように三穂図書館と検討し、実施していきたい。情報交換会なども活用し、より内容が充実したものになるように工夫していきたい。							
	事業内容 【行程】 三穂公民館→飯田文化会館にて人形劇団京芸「あっちこちサバンナ」観劇 →東野公民館で昼食→鼎食センターにて人形劇団ひとみ座「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」観劇→飯田市美術館博物館にてプラネタリウム観賞→三穂公民館	市費	新規	1	5	5	1,316	3月5日(火)	三穂公民館
学級・講座	孫育て学習会	市費	新規	1	5	5	1,316	3月5日(火)	三穂公民館
学級・講座	目的 乳幼児の孫を持つ祖父母を対象に、孫育てについての学習の機会を提供するほか、参加者同士の相談の場とする	【成果と課題】 ○孫を育てていらっしゃる方が集い、情報交換や交流する機会がなかったため、悩みつも聞けなかった質問などが多数挙げられ貴重な学びの場となった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 お嫁さんにも今日の話を聞いて欲しいという感想もあり、祖父母世代のみならず、若い子育て世代に対しても実施していきたい。							
	事業内容 【講師】よしみ助産院 村松佳美氏	○三穂地区に助産院を構える助産師さんを講師に孫の育て方講座を実施。昔と今の子育ての違い、抱っこの仕方などを学ぶと共に講師への悩み相談、参加者同士の交流の場として実施した。 ○3世代同居率が高いため、孫育てに関する悩みが多いことから実施。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin三穂		市・地	継続	1	42	1,316	7月16日(日)	三穂公民館
	地区住民を対象に、音楽に身近で触れ、芸術文化に対する興味関心の高揚を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○多くの来場者からプロの演奏を生で聞けたことの喜びや毎年楽しみにしているといった感想をいただき、住民の皆さんにとって本格的な演奏に触れる貴重な場となっている。 今年度は演奏終了後に飲食を伴った交流会を実施し、より身近に感じてもらえた三穂らしいコンサートを実施できた。 ●課題として、子ども達の参加が少なかったので、アニメソングを増やしてもらったり、アプローチの方法を次年度検討していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 次も参加したいといった感想を多くいただいたため、子ども達の参加について重きを置き、次年度も同様に実施したい。						
文化事業	文化事業	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化事業	市・地	継続	1	92	92	1,316	8月6日(日)	三穂小学校
	地区住民を対象に、音楽に身近で触れ、芸術文化に対する興味関心の高揚を図る。	実施内容	【成果と課題】 ○出演劇人さんのワークショップと「三穂村音頭」を掛け合わせたオリジナル企画「わたちゃん」と「ちよろけん」を作って皆で踊ろう♪を行い、三穂の伝統芸能を知り、楽しく体験してもらった。 ○三穂小学校3年生や伊豆木人形に出演してもらい、子どもたちに演じることで得られる達成感や楽しさを感じてもらった。 【関連事業】 ・7/21 三穂村音頭講習会 【日程】 ・伊豆木人形クラブ 時間10:00～「三番叟」 ・みほっち3年生150(三穂小学校) 時間10:15～「立石寺ものがたり」 ・わたちゃんのドッコイショの劇場 時間10:35～「ドッコイショ劇場」 ～オリジナル企画として～ 「わたちゃん」と「ちよろけん」を作って皆で踊ろう♪						
文化事業	文化事業	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化事業	地区費	継続	1	15	15	1,316	3月16日(土)	丘の上結いスクエア
	地区住民を対象に平和について学習を行い、人権意識や関心を高める機会とする。	実施内容	【成果と課題】 ○例年文化委員会の参加が主であったが、個別に小学生などに声掛けを行い、数名参加してもらったため、子ども達にとっても平和や飯田の伝統芸能に触れてもらうきっかけになった。 また小学生は保護者同伴としておらず、地域の大人や講師の高校生など家族以外の大人との交流により社会性を育む機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 平和や文化学習は参加してもらうまではハードルが高いため、次年度はより多くの方が気軽に参加できるように工夫しながら進めていきたい。						

三穂公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツフェスティバル	地区費	継続	1	30	30	1,316	6月17日(土)	三穂公民館
	目的	地区住民を対象に、ニュースポーツを通じ、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る。 ○ポッチャ、インドアモルック、ラダーゲッターを体験してもらった。 ○気軽に参加してもらえようように動員などはかけずに自由参加とした。							
	実施内容	【成果と課題】 ○小学生から高齢者まで広い世代の方にご参加いただき、気軽に多世代にわたって楽しめるスポーツであることを感じてもらうことが出来た。 ●集合時間などを設けずに開催したこともあり、参加者がまばらであった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 モルックは今年度三穂公民館で1セット購入したため、地区で活用してもらえようにより周知を進められるように積極的に事業に取り入れていきたい。							
体育事業	お盆ソフトボール大会(雨天中止)	地区費	継続	-	-	-	1,316	8月15日(火)	三穂小学校
	目的	○お盆で帰省してきた方も含め参加者を広く募集し、普段交流できない方ともスポーツを通じて交流を図る機会として実施を予定していたが、雨天のため中止とした。 【関連事業】 ・8/1審判講習会							
	実施内容	○お盆で帰省しているため、熱中症のリスクが高い。 ●日中に開催しているため、参加者を集めることが困難。体育委員も今年度の区制改革で減っており、審判などの運営に心配がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 開催日時、運営方法について課題が多い。お盆に帰省した方にも参加してもらえようように例年この時期に開催しているが、実際参加者も少ないことから次年度の運営については体育委員会と協議する中で決めていきたい。							
体育事業	三穂小学校150周年記念運動会	地区費	継続	1	300	300	1,316	9月16日(土)	三穂小学校
	目的	三穂小学校創立150周年を記念して、記念タオルを製作し、当日の参加者へ配布した。 ○熱中症の心配もあり、13時までの半日開催とした。 ○150周年を記念して、記念空撮など三穂小学校150周年実行委員会と協同で実施。ウルトラクイズは子ども達が授業などで学習してきたことを中心に三穂小学校に関わるクイズを出題いただいた。							
	実施内容	【成果と課題】 ○全校生徒が70人弱の三穂小学校では「大玉おくり」など人数を要する競技は今まで実施できなかったが、今年度は地域の方も混ざることにより実施でき、子ども達に新たな競技の楽しさを感じてもらう事ができた。 ○校歌ダンスは小学生、保護者、教員、地域の方全員で踊り、地域の一体感を高めたと共に全員で150周年を祝う場となった。 ●地域の運動会と小学校の運動会は開催目的が異なる部分もあるため、150周年以外の目的では地域の運動会として足りない部分も多々あった。もっと小学校、PTA、地域との検討の場は必要であった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 雨天中止やコロナによる中止により、地区単独での開催は来年度6年ぶりとなる。当時の開催方法について知っている委員さんもおらず、どのような形で開催していくのかがよいかいっかかり検討した上で実施していきたい。							

三穂公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	冬季ニューススポーツ大会	地区費	継続	1	50	50	1,316	1月28日(日)	三穂小学校
体育事業	地区住民を対象に ニューススポーツを通じて 冬季の運動不足解消。 身体を動かすことの楽し さを実感してもらい、住 民同士の親睦、交流を 図る。	実施内容	【成果と課題】 ○昨年度は6チームの参加だったが、今年度は9チームに参加していただき、コ ロナが明けより多くの参加者同士の交流を実感できた。 ○高校生チームとしても参加してもらえ、若い世代が地域の大人たちとスポーツを 通じて交流する機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 寒い時期の開催ということもあり、例年筋などをけがをする人がいる。開催時期や 内容を再度検討し、老若男女問わず、安全で楽しくできる大会を検討していく。						
	目的		○ワンバウンドふらば～るバレーボールを三穂独自のルールを織り交ぜな がら実施。 ○今年度から制改革により、組合ごとのチーム選出から区ごとのチーム選 出に変更した。 ○9チームの参加があり、リーグ戦後にトーナメント形式で実施。						
広報事業	地区住民、一般市民を 対象に地区の動きや課 題を発信し、関心を高め てもらふこと、記録とし て残すことを目的とする。	実施内容	【成果と課題】 ○例年実施している事業だけではなく、「少年野球チームの優勝」記事といったそ の時々に応じた新鮮味のある記事を提供できた。 ○例年主事が書いていた記事もなるべく委員さんに書いていただき、広報委員とし ての主体性を持ってもらうように働きかけた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 事業報告ばかりにならないように、次年度も読者にとって新鮮で訴えかける記事も 織り交ぜながら発行していく。						
	目的		○地区内の動きや出来事、課題を発信する。2カ月に1回発行した。地区住 民の目を引くように両面カラー印刷で発行。 ・紙面発行 発行数：6回、発行部数：650部 285号…「令和5年度公民館活動基本方針」「まちづくり委員会総会」など 286号…「ふるさとコンサート」「水辺で生き物観察」など 287号…「三穂ふれあい夏祭り」「三穂小学校150周年記念運動会」など 288号…「ふるさとめぐり三穂」「ほっとけない楽習会」など 289号…「令和5年度三穂地区二十歳の集い」「新春放談会」など 290号…「令和5年度三穂公民館の反省」「飯田市公民館大会」など						
広報事業	次年度の保護者会長や PTA会長になる方を招 き、抱負や三穂地区の 子どもへの思いを語って もらい、次年度に向けて の情報・意識共有を行う 機会とする。	実施内容	【成果と課題】 ○今年度の事業や来年度の抱負などを各々の立場から語っていただき、様々な 視点から事業を俯瞰的に振り返り、検討する機会となった。 ●話が脱線してしまった部分もあり、自由に話してもらうことも大切だが、ある程度 になったら軌道修正を司会がする必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容については今年度と同様に実施するも、何に重点を置き話してもらうのか、事 前に広報委員会できちんと目合わせを行う。						
	目的		○今年度は次年度保育園保護者会長、次年度小学校PTA会長・副会長、次 年度中学校PTA会長、三穂小学校校長、三穂小学校150周年実行委員会事 務局をお呼びし、抱負や現在の取り組み、地域への思いを語ってもらった。						

三穂公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	水辺で生き物観察	地区費	新規	1	21	21	1,316	6月25日(日)	兄川・弟川
	園児・小学生を対象にふるさとの自然環境を学ぶことで、愛郷心や環境保全の心を養う機会とする。	【成果と課題】 ○三穂地区の「兄川・弟川」の生き物観察を実施した。 ○捕らえた生物を講師の方に解説してもらい、ふるさとの川の生態系の特徴を学んだ。 ○講師：天竜川総合学習館かわらんべ 久保田憲昭 氏							
	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も参加したいという子どもの声も多くあったため、次年度も同様に継続していく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	クリスマス会&お正月飾りづくり	市・地	新規	1	34	34	1,316	12月3日(日)	三穂公民館
	保育園児や小学生を対象に交流や年中行事を知り、体験してもらう機会として実施。また講師の高齢者クラブに対しては知恵、技術を地域の中で生かす場とする。	【成果と課題】 ○クリスマス会は図書館三穂分館と共催 ○おやす作りは地区の高齢者クラブを講師とし、高齢者が持つ知恵や技術を生かし、高齢者の生きがいづくりの場として実施する。 【内容】 ・三穂小学校3年生による人形劇発表 ・図書館三穂分館による絵本読み聞かせ ・クリスマスソング ・サンタさんからのプレゼント ・立石高齢者クラブによるおやすづくり							
	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 例年、お正月飾りづくりへの参加者が少ないことから今年度はクリスマス会と同日開催とした。参加者は非常に増えたものの、クリスマスとお正月のメリハリが子どもにとって難しいように感じた。それぞれの事業にしっかりと意味づけを行い、どのように開催するのか検討の上実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
女性委員会	ほっとけない楽習会	市・地	継続	3	67	67	1,316	実施内容のとおり	三穂公民館など
	地区住民を対象に、女性目線での課題を共有し解決に向けた学びを図る	【成果と課題】 ○委員会内で興味関心事を共有し合い、参加者のニーズに沿った講座となったため、参加者から積極的に質問や意見交換が行われた。また普段顔を合わせることのない女性同士の交流や女性の活動参画の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も委員さんのニーズをくみ取りながら女性ならではの視点から活動を展開していきたい。							
	実施内容	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も委員さんのニーズをくみ取りながら女性ならではの視点から活動を展開していきたい。							

三穂公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
女性委員会	女性交流スポーツ大会	地区費	継続	1	40	40	1,316	9月24日(日)	三穂小学校
	三穂地区の女性を対象に女性同士の交流を深め、組合内、他の組合との親睦を図る。	【成果と課題】 ○スポーツを通じた三穂地区内の女性同士の交流を目的に「ワンバウンドふらば〜るバレー」を実施。 ○今年度から区制改革により、組合ごとのチーム選出から区ごとのチーム選出に変更した。 ○8チームの参加があった。 【関連事業】 ・9/9審判講習会							
	目的	○区単位のチーム選出にすることで組合が混合となったチームとなり、より交流の範囲が広がった。 ●区制改革により、全組合に女性委員が居るわけではなくなくなったため、メンバーの募集について上手く調整が取れていない区・組合があった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区内の女性が交流できる貴重な機会として引き続き実施を検討していく。より運動量が少ない種目やスポーツだけでなく交流の方法についても検討を進めていく。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	ふれあい夏祭り	地区費	継続	1	300	300	1,316	8月6日(日)	三穂公民館
	地区住民を対象に、地域の各団体と連携し、連携意識を高めるとともに、住民同士の交流を図る。	【成果と課題】 ○公民館をはじめ、まちづくり委員会、小中学校、社会教育関係団体など多様な団体と共に1つのものを協力し作り上げ、連携意識を高めながら実施。 ○今年度から夏祭り内でeスポーツ大会を併催し、高校生・20代を運営側として巻き込みながら実施した。 ○例年夏祭り内で「三穂村音頭」を踊っているが、参加者が少ないことから事前講習会やフェスタ地区公演と掛け合わせることで地区内への浸透を狙った。 【関連実施】 ・7/3 ふれあい夏祭り実行委員会 ・7/30 周辺整備作業							
	目的	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 いいだ人形劇フェスタ地区公演と別日で実施するなど暑さ対策を踏まえながら検討していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	eスポーツ事業	地区費	新規	1	95	95	1,316	実施内容のとおり	三穂小学校
	手軽に頭、手足を使うツールとして高齢者の認知症予防や健康維持を図る。	【成果と課題】 ○Nintendo switchのゲーム機器を用いて左記の目的達成に向けて、保育園児から高齢者に向けて広くアプローチを行った。実施内容は以下のとおり。 ・6/25 企画委員を対象に「eスポーツ講習会」を開催。 講師：長野県eスポーツ連合 三石祐司氏、11名参加 ・7/13 高校生とのeスポーツ大会に向けた検討会、6名参加 ・8/6 夏祭り内での「eスポーツ大会・体験会」、約40人参加 ・9/5 「高齢者向けeスポーツ体験会」、8名参加 ・2/4 文化祭内での「eスポーツ体験会」、約30人参加							
	目的	○PTAのアンケートでは、子どもたちのゲーム依存症(ゲームをしていて宿題をやらない)といった課題も上がっている。 【次年度の方向性と取り組み】 主役性を育んだり、多世代交流など表面的な課題以外にもその後ろにある家庭教育の分野(ゲームリテラシーについて)にも学校などと連携しながらアプローちしていきたい。							

三穂公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	高2の集い		地区費	継続	1	4	4	12月12日(火)	三穂公民館
	地域への関わりが減ってくる高校生の考えを聞き、公民館とのつながりを作るとともに事業計画に反映させる。	実施内容	地区在住の高校2年生を対象として実施。 高校生4名、企画委員会6名の参加。 三穂の魅力、こんな事業なら参加したい、自分たちが地区のためにできることなどをざっくりばらんに話し合った。 【関連事業】 ・2/4 三穂小学校150周年記念文化祭においてeスポーツのブースを担当してもらった。						
			【成果と課題】 ○多くの高校生が「三穂の魅力」を語ってくれ、今の高校生が地域に愛着を持って育っていることを知ることができた。また、高2の集いをきっかけに高校生たちが文化祭に参加してくれることとなり、若者が地域行事への参加してもらうきっかけとなった。 ○高校生にとっては公民館やそこで活動する大人をより身近に感じてもらえた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 出来ればもう少し年度の早い時期に開催し、地域の色々な行事に携わってもらえるようにアプロローチしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	三穂地区20歳の集い		市・地	継続	1	12	13	1月7日(日)	三穂公民館
	今年度20歳を迎える皆さんを対象に、郷土への愛着を持ち、地域への関心の高揚を図るとともに地域で20歳の節目を祝い、交流の場とする。	実施内容	○20歳の皆さんを中心に、公民館委員、まちづくり委員会、職員で組織する実行委員会で開催し実施。 ○地元に残っている新成人にとっては生まれ育った地域を学びなおす機会とし、地元を離れている新成人にとっては帰ってきたいと思えるような地域の人と接点を持てる機会として実施。 【内容】 式辞/来賓祝辞/来賓紹介/祝電披露/お祓い/伊豆木人形クラブ上演/新成人自己紹介/新成人企画/思い出写真のスライドショー、会場全員で合唱、思い出クイズ大会、保護者への花束サプライズ/新成人代表あいさつ/企画委員会企画(サプライズで保護者からのメッセージ)/閉会/記念撮影 【関連事業】 ・10/14 地域学習として来年度築400周年を迎える旧小笠原家書院の学習会と地元和菓子店の方を講師とし三穂地区に関わる和菓子を作るワークショップを実施。 ・2/4 三穂小学校150周年記念文化祭にてハルーンアートのブースを担当。						
			【成果と課題】 ○今年度は、対象者13名中12名が参加してくれた。地域学習や式典の内容は全員にLINEや保護者を通じて共有したことと皆が「自分事」として意識してもらえた。前日のリハーサルにも11名が参加してくれた。 ○「地域の人も好き。お世話になったので感謝を伝える場にした」といった発言もあり、ただの20歳の節目の場ではなく感謝を伝えたり、地域とのつながりを改めて意識してもらえる機会となった。 ○二十歳の集い終了後も文化祭などに参加してもらい、多くの地域の方と関わってもらい、運営する側としての自己有用感を感じてもらえた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域学習においてより多くの地域の方とのふれあいや地域の魅力を感じてもらえるように意識しながら来年度も同様に実施していく。他地区の事例を参考に式典中の中学生ボランティアについても検討したい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	三穂小学校150周年記念文化祭		地区費	継続	1	350	1,316	2月4日(日)	三穂小学校
	三穂小学校創立150周年を祝う機会とする。地域全体で祝う機会とする。学習活動の成果発表の場にと共に住民同士の交流を図る。	実施内容	○三穂小学校創立150周年を記念し、今年度は三穂小学校を会場に開催した。 ○能登半島地震直後であったため、非常持ち出し品の展示や阪神淡路大震災から三穂地区と交流のある「真陽地区」についての展示を行った。飯田市赤十字奉仕団三穂分団に依頼し、募金活動をしていただいた。 ○eスポーツ体験コーナーを設け、高校生に運営を担当してもらった。 ○20歳の皆さんにもハルーンアートブースを運営してもらった。 【関連実施】 ・12/19文化祭実行委員会						
			【成果と課題】 ○芸能発表の前に多くの団体に150周年を祝うあいさつがあり、地域全体で150周年を祝う場となった。「150周年と聞いて久しぶりに小学校に来た」という高校生や「普段小学校に来られないので貴重な機会だった」という方の感想があり、この150周年事業を通じて地域や学校から離れていた方をつなげなおす機会となった。 ○公民館委員さんに急速「真陽地区との交流年表」の作成を依頼したが、この機会に改めて真陽地区と交流する意義を委員さん自身が学びなおす機会となった。 ○若い世代が各自ブースを担当することで運営する側の楽しさを感じてもらう機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度は例年どおり公民館で開催する予定だが、多くの方を巻き込み、地域全体で作り上げる文化祭としていきたい。						

三穂公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容のとおり	開催期日	開催会場
	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	市・地	継続	29	426	15	1,316	実施内容のとおり		三穂公民館など
その他	目的 地区住民を対象に、地域の伝統文化の人形劇の保全継承、理解を図る	【成果と課題】 ○今年度から新体制として活動を再開した。今までは小学生～中学生を対象にメンバー募集をしていたが、今年度から限定せずに広く募集を行い、多世代に渡り文化継承を行うことができた。OB・OGから子どもたちに指導する場面も見られ、教わる側から教える側へ役割の変化などから自己有用感や地域における役割を活動を通じて感じてもらうことができた。 ●活動開始から新規加入者が居ない状態でクラブの持続可能性について課題が残っている。クラブ員の来年度の意向の確認をしっかりと行い、状況に応じたアプローチを行う必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 「伊豆木人形クラブ」が持続可能な活動を実施していくための体制づくり、次世代に継承していくための記録づくり、演じ手がやりがいを感じられる活動を展開していく。								
	実施内容	○人員不足により、昨年度まで活動を休止していたが、小学生に限らず、OB・OG、保護者などにも広く募集し、今年度から活動再開。多世代に渡り、地域の伝統人形劇を保存継承し、伝統を守るとともに交流の機会となっている。 ○練習日：第2、第4水曜日（公演前は不定期） ○メンバー：小学生6名、中学生1名、OB・OG4名、保護者2名、指導者2名 【練習日】 4/12、4/26、5/10、5/24、6/14、6/28、7/12、7/26、8/2、9/13、9/27、10/11、10/25、11/8、11/22、12/13、12/20、1/10、1/17、1/24、1/31、2/14、2/28、3/6、3/8 【公演】 ・8/6 いいだ人形劇フェスタ三穂地区公演にて「三番叟」公演 ・11/11 「三穂宅老所さんまめだに」にて「三番叟」公演 ・2/4 三穂小学校150周年記念文化祭にて「三番叟」「傾城阿波鳴門順礼歌の段」公演 ・3/10 人形劇定期公演「傾城阿波鳴門順礼歌の段」公演								

山本公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(おたまたま学級)	市費	継続	18	288	44	83	実施内容参照	山本公民館
	目的 0～3歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②親子のふれあい・運動、③母親同士の交流・仲間づくりを図る	【成果と課題】 参加者同士の交流が活発に行われ、地域でのつながり作りが行われている。また、乳幼児学級を楽しみにしてくれている方もいる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 乳幼児期の親子が孤立してしまわないように、引き続き、地域や社会と繋がるための大切な学級として実施していきたい。							
学級・講座	育MEN学級	市費	継続	3	21	11	83	実施内容参照	山本公民館
	目的 0～3歳児とその父親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②父子のふれあい・運動、③父親同士の交流・仲間づくりを図る、④父親の育児参加や育児への苦意識の克服を図る	【成果と課題】 今年度から、母親の参加も可とし、母親は別部屋で日頃の疲れを癒す内容の講座を実施した。参加者からは、楽しかったや勉強になったの声を聞くことができ、好評である。参加者が固定化し、増えていないので、周知を広く行い、参加者を増やしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 講座内容については、毎年同じものにならないように、参加者の声を聞きながら、より多くの方が参加したいと思ってもらえるように充実させていきたい。							
学級・講座	二ツ山団地サロンの経過	市・地	継続	4	35	18	4,435	実施内容参照	二ツ山市営住宅集会所
	目的 ①地区在住の外国出身者と日本人の相互理解を深めること②二ツ山団地住人同士のつながりを作ることを目的として開催する。	【成果と課題】 コロナ禍が明け、定期開催を目標にしたが、人が集まらない、集まっても参加者が固定化されているという状況である。以前のように多くの方に参加してもらえよう、実施方法や内容について工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 団地内には独居高齢者も多く、団体内の交流や、集う場作りとして継続して開催していきたい。組合長さん、共に歩む会と話し合い今後の方向性を決めていく。							

山本公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高齢者学級	市費	継続	2	80	40	4,435	実施内容参照	宅老所よつば
学級・講座	高年齢者を対象に、①高年齢者の学びの意欲の引き出し、②受講者同士の交流を図る 実施内容	【成果と課題】 「宅老所よつば」は、利用者の皆さんが楽しく、元気に活動をしており、そこへ通う方々の生きがいともいえる場所である。 外部講師を呼ぶことで、参加者にとって良い刺激になっており、普段のレクリエーションに加え、違う内容が加わることで、通所意欲の向上にも繋がっていると思われる。一方で、利用者が減少しており、外に出たくないお年寄りがかに外に連れ出すかが課題となっている。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 参加者からは好評であるため、今後も継続していきたい。また、地域の高齢者の居場所や生きがいを創出する場となるよう努めていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	メンズクッキング	市・地	継続	4	33	17	4,435	実施内容参照	山本公民館
学級・講座	男性を対象に、①家庭料理をすることの楽しさを知ってもらうこと、②日常の健康への意識を高めること ③講座を通じて仲間づくりをしてみようことを目的とする。 実施内容	【成果と課題】 毎回、多くの方が参加していただき、楽しく料理に取り組む姿や世代を超えて交流する姿が見られている。20代や30代の若い世代の参加が少ないので、周知等を工夫し、参加してもらえよう努めていきたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 参加者からは好評であり、今後も継続していきたい。内容については、参加者の要望も取り入れながら、料理や交流が楽しいと感じてもらえるような内容を引き続き企画していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「味噌作り体験」と「丘の上結いスクエア見学」の旅	市・地	継続	1	17	17	4,435	3月8日	実施内容参照
学級・講座	一般を対象に、乗合タクシーを実際に利用してもらうことで、地域の公共交通機関に興味関心を持ち、課題等を考える機会となることを図る。 実施内容	【成果と課題】 乗合タクシーの利用率が低いため、利用促進を目的とした企画。地区には、乗合タクシーを利用したことのない方が多いが、地域全体として利用率が低いことに対する危機感は薄い。 講座内容は、参加者からは好評で、また参加したいという声が多くあった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒現状維持 □縮小 今回は、乗合タクシーをまずは利用してもらうことを理由に公民館で企画したが、地域の課題として捉えてもらうためにも、来年度以降は地域の自主的な動きに期待したい。							

山本公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	山本学講座		市・地	継続	2	29	13	実施内容参照	杵原学校など
	目的	【成果と課題】 地元の歴史や自然に触れることのできる貴重な講座である。企画会議を年2回開催し、講座内容が充実するよう努めている。杵原学校応援団文化班が中心メンバーだが、高齢化しており、後継者も生まれてづらい状況である。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域の歴史や文化を知るための講座として、継続して関わっていききたい。主催の杵原学校応援団と連携し、参加者の地域愛を育む内容となるようにしたい。							
	実施内容	【概要】 山本の住民に愛着のある杵原学校を会場に、地元の住民が話し手となり、地区の歴史や文化を学ぶ講座を開催する。 ○主催：杵原学校応援団主催（公民館共催） ○内容及び開催日 ①4/22 第51回 大明神開拓史 ・講師：所澤 隆雄さん ・参加者：16名 ②11/9 第52回 久米の光明寺と古代仏教 ・講師：織田 顕行さん（飯田美術博物館 学芸員） ・参加人数：13名							評価
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさとクッキング		市・地	継続	1	9	9	11月19日	山本公民館
	目的	【成果と課題】 参加者からは、「楽しかった」家でもやってみる」といった声もあり、好評であった。一方、参加者が、年々減っている。開催方法や対象者を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 長年講師を務めて下さっている、食改の皆さんと意見交換をしながら、今後の進め方について検討していききたい。							
	実施内容	【成果と課題】 参加者からは、「楽しかった」家でもやってみる」といった声もあり、好評であった。一方、参加者が、年々減っている。開催方法や対象者を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 長年講師を務めて下さっている、食改の皆さんと意見交換をしながら、今後の進め方について検討していききたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ミニ門松作り		市・地	継続	1	15	15	12月23日	杵原学校
	目的	【成果と課題】 昨年度は小学生向けとして実施したが、小学生には製作が難しいという反省から、小学生が参加の場合は保護者同伴とし、また一般からも参加希望が多くあったため親子に限らない形で実施した。子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、門松という伝統飾りに触れる貴重な機会とすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 年末の恒例事業として、今後も実施していききたい。							
	実施内容	【成果と課題】 昨年度は小学生向けとして実施したが、小学生には製作が難しいという反省から、小学生が参加の場合は保護者同伴とし、また一般からも参加希望が多くあったため親子に限らない形で実施した。子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、門松という伝統飾りに触れる貴重な機会とすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 年末の恒例事業として、今後も実施していききたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	キノコ駒うち体験		市・地	新規	1	30	30	4月15日	山本公民館
	目的	【成果と課題】 参加者も多く好評であり、講師の説明に対し、熱心に聞く姿が見られた。祖父母と孫で参加する家族もあり、家族のふれあい事業にもなっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度以降も、継続して実施していききたいが、環境学習の要素をもっと入れ込んでいきたい。							
	実施内容	【成果と課題】 参加者も多く好評であり、講師の説明に対し、熱心に聞く姿が見られた。祖父母と孫で参加する家族もあり、家族のふれあい事業にもなっている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度以降も、継続して実施していききたいが、環境学習の要素をもっと入れ込んでいきたい。							

山本公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	子ども寺子屋		市・地	3	102	35	225	実施内容参照	山本公民館
学級・講座	目的	【成果と課題】 参加児童からは、「しっかり勉強ができた」や「友達と遊べて楽しい」という感想が聞かれ、保護者からは、「長期休みに友達や地域の皆さんと触れ合える場があるのはありがたい」と好評である。 また、昨年度まで寺子屋に参画していた子ども達が、中学生スタッフとして参加してくれるようになり、中学生の地域参加や、次世代育成にも繋がっている。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 当日の企画など、学生スタッフに任せられる部分がまだまだありそうなので、今後意識していきたい。また、スタッフを中心にアイデアを出し合いながら、地域住民を講師として呼ぶなどし、より多くの方が関わるような事業にしていきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	国際ふれあい交流会		市・地	1	60	60	4,435	11月11日	山本公民館
文化事業	目的	【成果と課題】 今年で23回目となる山本地区の伝統的な行事でこの交流会を通じて地域で活躍している外国出身者も多い。 毎年文化委員、婦人会、外国出身代表者でどんな時間にするか検討しており、今年度はコロナ禍も明けたため、料理交流を再開した。また、飯田女子高等学校の調理クラブの皆さんも参加していただき、小学生から大人まで幅広い世代で交流することができた。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者は、コロナ禍以前と比べると減ってしまっているが、国籍関係なく交流できる貴重な機会と捉えている。今後は、さらに参加者が増えるように工夫し、どうしたら参加者のためになるか考えながら継続していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田人形劇フェスタ2023山本地区公演		地区費	1	214	214	4,435	8月5日、8月6日	山本公民館
文化事業	目的	【成果と課題】 4年ぶりの通常開催で不安もあったが、想定以上の方が来られてよかった。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 人形劇フェスタという飯田市全体のお祭りを地域として盛り上げていくため、子どもたちの発表の場作りのためにも、来年度以降も継続して開催していきたい。また、フェスタ当日だけでなく子ども達の発表の機会の創出などにも取り組んでいきたい。							

山本公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	市内で人形劇フェスタを満喫しよう！！バスツアー	地区費	継続	1	14	14	225	8月3日	実施内容参照
	目的 山本小学校児童を対象に、①フェスタ本部の雰囲気に触れもらう、②慣れない土地での団体行動を経験することで、社会経験を積むことを図る。 実施内容	○内容： ・丘の上結いスクエア見学 ・人形劇団あつげらん♪「めっきらもちきらどおんどん」鑑賞 ・ホーポーズ・パペットシアター「おじいちゃんとおめき」鑑賞 ○スタッフ：図書分館係員2名、中学生ボランティア3名 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 人形劇フェスタを通じて、様々な体験のできる場として、来年度以降も企画していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	山本地区文化祭	地区費	継続	1	800	800	4,435	3月3日	山本公民館
	目的 一般を対象に、①各種団体、サークル、個人の活動発表の場の提供、②発表者および観客との情報交流を図る。 実施内容	○主催：公民館文化部、各種芸能発表、展示、出店参加団体 ○協力：地域有志の皆さん、旭ヶ丘中学校生徒 ○概要： ・公民館の各部屋で文化サークル、地域団体等による作品、活動の展示 ・公民館講堂で文化サークル、小、中、高校生等による発表 ・公民館駐車場で出店や、消防署による消火体験等 【検討経過】 ①11/11正副部長会 ②1/18文化部 ③2/2文化祭代表者会 ④2/27文化祭最終全体会 ⑤3/2前日準備 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 地域の文科系サークルにとって大切な発表の機会であるので、来年度以降も継続して実施していきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ウォーキングで山本地区を学ぼう！！		市・地	1	9	9	4,435	6月11日	山本公民館
	目的 一般を対象にウォーキングに地域の歴史や自然を学ぶといった要素を取り入れ、地域住民が地域資源の大切さに気付いてもらうことを図る。 実施内容	○概要 山本地区内を講師のガイドの元、歩きながら地域を学ぶ。 ⇒雨天のため、ポッチャ大会に変更 ○コース：城山コース ○共催：健康福祉部会 評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 来年度以降も、継続して実施していきたい。							

山本公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館対抗軽スポーツ大会		地区費	継続	1	320	4,435	5月28日	山本小学校
体 育 事 業	目 的	○これまでの経過 例年は、野球やソフトバレーなどの競技性の高い種目で開催していたが、この地区も選手集めに苦慮しているとの状況から、誰でも参加しやすい種目に変更しようとなった。							
	実 施 内 容	○内容 分館ごと参加チームを募り、対抗のスポーツ大会を企画する。子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる種目とする。 ○種目：ポッチャ、ティーパー ○会場：山本小学校グラウンド（ティーパー）、山本小学校体育館（ポッチャ） 【検討経過】 ①3/20 スポーツ部、②5/23 スポーツ部							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本地区市民大運動会		地区費	継続	1	720	4,435	10月22日	山本運動場
体 育 事 業	目 的	○主催：公民館スポーツ部 ○協力：山本モリアゲ隊、旭ヶ丘中学校生徒 ○種目：分館種目4種目、一般種目4種目 【検討経過】 ①6/16スポーツ部正副部長・スポーツ推進委員 打ち合わせ ②7/3スポーツ部 ③7/12スポーツ部正副部長・スポーツ推進委員 打ち合わせ ④8/7スポーツ部 ⑤8/21スポーツ部正副部長・スポーツ推進委員 打ち合わせ ⑥9/11スポーツ部 ⑦10/3運動会係長会 ⑧10/11スポーツ部 ⑨10/17運動会全体会 ⑩10/21前日準備							
	実 施 内 容	一般、分館を対象に、①地区全体から人が集まることによる一体感や活力の認識、②地区住民の体力増進と交流機会の提供を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	軽スポーツフェスティバル		市・地	継続	1	50	4,435	1月28日	山本小学校
体 育 事 業	目 的	○内容：誰でも参加できる、参加しやすい軽スポーツの大会を企画運営する。ポッチャ等の軽スポーツを通じて、実際に障害者スポーツに取り組む方との交流の機会を設ける。 ○主催：公民館スポーツ部 ○種目：フンバウンドふらば～るバレー、ポッチャ、囲碁ボール 【検討経過】 ①12/6スポーツ部、②1/15スポーツ部競技体験、③1/22スポーツ部							
	実 施 内 容	一般、分館を対象に、①軽スポーツの普及、②冬季における運動機会の提供を図る。							

山本公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ体験会	地区費	継続	1	111	111	4,435	7月29日	杵原広場
	実施内容	【成果と課題】 子ども達からお年寄りまで多くの方が参加してくれた。特に、若い子たちから人気で列ができることもあった。また、地区の役員さんたちにもお手軽にできるニュースポーツの紹介をすることができ、各地区のイベントとしてもニュースポーツを行ってみようなどの声も聞くことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 来年度も継続して実施し、ニュースポーツを通じて体を動かすことの喜びを感じてもらい、健康づくりに繋げていきたい。							
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報やまもと 発行	地区費	継続	4	—	—	4,435	実施内容のとおり	—
	実施内容	【成果と課題】 今年度から、「地元の企業紹介」を商工会と連携して掲載している。また、子ども達の姿を地域の方達に見てもらいたいという思いから、「山本の天使たち」というコーナーを設け、乳幼児学級、保育園、小学校などの写真や記事を掲載している。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地域の方に、見やすく、楽しんでいただける広報づくりを目指して活動していきたい。							
	目的	評価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子de星空観察会	市・地	新規	1	13	13	225	10月14日	毛呂窪ふれあい天文台
	実施内容	【成果と課題】 今年度から、新たに実施した事業。当日は、雨が降ってしまい、室内でスクリーンに星空を投影しながら、観察会を行ったが、自然に興味関心を持っていただくことができた。子ども達からは、また参加したいという声を聞くことができた。							
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 参加者からは好評なことと、地域の大人からは、親子に限らないでほしいという声もあるため、参加範囲を広げて実施することを検討中。							

山本公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	地元を知らうツアー		地区費	—	—	—	225	1月21日(中止)	—
	目的	【成果と課題】 小学校でインフルエンザが流行し、参加者が集まらず中止。							
	実施内容	【概要】 子ども達に、普段できない体験、将来の視野が広がるような機会を提供する。 ○行先:エス・バード ○移動手段:公共交通機関 ○内容:施設見学、体験講座(レーザーカッター) 【検討経過】 ①12/8 育成部 ②1/11 育成部							
その他	花の木オーブンスクール		0円	継続	5	610	122	実施内容参照	山本小学校
	目的	【概要】山本小学校4～6年生を対象としたクラブ活動。 ○種類:囲碁将棋、クラフト、国際交流、書道、ニューススポーツ、竹細工、木工教室、プログラミング、太鼓(公民館は国際交流を担当) ○講師:地域のボランティア方々 ○開催日及び内容:①発足の会5/19 ②フィリピンを学ぼう5/26 ③中国語を学ぼう6/9 ④世界地図すごろく6/30 ⑤羽けりを作ってみよう!ハンブーダンス体験7/14 ⑥ボランティア感謝の会1/26⇒中止							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 公民館が担当した国際交流では、体験や遊びを交えながら、地元の外国出身の講師の方と楽しく交流しており、参加した子ども達にとって「外国」を身近に感じる機会になっている。 1月に実施予定だった「ボランティア感謝の会」は、感染症の影響で残念ながら中止となってしまったが、子ども達の感想カードからは、楽しかったやありがとうの感謝の言葉を見ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 □現状維持 □縮小 学校からクラブ活動が存続できないと申し出があった。地域の方が講師になり、子ども達に様々な文化を教える機会は大変貴重であるため、別の形で実施できないか検討中。							
その他	旭ボランティアスタンプラリー		市・地	継続	13	55	29	実施内容参照	山本公民館
	目的	【概要】 伊賀良公民館と合同でボランティアの求人をだす。参加した生徒にスタンプカードを配布し、ボランティアに参加するごとにスタンプを押す。5つスタンプを集めた生徒には、公民館から賞状を送る。 ○募集内容 公民館美化活動、寺子屋スタッフ、夏祭りスタッフ、武田信玄狼煙リレー実行委員、文化祭スタッフ							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 □現状維持 □縮小 引き続き実施し、地域と中学生を繋ぐ役割を果たしていきたい。							

山本公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本公民館清掃		地区費	継続	4	114	4,435	実施内容参照	山本公民館
その他	日頃公民館を利用する団体が定期的に公民館の清掃を行い、地域住民のための公民館であるという意識を高める。		実施内容						
	その他の		実施内容						
○これまでの経過 平成30年度まで、地区の女団連の皆さんが中心となって指揮してくれていたが、負担の声もあり、令和元年度より、公民館から利用団体へ清掃を依頼する形式に変更。また、令和3年度からは、地区役員の負担軽減の観点から、地域づくり委員会の各部会への依頼も取りやめた。 ○内容：公民館施設内の清掃 ○対象：公民館施設利用団体 ○開催日：①5/21、②7/23、③10/29、④2/4 【成果と課題】 参加いただいたいる団体の皆さんも「自分達が利用する公民館だから自分達で掃除しよう」という意識を持って取り組んでいただけている。また、旭ヶ丘中学校にボランティアを募集しており、今年度は延べ20名の参加があった。保護者の方からは、公民館清掃を楽しみにしているという声も聞くことができた。中学生の姿を見て、参加団体さんも前向きに取り組む姿勢が見受けられ、相互に良い効果が出ている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 公民館を大切に、愛着を持ってもらうために重要な取り組みであるため、今後も継続していきたい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	武田信玄狼煙リレー		市・地	継続	1	20	4,435	8月26日	城山公園
企画事業	一般を対象に、①城山ほか地域の歴史学習、②飯田下伊那の一体感の引き出しを図る。		実施内容						
	その他の		実施内容						
○これまでの経過 以前は公民館企画委員会が実施主体となっていたが、事業の目的や企画委員会として行うことに疑問の声があり、令和3年度から公民館OBや地区内有志、中学生スポンサーボランティアによる実行委員体制を組んでいる。 ○主催：武田信玄狼煙リレー山本地区実行委員会 ○内容：「武田信玄狼煙リレー」に参加 ○関連イベント 射的、火起こし体験、ほうとう試食会 【成果と課題】 中学生ボランティアで参加してくれた生徒が、自主的に動く射的の的を製作し、当日、参加した子ども達からも好評であった。その後、慰労会にも参加し、地域の人との交流が深まった。一方、仕事や家庭の事情などから実行委員としての参加が難しいという声もあり、実行委員の募集もあわせて行っていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 実行委員を募集しながら、世代を超えた様々な方が楽しめるイベントにしたい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	山本地区二十歳の集い		他会計	継続	1	43	54	1月7日	山本公民館
企画事業	二十歳を迎える若者を対象に、実行委員の活動を通して地域に愛着と誇りを持つことを図る		実施内容						
	その他の		実施内容						
○実行委員：公民館調整会議委員13名、二十歳の成人6名 ○内容：写真撮影、式典、思い出のスライドショー上映、交流会 【検討経過】 ①9/1実行委員会、②9/27実行委員会、③10/15実行委員会、④11/15実行委員会（伊賀良地区区合同）、⑤12/19実行委員会（公民館調整会議委員会同）、⑥12/21実行委員会（伊賀良地区区合同）、⑦1/4実行委員会、⑧1/19実行委員会（反省会）（公民館調整会議委員会合同） 【成果と課題】 実行委員は積極的に会議等に参加し、地域学習では、「山本地区を巡って」をテーマに、思い出の山本小学校探検や地元牧場の見学し、あらためて、山本地区の魅力を見学できた。式典当日は、大人スタッフとも協力して、運営を行うことができた。また、今年度から、二十歳の集いを自分事として捉え身近に感じてほしいと思い、中学生ボランティアを募集したところ、4名の生徒が参加し、保護者からも参加出来たことに対するお礼の言葉を頂けた。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 地域全体で二十歳の成人の門出を祝う機会として、継続して開催していきたい。									

伊賀良公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児0～3歳児学級	市・地	継続	42	645	114	350	通年	伊賀良公民館
学級・講座	目的	【成果と課題】 当地区は人数が多いため、参加者を学年ごとと区切る、また前半と後半で分けて実施することにより、同時期の月齢の子ども同士、親同士が交流できる時間となった。通常より少人数にしたことにより、1人1人に目を配ることができ、充実した学級になった。この学級で同地区の親同士で知り合いになり、学級でない場所でも交流が起こっているとの話も聞いており、目的に即した活動になっていると感じている。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・前例踏襲ではなく、親御さんにとって今必要なことはなにか、常に検討をしていきたい。 ・男性も参加しやすい学級づくりを考えていく。心配ごとや不安を表出できるだけでなく、日々の子どもたちの成長や、最近嬉しかったことなど、明るい話題を表出できる機会を増やす。							
学級・講座	目的	0～3歳児とその親を対象にした学級を、保育士・保健師・主事を中心となつて月2回程度実施。 0～1歳：林かんなん氏（保育士）、2～3歳：篠田恵子氏（保育士） ・0歳 9/12始めましの会 親子ふれあい遊び♪、10/3大きくなあれ！ 手形・足形を取ろう、11/7栄養のお話と親子ふれあい遊び♪、11/18ファミリーDAY産後のお母さんの身体のお話、12/6クリスマスを楽しもう、2/6歯のお話と親子ふれあい遊び♪、2/27絵本を楽しもう！ 図書館へ行こう、3/19大きくなったね！ 手形・足形を取ろう ・1歳 5/30始めましの会／親子ふれあい遊び♪、6/20歯とお口のお話、7/18お話し食べよう！ 栄養のお話、9/26絵本を楽しもう！ 図書館へ行こう、10/10動物園へ行こう、10/24産後のお母さんの身体のお話、11/28クリスマス会準備、12/12クリスマス会、2/3ファミリーデー／からだを使って遊ぼう！、3/12大きくなったね！ 手形・足形を取ろう ・2歳 5/25はじめてましょるくいの会、6/8伊賀良図書館へ行こう、6/15紙遊びほか、7/13感覚遊び、8/31子どもの言葉を育てよう、9/14自然と触れ合おう、遊び、9/21リトミックを楽しもう、10/12歯科指導、10/26わらべうたあそび、11/9親子で運動あそび、11/30絵本の読み聞かせ、12/7クリスマス制作、12/21クリスマス会、1/18お正月あそびをしよう、2/1節分を楽しもう、2/15記念品づくり、3/7大きくなったね ありがどう会 ・3歳児 5/18はじめてましょるくいの会、6/1伊賀良図書館へ行こう、6/15紙遊びほか、6/22消防署へ行こう、7/20感覚遊び、9/21リトミックを楽しもう、9/28防災時についてお話し、10/12以降は2歳児と同メニュー							
	実施内容	伊賀良の方を対象に、2ヶ月に1回程度開催。参加者の意見を取り入れ、内容を決定している。参加者寄稿による『かさまつの風第18号』を発行。 ①6月22日（木）「なぜ人はだまされるのか？ ～だまされる心の心理学～」 講師：菊池聡 氏（信州大学人文科学系教授） ②8月17日（木）「陶器について学ぼう ～野原コレクションを見ながら～」 講師：榎村洋介 氏（飯田美術博物館） ③10月25日（水）「郷土の歌人 金田千鶴と小学校美術館探訪」 講師：原田瑞穂 氏（秦阜村教育長） ④11月21日（火）「CWニル氏の生涯について」 講師：北澤彰利 氏（元黒姫童話館館長） ⑤2月28日（水）「みんなで笑って体を動かそう！」 講師：清水靖子 氏（信州大学人文科学系教授） ⑥3月18日（月）「ウクライナの危機の深層 ～冷戦後の戦争と平和～」 講師：美甘信吾 氏（信州大学人文科学系教授）							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	かさまつ大学	市・地	継続	6	120	80	14,042	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	目的	【成果と課題】 前年の反省や意見なども参考に、地元のトピックから自然科学系の講座を行うなど幅広いテーマとしたことにより、この講座の目的である、学習の場の提供ができていると感じており、家に帰って家族とも話ができるようなテーマ設定が好評である。そのおかげもあってか、新規登録者も増加傾向にある。 また、年度末に「かさまつの風第19号」を発刊した。年間の参加者から、この講座の感想や日頃思っていることを寄稿していただくことで、相互の交流とお互いの意見を伝え合う手段となっている。							
	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も多くの住民の皆さんに興味を持っていただけるよう、多様なジャンルの講座を検討し、参加者アンケートなどからもテーマを探っていききたい。参加者同士が話す機会も考える事で、自己の学びだけでなく相互交流や学びあいの雰囲気を作っていききたい。							

伊賀良公民館の事業報告

No. 2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伊賀良を学ぼう		市・地	6	110	80	14,042	実施内容参照	伊賀良公民館ほか
		伊賀良の方を対象に、2ヶ月に1回程度開催。						【成果と課題】 ふるさと学習副教材を作成したメンバーと年間を通した講座の計画を立て、座学のみならず現地学習も多く取り入れたため、多くの参加をいただいた。自分たちが暮らす伊賀良について興味を持って学んでいただくきっかけにすることができた。新規登録者も増加傾向であり、地域を学ぶ機会の重要性和必要性が感じられる。	
		伊賀良に住む人たちが、郷土に興味を持ち、愛着が増すことを目指す	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 これまでと同様に、「伊賀良に昔から住んでいた人も、新しく住み始めた人も、もっと伊賀良を知り、もっと伊賀良を好きになる」というテーマの下、座学で学んだり、地域を歩いたり、伊賀良の新しい魅力や歴史・文化・自然を再発見する機会としていきたい。	
学級・講座	夏休み子ども寺子屋		市・地	1	108	36	800	7/24～7/26	伊賀良公民館
		夏休みの3日間の午前中、地区住民有志と公民館が中心となり企画した。宿題をした後、体験活動を実施。旭中生徒19名がボランティアスタッフとして申込みいただいた。						【成果と課題】 住民有志の方による主体的な企画運営となったことを最も意識した。自分たちが地元の子とも達にできることはなにかという観点からプログラムを考え、当日の様子や振り返りの中でも主体的に関わっていただくことができたと感じている。	
		伊賀良地区内の小学生を対象に、夏休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもとの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 次年度も小学生、中学生、地域の大人が集い、色んな世代の人が一緒に活動する機会を作っていく。	
学級・講座	春休み子ども寺子屋		市・地	1	108	36	800	3/26～3/28	伊賀良公民館
		夏休みの3日間の午前中、地区住民有志と公民館が中心となり企画した。宿題をした後、体験活動を実施。旭中生徒がボランティアスタッフとして申込みいただいた。						【成果と課題】 住民有志の方による主体的な企画運営となったことを最も意識した。自分たちが地元の子とも達にできることはなにかという観点からプログラムを考え、当日の様子や振り返りの中でも主体的に関わっていただくことができたと感じている。	
		伊賀良地区内の小学生を対象に、春休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもとの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。	実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 次年度も小学生、中学生、地域の大人が集い、色んな世代の人が一緒に活動する機会を作っていく。	
学級・講座			市・地	継続					

伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	料理教室		市・地	継続	1	8	350	3月17日	伊賀良公民館
	成人男性を対象に、料理技術習得と食を見直すこと、その学びから家族とのコミュニケーションをはかることを目指す	【成果と課題】 これまで公民館にあまり関わりのない方に参加してもらったこととして企画。同じ年代の子どもを持つ父親同士の交流する機会となった。また、子供向けのおやつをメニューにしたことで、家庭に帰ってからも学びを活かせるように意識した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 今後も、ただ料理を作るだけでなく、公民館にくるきっかけづくりや、学びがその後に活かせるような取り組みにしていきたい。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	書初め書道教室		市・地	継続	1	36	800	1月5日	伊賀良公民館
	小中学生を対象に、書道の上達を図るとともに地域の伝統文化の継承の機会とする。	【成果と課題】 講師を公民館で活動している方に依頼し、活躍の場としても意識した。子どもたちは、ただ自分の課題をやるだけでなく、講師の先生のアドバイスを聞きながら、より良いものを目指して活動できた。作品展示したことで、公民館の活動を知ってもらうことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 地域の子どもが集まり、学び合う場として今後も継続していく。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子環境わくわく講座		市・地	継続	1	12	800	7月30日	伊賀良公民館
	小学生を対象に、環境の学習を通じて環境に對しての理解を深めるとともに、親子のコミュニケーションを創出する機会とする。	【成果と課題】 ソーラーカー作成だけでなく、電気の作り方を講師の方からわかりやすく聞くことができ、実生活でも生かせる学びの機会となった。また、作成する過程で親子同士でコミュニケーションをとる姿が見え、目的の通りの活動ができたと思う。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 小学生を対象に、日頃できない体験から学ぶ場として今後も継続していく。							
	実施内容								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとゲームウォーキング～殿岡の巻～		地区費	継続	1	311	14,042	5月28日	伊賀良地区内
	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩きながら体験すること、郷土を知る機会とし、地域をより好きになることを目指す	【成果と課題】 参加者にとっては、自分たちが暮らす地域を学ぶきっかけとなった。また、親子や友人と参加する方が多く、交流の機会となった。部員にとっても、コース作成や下見などを通じて暮らす地域について学ぶ機会になった。伊賀良に住んでいないけど、まだまだ知らないところがあったとの感想や地区を良くしていくための提案もいただいた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 昔から伊賀良に住んでいる人も、新しく住み始めた人も、伊賀良地区を知る機会として、広く一般の人たちに参加いただけるような工夫をしていきたい。							
	実施内容								

伊賀良公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇フェスタ2023		市・地	継続	5	552	-	8/3～8/6	伊賀良公民館ほか
文化事業	地区内の5会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのもつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す	実施内容	本館文化部、分館、保育園保護者会により実行委員会を組織し、開催した。 ・8月5日 9:30 北方会館 劇団かかし座「分福茶釜」 ・8月5日 10:00 中村会館 にんぎょうげきだんつきほたる「でんせつのいきものずかん、れいけいけんはやたらう」 ・8月5日 10:00 殿岡保育園 旭ヶ丘中学校人形劇部 旭日昇天「マレーン姫」 - 人形劇団ししかばぶ「ダンスだ！びよん」 ・8月5日 10:00 伊賀良公民館講堂 人形劇団クラルテ おひさま劇場「瓜子姫とあまのじゃく」おおかみと七ひきのこやぎ」 ・8月6日 10:00 三日月市場研修センター 人形劇団なみ「3ひきのこぶた・ではない」 - 紙芝居 野に咲く花「てんとくんのほしさがし」 「アコーデオン伴奏」たなばたさま」 ・8月6日 10:00 伊賀良小学校第1体育館 伊賀良小4年1組「あたまにかきのき」 - 伊賀良小4年4組「ブレーメンの音楽隊」						
	目的	評価	【成果と課題】 公民館部員が任期改選で変わったこと、コロナが5類になり初めてのフェスタだったこともあり、当初は運営側の不安などが感じられた。それでも、準備を進めていく中で各分館にてフェスタを盛り上げたり、参加者が楽しめるような工夫をできる範囲で考えられていたようで、良いフェスタになったと充実感が見られた分館も多くあった。 公演の日時や時間が多くの会場で重なってしまい、ワッペンを購入したのに1～2会場しか見て回れないとの意見があった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 より充実した地区公演とするために、地域の方と打ち合わせを重ねながら充実したフェスタにしていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊賀良地区文化祭		地区費	継続	1	3,000	14,042	11/11～11/12	伊賀良公民館ほか
文化事業	地区住民を対象に、芸術文化に触れ、住民相互のコミュニケーションを図る機会として実施。	実施内容	新型コロナウイルスが5類となり初めての文化祭として、コロナ前の70%を目指して実施した。昨年から作品展示に加え、芸能祭やけん玉大会、商工会さんによる食べ物の販売、体育館によるニュースポーツ体験など、充実した内容を実施できた。 ・展示団体 佐竹蓮平・鈴木芙蓉を愛する会、伊賀良公民館（広報部、学級講座）、分館作品展、リース工房、木の実（大瀬木分館担当）、ビデオ委員会、食生活改善推進協議会、フラワーサークルバンダナス、特定非営利活動法人おいなんよサテライト三日月市場・おおせぎ別家、柘書道教室、伊賀良美術会、環境委員会、健康福祉委員会、いがら地域包括支援センター、伊賀良図書館 ・芸能祭 伊賀良小学校合唱団、信州飯田岳風会伊賀良支部、三味線の会、子どもマジック教室、IGRsounds（伊賀良小金管バンド）、伊賀良小4年1組、伊賀良小4年4組、大正琴を習う会、旭中吹奏楽部、スタジオAKI飯田教室、飯田太極拳						
	目的	評価	【成果と課題】 コロナが5類に以降して初めての実施であったため、手探りでの企画運営となった。地域の方みんなで作り上げることができ、振り返りでは来年度さらに充実させていきたい旨の発言や提案が多く出た。展示者や発表団体にとっては、これまでの文化活動の発達の機会となり、参加者にとっては地域の方が取り組まれている様々な文化作品に触れる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度は、さらに内容を充実させていきたいという意見が多くある。公民館部員の自由な発想から、主体的に取り組みが進むよう意識して行っていきたい。						

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ交流会	地区費	継続	1	132	132	14,042	6月25日	伊賀良小体育館
	目的	地域住民を対象に、スポーツを通じて親睦や交流を目指す	実施内容	【成果と課題】 誰でも気軽に楽しめるスポーツとして種目をボッチャにしてみた。小学生以上、3人以上で1チームとして分館対抗のリーグ戦を実施。32チーム参加いただいた。 各リーグ優勝 Aリーグ：三尋石A Dリーグ：北方A Gリーグ：上殿岡C Bリーグ：三尋石B Eリーグ：大瀬木D Hリーグ：中村E Cリーグ：中村B Fリーグ：三尋石D					
	評価	【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ポッチャを実施したが、地区内でも気楽に楽しめるスポーツとして浸透してきていることから、次年度以降も継続していきたい。交流の創出を目的にしている。毎年きちんと実施していくことが重要だと考えている。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	伊賀良地区大運動会	地区費	継続	-	-	-	14,042	10月15日 中止	伊賀良小グラウンド
	目的	地区全域を対象に、一堂に会する機会を設け、交流を目指す	実施内容	【成果と課題】 雨天のため中止となった。 準備段階では、4年ぶりの開催もあって公民館部員から不安の声が聞かれたが、成功できるようにそれぞれ協力しながら準備を行うことができた。 【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各分館の状況をみながら、持続的に実施できるような企画、運営方法を模索していきたい。					
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	冬季スポーツ交流会	地区費	継続	1	148	148	14,042	2月4日	伊賀良小体育館
	目的	一般を対象に、スポーツを通じて、健康増進・地域住民の交流を目指す	実施内容	【成果と課題】 誰でも気軽に楽しめるスポーツとして種目を囲碁ボールにして行った。分館対抗のリーグ戦を実施。32チーム参加いただいた。 各リーグ優勝 Aリーグ：三尋石D Dリーグ：大瀬木C Gリーグ：北方D Bリーグ：大瀬木D Eリーグ：大瀬木B Hリーグ：中村C Cリーグ：北方C Fリーグ：三日市場D					
	評価	【次年度の方向性を取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 囲碁ボールを実施したが、地区内でも気楽に楽しめるスポーツとして浸透してきていることから、次年度以降も継続していきたい。交流の創出を目的にしている。毎年きちんと実施していくことが重要だと考えている。							

伊賀良公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報いから 発行		地区費	継続	6	-	14,042	通年	-
	・地域の方を対象に、情報を発信、地域の情報の共有を目指す。年間6回発行 第97号から第102号までを発行。地域のお知らせ、事業の記録、地域の話をお伝えしている。作成にあたっては、まちづくり協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾えるようにしている。近年、事業の報告記事だけでなく、広報部員が積極的に取材し、記事にしている。その他にも、あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。 ・広報いからを希望する地区外の方にも発送している	実施内容	【成果と課題】 伊賀良地区の広報誌として、力を入れて発行している。年6回発行することで、どうしても会議が多く負担感を感じやすいため、広報部長を中心に会議で意見を出しやすい雰囲気意識して実施している。各分館からの記事は、それぞれの部員さんが主体的に活動をする姿が見られた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度は、新しい企画の立案や取材活動から、さらにやりがいを感じられる活動となるよう意識していく。「こんな広報誌をつくりたい」という想いや地域の人の要望に応えられるような広報誌として企画、発行していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	米寿記念写真撮影・贈呈		地区費	継続	1	60	77	8月26日	伊賀良公民館
	88歳高齢者を対象に、地域でお祝いするとともに、家族でのコミュニケーションをとる機会とする。	実施内容	【成果と課題】 当日は、広報部員が協力し合い参加者に話しかけながらお祝いする姿を見ることができ、取材もその方の人生を伺えるような質問をぶつけていたので、広報部としての活動の意義を感じることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 同じ年齢の参加者同士の交流の機会としても良い機会となっている。次年度も引き続き実施していきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	いがらマラソン大会		地区費	新規	1	143	800	11月26日	三日市場運動公園
	小学校児童を対象に、運動を通じて心身の健全な育成とスポーツへの関心を高める	実施内容	【成果と課題】 今年度初めて実施する事業であり、計画から部員の方を中心に試行錯誤しながらの実施となったが、想定より多くの方に参加いただいた。学校のマラソン大会が無くなったため、このような機会を地区で開催することには意味があると感ずる。当日は、走っている多学年の児童を応援する姿も見え、スタッフ参加者全員で楽しめる充実した事業となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容の充実を図る中で、参加者が増加できるような工夫をしていきたい。それに付随した、部員の方も子どもたちと共に楽しみ子どもたちのことを考えるきっかけとなるような事業を目指したい。						

伊賀良公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	カルタ大会	地区費	新規	1	120	120	120	6月2日	伊賀良小学校
	伊賀良地区内の小学生を対象に、地元のことを知ってもらえる。創出する。								
	目的	【成果と課題】 育成関係の部が公民館にでき初めての事業であり、部員の方々も手探りで計画を進めてきた。3年生が1年間かけて地域学習を行う際の切り口としてこの事業を活用している。子どもたちがカルタを楽しみながら伊賀良を知るきっかけにしたいという目的はある程度達成できたと考える。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度は、地域学習の面をさらに充実させて引き続き実施していきたい。							
育成事業	飯ごう炊さん	地区費	新規	1	20	20	800	9月23日	伊賀良公民館 他
	小学校児童を対象に、多様な体験活動を提供し、児童の協調性を育む								
	目的	児童生徒の日頃できない体験をしてもらうことを目的に開催。小学校3～6年生を対象に実施した。 火を扱ったり、マッチを擦れない子供たちが多くいる中で、学校・家庭ではなかなかできない「体験」を実施した。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 内容の充実を図る中で、参加者が増加できるような工夫をしていきたい。それに付随した、部員の方も子どもたちと共に楽しみ子どもたちのことを考えるきっかけとなるような事業を目指したい。							
その他	伊賀良地区二十歳の集い	市・地	継続	1	131	131	181	1月7日	シルクプラザ
	地元の方を対 象に、地域が祝い、成 人としての自覚をもって もらうことを目指す								
	目的	【成果と課題】 当初、20歳の実行委員が集まらずスタートが遅れたが、3名の実行委員と共に準備を進め最後はやりきった達成感を感じてもらうなど充実したものとなった。また、参加者にとっては、家族へのメッセージを募集したり実行委員による思い出のスライドショーなどにより、これまで育てていただいた方へ感謝の気持ちを感じ、これからの人生について考える節目の機会となった。地域にとっても地域でお祝いする二十歳の集いについてあらためて考えるきっかけになった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度も参加者、保護者、地域にとってより良い形の二十歳の集いについて実行委員会を検討していきたい。							

伊賀良公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	学校開放運営委員会・調整会議								
		0円	継続	8	500	-	14,042	実施内容参照	伊賀良公民館
	利用団体を対象に、 学校施設の有効活用 を目指す	【成果と課題】 大規模地区であり多くの団体がスポーツを楽しんでいるが、施設は限られた数しかなく、多くの利用者が気持ちよく有効に利用できるように実施している。反省をもとに運営方法、調整資料を常に改善してきており、充実されてきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も、地区内の団体が譲り合い、気持ちよく利用できるようルールの整備、調整を行っていききたい。状況に応じて運営委員会、調整会議の開催回数の検討もしていく。							
合同事業	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	旭ボランティアスタンプラリー		市・地	3	20	-	14,042	通年	実施内容参照
	中学1～3年生、小学6年生を対象に、公民館事業等へのボランティアを募集し、事業への参画や地域貢献を通じて自己有用感等の形成を図る。	【成果と課題】 様々なボランティアの機会を設け、多くの生徒が参加してくれた。参加してくれた生徒からは「参加してみて、あまりしたことない経験ができてよかった」「弟や妹のような存在の小学生と遊べて楽しかった」などの声も聞かれ、子ども達の充実感と自己有用感などを育む場所として、良い実践の場になると感じた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域の方からも「中学生がスタッフとして関わってくれるのはとても良いこと」といった声が多く聞かれる。来年度以降も実施していきたい。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	展示コーナー運営		0円	継続	14	-	14,042	実施内容参照	伊賀良公民館
	公民館の活動を広く知ってもらう機会とすると共に、公民館で活動する団体などの発表の機会を創出する	【成果と課題】 それぞれの時期で、各団体が自ら嗜好を凝らした展示をおこない、来館された方々に知ってもらう機会となった。中には、展示を見てその団体に入る方もおり、目的通りの活動ができていていると感じている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も各団体と協力しながら、公民館の入口が年間を通じて華やかになるよう実施していきたい。また、新規団体についても積極的に声掛けを行っていきたい。							
その他	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)		市・地	2	66	33	14,042	実施内容参照	伊賀良図書館
	保育園児、小学生、一般を対象に、図書館利用者の拡大させ、読書の大切さを感じる機会とする	【成果と課題】 多くの親子連れに参加していただき、本や工作を通じて親子のコミュニケーションを創出することができた。また、本に触れ合う機会を創出することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 分館職員がそれぞれの特徴を活かし、工夫を凝らして開催している。図書館の利用促進、本に親しむ機会と同時に地域の交流の場にもなっている。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
学級・講座	さくらんぼ学級(0歳児学級)		市・地	6	234	39	218	下半期毎月1回実施	県公民館ほか		
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関わる知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすること 目的 で、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	O歳の子供とその親を対象に、親子が子どもの成長を見る機会とする。また、母親が孤独な育児をしないよう、仲間作りの場となるよう、交流の場を設ける。 第4回以降は感染症対策を兼ね、月齢でグループを分け、2部制で開催した。 ▼第1回(10/10) ▼第2回(11/1) ▼第3回(12/6) ▼第4回(1/12) ▼第5回(2/5) ▼第6回(3/7)	市・地	継続	22	682	31	各学級毎月1回実施	県公民館ほか	
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関わる知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすること 目的 で、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	1歳児の子供とその親を対象に、離乳食や歯の健康等の学習の他、おもちゃ作りやクリスマス会など、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。成長・発達の違いから、子どもの状況や親の悩みなども異なるため、月齢で学級を2グループに分けて開催した。 いちご学級 ▼第1回(5/19) ▼第2回(6/16) ▼第3回(7/4) ▼第4回(8/25) ▼第5回(9/22) ▼第6回(10/20) ▼第7回(11/17) ▼第8回(12/12) ▼第9回(1/23) ▼第10回(2/16) ▼第11回(3/15) りんご学級 ▼第1回(5/16) ▼第2回(6/20) ▼第3回(7/25) ▼第4回(8/29) ▼第5回(9/19) ▼第6回(10/20) ▼第7回(11/28) ▼第8回(12/12) ▼第9回(1/19) ▼第10回(2/6) ▼第11回(3/8)	市・地	継続	22	682	31	各学級毎月1回実施	県公民館ほか	
学級・講座	たんぽぽ学級(2歳児学級)		市・地	22	638	26	238	毎月1回実施	県公民館ほか		
学級・講座	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関わる知識の習得、親子での様々な体験、親同士の交流の場とすること 目的 で、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	実施内容	2歳の子供とその親を対象に、季節の遊びや、地区内外へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。 たんぽぽ組 ▼第1回(5/23) ▼第2回(6/13) ▼第3回(6/27) ▼第4回(7/18) ▼第5回(8/22) ▼第6回(9/12) ▼第7回(9/26) ▼第8回(10/4) ▼第9回(10/17) ▼第10回(11/7) ▼第11回(11/21) ▼第12回(12/12) ▼第13回(1/16) ▼第14回(1/30) ▼第15回(2/13) ▼第15回(2/27) ▼第16回(3/12)	市・地	継続	22	638	26	238	毎月1回実施	県公民館ほか

県公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	つくし学級(3歳児学級)	市・地	継続	17	459	24	266	毎月2回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関わる知識の習得、親子の様々な体験、親同士の交流の場とすることで、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	就園前(3歳児)の子供とその親を対象に、子育てに関わる講座や季節の遊びなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。コロナ感染状況を踏まえ、オンライン等を活用しながら中止せず開催できた。	▼第1回(5/17) ▼第2回(6/7) ▼第3回(6/15) ▼第4回(7/5) ▼第5回(7/19) ▼第6回(8/30) ▼第7回(9/6) ▼第8回(9/20) ▼第9回(10/4) ▼第10回(10/18) ▼第11回(11/2) ▼第12回(11/15) ▼第13回(12/12) ▼第14回(1/16) ▼第15回(2/7) ▼第16回(2/21) ▼第17回(3/6)	【成果と課題】 幼児にとつての体験の場、同年代の子との関わり方を学ぶ場であると同時に、親同士の仲間づくり、悩み相談の場でもある。保育士を講師に招き、子育てに関わる講座や警察署見学の他、お母さんのやりたいこと(リトミック・親子ヨガ・クリスマスピアノコンサート等)も取り入れ、お母さん方も楽しめる場となった。アンケートには「心配なことや不安なことを話せて息抜きの場になった」「友達ができ、子育ての悩みを共感してくれる人がいて心が軽くなった」といった声が聞けた。親が心から健康であることが、子の成長過程において大切であるため、母親の孤立や悩みを一人で抱えこむことを防ぐ、相談できる場・発散できる場としていきたい。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 就園前の参加者の関係性の構築・維持のため次年度も内容を充実させて開催していきたい。また、乳幼児学級を終えた後のコミュニティづくりも意識して内容の充実を図る。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	お父さん向け講座(父親向け乳幼児学級)	地区費	継続	4	24	-	912	6月～2月(4回)	県公民館
	就園前の子供とその父親を対象に、子どもと接する時間の確保、家事・育児の理解や参画の促進、父親同士のコミュニケーション形成を図る	乳幼児学級参加世帯を対象に、父親向け乳幼児学級を開催。父親同士の交流と学習の機会として開催。父親だけでなく、ファミリーデーとして家族みんなで参加できる機会づくりを行った。	第1回(6/25)ファミリーデー 第2回(10/29)おさんぽコースを共有しよう(中止) 第3回(12/10)ふれあい遊び 第4回(2/23)救急救命	【成果と課題】 乳幼児学級の参加世帯を対象に、父親が子どもとの関わりを学んだり父親同士のつながりを作る場として開催。0～3歳児の父親を対象に、同世代の子を持つ親同士のつながりの機会を創出し、家庭での関わりを見つめ直したり相談できる関係づくりの場として開催した。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度参加者を中心に、父親が自分たちで企画・運営できる体制の構築を目指す。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かなえっこ どんきどきスクール	市・地	継続	1	70	-	663	7月28日～29日	県公民館ほか
	夏季休暇中の子どもを孤立した時間を解消すると共に、地域での体験学習の場とすることで、子どもたちの学びや育ちの機会とする 同時に、保護者が主体的に企画運営することで、保護者同士のつながりや、地域で子どもを育てる環境づくりにつなげる	参加する保護者による企画メンバーにより小学校の夏季休暇に合わせて実施してきたが、メンバーの固定化、感染症対策への負担等から、運営体制が解散。今年度は壮年団を中心とした運営委員会を立ち上げ、企画検討を行い4年ぶりに実施となった。普段できない体験や郷土料理について学ぶなど、さまざまな体験の機会とした。	【検討過程】 ・4/11 企画立ち上げ打ち合せ ・5/8 第1回運営委員会 ・6/1 第2回運営委員会 ・7/2 第3回運営委員会・準備	【成果と課題】 コロナ禍での開催に向けた感染症対策等安全面の確保だけでなく、中心となる保護者の固定化、子どもの卒業などの要因から、これまでの保護者主体の企画・運営は困難となったため運営体制を新たに実施した。 実施後の振り返りでは、次年度に向け保護者の積極的な参加の意向も見られた。運営体制を強化し、子どもの体験と保護者の主体性を大切にしながら持続可能な実施の仕方を模索していきたい。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 壮年団、PTAなど組織的な関わりを作りながら、保護者主体の運営体制を構築していく。				

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	県小中PTA公民館合同講演会	地区費	継続	1	221	-	12,992	11月10日	県小学校
	小中学校PTAを中心に、保護者の立場で感じている悩みや課題を基にテーマを設定し、講演会を開催することで、子ども豊かな育ちにつなげる	【成果と課題】 保護者や教職員を対象に、長年子どもと向き合ってきた方からお話をお聞きし、子どもの心、内面と向き合う大切さを学ぶ機会として計画。中心となるPTAの課題意識と主体性により組み立てられた、コミュニティスクールの大切な形であると感じている。特に近年は、PTAの頼みを受け、講演会前後の学習を促すなど、学習の質の向上を図ってきた。今年度は県小学校創立150周年と併せ、小学校PTAが主体となり開催した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 PTAと公民館の交流を図り、保護者の立場に立った講演テーマの設定を図ると同時に、学校運営協議会などで、学校側の意識へのアプローチを行う。							
学級・講座	地育力向上講座「ずんずんずん隊」	市・地	継続	7	184	-	12,992	実施内容参照	県公民館ほか
	ふるさと学習の一環として、小学生親子を対象に、遊休農地での農業体験を通して、環境学習、食育及び親子の時間の充実について同時に、人格形成の基盤となる体験や感性を育む機会とする。併せて中学生ボランティアの参画、下伊那農業高等学校、下伊那農業連携することで、小・中・高校生と地域の相互の学び、それを支える地域の学びや子どもを育む意識の醸成を図る。	【成果と課題】 宅地化が進む県地区において、農業体験ができる貴重な機会である。特に、親子が交流しながら食育を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれると共に、食育や環境を考える機会もなっており、地域との連携と中学生ボランティアの参加により、小・中・高校の一連の流れと、農業における収穫・加工までの一連の流れを組み合わせた取り組みとすることができた。参加者の固定化が課題であったが、今年度は下農生の事前プレゼンもあり、新たに多くの親子の参加があった。 水田の管理は大きな課題となっている。参加者の組織化による指導者の負担軽減など検討していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 継続的な取り組みとなるよう、組織化と仕組化を進める。特に地域側の緩やかな組織化を行い、地域の学びの核を作っていく。事業内容も幅広くとらえ、地域資源を活用し子どもに必要な体験ができる場として展開していきたい。							
学級・講座	古文書講座（初心者講座）	市・地	継続	1	11	11	12,992	9月13日	県公民館
	地域の古文書を読み解き、地域の歴史、その時代の生活を学ぶ。同行の士が集い、交流を深める。	【成果と課題】 従来県公民館の講座として開催していたが、令和3年度から社会教育関係団体「県古文書講座」として独立した。古文書の読解にはある程度経験が必要となることから、新規参入しづらく、メンバーの固定化が課題である。今回の講座を通して、初心者でも古文書についての理解や楽しさを知るきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も参加者の間口を広げるきっかけとして初心者講座を継続していく。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	華甲大学(高齢者学級)	市・地	継続	9	594	101	12,992	実施内容参照	県文化センターホール
	目的・講座	【成果と課題】 運営委員と協議しながら企画運営を行っている。対象が高齢者の為、実施に当たっては感染症予防の徹底に配慮し、今年度も全ての回を文化センターホールで開催した。講演内容は健康、歴史、音楽、生きがいなど、多岐にわたり受講者からも好評であった。研修視察も実施し、事前学習と合わせて充実した内容で実施できた。次年度も開催方法、内容を検討し、受講者にとって良い学びの場、生きがいの場になるよう、更なる充実を図りたい。運営委員の固定化が課題。参加者の学習意欲向上と継続的な運営体制の構築を図っていききたい。							
学区・講座	目的・講座	【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 運営委員会での協議を充実させると共に、年配の方々の要求課題・必要課題を捉えることを重点的に行い、講座内容や華甲大学のあり方に反映させ、充実させていく。参加者同士の交流を行い、主体的な運営体制づくりを行っていく。							
	実施内容	評価							
学区・講座	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県公民館役員研究集会	市・地	継続	1	180	90	90	実施内容参照	県公民館
学区・講座	目的・講座	【成果と課題】 研究集会では「飯田市ゼロカーボンシティ推進の取組み」についての勉強会を開く。学習を通して、ゼロカーボンシティの取組みを自分事として捉える機会となった。また、その後ふさと鼎ふれあい広場・文化祭でのEV車を活用したワークショップを実施につながった。今後も本館、分館問わず、環境への取組みを意識して活動の組み立てを実施していきたい。また、役員同士の課題意識を共有し、公民館として社会を見る機会としていきたい。							
	実施内容	評価							

県公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	料理教室		市・地	3	80	-	12,992	実施内容参照	県公民館
	実施内容	食生活改善推進協議会県支部、保健課栄養士の協力のもと、減塩や様々な旬の食材などを使った献立で実施。 ・7/13 五平餅づくり（どきどきスクール事前講習として開催） 運営委員対象(兼壮年団料理教室) ・10/14 親子料理教室 ・12/15 県婦人団体連絡協議会 郷土料理教室							
	目的	普段家庭で料理をする機会が少ない、子どもや男性、高齢者の方を対象に、旬の食材を用いた料理実技を習得すると共に、食を通じた健康学習の推進を図る							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	令和5年度20歳の集い		市・地	1	89	89	134	1月7日	県文化センターホール
	実施内容	県地区まちづくり委員会をはじめ県内4名の各種団体と連携協力で行う。新成人で組織する実行委員会(新成人4名)を立ち上げ、自ら企画運営に携わることで「自分たちで作る式典」として進めた。 二十歳の成人4名による実行委員会を中心に企画・運営。 地域学習のテーマ「県地区の獅子舞について」 式典・交流会の内容：(地域代表挨拶、二十歳の抱負、恩師挨拶、二十歳の思い出アルバム、家族からのメッセージ、クイズ等)、祝賀会の実施、記念リーフレット「若鮎たちよ」作成、記念品配布ほか 該当者数:134名(男性70名・女性64名) 出席者数:89名(男性53名・女性36名)							
	目的	新成人が20年間を振り返り、家族や友人、恩師、地域への感謝の気持ちを持ち、大人としての自覚を持つ機会とする。また地域としては、新成人をこれからの県や社会を担う仲間として、祝福し、激励する場とする							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと再発見ワンデーマーチ		市・地	1	300	300	12,992	5月3日	県地区内ほか
	実施内容	テーマは「家族で一日を楽しく歩くこと」・「地域の歴史や文化について学ぼう」。文化委員会で地域の現状や変化を話し合い、コースを決定。 昨年度中止となったため、前回検討した東県公民館～飯田市歴史研究所を巡るコース(約3.5km)で実施。 当日参加者に配布するピンバッジのデザインを募集し、ピンバッジ制作を実施。 ふるさと県ふれあい広場・文化祭(11/4)にてピンバッジ表彰式を実施。							
	目的	地域の歴史や文化について学びながら県地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩き、地域学習・健康づくり・家族の絆を深める機会とする							

県公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	オーケストラと友に音楽祭 コミュニティコンサートin県	市・地	継続	1	600	600	12,992	5月4日	県体育館
	プロのオーケストラの演奏に触れ、音楽を通じた交流と豊かな感性を育む。	【成果と課題】 オーケストラと友に音楽祭における「コミュニティコンサート」を県地区で開催。内容は名古屋フィルハーモニー交響楽団メンバーによる金管五重奏で、地域の身近な場所でのプロの音楽に触れる機会として開催。また、地域との交流企画として、茶屋町太鼓隊による歓迎演奏と、県地区内の小中高校（下農、OIDE）吹奏楽部による合同演奏を実施した。 【検討過程】 ・R5.2.21 第1回実行委員会 ・R5.3.23 第2回実行委員会 ・R5.4.23 小中高校生による合同練習 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地区は毎年変更となる単年度事業。次年度は実施しない。							
文化事業	かなえ景観写真コンテスト	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月5日、11月6日	県公民館
	地域の自然・文化・人に着目した写真展示を通じ、県地区の良さを共有する	県の景観を写真におさめ、ふるさとの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。審査員は、県在住の写真家などへ依頼。文化祭（11/4～11/5）期間中に展示するとともに表彰式を行った。 今年度は初の試みとして、文化祭1日目にウォークラリーを兼ねた来場者投票を実施。参加者だけでなく来場者にも県のさまざまな風景に関心を持ってもらう機会とした。 【成果と課題】 文化祭の開催に合わせて実施し多くの応募があった。作品の展示と表彰を実施した。 出展者が固定化してきていることが課題であり、今年度は予め来場者投票により審査員だけでなく一般の目線による評価を行うことを前提に募集し、前年度よりも多くの応募があった。投票に参加する中で、次年度への参加意欲を高めることがねらい。多くの人に県の風景に関心を持ってもらう機会として継続していきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 入賞作品をより多くの人に見ていただけるような工夫をしていく。同時に、子どもの参加の模索や、技術の評価ではなく感性の評価ができるような方向性を検討したい。							
文化事業	ふるさと県ふれあい広場・文化祭	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
	各団体の活動意欲を高めるとともに、県地区の文化活動の発展、文化への関心向上を図る	【成果と課題】 各分館やサークル等、地域住民の日頃の学習成果発表の場として実施すると共に、地域全体の交流を図ることを目的とし、毎年開催している。 コロナ5類移行も踏まえ、飲食を伴う模擬店を4年ぶりに再開。役員負担の軽減から、昨年までの開催時間をベースに、準備～実施した。 昨年よりも多くの参加団体がおり、団体の発表と交流の機会となった。 【検討経過】 - 第1回文化祭実行委員会 8月29日（火） - 第2回文化祭実行委員会 10月16日（月） 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 それらの活動に触れる場を創出することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域全体に積極的な参加を促し盛り上げていきたい。また、講座等を実施し学習の場として実施していきたい。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023		市・地	11	1,211	-	12,992	8月3日～8月6日	県公民館ほか
文化事業	人形劇フェスタを通じて文化の向上を図ると共に、地域づくりを行う。県地区では10会場15劇団が地区公演を開催。分館会場の他、保育園会場も再開し、多くの会場で地区公演が行われた。それぞれの会場で地区公演を盛り上げる工夫や取り組みが行われ、人形劇を通じた地域づくりにつながった。県地区独自の取り組みとして「県ワークタイム」を実施。 ・県地区オリジナル企画(フェスタの夜を楽しもう！県プロジェクトンマッピング) 8月2日(水)の開催 【検討経過】 5/17 会場責任者会 6/27 県地区実行委員会 7/5 フェスタ企画調整会議	市・地	継続	11	1,211	-	12,992	8月3日～8月6日	県公民館ほか
	地域住民がフェスタを通じて文化の向上を図り、フェスタを通じた地域づくりを行う。	市・地	継続	11	1,211	-	12,992	8月3日～8月6日	県公民館ほか
文化事業	ふるさと県コミーション	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県の自慢・自然・文化・歴史・伝統・生活・産業・人物等を地区(分館)単位で掘り起こし、県全体で1本のコミーションにまとめることで地域の良さを共有し地域づくりに役立てる	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県小のポブラについて」 ※制作委員会に併せて開催	市・地	継続	1	3,000	3,000	12,992	11月4日、11月5日	県公民館
文化事業	ふるさと県コミーション制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ・テーマ「県小のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。 文化祭で発表。県小学校創立150周年記念式典でも上映され、その後記念展示期間中も小学校で上映された。 現在はYouTubeにアップロードし閲覧可能。 【検討過程】 ・制作委員会 4回 ・学習会「ポブラの性質と県								

県公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	県地区体育祭(ベタンク大会)		地区費	継続	1	300	12,992	6月4日	矢高グラウンド
	目的	県地区住民が気軽に参加し、ニューススポーツなどを行うことで健康増進を図ると共に、参加者相互の交流と親睦を図る							
	実施内容	実施内容 県地区住民が気軽に参加し、ニューススポーツなどを行うことで健康増進を図ると共に、参加者相互の交流と親睦を図る							
体育事業	ニューススポーツ講習会		地区費	継続	1	24	12,992	8月18日	県小学校体育館
	目的	様々なスポーツを紹介し、体験してもらうことで、県地区住民の健康増進や交流・親睦を深めることにつなげる。							
	実施内容	実施内容 様々なスポーツを紹介し、体験してもらうことで、県地区住民の健康増進や交流・親睦を深めることにつなげる。							
体育事業	県地区縦断駅伝大会		地区費	継続	1	200	12,992	9月10日	県地区内
	目的	県地区内居住のランナーによって、全10地区を8名のランナーがタスキをつなぎ走り抜く。駅伝大会を通じて地区同士の健闘を称え合い、参加者相互の交流と親睦を図るとともに、地区間、世代間交流の一助とする							
	実施内容	実施内容 県地区内居住のランナーによって、全10地区を8名のランナーがタスキをつなぎ走り抜く。駅伝大会を通じて地区同士の健闘を称え合い、参加者相互の交流と親睦を図るとともに、地区間、世代間交流の一助とする							

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県地区女性バレーボール大会	地区費	継続	1	50	12,992	9月24日	県小学校体育館
体 育 事 業	この大会に向けて女性同士が集まり、バレーボールを通して交流を深め、女性の健康保持、体力増進につなげる。併せて、参加チーム同士の親睦とバレーボールに親しむ女性の底辺を拡大を図る	実施内容	【成果と課題】 県地区内の分館を単位とした女性バレーボールチームの交流として、ママさんバレーボール連盟の方々をはじめとした、各チームの主将と協議して開催。参加条件なども柔軟に変更しながら、参加チームが主体的に企画・運営を行う。 優勝チームは飯田市女性バレーボール大会に出場する。 ※中平・下山、中平、切石、上山)により開催 ※中平・上山・切石は合同チームとして出場 【検討過程】 8/28 チーム代表者打合せ					
	評 価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 競技人口の減少が課題であり、地区内へ周知し、特に若い世代が参加しやすい環境づくりを行う。						
区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体 育 事 業	冬季スポーツ大会(ポッチャ大会)	地区費	継続	1	300	12,992	2月5日	県体育館
	県地区内の分館を単位とした大会として、参加者及び分館同士の親睦と交流を深めると共に健康増進を図る。 競技種目を例年のワンバウンドふらば～バレーから、ニュースポーズ「ボツチャリ」に変更して開催。マスクをしたままできる競技に変更し、感染症対策を徹底しつつ交流できる大会として開始した。 各分館から2～4チーム(計30チーム)約180人が参加。6ブロックに分かれ試合を行った。今年は、種目をボツチャとしたことで飯田市身体障害者協会鼎支部からも2チームが出場した。 【検討過程】 12/11 体育委員会 1/12 審判講習会	実施内容	【成果と課題】 昨年度、感染症対策を徹底するため種目を変更し開催した。インフルエンザとコロナの同時流行の中にあって、今年も感染症対策の観点を踏まええポッチャ大会として開催した。種目の選定にあたっては事前に体育委員会内でアンケートを実施。ポッチャとしたことで結果的に大会運営も簡単になり、役員負担の軽減につながった。また、ポッチャはパラリンピック正式種目でもあり、身体が不自由な方でも参加しやすいことから、身体障害者協会鼎支部の皆さんも参加され、一般のチームと対戦を行った。多世代や、さまざまな身体状況の方同士の交流の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の検討や経験を活かす、幅広く意見を聞きながら検討していきたい。					
広 報 事 業	「公民館報かなえ」の発行	地区費	継続	4	228	14	通年	県公民館ほか
	地域住民を対象に、地域の情報を伝え、課題提起などを通じて、地域に関心をもちもらうことを目的に作成。公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図った。 1号発行につき、広報委員会(14名)を原則3回、まちづくり委員会の広報編集委員会(15名)を1回開催。 ▼仕様 A4版、4頁～6頁 ▼館報かなえ423号(6/21発行)、424号(9/27発行)、425号(12/20発行)、426号(3/27発行)	実施内容	【成果と課題】 本館事業と分館事業を取り扱いながら、その時々々の行事の様子や情報の発信をため、各地区から選出された委員がその地区の分館報の発行を担当する場合もあるため、委員の際には各分館による分館報を共有し、他の分館からヒントを得るなど分館への波及効果を狙っている。 今後とも委員さん個々の関心や課題意識を引き出し、「みんなで作り上げる館報」となるような環境作りを目指す。					

県公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
C S 協働事業	県ナゾとき探偵団	市・地	新規	4	48	-	12,992	【成果と課題】 高校への進学で地元以外の地域へ出ていく前の中学生期に、自分たちが育った地域について知るきっかけ作りとして実施。中学生になると地域に出ていく機会が減少する傾向にあるが、中学生と地域の大人が関わりを持つ機会の創出につながった。 また文化祭での展示発表から、次回のワンデーマーチの学習設定につながるなど、大人が地域に関心を持つきっかけにもなった。 現状中学生の参加は図書委員が中心でやや限定的である。企画段階から図書委員と検討を行い全校に参加を呼びかけるなど、中学生の主体性を活かしながら取り組みを拓ける工夫が必要。		県公民館ほか
	県図書館と共催し、郷土資料を活用した中学生と地域の大人のふるさと学習を行い、調べる楽しさを地元への愛着を育む	市・地	新規	4	48	-	12,992	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 中学生と大人が同じ目線で学び、お互いに交流する場として、今後も継続していきたい。次年度は中学図書委員会との連携や社会教育関係団体「県の歴史を学ぶ会」とも連携するなど、参加者の拡大と仕組み化を図っていきたい。		県公民館ほか
	県図書館と共催し、郷土資料を活用した中学生と地域の大人のふるさと学習を行い、調べる楽しさを地元への愛着を育む	市・地	新規	4	48	-	12,992	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 中学生と大人が同じ目線で学び、お互いに交流する場として、今後も継続していきたい。次年度は中学図書委員会との連携や社会教育関係団体「県の歴史を学ぶ会」とも連携するなど、参加者の拡大と仕組み化を図っていきたい。		県公民館ほか
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
C S 協働事業	県の子どもを語る会	地区費	継続	1	50	50	12,992	2月2日		県公民館
	小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集い、県の子どもの現状や、目指す子ども像を語り合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる	地区費	継続	1	50	50	12,992	2月2日		県公民館
	小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集い、県の子どもの現状や、目指す子ども像を語り合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる	地区費	継続	1	50	50	12,992	2月2日		県公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
C S 協働事業	県中学校ジュニアボランティアステーション	地区費	継続	86	228	-	12,992	【成果と課題】 中学生の主体的な地域参加を創出するため、昨年度から運用を開始した。地域側から中学生ボランティアを募集し、中学生が希望する事業に自ら申込んでボランティア参加する。 中学生の主体性を大切にしながら、地域との関わりを通して地域活動を見つめ直すきっかけとする。		県地区区内ほか
	県地区の様々な地域活動や地域行事に、中学生が地域住民の一人として、主体的に参加・参画して地域に貢献できる場面を、地域全体で創出するための仕組み。	地区費	継続	86	228	-	12,992	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校運営協議会などで「子どもの現状」について語り合い、捉え、整理していきたい。		県地区区内ほか
	県地区の様々な地域活動や地域行事に、中学生が地域住民の一人として、主体的に参加・参画して地域に貢献できる場面を、地域全体で創出するための仕組み。	地区費	継続	86	228	-	12,992	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校運営協議会などで「子どもの現状」について語り合い、捉え、整理していきたい。		県地区区内ほか

県公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	小中学校との連携による子育て支援事業	地区費	継続	100	3,000	-	1,478	実施内容参照	県小・中学校ほか
	①県小中学校クラブ活動支援(通年) ②小中学校の学習支援(通年):今までの講師とのつながりから、部分的に実施 小中学校と連携すること で、より多くの人々の子 育てを支援し、子どもの 豊かな成長を図る。 実 施 内 容	【成果と課題】 小中学校の授業とクラブ活動に学校支援ボランティアとして地域の大人が参加し、授業のサポートだけでなく専門知識に触れる機会をつくることできた。子どもの学びや育ちを中心に、学校運営協議会などの場で協議し、県地区としての子育て支援と子どもの豊かな成長の充実をさせていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 学校や地域と連絡・調整を行い、随時実施していく。 評 価							
その他	高校生の学習活動支援	地区費	継続	30	310	-	12,992	5月～3月	県公民館ほか
	(ア) 地域人教育(飯田OIDE長姫高校との連携) 飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は1グループ7名の生徒が県地区をフィールドとして活動を実施した。4月中旬から活動を始め、県地区内の街歩きや、様々な活動に取り組む方のお話を聞きながら、県地区の魅力や課題を考え、活動に取り組んでいる。 今年度は商工会議所県支部と協働し、県地区のシンボルについて研究する中で、文化祭にて「夢かなえ切符」の制作・販売と、豊栄稲荷神社のPRとして「絵馬の制作、ポスター制作、県あかり保育園園児との交流」を実施。制作した絵馬は県中3年生に配布したほか、二十歳の集い、新春放談会の記念品として配布した。 (イ) ずんずんず～ん隊大豆栽培(下伊那農業高校との連携) 一色公民館の野菜作りをしている畑の一角をお借りして、子どもたちの農業体験の機会とすするために、ずんずんず～ん隊として活動をしている。大豆栽培だけでなく、その後の加工も視野に入れ、下伊那農業高校の食品化学科3年生に協力を仰ぎ、栽培から加工までの過程を一緒に行った。 実 施 内 容 高校生と地域住民が、 活動を通じて共に学び 育つことで、より良い地 域をつくる 評 価 【次年度の方向性と取り組み】 ☒拡充 ☐現状維持 ☐縮小 学びの土壌を整備しつつ、分館とも連携し、地域の大人と関わる機会を増やす。	【成果と課題】 地域人教育に加え、下伊那農業高校生の課題研究の支援をし、地域が関わることで高校生にどのような学びや育ちが生まれるかを考える機会になっている。また、高校生と関わった地域の方にも、高校生の取組みから新たな気づきが生まれ、自身の活動を振り返る機会となることから、多様な方が高校生と関り、高校生の学びと地域の学びの充実につながるよう、関わる機会の充実を図っていきたい。							
その他	社会教育関係団体の活動支援	地区費	継続	2	-	-	12,992	通年	県公民館
	社会教育関係団体支 援、生涯学習活動の推 進 実 施 内 容	社会教育関係団体の会員募集について、公民館掲示板や文化祭などで周知、支援する。 年度当初に、団体一覧を組合回覧すると共に、ロビーに配置している。 また、掲示板を会員募集用に開放し、希望団体は掲示ができる。 数量的成果 (項目名と数値) 社会教育関係団体登録申請時から文化祭の案内をした。これにより、文化祭に向け活動の活性化や、新規出展希望団体も現れ、活発な活動が展開されている。 【成果と課題】 社会教育関係団体紹介チラシの配布に加え、文化祭を活動発表の場と捉え、社会教育関係団体登録申請時から文化祭の案内をした。これにより、文化祭に向けた活動の活性化や、新規出展希望団体も現れ、活発な活動が展開されている。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐拡充 ☒現状維持 ☐縮小 文化祭を目標に、各団体の声を聞きながら活動の支援をしていく。 評 価							

上郷公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級		市・地	継続	45	600	45	13,021	通年 上郷公民館ほか
	乳幼児とその親を対象に、子供が健やかに育つため、又、知識を身に付けることにより安心して子育てができるよう支援する。		実施内容 3歳学級：小麦粘土で遊ぶ、栄養の話、ミニ運動会ほか 2歳学級：ボール遊び、食事の話、ミニ運動会、クリスマス会ほか 1歳学級：ふれあい遊び、本に親しもう。食事のおはなし、動物園に行こう、クリスマス会ほか 0歳学級：母乳の話、わらべうた遊び、おもちゃの選び方、リラックスヨガほか	【成果と課題】 家庭以外での親子のふれあいの時間として、また育児に大切なあそびや情報等を得られる機会として多くの親子が参加した。親同士の情報交換やネットワークづくりに資するよう支援を行った。とくに2歳、3歳の参加者が少ない点が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き親と子のふれあいの場、子育ての学びの場、親同士の仲間づくりの場として市保健課と連携しながら継続開催する。					
	評価		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	俺の親子学級		市・地	継続	4	80	30	13,021	実施内容参照 上郷公民館ほか
	乳幼児とその親を対象に、子供が健やかに育つため、又、知識を身に付けることにより安心して子育てができるよう支援する。		実施内容 目的：働き盛りで子どもとの時間がなかなか持てないお父さんと子どもの、ふれあいの時間づくり。組合加入率が低く、地域のつながりが少ない若いお父さんたちの仲間づくり。父親は育児の悩みや疑問などを相談する相手が見つからないことが多いため、日頃思うことを情報交換し学べる場づくり。 日時：通年 全4回 内容：「7/ 2(日)自己紹介、情報交換、親子体操、ポールであそぼう」「9/24(日)男性保育士さんと一緒に遊ぼう、お悩み相談コーナー 講師：今村泰太先生」「12/17(日)クリスマスコンサート 演奏：ソノールクラリネットアンサンブル」「3/ 3(日)おわりの会 俺の絵本紹介、サーキット遊び」	【成果と課題】 今年度で3年目の取組となり、参加者が増えてきている。参加した父親からは「子供とふれあう時間になっている。お父さん同士で交流できるのもいい」「自分の同世代はもう子育てを終えた人ばかりで、若い世代と交流するいい機会」といった感想をいただいた。目的とした父と子のふれあい、また父親同士の交流の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 市保健課と連携しながら継続開催する。今後は参加者の父親同士が講座の内容を自主的に考えられる形を目指したい。					
	評価		評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	高齢者学級		市・地	継続	110	700	40	13,021	通年 上郷公民館
	地区内の高齢者を対象に、健康保持、教養向上、趣味深化、仲間づくりを図る。		概要60歳以上の高齢者を対象に、定例講座、クラブ活動等を行う。学級生による自主運営を原則とする。 ①行事 講演会：11/30市立病院出前講座「自分らしく生き抜くために」山田武志先生 2/26「残したい原風景」山浦公民館長 レク：5/22囲碁ボール大会、6/21アコーディオン演奏会、7/14マリンバ演奏会、9/4ストレッチ体操、12/11忘年会、1/17お正月遊び 11/18～19上郷文化祭展示発表、ステージ発表への参加 ②入級式、修了式、役員会の開催 ③定例クラブ活動（各クラブ毎月1回程度） ④大正琴、書道、歌、雑学、民謡、綴り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙学級会報「伝書鳩」毎月発行。今後の予定、お知らせ等掲載 ⑤高齢者学級文集作成	【成果と課題】 生涯学習の場、仲間づくりの場になっている。平均年齢83歳ながらも学級生による自主運営を原則とし、工夫しながら活動した。定例クラブ活動に加えて、正副学級長を中心に積極的に学級行事を企画して充実した活動となっている一方で、メンバーの高齢化ややむを得ない退会で参加者が激減しており、また役員の負担も大きく持続可能な組織体制づくりが課題となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和6年度の創立50周年を節目ととらえ、記念行事を開催する。一方でメンバーの高齢化や退会で参加者が大きく減少しており、持続可能な組織体制づくり、シニア世代の生涯学習の場づくりについて検討していく。					
	評価		評価						

上郷公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域を知る会		市・地	継続	2	50	25	実施内容参照	上郷公民館等
学級・講座	住民が現地を歩きながら地域の歴史・文化・産業等を学ぶ機会を作ることで関心を高め、持続可能な地域づくりに取り組める。	実施内容	【成果と課題】 主幹である地域を育む委員会の今年度基本方針であった「ふるさと教材の再活用」に沿った事業のスタートアップ事業と位置付けて開催した。上郷地区に大きな恩恵をもたらしてきた野底山の歴史を学び、現代を生きている我々がどのように付加価値を見出しながら将来へつないでいくかを考える機会となった。今回は一般の参加者が少なかったため、参加者を増やしていきたい。						
	目的	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 若い世代に野底山の魅力をどう伝えていくか、ふるさと学習教材の活用と合わせ引き継ぎ取り組んでいく。地域を育む委員会の会員だけでなく、一般の参加者も巻き込みながら地域を学び、自分事ととらえて考える学習集団として発展させていきたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	農作業体験教室		地区費	継続	14	280	20	実施内容参照	下黒田北地区の畑
	地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。	実施内容	【成果と課題】 小中学生の親子が参加し、年間を通じて畑作業の大変さを感じながら自分で野菜を育てて食べる貴重な体験活動となった。						
	目的	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き継ぎ、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場となるよう継続していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子ども料理教室		市・地	継続	11	220	20	実施内容参照	上郷公民館
	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、たくましい成長を促すとともに、家庭での親子のふれあいを推進する。	実施内容	【成果と課題】 子どもたちが料理作りの楽しさを感じられる機会になっている。1年生から6年生まで幅広い参加があり、兄弟関係、学年、男女があえてバラバラになるように班分けを行ったことで多様な交流が生まれ、上級生が下級生に教えてあげるような姿も見られた。食や料理に対して興味を持ってもらうきっかけとなった。						
	目的	評価	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちが料理作りに興味を持つ機会、また地域の大人や異学年同士の交流の機会として継続していく。						

上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	郷土料理教室	市・地	継続	1	40	40	696	1月20日(土)	上郷公民館
	目的	講師：下北農園の会 内容：地域の郷土料理である五平餅づくりを行った。年々申し込みが増えており、2部制に分けることで申込者全員が参加できるよう工夫しながら実施した。							評価
	実施内容	【成果と課題】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 郷土料理づくりを通して異世代交流を促進し、自分たちの暮らす地域に目を向ける機会として引き続き実施していく。							
文化事業	上郷地区文化祭	市・地	継続	1	1,000	1,000	13,021	11月18日(土)～19日(日)	上郷公民館
文化事業	目的	【展示発表】公民館で活動する団体等の作品展示・活動報告展示 日程：18日(土)13:00～19日(日)16:00 社会教育関係団体、分館推薦作品、地域団体、学校、公民館講座等 24団体 【第44回ステージ発表】公民館で活動する団体等による活動の成果発表会 1日目 18日(土)15:15～16:30 2日目 19日(日)9:00～16:00 社会教育関係団体、学校音楽系クラブ、公民館講座等 合計27団体 【体験コーナー】公民館で活動する団体等の活動を体験できるコーナー 18日(土)13:00～15:00 社会教育関係団体、スポーツ部会、育成部会等 8団体 【特別ブース】 ・分館クイズラリー(公民館文化部会) 約100人参加 ・リニア中央新幹線の特大模型等展示(飯田市リニア推進課) ・野底山クイズ(地域を育む委員会) 約100人参加 ・五平餅・ピザの販売(下北農園の会)							評価
	実施内容	地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	令和5年度上郷地区二十歳の集い	市・地	継続	1	106	106	152	1月7日(日)	上郷公民館
	目的	開式の辞、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、恩師からのお祝いの言葉、二十歳実行委員の活動紹介、地域からのお祝い企画(高陵中学校ダンスユニット「しおりん」、飯沼諏訪神社奉納音楽獅子舞によるステージ発表)、記念品贈呈、二十歳代表あいさつ、閉会の辞、引き続き祝賀会 地域からのお祝いの企画として2団体によるステージ発表を実施して式典を盛り上げていただき、「地域を挙げて二十歳の門出をお祝いする」一助となった。 4年ぶりに復活した祝賀会では、新たに来賓や実行委員も参加する形で開催し、二十歳と地域の大人が歓談する場面も見られた。 各分館から1名ずつ当日の運営に携わる実行委員を選出してもらい、公民館活動に関わる人を増やすよう工夫した。二十歳のご家族を選出する分館も多くあり、二十歳の顔が分かる関係で受付等をスムーズに進めていただくと、二十歳の活躍が光った。							評価
文化事業	実施内容	【成果と課題】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☒ 現状維持 □縮小 二十歳実行委員は地域学習を通じて、地域の財産である野底山について改めて学び、また地域で活躍する大人とのコミュニケーションをとることにより、地域に生きる人間としてのあり方を考える機会となった。							

上郷公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023上郷地区公演	市・地	継続	8	768	-	13,021	8月3日(木)～6日(日)	上郷公民館ほか
	目的 一般を対象に、公演を盛り上げるとともに、企画を通じて、様々な立場の人々の交流を促進する。	【成果と課題】 上郷地区公演として7会場8公演11劇団が上演し、子どもたちの笑顔と笑い声があふれた。地区実行委員会を3回開催し、オリジナル企画の募集、各会場での運営方法などの伝達、情報交換を行った。 小学校6年4組の劇団「ハナビシソウ」の上演では、上郷公民館講堂が満員となり、立ち見の観客も見られた。終了後は児童、スタッフ、ジョイント劇団が参加しての交流会があり、児童が一人ひとり、演じた感想を発表する場面もあった。 下北いこいの家第二集会所では、上郷西保育園保護者会の運営で午前・午後の複数公演を実施した。京都から見た劇団を飯田焼肉でもてなし、会場内は園児の絵や工作を展示するなど雰囲気盛り上げる工夫がなされていた。 なかよし保育園では公演後の交流会として園児、運営スタッフ、劇団がみんなで給食を食べる微笑ましい姿が見られた。 黒田人形浄瑠璃伝承館での高陵中学校黒田人形部の公演は大変好評で、迫真の上演に感涙する観客が多数見られた。							
体育事業	春季・夏季・冬季スポーツ交流会	市・地	継続	3	127	-	13,021	開催内容参照	開催会場
	目的 地区住民を対象に、スポーツの機会を提供し、健康づくりと住民同士の交流を図る。	【成果と課題】 昨年度に引き続き分館対抗に限定せず、オープン参加方式で地区内に広く呼びかけて参加チームを募集した。 【春季スポーツ交流会】日時:6月18日(日) 会場:上郷体育館 内容:囲基ボール 参加者:28チーム140人 【夏季スポーツ交流会】(雷雨のため中止)日時:8月20日(日) 会場:高陵中学校グラウンド 内容:ペタンク 参加予定者:20チーム85人 【冬季スポーツ交流会】日時:2月4日(日) 会場:高陵中学校体育館 内容:ポッチャ 参加者:28チーム120人 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も年代や性別関係なく参加しやすい競技を企画し、幅広く地域の皆さんが参加したいと思える交流会を検討していく。令和6年度の開催方式については、分館対抗形式に戻すかどうかも含めて検討していきたい。							
体育事業	第70回上郷地区大運動会	市・地	継続	1	1,000	1,000	13,021	10月22日(日)	高陵中学校校庭
	目的 地区内住民を対象に、住民が一同に会し、運動会を通じて交流を図り、上郷としての結束を高める。	【成果と課題】 分館対抗種目4種目、オープン参加種目9種目 全13種目 昨年度の反省と実績を踏まえ、屋食をはさまない半日開催、直線コースでの競技としながらも、開催時間を長くし、4年ぶりに分館対抗種目や中学生実行委員独自種目を含めた開催とした。今年度も各分館スポーツ部員を中心に、分館役員が多く競技運営に関わるよう工夫し、まちづくり委員会、各分館をはじめとする諸団体に進捗状況報告や協力依頼を密に行うことで、昨年度からさらに充実した開催とすることができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の開催経験を踏まえ、多様である各分館の現状や考え方を共有しながら議論ができる場を整え、地区住民が分館の枠を超えて一堂に会する場として今後も無理なく続けていける運動会の形を検討していく。							

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「広報かみさと」発刊事業		市・地 継続	24	264	11	13,021	通年	上郷公民館
			【成果と課題】 毎月発行を活かして上郷地区の出来事がタイムリーに分かるような広報づくりにより、情報発信を行うことができた。各分館の事業も積極的に掲載し、情報共有の機会にもなった。一方で、紙面の内容が地区行事の記録に偏っており、地域課題提起、話題提供といった内容が少ないことが課題。						
	目的 地区住民を対象に、地区行事等の記録、情報発信、課題提起、話題提供を行う。	実施内容 内容：年刊発行回数12回　1回当たり発行部数4,600部 号数：号数：193～204号（館報通算878号～889号） 紙面：B4タブロイド判　2面オールカラー（5月号のみ4面）	評価 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地区行事の記録だけでなく地域課題提起、話題提供といった内容も記事に取り入れていけるよう工夫したい。また、部員の負担軽減のため、毎月2回の会議を工夫してさらに削減していく。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	あいさつ運動		0円 継続	3	150	50	13,021	実施内容参照	地区内各所
	目的 地域の大人と子どもの顔見知りの関係構築、年齢の雑談や注意ができるようにする	実施内容 小・中高校生を対象に、朝の通学時にあいさつを行う。地域の団体と協力して、見守りを行う。小学校の新学期の翌日より、各分館の青少年健全育成部員が中心となって実施した。 第1回　4月7日（金）、10日（月） 第2回　8月25日（金）、28日（月） 第3回　1月10日（水）、11日（木） 場所：上郷小学校前、信金上郷支店前など	評価 【成果と課題】 帽子やタスキなどであいさつ運動の実施中であることをPRし、子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方から積極的にあいさつをし、子どもたちも元気にあいさつする様子が見られた。						
				【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き各学期の始まりにあいさつ運動を計画する。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	工作教室		市・地 継続	1	90	90	696	6月4日（日）	高陵中学校校庭
	目的 地区内小学生を対象に親子でまた公民館役員と一緒に工作を行うことを通じて、異年齢の交流、工作について学ぶ機会とする。	実施内容 地域の子どもたち親子と育成部員が一緒にペットボトルロケットを作して飛ばした。また、「おもしろ科学工房」三浦宏子先生を講師に迎えての火薬ロケット発射の実演も行った。 子どもも大人も夢中になって工作に取り組み、どこを改良すればより速くに飛ぶのか試行錯誤しながら繰り返しロケットを飛ばす子どもたちの姿が見られた。 火薬ロケットの製作と発射の場面では、上空100m以上へ飛び上がったロケットに大きな歓声が上ががり、子どもたちが喜ぶ姿が見られた。	評価 【成果と課題】 どこを改良すればより速くに飛ばせるか試行錯誤する工作の楽しさを、子どもも親も育成部員もみんなで共感しながら取り組み、交流できる機会となった。						
				【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き、育成部員と子どもたちが工作を通じて交流できる教室として継続する。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	科学体験教室		市・地 新規	1	50	50	13,021	11月18日（土）	上郷公民館
	目的 地区内小学生を対象に公民館役員と一緒に科学体験を行うことを通じて、異年齢の交流、科学に対して興味を持つ機会とする。	実施内容 上郷文化祭の体験コーナーの一つとして、科学の力や不思議を体験する機会とした。今年は新しい内容を2種類盛り込み、事前に育成部員が制作・実験したうえで当日を迎えたため、参加した子どもたちは育成部員と交流しながら楽しんで取り組む姿が見られた。 内容：スライム作り、輪抜き棒落とし、モンキーハンティング、静電気体験ほか	評価 【成果と課題】 新しい内容を2種類盛り込み、事前に育成部員が制作・実験したうえで当日を迎えたため、参加した子どもたちは育成部員と交流しながら楽しんで取り組む姿が見られた。育成部員と地域の子どもたちの交流の機会となった。						
				【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き、育成部と子どもたちが楽しみながら交流する教室として継続する。					

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	第31回上郷地域づくりフォーラム		市・地	継続	1	150	13,021	2月25日(日)	上郷公民館	
その他		上郷全体の課題は何か、それを上郷に暮らしている皆で考え、改善に向けて行動していくためのきっかけづくりの場として毎年開催している。まちづくり委員会、小中PTA、等の地域団体の代表が実行委員会を組織し企画運営する。							【成果と課題】 若い世代や子育て世代が上郷地区に魅力を感じる将来像を描いていくために“これからの人づくり・地域づくり”に視点を当て、小・中・高校生の地域をフィールドにした探究的な学びの実践を聞いたり、上郷地区の今と未来を様々な情報で理解したりしながら、活力のある地域づくりに向けて考える機会とした。メインターゲットとしていた若い世代の参加が少なかったことが課題。	
	実施内容	◆探究的な学びの実践報告 1 上郷小学校「もっと大すき 町たんけんけん」黒田人形、公民館、高松パン 発表者：①2年1組の皆さん、②2年2組の皆さん、③2年3組の皆さん 2 高陵中学校「全校総合 個人追究報告」 発表者：①総合Cグループ「リニアと飯田市の未来」 ②総合Aグループ「飯田市の防災」 3 飯田OIDE長姫高等学校 「上郷の味力(みりょく)と美力(みりょく)11年間の実践成果報告 発表者：商業科3年生7人 地域人教育上郷班の皆さん 4 飯田女子高等学校「実践から見えてきた探究することの意味について」 発表者：堀内克哉教諭 ◆「リニアと飯田下伊那の産業・暮らし」上田市・佐久市との比較から考える 講師：竹内文人氏(しんきん南信州地域研究所首席研究員)								
	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度以降も地域にある課題や住民の関心事の焦点を当て、実行委員会を組織して協議しながら内容を検討していく。役員だけでなく若い世代の参加者が増やせるよう呼びかけを強化していきたい。								
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日		開催会場
	高松の丘音楽会		市・地	継続	1	210	13,021	5月7日(日)		上郷公民館
その他	目的	平成27年度「オーケストラと友に音楽祭～コミュニティコンサート～」の上郷地区開催をきっかけに、翌年から地区独自の音楽祭として開催し、プロの演奏者を招いている。地域の子ども達が音楽を楽しむとともに、プロの音楽家の姿を体感することで、進路選択の可能性を広げてほしいという願いが込められている。 今年は前座として飯田高校弦楽班による演奏、エンディングは上郷小学校合唱クラブと楽団のコラボで「世界に一つだけの花」を会場全員で歌い、一体感のある素敵な音楽会となった。							【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後は関わる地域の人を増やすため、新たな実行委員を一般からも募集する方向性で検討していく。	
	実施内容	青少年を対象に、一流の音楽に親しむ機会を提供するとともに、進路選択の視野を広げる。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	小学校音楽鑑賞教室・岩崎洵奈ピアノリサイタル		地区費	新規	2	220	13,021	5月19日(金)	上郷公民館	
その他		【第1部・小学校音楽鑑賞教室】参加者：上郷小学校6年生 約130人 内容：世界的ピアニスト岩崎洵奈さんをお呼びして令和1年度に初めて開催し、今回が3回目の開催。上郷小学校6年生を招待し、一流の音楽に触れるだけでなく、ピアノの音を発する仕組みの解説や 岩崎さんとの連弾、質問コーナーの時間を設けるなど、より音楽に興味を持てる内容とした。普段から音楽に触れている児童もそうでない児童も、迫力の演奏に驚き興味を持つ様子が見られた。							【成果と課題】 一流の音楽に触れるだけでなく、ピアノの音を発する仕組みや、演奏の様子を演奏者の近くで体験できる企画など、子どもがより音楽に興味を持てる内容とした。普段音楽に触れている児童もそうでない児童も、迫力の演奏に驚き興味を持つ様子が見られた。	
	実施内容	上郷小学校6年生及び地域住民を対象として、一流の音楽に触れ、音楽文化への興味・関心を高める機会とする。								
その他	目的	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も継続して上郷小学校6年生及び一般向けの2部制で開催する。今後は関わる地域の人を増やすため、新たな実行委員を一般からも募集する方向性で検討していく。							【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度も継続して上郷小学校6年生及び一般向けの2部制で開催する。今後は関わる地域の人を増やすため、新たな実行委員を一般からも募集する方向性で検討していく。	
	実施内容	【第2部・岩崎洵奈ピアノリサイタル(一般)】参加者：約90人 内容：上郷小学校6年生の音楽鑑賞教室だけでなく、一般を対象としたピアノリサイタルとして初めて2部制の開催とした。								

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふれあいさわやか音楽祭		地区費	継続	1	300	13,021	9月10日(日)	上郷公民館
その他	参加団体:全13団体 飯田女子高校4団体・・・吹奏楽クラブ、合唱同好会、邦楽クラブ、ギター・マンドリンクラブ 飯田高校5団体・・・合唱班、弦楽班、邦楽班、吹奏楽班、軽音楽班 上郷小学校2団体・・・オーロラバンド、合唱団 高陵中学校2団体・・・吹奏楽部、合唱クラブ 地区内小、中、高校生を対象に、音楽系部活動の発表の機会を提供する。	実施内容					【成果と課題】 小、中、高校が隣接する好立地を生かして、近隣学校の音楽系クラブの成果発表や交流の場として開催することができた。コロナがらみとなり、異年齢の場として開催していただきありがたいとの声を多くいただいた。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き音楽系部活動の交流・発表の機会として開催する。今後は関わる地域の人を増やすため、新たな実行委員を一般からも募集する方向性で検討していく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷歩こう会		市・地	継続	7	370	13,021	5月14日(日)	地区内外各所
その他	地区住民を対象に、ウォーキングを通じ、地域の自然や歴史、文化について学習を深めると同時に地区内の親睦を深める。	実施内容					【成果と課題】 幅広い年代層の参加があり、親睦はもちろんのこと地域を改めて知る機会として、また子どもへ地域の歴史や文化を伝えていく機会として意義ある事業である。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 各分館のアイデアで行き先、ルート設定をしていただいている。各分館ごとの特徴ある取り組みとして、本館としては情報共有の機会を持たせながら引き続き実施する。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会		市・地	継続	1	62	98	6月14日(水)	上郷公民館
その他	分館役員を対象に、公民館活動に関わる研修を行う	実施内容					【成果と課題】 事業実施のための様々な工夫の情報交換がなされた一方で、昔のように参加者が集まらない、どのように進めていけばいいかわからない等の声も聞かれた。すぐに解決につながる結論には至らずとも、分館役員がお互いに現状や課題を共通理解し合い、様々な選択肢の提供を得たことに価値があった。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度のように、知識の習得だけでなく、分館役員同士の情報交換や交流の機会にもできるような引き続き実施していきたい。		

上郷公民館の事業報告

No.8

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」		地区費	新規	25	175	7	13,021	通年	上郷公民館
	日程:おおむね5月～12月の毎週金曜日12:30～15:20		【成果と課題】 今年度で3年目。地域の大人からは「パワーをもらった」「実行力やアイデアに驚かされた」「地域には若者の力が必要だと改めて気づかされた」等の感想が聞かれ、高校生(若者)が地域で活動することの意義や頼もしさが、地域に伝わっていくのを感じた。 地域人教育は高校生と地域側の双方に学びや変化をもたらす有益な仕組みだが、この成果をどのように「上郷地区の」高校生に生かしていくかが課題。 【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 引き続き受け入れを継続し、地域住民と高校生が交流を通じて学びあう活動としたい。							
	目的	地域住民や高校生を対象に、地域について学び様々な人と交流することを通して地域を知り愛着を持つことを目指す。	4～7月 4～7月 動	フィールドワーク、上郷についての調査活動、学園祭で地区PR;活動						
その他	実施内容	活動計画の立案 実践の場に向けた準備作業等 野底山森林公園もみじ祭りに参加「オリジナルパン2種の商品開発・販売」「野底山の宝探し(スタングラリー)」を実施 上郷文化祭に参加 野底山湧水きき水大会 活動のまとめ、振り返り 地域人教育成果発表会 上郷地区地域づくりフォーラムにて活動報告、成果発表	8～9月							
			10月							
			11/5							
その他	実施内容	活動計画の立案 実践の場に向けた準備作業等 野底山森林公園もみじ祭りに参加「オリジナルパン2種の商品開発・販売」「野底山の宝探し(スタングラリー)」を実施 上郷文化祭に参加 野底山湧水きき水大会 活動のまとめ、振り返り 地域人教育成果発表会 上郷地区地域づくりフォーラムにて活動報告、成果発表	11/18							
			12～1月							
			12/21							
その他	実施内容	活動計画の立案 実践の場に向けた準備作業等 野底山森林公園もみじ祭りに参加「オリジナルパン2種の商品開発・販売」「野底山の宝探し(スタングラリー)」を実施 上郷文化祭に参加 野底山湧水きき水大会 活動のまとめ、振り返り 地域人教育成果発表会 上郷地区地域づくりフォーラムにて活動報告、成果発表	2/25							

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「ひよこの会」	市・地	継続	10	18	4	4	実施内容に記載	上村保育園、和田保育園
	目的	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で連携して計画し、講座を実施。入園前の乳幼児は少ないが、未満児保育を利用している家庭もあるため、保護者の意見も取り入れつつ、保育園との連携をより深め、保育園児との交流等を積極的に取り入れる。(報償費30千円)							
	実施内容	5/16開講式、6/6どろんこ遊び(大雨の影響により中止)、7/4リトミック、8/7水遊び、9/5リトミック、10/12人形劇、11/7パズ作り、12/15クリスマスコンサート、1/24体操、2/9絵本の読み聞かせ・子育て講座							
学級・講座	目的	0～3歳児とその親を対象として、子育てに関する学び体験を通じての親子のふれあい、こども同士の交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニケーション醸成などを目的に実施。							
学級・講座	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ■ 現状維持 ☐ 縮小 合同保育を行っていることから、2地区の乳幼児と保護者は接点を持つことになり。早期から地縁者を含めた関係性作りに向けて講座実施を図る。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	若い衆で地域を語らまいか！(青年会議)	市・地	継続	1	32		15	実施内容のとおり	上村公民館
	目的	地域の若者達の関心をもたしにした情報交換から、課題意識を共有し、その課題解決に向けた取り組みを地域とつながりの中で進めていく。(報償費10千円)							
	実施内容	【日程と内容】 幹事会7/6、上村地区市長と語る懇談会(若者団体として)7/18、ひさかた和紙の会との体験交流9/16、飯田ユネスコ協会学習会での話と舞の講演11/18(練習日11月中旬に二日間)							
学級・講座	目的	若者世代の地域住民を対象に、世代を越えた交流を通じ、この地区の独自性を再つめ直し、地元に誇りをもってもらう。							
学級・講座	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ■ 現状維持 ☐ 縮小 数年ぶりに幹事メンバー以外の参加した活動が実施出来たことから、引き続き興味関心から学びを深めていく活動を支援する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かみっこ図書分館事業	地区費	継続	3	52		19	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
	目的	図書分館と共催し、保育園児・小学生の親子を対象に、手芸や工作等を実施。幅広しい年代に参加してもらえ、本に親しみを持ってもらえるよう分館職員と内容を検討し実施した。							
	実施内容	【日程と内容】 かみっこお楽しみ会①6/10(読み聞かせと折り紙作品作り)、“お楽しみ会②10/28、お楽しみ会③3/8(地域団体”どんぐり隊”との共催)							
学級・講座	目的	子育て世代の親子を対象に、本の読み聞かせ、手芸や工作を通して、親子での学習と交流を深める機会とする。							
学級・講座	実施内容	【成果と課題】 ○小学校の敷地内に施設があるが、地区外から通う児童や登下校がスクールバスを使用していることから、子どもの利用に課題と考えていた。、空き時間を利用して児童が来館できるよう、学校と連携を図った。 ●お楽しみ会では新たな試みも開始し、住民に寄り添った分館を運営していく。							
学級・講座	実施内容	【次年度の方向性と取り組み】 ☐ 拡充 ■ 現状維持 ☐ 縮小 学校との連携や行事の充実から、本に親しみを持っ機会を広げる活動を続ける。							

上村公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生霜月祭(横笛)教室	市・地	継続	3	28	1回参加・登録数	19	11月15日他	上村小学校、中郷正八幡宮
	霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る	【成果と課題】 ○長年に渡り継続している本事業であるが、上村小学校児童の過半数が地区外から通う現状では、学校のある上村地区へのふるさと意識の醸成のために重要性が増している。●地域文化の核ともいえる霜月祭に関わる若者の思いも交えた霜月祭の話も横笛教室で取り入れられるなど工夫から、お祭りを身近なものにしていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 上村小に通う児童がこの地域をふると感じてもらえるよう、児童や家庭と地域をつなぎ地域のお祭りである霜月祭に参加する機会を継続する。							
	実 施 内 容	【日程と内容】 横笛教室 11/15①11/21②(上村小学校と連携し実施) 横笛の披露 12/2(中郷・霜月祭)							
学級・講座	目的	評 価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業	地区費	継続	3	46	1回参加・登録数	26	12/19、1/10、1/12	上村保育園、上村小学校
	高齢者クラブ等と連携し、おやすやしめ縄飾り作りなど、保育園児・小学生が地域の伝統文化を地域の方から直接教えてもらう体験をもとに、お互いが交流できる機会をつくる。	【成果と課題】 ○地区内の高齢者クラブ減少の傾向あり、思いや技能を持った方との連携を密にとり、古からの生活の知恵を持った高齢者と学びの中で成長するこどもの交流の場となった。 ○高齢者クラブ等の活動も縮小する中で、古くから暮らしに根差した年中行事を学習する機会の価値を再認識した。							
	実 施 内 容	【日程と内容】 高齢者クラブ等連絡会議①11/21、おやす作り12/19、小正月飾り1/10、松送り1/12、連絡会議②1/25							
学級・講座	目的	評 価							
学級・講座	保育園児・小学生及び高齢者を対象に、郷土に伝わる伝統文化を通じて、地域の伝統から今を考え合える機会とする。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 これまで講師を担ってくれていた高齢者クラブが減少が進む中でも、年中行事に込められた思いや思い出を伝えられる方をつなぎ、学習を組み立てる。							
	実 施 内 容	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 学校教育活動を支援するPTAと学校運営協議会の双方が意識を高め、講演を通して日常の取り組みに活かす講座を組み立てる。							
	目的	評 価							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校PTA共催講演会	市・地	継続	1	45	1回参加・登録数	342	8月23日(水)	上村コミュニティセンター
	小学校PTAと連絡調整を図り、コミュニケーション体制の充実にむけて、関係者の意識向上と課題解決に向けた講座を展開する。(報償費30千円) 6/29PTA役員と協議、7/2講師打合せ、8/23講演会当日	【成果と課題】 ○夢を持つ重要性を子どもたち伝えつつ、それを受け入れる周りの大人の意識を学ぶ機会となった。多様性の認め合いながら、子どもたちとどうかかわるか地域住民と保護者がともに学びきつかけとなったことから、子育て環境の意識醸成につなげる。							
	実 施 内 容	【講演内容】 講師：伊吹あいさん 演題：夢は叶う・・・ 内容：宝塚歌劇団等活躍をされた経験から、自分のやりたいことを表現する必要性や具体的な発声練習など							
学級・講座	目的	評 価							

上村公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	自然体験学習会		地区費	継続	1	24	-	10月14日(土)	上村公民館、上村保育園
	地域住民を対象に自分たちが暮らす地域の自然環境を見つめ直し、身近なものとや日頃からの自然に対する意識を高めるきっかけとする。	実施内容	遠山郷しぜんとあそぼうプロジェクトと共催で、若者や子育て世代の興味関心から、地域の自然に対する学習会、体験会を実施する。	【実施内容】 地域の自然環境を活かした学びについて、住民をはじめ広く参加者を募集。 共催：かみむらっこ応援団、しぜんとあそぼうどんぐり隊 報償費：10千円 増田直広(鶴見短期大学、KEEP財団他) 09CS協働から30千円を同講師へ支出。	評価	【成果と課題】 ○自然体験活動の手法や技術を保育及び小学校先生とともに学ぶ機会となった。 ●効果的な体験活動には、地域の関わりも欠かせないことから、子育て環境充実に向けた実践や学びの機会を継続して設けていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 地域の「自然環境」と「子育て環境」という二つの課題のキーワードから事業を実施したが、関心の高いものや高まりそうな課題から学ぶ機会を引き続き検討する。			
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2023 上村地区公演		他会計	継続	1	26	342	8月5日	上町コミュニティセンター
	地区住民を対象に、身近な場所での人形劇に親しむ機会の提供と、地区独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。	実施内容	フェスタを楽しむとともに、地域にある資源に触れる機会として、上町活性化委員会と共催し、人形劇団の公演を実施。 【日程と内容】 6/22会議(学生スタッフ含む)、7/13会議、7/24会議、8/5地区公演当日 公演劇団「人形劇団ちんどん」 開演時間13:30～ 人形劇公演終了後には、フェスタを盛り上げる縁日企画としてスーパードールすくいを実施。	評価	【成果と課題】 ○数年ぶりの通常開催あり、公演の運営やこれまで続けていたフェスタ後の企画も新たに企画することで、身近で公演が見られる環境の意義を再確認した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 地区公演を長く担っていた地域団体と協議をしながら、今後のあり方を検討していく。				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山2地区合同人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2023		地区費	継続	1	22	40	8月4日(金)	ムトスがらざ、丘の上
	親子を対象に、子どもだけではなく市内中心部で行われる公演を鑑賞する機会の提供と集団での社会性を身につけることを目的に実施	実施内容	南信濃公民館・図書館と共催し、平日で保護者が連れて行くことが困難なフェスタ開幕日に、地区公演とは違う雰囲気でも人形劇を観賞できる機会として実施する。 【日程と内容】 午前人形劇フェスタ観劇(ムトスがらざ)、昼食、午後飯田動物園を班別自由行動にて見学。2地区の児童生徒や保護者スタッフとバスでの集団行動をするともに、文化芸術に触れる社会性を身につける機会となった。	評価	【成果と課題】 ○上村小学校の児童においては、市内での合流とすることで幅広い参加をしてもうかがえた。保護者も対象とすることで地域で子どもを育てる意識を育む。 ●開催時期から健康管理には十分配慮した形で、人形劇に親しむ機会を継続する。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 遠山2地区の園児や小中学生とその家族がともに人形劇に親しみ、社会性をに育む場として内容の魅力を高めていく。				

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区文化祭(しやくなげ祭)			市・地	継続	1	120	342	11月12日(日)	上村小学校
	目的	地区住民を対象に、身近な場所での芸術文化に親しむこと、また各活動の成果発表を通じた住民交流や新たな取組のきっかけとなることを目的として実施する。	実施内容		【成果と課題】 ○数年ぶりの終日開催として、各種ステージや展示発表に加えて飲食の販売など地域の文化活動等広く披露する機会になった。中学生もスタッフとしてまかわり、ステージ発表には地元高校生や地域関係者の発表も多くあり様々な文化芸術活動に触れて親しむ機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 多世代・地域の関係者が文化活動を通じて集う機会として、地域への発表の場として引き続き設けていく。					
			【日程と内容】 実行委員会①9/7、実行委員会②10/25、当日11/12 報償費：30千円 OIDE長姫高校コンピュータ制御部		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山地区二十歳の集い			他会計	1	7	8	7	実施内容のとおり	南信濃地域交流センター
	目的	新二十歳を対象に、地域が祝福し、対象者が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを考えるきっかけとする。	実施内容		【成果と課題】 ○地域学習においては、二十歳の皆さんの昔話(思い出)から、知りたいたいことややってみたいことを意見集約し、二十歳対象者たちの小中学校時代に旧木沢小学校やそこで活動をする木沢地区活性化委員会と深く結びついたことから、過去の学習や活動を振り返りつつ現在の自身を見つめなおすような学習を行った。○二十歳対象者たちの小中学校時代に旧木沢小学校やそこで活動をする木沢地区活性化委員会と深く結びついていた。過去の学習や活動を振り返りつつ現在の自身を見つめなおすような学習を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 二十歳の対象者がこれまでの成長の軌跡を見つめなおし、これからの目標や地域とのかかわりに考えるような一連の学びを支援する。					
			(1)10/22 式典開催要項及び地域学習の検討(オンライン) (2)10/28 地域学習①(モトカフエ) (3)11/19 地域学習②(清掃、体験) (4)12/27 会場装飾、役割分担・最終確認 (5)1/7 式典 主な内容 黙祷(令和6年能登半島地震)/記念映像の上映(二十歳作成)/二十歳の頌書授与/地域学習発表(代表)/二十歳の誓い(二十歳該当者全員)/「ふるさと」斉唱(全員)/記念行事 記念血絵付け		評価					
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	マレットゴルフ大会			地区費	1	27	27	342	9月10日(日)	中山スカイパークマレットゴルフ場
	目的	地区住民を対象に、親しみのあるスポーツによる健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る	実施内容		【成果と課題】 ○昨年に引き続きこのコミュニケーションを取りながら運動する機会が減少していた中、幅広い参加者が雑談を交えながら運動する機会を創出した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 分館活動として位置づけ、初心者からベテランまでが楽しめるような大会になるような工夫を検討する。					
			【日程と内容】 マレットゴルフ大会当日9/10 男女別個人戦方式により実施。老若男女問わず、地区外在住者も含む参加あり。		評価					

上村公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館卓球大会・第30回小学生卓球大会	市・地	継続	1	46	30	-	2/23(土)	上村小学校体育館
	目的	上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。南信濃地区にも声を掛け、参加者の増加と両地区の交流を図る。							
	実施内容	■ジュニアカップ争奪戦(小学生全学年によるトーナメント) ■一般の部(男性・女性シングルス・ダブルス交流戦) 【日程と内容】 上村卓球クラブと合同検討会議1/10、大会当日2/23 ※上村・南信濃在住者もしくは、その家族等が参加							
体育事業	春季スポーツフェス(スポーツ交流会)	市・地	継続	1	25		342	3/3(日)	上村コミュニティセンター
	目的	健康福祉部会と共催し、多くの人が親しめるスポーツを実施し、皆で楽しみながら健康づくりの意識を高め合える機会をつくる。(報償費5千円)							
	実施内容	【日程と内容】 検討会議1/10、春季スポーツ大会当日“健康福祉部会と共催し、多くの人が親しめるスポーツを実施し、皆で楽しみながら健康づくりの意識を高め合える機会をつくる。(報償費5千円) 【日程と内容】 1/10検討会議、春季スポーツ大会当日3/3 健康維持のために社会との関わりや運動習慣が求められるため、①健康運動指導士による講座(健康福祉)②軽スポーツとして「モルック大会」を実施。							
体育事業	地区運動会(かみむら大運動会)	市・地	継続	1	160		342	10月8(日)	上村小学校グラウンド
	目的	平成15年度から小学校運動会と合同になり、平成21年度からは保育園・運動会も合同となった。3者合同でプログラムを検討し、保育園・学校・地域で連携して開催する。							
	実施内容	【日程と内容】 三者会議①7/13、三者会議②8/1、各種団体会議9/25、三者会議③10/2、運動会当日10/8、振り返り会議11/17 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 児童やその家庭、地区出身など多くの地区関係者集い、顔を合わせられる機会としてみんなで楽しめる競技や学生がスタッフとして活躍するなど運動会の魅力を高める。							

上村公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広 報 事 業	館報「かみむら」発行		地区費	8	-	-	-	-	-
	目的 地区住民を対象に、地域の情報発信、将来への記録等を目的に発行		継続						
	実施内容 204号(6月) 南信濃公民館との合同号「遠山郷助っ人名鑑」、小学校入学式他 205号(10月) 地区運動会、人形劇フェスタ、台風被害の様子他 ※上村の「村木、村鳥、村花」のイラストを地区出身者に作成を依頼し刷新。 206号(1月) しゃくなげ祭、小規模特認校6年目の振り返り、霜月祭保存会 「関東ブロック民俗芸能大会」公演、世代間交流事業他 207号(3月) 南信州民俗芸能フェスティバル、上村小特認校生の卒業他								【成果と課題】 ○地域の現状を捉えた誌面作りを行った。 ●来年度に向けては、館報誌面サイズ等の見直しを検討し、読む人にとってどんなものが見やすいかを考える機会になった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 地域の課題や様々な行事の様子を参加していない人にも届けられるような誌面を作り、地域と読み手をつなげていく。
区 分	事 業 名	予 算 区 分	事 業 区 分	開 催 回 数	の べ 参 加 数	1 回 参 加 ・ 登 録 数	対 象 数	開 催 期 日	開 催 会 場
合 同 事 業	遠山郷フォーラム		地区費	1	120		1,449	11月25日	遠山中学校
	目的 上村・南信濃地区住民及び学校・保育園関係者を対象に、両地区の様々な取り組みをお互いに知り合い、繋がりや連携の必要性を考慮する機会をつくる		継続						
	実施内容 人口減少が顕著な中、住み続けられる地域づくりを進めていくうえで、地域を支える人材育成が重要となっており、地域に愛着を持った地域の担い手を育成していくために、遠山郷内外とのつながり等、人口減少からなる諸課題遠山郷が一丸となり、さらに推進力をもって動き出せる機会としてフォーラムを開催する。 主催 上村公民館、〃まちづくり委員会、南信濃公民館、 共催 他 遠山3校、農山村SDGs研究会、飯田市、飯田市商工会、遠山郷支部、遠山郷観光協会								【成果と課題】 ○これまで実施してきた本事業から昇華し、商・観光業団体も含めた地域全体による開催として計画した。 ○工事が進む三遠南信濃開通を見据え、地域への影響から諸課題に連携して取り組むという機運を高める機会になった。 ○子育て・教育環境について2地区の連携が一層高まるなど成果を見せる。他の事業実践も交え、地域課題の住民意識をより深化させていく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 ・三遠南信濃の開通や道の駅遠山郷・かぐらの湯のリニューアルオープン(2025年秋)を見据え、地域活性化に向けた具体的な取組展開を考える機会となるよう開催する。
区 分	事 業 名	予 算 区 分	事 業 区 分	開 催 回 数	の べ 参 加 数	1 回 参 加 ・ 登 録 数	対 象 数	開 催 期 日	開 催 会 場
合 同 事 業	夏休み・春休み子ども見守り事業～自磨の時間～		市・地	12	420		66	夏休み7/27～8/21、春休み3/21～28	南信濃地域学習センター
	目的 小中学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元を愛着が持てる人づくりを目指す。		継続						
	実施内容 上村公民館・南信濃公民館の共催で、地域資源を活用した体験型学習を通じて、遠山3校の児童生徒が地域の中で異年齢交流、集団活動をする中で、地区を超えたつながりをつくり、それを取り巻く地域住民も遠山2地区として将来を考えるきっかけとする。 夏休み自磨の時間：7/27から計12日間を計画、うち1日(ESD塾)は台風の影響により休みとした。 主な体験学習習内容(夏)：遠山博士になろう、下栗ブルーベリー狩り、縫い物講座、交通安全御守り作り、料理教室、ニュースポーツ講座、地域散策、看護士さんのお仕事の話、プール(計4回)の講座と朝読書や自習を実施。 (春)：ダンス教室、サバイバル体験、輪っしよい遠山への参加、パン作り、弁護士の話、サロンきらく会へ参加、校章を描く、ふじ糸伝承の会の講座と自習の実施。							【成果と課題】 ○講師を地域住民にすることで、子どもたちに地域の大人から、地域の魅力や地域で暮らしていく姿を学ぶきっかけを与えられた。また、青年層の講師にとっても、講座の企画実践を通し、地域づくりの担い手育成に寄与している。 ○異年齢の学び合いの仕組みを取り入れ、多様な学びや刺激を受ける講座を構成する。 ○遠山郷子どもひろば(放課後等の子ども見守り)の開通事業として、各種体験メニューづくりや当事業の運営に子どもひろば運営スタッフの協力を得られた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 ・引き続き学校との連携を含め、保護者や地域住民の支え手を増やし多様な意見を取り入れながら、講座運営を行う。 ・地域人材や資源を活かした学びを深め、ESDの視点を取り入れた講座を引き続き計画する。	

【成果と課題】
○地域の現状を捉えた誌面作りを行った。
●来年度に向けては、館報誌面サイズ等の見直しを検討し、読む人にとってどんなものが見やすいかを考える機会になった。
【次年度の方向性】
○拡充 ■現状維持 □縮小
地域の課題や様々な行事の様子を参加していない人にも届けられるような誌面作り、地域と読み手をつなげていく。

【成果と課題】
○これまで実施してきた本事業から昇華し、商・観光業団体も含めた地域全体による開催として計画した。
○エ事が進む三遠南信通開通を見据え、地域への影響から諸課題に連携して取り組むという機運を高める機会になった。
○子育て・教育環境について2地区の連携が一層高まるなど成果を見せる。他の事業実践も交え、地域課題の住民意識をより深化させていく。
【次年度の方向性】
○拡充 ■現状維持 □縮小
・三遠南信道の開通や道の駅遠山郷・かぐらの湯のリニューアルオープン(2025年秋)を見据え、地域活性化に向けた具体的な取組展開を考える機会となるよう開催する。

【成果と課題】
○講師を地域住民にすることで、子どもたちに地域の大人から、地域の魅力や地域で暮らしていく姿を学ぶきっかけを与えられた。また、青年層の講師にとっても、講座の企画実践を通し、地域づくりの担い手育成に寄与している。
○異年齢の学び合いの仕組みを取り入れ、多様な学びや刺激を受ける講座を構成する。
○遠山郷子どもひろば(放課後等の子ども見守り)の関連事業として、各種体験メニューづくりや当事業の運営に子どもひろば運営スタッフの協力を得られた。
【次年度の方向性】
○拡充 ■現状維持 □縮小
・引き続き学校との連携を含め、保護者や地域住民の支え手を増やし多様な意見を取り入れながら、講座運営を行う。
・地域人材や資源を活かした学びを深め、ESDの視点を取り入れた講座を引き続き計画する。

上村公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	遠山郷学園会議		地区費	1	43		1,449	1/29、2/25他	上村公民館他
	上村・南信濃地区住民及び子育て世代、学校関係者を対象に、2地区のこれからの教育・子育て環境のあり方を考える							【成果と課題】 ○令和5年度は2地区がともに取り組む課題であると捉え会議を創設をした。 ○2地区が本格的に協働して取り組む試みとして始めることができた。地域の将来も左右する大きな課題を整理し、地域全体の理解を深め取組みを活発化させることが求められる。 【次年度の方向性と取り組み】 ■拡充 □現状維持 □縮小 ・特に、中小学校の厳しい現状に対応するため、「子どもを取り巻く環境」を検討し、早急に取り組まなければならない課題に取り組む。 ・本会議の委員さん達の理解を深め、地域全体を巻き込みながらこれまでの取り組みを深め、教育環境に磨きをかける取組みが進むよう推進していく。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
KGC自然塾キャンプ			市・地	1	68		70	7月29日(土)	大島河原オートキャンプ場
	上村小学校児童を対象に「上村・飯田」のよさを 実感し愛着を持つとともに、自ら進んで学ぶ子どもをも育て、学校・家庭・地域の三者が協働し、支え合い、みんなで子どもを育てる意識の醸成を図る						【成果と課題】 ○3者による実行委員会を重ね、児童やその家庭が上村に親しみを持ち、グランドデザインの目指す姿実現に向けたキャンプを企画。また、同校がオンラインで交流を続けていた東京都の母子生活支援施設と初の対面での学習活動を行った。 ○当日は学校運営協議会委員も多く参加し、3者で作るキャンプ事業を実施した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ■現状維持 □縮小 夏季の屋外での活動が多くなることから安全面への配慮とともに、役員の負担を軽減しながら、キャンプ事業を企画・実施する。		
その他									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
上村小学校創立150周年記念事業			他会計	-	-		-	-	-
	創立150周年を迎えるにあたり、これまでの学校や地域の歩みを振り返り、これからの子どもを育てる意識の醸成とともに、地域づくりについて見つめなおす機会を作る。		新規				【成果と課題】 小学校の歩みを振り返るとともに地域についても、見つめなおす機会となった。また、小規模特認校導入6年目でもあり、これからの子育て環境へ意識を高めることに寄与した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 ■縮小 学校と地域がともに節目の年を祝うことで、地域の学校としての結びつきを強めた。学校や子どもとしての意識の高まりを活用し、取り組みにつなげる。		
その他									

南信濃公民館の事業報告

No.1

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「ひよこの会」		市・地	継続	10	18	4	4	実施内容に記載	上村保育園、和田保育園
	目的	0～3歳児とその親を対象として、子育てに関する学び体験を通じての親子のふれあい、こども同士の交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニケーション醸成などを目的に実施。	【成果と課題】 ●遠山2地区内の乳幼児数の減少から、両地区出身者等にも参加の声をかけを実施した。一方で、地区外からの参加者は少ない。 ○2地区の保育園での合同保育も始まり交流が深まる中、これから就園する子とその親が学級を通して交流を深め、時には保育園との相談など連携し実施している効果が出ている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・合同保育を行っていることから、2地区の乳幼児と保護者は接点を持つことになる。早期から地縁者を含めた関係性作りに向けて講座実施を図る。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地域の歴史と魅力を考える学習講座		市・地	継続	12	239		1,107	実施内容のとおり	南信濃地区内
	目的	地区住民対象に、現在地域の状況をみつつめながら、これからの地域を考える機会をつくる	【成果と課題】 ○地域の歴史・文化・芸能や産業等を学ぶ中で、地域の将来を考える機会となった。 ○地域の歴史や生活文化を見つめ地域課題を学びあう学習活動を通じて、住民主体で地域を考え、事業を立案計画実践することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	郷土(地区)を学び交流を深める事業		市費	継続	1	20		23	12月1日	和田小学校
	目的	小学生を対象に、地域に根付く伝統文化の探求学習による郷土敬愛を図る。	【成果と課題】 ○講師は2人とも南信濃に居住する27歳。おやす作りや縄をなう方法だけでなく、地域で暮らし、伝統文化を継承する大人の姿を学べる講座となった。また、講師にとっても、指導者としての力量形成の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・子どもたちにとって地域の大人から地域文化を学べる貴重な機会であるため、今後も継続していきたい。							
区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	南信濃1500委員会		他会計	継続	11	110		1,107	実施内容のとおり	南信濃地域交流センター
	目的	地区住民対象に、教育からこれからの地域振興を考え、一丸となって魅力づくりの学習と交流をする機会をつくる	【成果と課題】 ○まちづくり委員会の関係団体として組織する当団体のなかで、子どもを中心に据えた地域活性化につながる活動を住民一丸となって学習し、活動展開を図る。 ・月1回定例会を実施し、現状整理及び取り組みの協議をした。 ・5/18 1500委員会総会 研修会「道の駅遠山郷の再生に向けて」 ・6/17 移住者歓迎会 ・9/14 塩尻市教育委員会視察対応 取り組み内容の紹介 ・9/28 拡大定例会 これからの地域振興策について意見交換 ・11/20 やまざと親子留学希望家族の受入 交流							
学級・講座	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	地区住民対象に、教育からこれからの地域振興を考え、一丸となって魅力づくりの学習と交流をする機会をつくる	【成果と課題】 ○児童生徒の減少による学校存続への危機感から、子どもの教育面による移住定住対策として、「やまざと親子留学」の取組2年目となった。 ○地域住民の組織的な地域活性化につながる活動を通じて、参加者の南信濃地域の魅力や地域課題への関心、意識が高まった。 ●会議を重ね、地域の魅力発信等移住者誘致に取り組みだが、令和6年度のやまざと親子留学制度利用者はいない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・事業の継続をしていくことにより、地域の元気につながるものと期待していきたい。 ・地域住民への周知充実や情報発信の方策を再検討しながら、地域活性化につなげていく。							

南信濃公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級		市・地	1	30	-	18歳以上女性	12月24日	南信濃地域交流センター
	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向け、学習・交流の機会の提供を図る		継続				【成果と課題】 ○若い方から高齢の方まで語りながら交流する場とできた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 ・趣味趣向の講座だけではなく、南信濃の地での生活課題に向き合える女性学級の事業化を図る。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書分館との合同事業		地区費	3	111		1,107	実施内容のとおり	南信濃地域交流センター他
	小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元に着目して、人づくりに関心をもつ機会を創出する		継続				【成果と課題】 ○各種事業により、幼少期から絵本に親しむ機会ができた。 ●児童生徒の校内アンケートでは、読書の機会が少ないという結果があり、引き続き本に興味をもってもらおう活動に取り組む必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 ・小中学校や保育園と連携し、引き続き本に親しむ機会づくりに取り組んでいく。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2023南信濃地区講演		他会計	1	31	-	1,107	8月5日	南信濃地域交流センター
	地域住民を対象に、人形劇文化と地区の民族芸能を融合させ、特色ある学習交流を図る。		継続				【成果と課題】 ○上演した人形劇が非常に楽しく充実し出演劇人の演技技術も高い作品であり、参加者は大きな満足感を持った。 ●PR不足やPRの方法が原因なのか、小学生以下の児童の来場が非常に少なく残念であった。来年度以降の早めの取り組みの必要性や十分な広報活動の重要性を再認識した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷		地区費	1	30		1,107	7月15日	南信濃地域交流センター
	地区住民を対象に、プロの音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらう。		継続				【成果と課題】 ○音楽を楽しむ機会だけでなく、弦楽器の奥深さを学ぶ機会とできた。 ●プロの生演奏を聴ける機会はあまりないため、来場者数が少なかったことが残念であった。多くの参加者が見込めるようにPR方法等を検討する必要がある。日中は暑く、また、子どもたちは習い事で不在にしていることが多いため、夕方の開催を検討したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持		

南信濃公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	天体観察会		地区費	継続	1	26	-	2月16日	南信濃地域交流センター
文化事業	天体観測を実施内容	南信濃B&G海洋センター敷地内にある天体望遠鏡を有効活用し、ここに暮らす住民の皆さんが、自然豊かな遠山郷を具体的に体感する事業として、天体又は星空観察会を企画する。 また、天体や星空の学習を深めることと天体望遠鏡の利活用を推進すること、ふと見上げる夜空がより、心の癒しや豊かさにつながる事業とする。 講師：飯田市美術博物館学芸員							
	住民を対象に天体観測を通して環境問題への意識と自然保護活動について学ぶ	【成果と課題】 ○曇りの天気で星空の観察はできなかったが、冬の星座等天体の講義を聞く、望遠鏡の仕組みについて学ぶ、などを通して知識を深めることができた。 ○子どもから高齢者まで幅広い参加があり、夜空の観察に興味を持っている住民が多いことがわかった。 ○H7年に旧南信濃村で整備した天体ドームの利活用が近年ではあまり無い中、天体観測会で活用することにより、地域の美しい夜空の魅力を伝える機会となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・今後も文化委員会事業として継続実施していきたい。真冬の開催により冷え込んだため、開催時期の検討が必要。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ブッポウソウ保護活動と環境保全学習		市・地	1	9	-	1,107	4月22日	南信濃地域交流センター周辺
	地域住民を対象に自然保護に対する意識の向上とその環境保全学習で共生の意義を学ぶ	ブッポウソウは県の天然記念物に指定されていて、県内では20つがいほどしかいない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然を理解し、自然を保護する気持ちを育てる機会を醸成する。 また、環境保全学習を通じて、陸の豊かさを守る意識と住み続けられるまちづくりへの意識を醸成する。 講師：ブッポウソウ友の会近藤知典さん							
文化事業	特別展示ブースの設置		地区費	2	-	-	1,107	実施内容の通り	南信濃地域交流センター
	地域住民を対象に、芸術の振興と交流拡大の機会の提供を図る。	【成果と課題】 ●コロナ禍の影響も非常に大きかったが、地域住民の高齢化により、芸術文化に取組む団体が減少し、またその活動内容も縮小している。そのため、芸術祭開催に代わる取組として、地域内で活動する個人・団体の作品等の特別展示ブースの提供に取り組んだが、まだまだ十分に利用されているとは言い難い状況である。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・取組の趣旨と利用方法について、さらに地域内への周知を進める。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	遠山2地区合同人形劇フェスタ		地区費	1	22	40	40	8月4日	ムトスぶらざ他丘の上
	親子を対象に、子どもだけではなく市内外で行われる公演を鑑賞する機会を提供と集団での社会性を身につけることを目的に実施	【成果と課題】 ○上村小学校の児童においては、市内での合流とすることで幅広い参加をしてもうことが出来た。保護者も対象とすることで地域でこどもを育てる意識を育む。 ○保護者も対象とすることで地域でこどもを育てる意識を育めるよう組み立てた。 ●動物園での自由行動が非常に暑く、熱中症リスクが高かったため、健康管理に配慮したうえで開催方法を検討したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・遠山2地区の園児や小学生とその家族がともに人形劇に親しみ、社会性をに育む場として内容の魅力を高めていく。 ・企画内容を一層魅力あるものにするため、市内各屋内施設等の見学を含めて検討していく。							

南信濃公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	南信濃にこにこ元気大運動会		地区費 新規	6	500	-	1,107	実施内容の通り	南信濃B&G海洋センター他
体育事業	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	和田小学校児童数減少に伴い単独開催が困難なことから、令和4年度より地区市民運動会と合同で開催している。名称は和田小学校児童たちで考案した。 【準備会】 ①5/12⑦/24③9/12④11/30(振返り会) 【運動会】 ①10/7(前日準備)②10/8(当日)					【成果と課題】 ○多くの住民の目に触れる機会となり、子どもたちのやる気が増している。また、地域住民も子どもたちの頑張る姿から大いにエネルギーを受け取っている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・中学生や高校生のボランティア参加を含め、地域全体で楽しみながら参加する機会として継続する。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	リラックスヨガ講座2023		地区費 継続	11	62	-	1,107	実施内容の通り	南信濃学習交流センター
体育事業	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	実施内容	健康福祉部会と共催。ヨガを通じて健康づくり、仲間づくりが目的である。 講師：中村陽子先生(健康福祉部謝礼支出) 【実施日】 ①5月19日②6月15日③7月21日④8月25日⑤9月29日⑥10月20日⑦11月17日⑧12月1日⑨1月19日⑩2月2日⑪3月1日 【各参加者数】 ①6名②10名③7名④7名⑤7名⑥4名⑦5名⑧5名⑨5名⑩6名⑪3名					【成果と課題】 ○市街地から遠く、健康増進のための機会が少ない中、気軽に参加できる健康づくり、仲間作りの場とすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	広報「やまなみ」発行		地区費 継続	5	30	6	1,107	実施内容参照	南信濃学習交流センター
広報事業	地域の方を対象に、情報発信、地域の情報の共有を図り、地域課題の提起などを通じて当事者意識を持ち、考え、行動できる人づくりを図る。	実施内容	年間4回発行、地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えする。 第205号年6月29日発行 遠山郷助っ人名鑑 ※上村公民館広報委員会合同発行 第206号年9月30日発行、号外(運動会特別号)11月16日発行、第207号2月1日発行、第208号3月28日発行予定 シリーズ:「匠人シリーズ」「特集記事」「みなみしなのこのもたち」「館報編集委員が見た“まち自慢”」「4コマ ヤマナミ戦隊トオヤマジャー」「てんぐのくしゃみ」					【成果と課題】 ○広報委員が取材した声を記事にすることで、地域に暮らす人の思いを届けられるような広報を作成できた。 ○住民の顔を多く紙面に掲載することで興味をひきたせられ、配布を楽しみにする住民が多い。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・住民の皆さんが読みたいと期待する館報づくりに継続して取り組む。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	子育て支援事業 遠山郷子どもひろば		他会計 継続	約200	1,000	10	23	通年平日16時～18時	南信濃学習交流センター
育成事業	保護者と地域が協働して、平日の子供見守り事業展開し、安心安全な居場所づくりを提供する。	実施内容	・心豊かでたくましい子どもを地域全体で育てるため、保護者や地域の皆様の協力をいただきながら、放課後に安心で安全な子どもたちの居場所づくりを目的に令和4年度に開設。 ・地域の人材、資源を活かした様々な体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通じて、仲間づくり、自主性や社会性、創造性を育む事業。 ・毎週月・火・水・木・金曜日 16時～18時に、ボランティア運営スタッフによる見守りを実施した。 ・休日に親子で参加する「いもほりチャレンジ」を実施(7/2)。					【成果と課題】 ○平日放課後の見守りができない子育て世代の支援につながった。 ○地域住民で構成するボランティア運営スタッフが熱い思いをもって自主的に活動している。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小	

南信濃公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協 働 事 業	ウェルカムティープロジェクト		市・地	継続	7	150	-	実施内容参照	地区内ほか
	目的	昔から学校で取り組んでいた遠山銘茶「わだつ子茶」の栽培・収穫・製品化を学校・家庭・地域が協働し実施する。併せて、学校運営協議会を軸に、他団体と協力しながら実践を通じた和田小学校及び地域の魅力発信を行い、子どもたちの郷土愛を醸成するとともに、地域の魅力化につなげる。 5/8.7/21.10/12.12/22.2/26 和田小学校学校運営協議会 5/24お茶摘み 11/5お茶販売（輪っしよい遠山） ほか、学校運営協議会委員と茶畑管理委託者との打ち合わせを実施。							
	実施内容	【成果と課題】 ○お茶の栽培・収穫を通じて地域の大切な産業を知る体験ができた。 ○販売活動等を通じて、和田小の魅力を地域内外へ発信できた。 ○少ない児童・保護者を補完する地域住民の「わだつこ応援隊」が参加する活動として展開し、高齢者の生きがいの場にもつながった。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・児童生徒数減を見越し、現在の茶畑管理が厳しくなっていくため、販売目的ではなく学習のための活動であることを学校運営協議会にて整理し、茶畑の数を減らす。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
そ の 他	和田小学校150周年記念事業		地区費	新規	1	170	1,107	実施内容参照	和田小学校ほか
	目的	○6/24 和田小学校創立150周年を祝う記念音楽会 ・公民館のコーディネートにより、カネット合唱団と学校を繋げ、記念音楽会にて合唱劇『カネット』を公演。劇を通じて人種差別について考える人権教育の機会となった。 ・公民館役員・まちづくり委員会役員・学校運営協議会委員で記念音楽会当日の受付・誘導等を行い、事業の開催を地域全体で支えた。 ○『思い出の写真』募集と同写真展開催 5月～6月 ・地区内の家庭に保管されていた写真が約30点集まり、公民館にて展示した。							
	実施内容	【成果と課題】 ○地域住民にとって子どもたちの頑張る姿からエネルギーを受け取り活気づく機会となった。 ○写真展を開催し、歴史を振り返り、住民の小学校への愛着を深める機会とできた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・150周年記念は終了したが、今後も学校に関わる活動について、地域一体となつて関わっていきけるように取り組んでいきたい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合 同 事 業	遠山郷フォーラム		地区費	継続	1	120	1,449	11月25日	遠山中学校
	目的	人口減少が顕著な中、住み続けられる地域づくりを進めていくうえで、地域を支える人材育成が重要となっており、地域に愛着を持った地域の担い手を育成していくために、遠山郷内外とのつながり等、人口減少からなる諸課題遠山郷が一丸となり、さらに推進力をもって動き出せる機会としてフォーラムを開催する。 主催 上村公民館、〃まちづくり委員会、南信濃公民館、〃まちづくり委員会 共催他 遠山3校、農山村SDGs研究会、飯田市、飯田市商工会 遠山郷支部、遠山郷観光協会							
	実施内容	【成果と課題】 ○これまで実施をしてきた本事業から昇華し、商・観光業団体も含めた地域全体による開催として計画した。 ○工事が進む三遠南信通開通を見据え、地域への影響から諸課題に連携して取り組みという機運を高める機会になった。 ○子官で・教育環境について2地区の連携が一層高まるなど成果を見せる。他の事業実践も交え、地域課題の住民意識をより深化させていく。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・三遠南信道の開通や道の駅遠山郷・かぐらの湯のリニューアルオープン（2025年秋）を見据え、地域活性化に向けた具体的な取組展開を考える機会となるよう開催する。							

南信濃公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	遠山郷学園会議	地区費	継続	1	43	1回参加・登録数	1,449	1/29、2/25他	上村公民館他
	目的 上村・南信濃地区住民及び子育て世代、学校関係者を対象に、2地区のこれからの教育・子育て環境のあり方を考える	【成果と課題】 ○令和5年度は創設までであり、次年度より具体的な議論の場として取り組む。 ○2地区が本格的に協働して取り組む試みとして始めることができた。地域の将来も左右する大きな課題を整理し、地域全体の理解を深め取組みを活性化させることが求められる。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ・特に、小中学校の厳しい現状に対応するため、早急に「あるべき学校の姿」を検討していく。 ・本会議の委員さん達の理解を深め、地域全体を巻き込みながらこれまでの取り組みを深め、教育環境に磨きをかける取組みが進むよう推進していく。							
合同事業	遠山地区二十歳の集い	他会計	継続	1	7	1回参加・登録数	7	実施内容のとおり	南信濃地域交流センター
	目的 新二十歳を対象に、地域が祝福し、対象者が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域のつながりを考えるきっかけとする。	【成果と課題】 ○地域学習においては、二十歳の皆さんの昔話(思い出)から、知りたいことややってみたいことを意見集約し、二十歳対象者たちの小中学校時代に旧木沢小学校やそこで活動をする木沢地区活性化委員会と深く結びついていたことから、過去の学習や活動を振り返りつつ現在の自身を見つめなおすような学習を行った。 ○二十歳対象者たちの小中学校時代に旧木沢小学校やそこで活動をする木沢地区活性化委員会と深く結びついていた。過去の学習や活動を振り返りつつ現在の自身を見つめなおすような学習を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ・二十歳の対象者がこれまでの成長の軌跡を見つめなおし、これからの目標や地域とのかかわりに考えるような一連の学びを支援する。							

南信濃公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏休み・春休み子ども見守り事業	市・地	継続	12	420		66	夏休み7/27～8/21、春休み3/21～28	南信濃地域学習センター
	小中学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元を愛着が持てる人づくりを目指す。 実施内容 夏休み・春休み子ども見守り事業 上村公民館・南信濃公民館の共催で、地域資源を活用した体験型学習を通じて、遠山3校の児童生徒が地域の中で異年齢交流、集団活動を行うこと で、地区を超えたつながりをつくり、それを取り巻く地域住民も遠山2地区として将来を考えるきっかけとする。 夏休み自費の時間：7/27から計12日間を計画、うち1日(ESD塾)は台風の影響により休みとした。 主な体験学習内容(夏)：遠山博士になろう、下栗ブルーベリー狩り、縫い物講座、交通安全御守り作り、料理教室、ニュースポーツ講座、地域散策、看護士さんのお仕事の話、プール(計4回)の講座と朝読書や自習を実施。 (春)：ダンス教室、サバイバル体験、輪っしよい遠山への参加、パン作り、弁護士の話、サロンきらく会へ参加、校章を描く、ふじ系伝承の会の講座と自習の実施。	市・地	継続	12	420		66	夏休み7/27～8/21、春休み3/21～28	南信濃地域学習センター
合同事業	千代峠交流会	市・地	継続	1	41	41	2,564	6月11日	実施内容のとおり
	千代地区および南信濃地区住民を対象に、千代峠を通じた文化交流を行う。H29より、隔年で互いの地区へ出向きその地区を学ぶ機会としており、本年度は千代地区が担当する。テーマについて委員自身も学びながら、南信濃地区の方との学習及び交流を行う。 【第1部】よこね田んぼ見学→法全禅寺見学→法山地域振興センターにて学習会(関口兼善氏による写真の展示と、千代峠を振り返る講演会) 【第2部】アトラクション(和太鼓TOKARA演奏)→焼肉交流会 ※雨天のため、一部外での学習活動を短く切り上げる	市・地	継続	1	41	41	2,564	6月11日	実施内容のとおり

Aブロッック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	旧市5地区野球大会	地区費	-	104	104	7チーム	5月7日(日)(中止)	県民押洞グラウンド
	目的 旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○幅広い世代の参加登録があり、世代を超えた交流の場になっている 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果と課題】 ○信濃毎日新聞記者から、新聞写真のポイントをお聞きし、今後の各地区の館報や広報のための写真についてポイントを押さえることができた。 ○各地区の広報や館報の写真で聞きたいこと等を記者に聞くことができ、次号以降の作成に活かせる研修会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容は、各地区の広報部の現状や実態からではなく、広く「写真」とすることで歴の短い委員さんにとっても有意義な研修となった、一方で、実際の部会で困ったことなどを題材にした研修の可能性も探っていきたい。					
ブロック事業	アブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中学校庭
	目的 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○当番地区のチームや体育部(丸山)を中心に、参加者全員による主体的に準備と運営ができた ○新たに加入した選手がいる地区もあり、仲間づくりの発展の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果と課題】 ○信濃毎日新聞記者から、新聞写真のポイントをお聞きし、今後の各地区の館報や広報のための写真についてポイントを押さえることができた。 ○各地区の広報や館報の写真で聞きたいこと等を記者に聞くことができ、次号以降の作成に活かせる研修会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容は、各地区の広報部の現状や実態からではなく、広く「写真」とすることで歴の短い委員さんにとっても有意義な研修となった、一方で、実際の部会で困ったことなどを題材にした研修の可能性も探っていきたい。					
ブロック事業	アブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中学校庭
	目的 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○当番地区のチームや体育部(丸山)を中心に、参加者全員による主体的に準備と運営ができた ○新たに加入した選手がいる地区もあり、仲間づくりの発展の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果と課題】 ○信濃毎日新聞記者から、新聞写真のポイントをお聞きし、今後の各地区の館報や広報のための写真についてポイントを押さえることができた。 ○各地区の広報や館報の写真で聞きたいこと等を記者に聞くことができ、次号以降の作成に活かせる研修会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容は、各地区の広報部の現状や実態からではなく、広く「写真」とすることで歴の短い委員さんにとっても有意義な研修となった、一方で、実際の部会で困ったことなどを題材にした研修の可能性も探っていきたい。					
ブロック事業	アブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中学校庭
	目的 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○当番地区のチームや体育部(丸山)を中心に、参加者全員による主体的に準備と運営ができた ○新たに加入した選手がいる地区もあり、仲間づくりの発展の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果と課題】 ○信濃毎日新聞記者から、新聞写真のポイントをお聞きし、今後の各地区の館報や広報のための写真についてポイントを押さえることができた。 ○各地区の広報や館報の写真で聞きたいこと等を記者に聞くことができ、次号以降の作成に活かせる研修会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容は、各地区の広報部の現状や実態からではなく、広く「写真」とすることで歴の短い委員さんにとっても有意義な研修となった、一方で、実際の部会で困ったことなどを題材にした研修の可能性も探っていきたい。					
ブロック事業	アブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中学校庭
	目的 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○当番地区のチームや体育部(丸山)を中心に、参加者全員による主体的に準備と運営ができた ○新たに加入した選手がいる地区もあり、仲間づくりの発展の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果と課題】 ○信濃毎日新聞記者から、新聞写真のポイントをお聞きし、今後の各地区の館報や広報のための写真についてポイントを押さえることができた。 ○各地区の広報や館報の写真で聞きたいこと等を記者に聞くことができ、次号以降の作成に活かせる研修会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 内容は、各地区の広報部の現状や実態からではなく、広く「写真」とすることで歴の短い委員さんにとっても有意義な研修となった、一方で、実際の部会で困ったことなどを題材にした研修の可能性も探っていきたい。					
ブロック事業	アブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中学校庭
	目的 旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 ○当番地区のチームや体育部(丸山)を中心に、参加者全員による主体的に準備と運営ができた ○新たに加入した選手がいる地区もあり、仲間づくりの発展の場になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 旧市5地区の幅広い世代が集まり交流する貴重な場であるため、来年度以降も引き続き開催したい。体育部や主将と連携しながら、より多くの方に参加してもらえよう各地区で準備を進めていく。					
		評価						
	予算区分 事業区分	他会計	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	アブロック広報・館報研修会	継続	1	28	28	16,274	3月16日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。	実施内容	毎年1回研修を開催している。今年度は信濃毎日新聞社の中村桂吾記者をお呼びし、新聞写真の役割や撮影のポイントなどをお聞きし、自館の広報や館報での写真にアドバイスをいただいた。また、他館の館報や広報について情報交換を行った。 【成果					

Aブロック公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	丘の上スポーツ大会(ポッチャ交流会)		他会計	1			16,274	3月10日	丸山小学校体育館
	旧市5地区の住民を対象に、ニューススポーツの普及のための講習と交流を目指す。	実施内容	【成果と課題】 コロナ禍が明けて開催環境が大きく変化する中、各地区の実情を出し合いながら開催方法について検討を重ねることができた。当日は、子どもから大人まで幅広い年代が集まり、丘の上5地区の交流を深めることができた。 【次年度の方向性との取り組み】 ☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 地区によって、4チーム選出することが難しく負担になってしまうという声もある。開催方法について、今後も体育部長、スポーツ推進委員と検討を重ねながら実施していきたい。						
	評価								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	丘の上中学生講座(丘ゼミ)		地区費	-	-	-	399	実施内容参照	丘の上
	飯田東中・西中学生を対象に、地域の中で自主・実行する中で、自主性や地域への愛着、協調性を育む。	実施内容	【成果と課題】 【西中学校区】 ○羽場地区在住の生徒から、西中の生徒であるからには、両地区のことを知りたい。ということで、両地区の人形劇フェスタや運動会等の公民館事業に積極的に参加して、地域を知ること、学校授業「地域貢献活動」に活かすことができた。との感想から、生徒の自己成長につながる機会になったと評価している。 ●中学生と地域の大人が話し合う場はあるものの、単一的で次のアクションにつなぐににくい。 【東中学校区】 ○地区の方々からも中学生とのつながりは大切であるという意識が生まれた。 ●東中学区から距離がある公民館では、中学生の姿を日常的に目にするのではなく、そもそものつながりが少ない。 【次年度の方向性との取り組み】 ☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 【西中学校区】 意見交換が目的化しないよう、話し合った成果を重視できるよう働きかけ、地域学校協働活動の推進を図る。						
	評価								
ブ ロ ッ ク 事 業	飯田東中・西中学生を対象に、地域の中で自主・実行する中で、自主性や地域への愛着、協調性を育む。	実施内容	【東中学校区】 来年度の運動会などにスタッフとして募集してつながりを作り、そこから公民館と中学生とを結びつけていきたい。						
	目的								
	評価								

Bブロック公民館の事業報告

区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Bブロックスポーツ交流会				地区費	継続	1	40	40	100	11月26日(日)	上郷小学校体育館
ブ ロ ッ ク 事 業	目的	公民館体育部、スポーツ推進委員を対象に、ニューズスポーツの普及、浸透、他地区との交流を図る	5地区のスポーツ推進委員及び体育部長が中心となり企画運営した。 種目：ポッチャ 参加チーム数：上郷1、鼎2、座光寺2、山本1、伊賀良3 合計9チーム				評価	【成果と課題】 市スポーツ推進委員会が重点的に普及に取り組んでいるポッチャを各地区に広めるきっかけとし、5地区の体育部の皆さんが交流することにより他地区の様子や状況を学ぶ機会となった。当日は、自館事業では運営側にまわることの多い体育部、スポーツ推進の皆さんがスポーツを楽しむ、交流する機会となった。また、交流会開催に向けた打合せでは、各地区の体育事業の実施状況や地区の雰囲気、悩み事について意見交換する時間を設けることで、地区の枠を超えた情報交換の機会となった。				
			実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 目的の再考も含め、次年度も5地区で連携しながら内容を検討していきたい。				
区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Bブロック館長主事情報交換会				0円	継続	1	10	10	10	12月15日(金)	橋南公民館
ブ ロ ッ ク 事 業	目的	Bブロック公民館職員を対象に、各地区の抱える課題や悩みを共有し、公民館に何ができるか考える機会とする。	各地区が抱える課題やブロックで話し合いたいテーマを3点に絞り、館長主事が2班に分かれてグループワークを行った。 グループワークテーマ：①本館と分館、②専門委員会・役員、③育成事業(小学生・中学生)				評価	【成果と課題】 館長主事という立場で、地区の枠を超えて各地区の実践や課題を共有し、情報交換を通じて公民館に何ができるか、また何をすべきかを考える機会となった。また、例年は当番地区の地域を学ぶフィールドワーク中心の内容で開催していた事業だったが、今年度は対象、内容等をゼロベースで組み立てることで、ブロックの中でいまま真に必要な取組は何かを考える機会にもなった。				
			実施内容					【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 研修内容、対象等について、来年度もゼロベースでを基本にブロック内で相談しながら、より各館の実践につなげられる機会として開催していきたい。				

Cブロック公民館の事業報告

区分	事業名				予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Cブロック情報交換会				地区費	継続	1	69	69	250	6月10日	竜丘公民館他
ブ ロ ッ ク 事 業	目 的	ブロック内の公民館委員を対象に、委員同士、研修・研鑽・情報交換を目的に開催する。	Cブロック公民館委員(文化・体育・広報・育成等)を対象に、委員同士の研修・研鑽、他地区の事業や取り組み(手法)を知るとともに、各館の新たな事業の展開など、更なる自主的な活動への発展を図ることを目的とした情報交換会を、当番地区の持ち回りで開催。				【成果と課題】 ○「竜丘地区古墳ツアー」では地域に残る遺跡を住民の力で整備し、古墳祭り等を通して次世代にも地域の誇りとしてつないでいく一連の活動を学んだ。分科会では、担当館の専門委員会で力を入れる事業を中心に、それぞれの工夫や悩みの共有を図った。 ●コロナ禍をあげ本格的に行事が実施できる環境になり、横のつながりから取組みの充実のに向けて情報交換の場を引き続き設けていく。					
			実施内容				【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 数年ぶりに懇親会も実施することで、委員改選や立場などそれぞれの悩みを情報交換する場になったことから、各館での活動の価値を感じ活動へ前向きに取り組めるような機会にしたい。					
ブ ロ ッ ク 事 業	目 的	ブロック内の公民館委員を対象に、委員同士、研修・研鑽・情報交換を目的に開催する。	【主事会】4/21.5/15 情報交換会の内容の検討 【館長主事会】5/15 計画決定 ○全体会 「竜丘地区古墳ツアー」 竜丘古墳の会 会長 小林 正春氏他 ○分科会 ①文化・育成 コロナ禍での新事業「古き松尾を巡る ぼちぼちさんぽ ～松尾一周の歌より～」 @松尾地区内 ②体育 コミュニティスポーツ体験「モルック」 @桐林区広場 ③広報 手に取ってもらえる館報づくり @竜丘公民館 ○懇親会				評価					
			実施内容				評価					

Dブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブ ロ ッ ク 事 業	Dブロック文化事業情報交換会		0円	継続	1	20	20	8月31日(水)	龍江公民館
	目的	5地区公民館の文化部長(委員長)等が、年間を通じて文化事業の情報交換やコロナ禍を経た通常開催に向けて悩んでいる事などを共有を行った。 《実施内容》 ①各地区委員長・部長より文化事業の紹介 ②情報交換(悩みごと、工夫、他の地区に聞いてみたいことなど)							
	実施内容	【成果と課題】 ○自地区の事業を振り返る機会となったと共に、工夫や悩みの共有によって、今後の事業をよりよいものにするためのきっかけとなった。ポスター掲示の協力体制や地区を越えた講師の紹介など今後につながる具体的な話もできた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各地区の同じ専門委員会同士の貴重な情報交換の場となっており、各地区の様子や状況を確認しながらその時に必要と感じる内容を検討していきたい。							
ブ ロ ッ ク 事 業	Dブロック小学生交流		市・地	継続	1	13	13	8月19日(土)	かわらんべ
	目的	Dブロック館長・主事が主催し、各小学校児童に呼びかけ、13名が集まりかわらんべにて交流を行った。当日は、竜峡中学校美術部15名及びかわらんべ研究員の協力をいただきながら、以下のように計画・実施した。 《実施内容》 ①自己紹介②自然探検！フィールドビンゴ(当日熱中症指数が危険まで上昇したため、計画したたが実施していない。代わりに、屋内でグループ対抗ペーパータワーづくりを実施。)③竜峡中学校美術による発泡スチロールで版画作り							
	実施内容	【成果と課題】 ○中学生が講師となり、近しい先輩との交流ができた。 ○近い学年ごとで地区を混ぜてグループ組をしたことで、各お楽しみを通じて地区を超えた交流の機会づくりができた。 ●熱中症の危険があることから、計画していたフィールドビンゴはできなかった。小学生が参加しやすい日程を考慮し、夏休みの後半としたが、検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 小学生が参加しやすい日程を考慮しながら、5地区公民館で引き続き検討していきたい。							
ブ ロ ッ ク 事 業	Dブロックバドミントン大会		地区費	継続	1	45	45	10月1日(日)	竜峡中学校体育館
	目的	上久堅、千代、龍江、川路、三穂のバドミントンクラブが参加し交流戦を実施した。 【順位】優勝：上久堅 3位：千代 4位：龍江 5位：三穂 ※チーム代表者会などで、試合方法の検討や大会要項の検討を行い、参加者による自主的な大会運営ができています。							
	実施内容	【成果と課題】 ○5地区全てのチームの参加があり、地区を超えた交流の機会となった。4年ぶりに慰労会を再開したことで、更に繋がりが深めることができた。 ●参加者が減少し、各チームでは地区外からも募集しないといけない状況になっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度以降も引き続き開催を計画していく。参加者の条件を見直すなど運営方法の検討も引き続き行っていく必要がある。							
ブ ロ ッ ク 事 業	Dブロック交流スポーツ大会		地区費	継続	1	42	42	2月25日(日)	龍江小学校体育館
	目的	種目をポッチャ、インドアモルックとし、交流大会であることを主眼に置き開催した。 また、Dブロックの親睦を図る機会として、4年ぶりに親睦会を計画・実施した。 ニュースポーツを体験し、各地区への普及を目的とし、分館活動・体育事業に取り組む皆さんを中心に声がけした。 共催：飯田市スポーツ推進委員協議会 種目：ポッチャ、インドアモルック							
	実施内容	【成果と課題】 ○コロナ禍の学びから、ワンふらから気軽にできるニュースポーツに種目が変更となっていることを含め、開催目的について、各地区の主事・スポーツ推進委員協議会と確認・共有しながら計画立てができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続きスポーツ推進委員と協力しながら、目的をしっかりと捉えつつ、5地区の交流が深まるよう進めいきたい。							

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21.7公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクエアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレエ公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運 営に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営 に関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立となる (社教主事1人公民館 主事9人)			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公 民館
39	地区公民館12館並立 地区公民館使用規則	青年学級(6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ 村、市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14グループ)	歩こう会始まる	下伊那テーゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレエボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき 姿・今日の指標」発表
43	旧市、5地区館設置で 16館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さ かん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	
45		文部省囑託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事 を補職 1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業「公民 館運営基準研究」始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準 研究報告書作成（4つの運営原則を打ち出す）	高齢者教室開設（2） 市民セミナー開始 主事会報創刊10月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室（6）	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大会、社会教育課から公民館へ	市財政悪化 夜間照明施設9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関として独立（副館長制となり、市公に管理係、指導係を設置）	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじまる（旧市5館）	趣味の教室さかん 市公民館開館記念行事として郷土日本画家遺作展及び遺作集刊行 OB野球大会	学校施設開放始まる
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、各地で地域課題への取組みが広がる。 市民大学講座、乳幼児学級始まる。	優良公民館として文部大臣表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策定
53	旧市ではじめての単独館羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市で開催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画策定 教育委員会に教育次長を設置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざした大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始まる	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定される 中教審「地域社会と文化について」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地域計画づくりの動きも表われる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始まる	高齢者の文集づくりさかん	中教審答申「生涯教育について」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学30周年 成人男性を対象とした学習も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査「地域文化の振興に関する調査」が行なわれる

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマにいくつかのプロジェクト事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言
60	橋北、橋南公民館独立 市公事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
平成 元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる（むこう3ヶ年）	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創設 育成事業 飯田市公民館大会学習交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」 で研究と実践が行なわれる	「はたち」のイメージソングづくり、成人式で発表	21飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつけられる シャルルヴィルメジュール市などへ主事2人視察研修参加 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「地域課題発見」「市民ネットワーク」「分館補助金制度」「委員報酬」「市民参加とワークショップ」 「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などを開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キックオフ)に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施(月1度ペース)	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」に加え「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」(公民館発足50年記念) 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田(りんご)の交流を体験	公民館制度発足50周年 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験(上久堅、大平)、こだわり体験(上久堅風土舎、下久堅大原さわやか三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座)	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回で終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正(公運審が任意設置制になるも飯田市は継続設置)	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「地域課題」「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	国のIT政策 全国的に荒れた成人式が話題に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市民公民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市民公民館HPがリニューアルされ、(財)高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ5周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート
16	公民館条例改正 (運審任期2年, 使用料改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員兼務 -4月発令-	主事会プロジェクト 共通テーマ:「住民自治を前提としたこれからの公民館活動」 館長会 「飯田市民公民館の基本原則と今後の方向」についてまとめ教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那(阿智村)で開催。飯田市も実行委員会へ参画。 各地区で地域づくりフォーラム等開催し、自立への動き始まる	10/28牧野光朗市長就任。文化経済自立都市を目指す 1市2村(上・南信濃村)による法定合併協議会設立、併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が庁内プロジェクトで進められる わがまちの“憲法”を考える市民会議が発足
17	上村・南信濃合併に伴い、20地区公民館、106分館体制に 体制研究委員会を中心に、地域自治組織発足に向けて集中的に検討し、新たな公民館ビジョンを方向付けする	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」 館長会	県公民館運営協議会主催公民館ステップアップ研修会を飯田市で開催	10/1上村、南信濃村と合併地育力向上連携システム整備事業PJ発足 「公民館は、地育力向上の主要な拠点として、まちづくり委員会の中で他の委員会の活動と積極的に連携して活動していく。」とする市の基本方針が出る
18	地域自治組織の発足に向けて、飯田市民公民館条例を一部改正(地区公民館の運営審議会を廃止するとともに、同施行規則の一部を改正し、専門委員会の名称、委員の人数、役職、任期などは公民館長が定め、専門委員は公民館長の委嘱に)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会 定例館長会において、年間を通して、各地区の地域自治組織の検討状況や事例の研修、市長を始め関係機関との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考える市民のつどい」を、市民の皆さんや専門知識のある方々による実行委員会を組織して開催	「地育力向上連携システム推進計画」を飯田市教育委員会が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足により、公民館がまちづくり委員会の公民館専門委員会として位置づけられる(飯田市教育委員会の社会教育機関としての位置づけも継続)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考える」「地域活性化」	原田泰治と子どものふれあい絵画教室in飯田、第5回郷土日本画家遺作展を開催、遺作集を発行	地域自治区、地域協議会、まちづくり委員会からなる新しい地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記念の世界人形劇フェスティバル、最後のアフィニス夏の音楽祭を開催	

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭に代わり、新たに「オーケストラと友に音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画がスタート
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市内で開催	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる 第1次飯田市教育振興基本計画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査	完全復元伊能図全国巡回フロア展in南信州 飯田を、第25回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催	
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」 東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会(分館役員研修会)を実施		公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究会集会開催
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第51回飯田市民館大会記録的豪雪により中止	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる フィリピンレガスピプロジェクト始まる（3年間）
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施	小中連携・一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
27	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度の改革）	館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催 戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那ターゼ50周年記念フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
28	新上村公民館竣工	館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」	第64回長野県公民館大会（飯田・下伊那）を飯田市で開催 市内全小中学校に学校運営協議会が設置され「飯田コミュニティスクール」となる	解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
29	社会教育法改正（地域学校協働活動の推進を位置づけ）	館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」	地域学校協働活動の充実にに向けた取組が本格的にはじまる	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート 「文部科学省の組織再編案に関する請願書」を文部大臣と文科省に提出
30	新上郷公民館竣工	館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」	いいだ人形劇フェスタ20周年（カーニバルから通算40周年） 世界人形劇フェスティバル開催	民法の一部改正 2020.4.1より成人年齢が18歳となる AVIAMA総会が飯田市で開催される
令和元		館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「高校生×探究学習」 「青年層」		新元号「令和」となる
2		館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「次世代育成」	コロナ禍により、中止又は延期した事業が多い。飯田市成人式も史上初の延期となった。一方、これまでの活動を見直し、新たな活動への展開も見られた。	第8回全国公民館報コンクール特別賞受賞：伊賀良公民館、南信濃公民館 長野県公民館アワード受賞：飯田市公民館（多文化共生事業）

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
3		館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる 主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「次世代育成」	コロナの影響により延期していた令和2年度飯田市成人式が中止となった。	長野県公民館アワード受賞：南信濃公民館
4	新橋南公民館竣工 新飯田市公民館竣工	館長会研修テーマ 「コロナ禍におけるこれからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる ～学校との協働の取組を通して～ 主事会プロジェクト 「人形劇」 「次世代育成」 「ふくし」	成年年齢引き下げに伴い「飯田市成人式」から「飯田市二十歳の集い」に名称変更して開催 3年ぶり開催となった飯田市公民館大会は第60回目を迎えた 天竜峡夏期大学講座開講70周年	民法の成年年齢18歳が令和4年4月1日より施行される
5		館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」学習活動と交流活動を充実させ、住民の皆さんのつながりや融和的な関係をつくりだそう 主事会プロジェクト 「人形劇」 「次世代育成」 「20代と地域をつなげる」	コロナ5類移行に伴い、公民館活動も徐々に再開	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
3	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
4	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
5	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
6	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
7	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
8	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
9	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
10	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
11	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
12	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
13	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
14	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
15	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
16	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
17	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

飯田市民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
18	55	7月27日	飯田市民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容：地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
19	56	7月26日	飯田市民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容：地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
20	57	7月25日	飯田市民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容：前年と同じ				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
21	58	7月24日	飯田市民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容：芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
22	59	7月29日	飯田市民館	教育・文化の側面から地域の活性化を図る公共施設の専門化類似化に公民館が教育機関としてどう対処していくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容：ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
23	60	7月7日	飯田市民館	教育活動の実践方策の研究討議 個性 的で魅力ある地域づくりのために	立教大学教授 室俊司
	主な内容：夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
24	61	9月7日	飯田市民館	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容：「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
25	62	3月6日	飯田市民館	「私にとっての公民館」「地域にとっての公民館」とは何か地方からの国際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容：行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
26	63	3月5日	飯田市民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何かができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
27	平成元	3月4日	飯田市民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容：公民館のプロジェクト事業としてはじめて魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
28	2	2月24日	飯田市民館	学習交流の活性化と 人づくり、まちづくり	シンポジスト： 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会：長谷部三弘
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日的課題を考える	元松川町社教主事 松下 拡
	主な内容： これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
31	5	2月27日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
32	6	2月26日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
33	7	2月25日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日的課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
34	8	2月23日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓くというテーマで地域での私たちにとって大切なものは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
35	9	2月22日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、鼎山古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれ あい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
36	10	2月21日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
37	11	2月20日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
38	12	2月28日	飯田市公民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通した和の広がり」「地域子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力を語り合う」「エコマネーって何？」				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
39	13	2月17日	飯田市公民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				

飯田市民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
40	14	2月16日	飯田市民館	テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講 師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男	
				主な内容:「飯田市民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活 動をすすめる秘訣を考える」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ	講 師
41	15	2月15日	飯田市民館	今、心を結ぶふるさとづくりを	全体会講師なし
				主な内容:これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちとの共生について考える」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
42	16	2月20日	飯田市民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講 師:市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演:東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果た役割」	
				主な内容: 地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
43	17	2月19日	飯田市民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講 師:和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」	
				主な内容: 地域自治組織の導入等を控え時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
44	18	2月25日	飯田市民館	テーマ:「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講 師:東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー	
				主な内容: 地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何かできるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
45	19	2月24日	飯田市民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター:長谷部三弘(ひさかた風土舎代表)、 パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新聞社編集局報道部次長) 下平隆司(前竜丘自治協議会長) 菅沼輝美(橋南地区主任児童委員)	
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かす～仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方～」の6分科会を開催。	
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師	
46	20	2月22日	飯田市民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動」 講 師:基調講演 「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拓 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。	
				主な内容: 今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。	

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
47	21	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「明日から何をするか」 講師:松本大学総合経営学部観光 ホスピタリティー学科教授 白戸 洋 ※住民主体の地域自治が期待されるなか、公民館の活動が地域を担う人づくりにどのように貢献しているのか確認し、今後の公民館活動のあり方を考える。
主な内容: 公民館を取り巻く課題を明確にし、公民館が担うべき役割や方向性を確認することを目的に開催する。基調講演は、松本大学の白戸洋先生にご講演いただく。分科会では、各地区の実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活かすべく情報や意見交換を行った。なお分科会は、「活き活きとした地域における文化祭づくりに向けて」「心身の健康とスポーツで地域づくり・人づくり」「親しんで読んでもらえる、魅力ある広報・館報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全育成」「地域を元気にする活動を考える」の5つのテーマで開催。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
48	22	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師:東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤
主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市公民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もっとも身近な分館活動」の5つのテーマで開催。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
49	23	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師:豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)
主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
50	24	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「今、公民館を問い直す ～住民自治を育む公民館の新たな挑戦～」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都国分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏(同 本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館長会 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)
主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムトス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムトスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。				
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
51	25	2月16日	飯田市公民館	観測史上初となる豪雪により中止 テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師:吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムトス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通じた地域づくり」「地域で育てたい子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「“人”が支える地域づくり」「次世代につなげる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師: 小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切にし合う地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
54	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ～田園回帰の時代～』 講師: 藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう! いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にととの公民館」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ:「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 ～人形劇による地域づくりと人づくり～ 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邊義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)
	主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振り返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子ども達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
56	30	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～これからの社会に求められる公民館とは～ 基調講演 『“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして ～地域づくりというけれど～』 講師: 白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)
	主な内容: 1年間の活動の成果を確認するとともに、私たちのくらしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。			

飯田市公民館大会の経過

No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
57	令和元	2月16日	飯田市公民館	テーマ：「”関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～今、改めて自治を考える～ 基調講演 「地域の未来を担う人づくり ～子どもと大人の学びを考える～」 講師：岩本悠氏（地域・教育魅力化プラットフォーム 共同代表） 主な内容：令和の幕開けとなる本大会では、大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮らしや豊かな人生を実現し未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、この地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的とした。基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む島根県の取組みから、地域の子どもの関わる大人の姿勢について考えた。分科会は、「子どもに関わる私たちについて語ろう」「高校生や若者に対して、私たち大人はどうありたいか」「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか？」「思いやりにあふれた社会を目指して」「地域住民が楽しく集う公民館（分館）活動」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」の6テーマで開催した。
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
58	2	2月21日	飯田市公民館 鼎公民館 上郷公民館 飯田市役所	新型コロナウイルスの影響により中止 テーマ：「公民館の今とこれからを考える」 ～コロナ禍の経験から見えてきた「つながり」について語り合おう 基調講演 「未来に託せる地域を目指す公民館」 講師：石井山竜平氏（東北大学大学院教育学研究科） 主な内容：新型コロナウイルス感染症の発生により、「集い」や「学び合い」の機会が制限され、公民館がこれまで培ってきた「住民自治」意識の希薄化が懸念される状況が続いている。公民館活動による「つながり」が地域づくりや人材育成にどのような効果や影響を与えていたのか、各公民館が悩みながら取り組んだ今年1年の活動や課題を基に、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の公民館活動をどのように考え繋げていくのかを考え合う機会として計画した。分科会は、「文化」「体育」「広報」「育成」「分館」の5つをテーマに、コロナ禍における専門委員会や分館の活動を考える機会として計画した。
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
59	3	2月20日	飯田市公民館 鼎公民館 上郷公民館	新型コロナウイルスの影響により中止 テーマ：「公民館の今とこれからを考える」 ～コロナ禍の経験から活動を振り返り、公民館の役割を考えよう 基調講演 「未来に託せる地域を目指す公民館」 講師：石井山竜平氏（東北大学大学院教育学研究科） 主な内容：新型コロナウイルス感染症の発生により、公民館をはじめとする各種の活動が十分に行えない状況にあり、様々な社会活動や、活動を通じた地域コミュニティの維持が懸念される。一方で、いまだ続くコロナ禍の中に、「集い」や「学び」、「楽しみ」、「つながり」を求める機運が高まってきている。地域への帰属意識の低下や人間関係の希薄化などの課題とコロナ禍が相まった時代に、地域に何が求められ、そのために公民館に何ができるのかを考える機会として計画した。分科会は、「文化」「体育」「広報」「育成」「分館」の5つをテーマに、コロナ禍における専門委員会や分館の活動を考える機会として計画した。
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
60	4	2月19日	飯田文化会館 飯田市公民館	テーマ：「今こそみんなで考えよう」 ～愉しく生きがいを感じる地域をめざして～ 基調講演 「公民館で地域がよみがえる 地域づくりと公民館」 講師：白戸 洋 氏 （学校法人 松商学園松本大学 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授） 主な内容：公民館をはじめとする各種の活動が十分に行えない状況にあり、様々な社会活動や、活動を通じた地域コミュニティの維持が懸念されます。その一方で、いまだ続くコロナ禍の中に、「集い」や「学び」、「楽しみ」、「つながり」を求める機運が高まってきています。公民館は地域づくりの拠点であり、一人ひとりの幸せや豊かな地域をつくりだすために“みんな”で考えることを大切にしてきました。社会情勢が多様化する時代だからこそ、日頃の地域での活動を通じて人と人がつながりあうことの重要性をあらためて認識し、これからの地域のあり方、地域における生き方について、今一度みんなで考えあう機会として計画した。分科会は、「子ども」「次世代育成」「地域文化」「共生社会」「私たちにとつての公民館」「ムトス学習交流会」の6つのテーマで開催した。
No.	年 度	月 日	会 場	テーマ及び講師
61	5	2月18日	飯田文化会館 飯田市公民館	テーマ：「つながる。～地域・人・そして未来～」 基調講演 「右手にスコープ・左手に缶ビール」で元気なまちを創る！ 講師：渡辺 豊博 氏 （NPO法人グラウンドワーク三島 専務理事 / 元 都留文科大学 教授 / 農学博士） 主な内容：コロナ禍を乗り越え日常を取り戻していくなか、コロナにより影響を受けた「人と人とのつながり」や「地域コミュニティの活力」の再生が求められている。そのためには、地域住民が集い、地域に着目した「学びや交流」のさらなる充実が大切であり、その過程において地域や人との「つながり」や「活力」が生まれると考える。心豊かに暮らしやすい地域を目指し、地域・人・未来を視点にみんなで考えあう機会として計画した。分科会は、「文化活動」「体育活動」「広報活動」「分館活動」「育成活動」「ムトス学習交流会」の6つのテーマで開催した。

令和 5 年度 飯田市公民館活動記録

発行 令和 6 年 3 月 3 1 日

編集 飯田市公民館

〒395-0086 飯田市東和町 2 丁目 3 5 番地

丘の上結いスクエア 2 階

☎ 2 2 - 1 1 3 2 FAX 2 2 - 1 0 2 2

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp